

年報 36 (令和 5 年度版)

千葉県立中央博物館

NATURAL HISTORY MUSEUM AND INSTITUTE, CHIBA

目次

令和5年度1年間のあゆみ	1
令和5年度のトピック	2
千葉県立中央博物館概要	3
新型コロナウイルス感染症への対応	5

I 資料収集・整理保存

第1 本館	
1 資料の登録	6
2 資料の収集	7
3 資料の寄託・仮保管・借用	8
4 資料の利用	9
5 保存環境の整備等	13
6 図書の利用	13
第2 大利根分館	
1 資料の登録	14
2 資料の収集	14
3 資料の寄託・借用	14
4 資料の利用	15
第3 大多喜城分館	
1 資料の登録	17
2 資料の収集	17
3 資料の寄託・借用	17
4 資料の利用	19
第4 分館海の博物館	
1 資料の登録	21
2 資料の収集	21
3 資料の利用	22
4 保存環境の整備等	22

II 調査研究

第1 本館	
1 研究課題	23
2 外部資金等による研究	33
3 研究成果の公表・周知	35
4 研究員の執筆・研究発表	36
5 研究交流	50
第2 大利根分館	
1 研究課題	55
2 研究員の執筆・研究発表	55
3 研究交流	55
第3 大多喜城分館	
1 研究課題	57
2 外部資金等による研究	57
3 研究員の執筆・研究発表	57
4 研究交流	57
第4 分館海の博物館	
1 研究課題	58
2 外部資金等による研究	59
3 研究成果の公表・周知	59
4 研究員の執筆・研究発表	59
5 研究交流	62

III 展示

第1 本館	
1 常設展示	63

2 野外展示(生態園)	63
3 特別展	63
4 季節展	65
5 生態園トピックス展	68
6 トピックス展	69
7 その他の展示	73
8 出前展示	74
第2 大利根分館	
1 出前展示	75
第3 大多喜城分館	
1 常設展示	76
2 企画展	76
3 テーマ展示	76
第4 分館海の博物館	
1 常設展示	77
2 マリンサイエンスギャラリー	77
3 収蔵資料展	78
4 その他の展示	78

IV 教育普及

第1 本館	
1 展示観覧支援	79
2 講座・観察会等の開催	82
3 アウトリーチ支援	86
4 職場体験・インターンシップ・博物館実習・ 教員研修等	92
5 県民参画	93
6 外部機関との協定等	96
第2 大利根分館	
1 展示観覧支援	97
2 アウトリーチ支援	97
3 県民参画	97
第3 大多喜城分館	
1 展示観覧支援	98
2 講座・観察会等の開催	98
3 アウトリーチ支援	98
4 職場体験・インターンシップ・博物館実習・ 教員研修等	98
5 県民参画	98
第4 分館海の博物館	
1 展示観覧支援	99
2 講座・観察会等の開催	99
3 アウトリーチ支援	100
4 職場体験・インターンシップ・博物館実習・ 教員研修等	102

V 情報発信

1 出版物・印刷物の発行	103
2 インターネットの活用	104
3 マスコミ等の活用	106
4 郵メンバー	112

VI 施設維持保守

1 施設維持保守工事	113
------------	-----

Ⅶ 千葉県立博物館ネットワーク

- 1 千葉県立博物館情報システム ----- 114
- 2 千葉県立博物館文化セミナー「千葉学講座」 --- 114

Ⅷ 入館者状況

- 1 月別入館者数 ----- 115
- 2 団体入館状況 ----- 117
- 3 団体の種類・地域内訳 ----- 118

Ⅸ 組織・運営

- 1 千葉県博物館協議会 ----- 121
- 2 職員 ----- 121
- 3 分掌 ----- 122
- 4 運営推進チーム・委員会・専門グループ・
プロジェクトチーム ----- 122
- 5 利用方法 ----- 122

令和5年度1年間のあゆみ

(令和4年度から継続)

- 令和4年度春の展示「ちばの植物 探・検・隊！」(～5月28日)【本館】
トピックス展「こんなに変わった植物の分類！—DNAをもとにした新たな系統—」
(～4月9日)【本館】
トピックス展「生命(いのち)のにぎわい 生命のにぎわい調査団・生物多様性写真展」
(～5月7日)【本館】
生態園トピックス展「生態園の意外な動物たち」(～6月4日)【本館(生態園)】
出張展示「伝馬船模型展示」(～当面の間)【大利根分館/会場 千葉県香取地域振興事務所合同庁舎】
マリンサイエンスギャラリー「房総の魚 名魚・珍魚・ふつうの魚」(～5月7日)【分館海の博物館】

令和5(2023)年

- 4月 1日 (土) 本館への機能集約のため休館【大利根分館】
施設改修のため一部休館、研修館展示「大多喜城と城下町」【大多喜城分館】
4月 29日 (土・祝) トピックス展「千葉の外來昆虫最前線！」(～6月18日)【本館】
6月 15日 (木) 施設無料開放(千葉県民の日)
7月 1日 (土) 千葉県誕生150周年記念事業「写真で見るちばのあゆみ」パネル巡回展(～9月18日)【本館】
7月 15日 (土) 特別展「よみがえるチバニアン期の古生物」(～9月18日)【本館】
7月 15日 (土) 収蔵資料展「千葉県勝浦沖キンメ場の魚」(～9月3日)【分館海の博物館】
8月 1日 (火) トピックス展「関東大震災から100年」(～9月23日)【本館】
9月 12日 (火) 生態園トピックス展「舟田池の生きもの」(～11月26日)【本館(生態園)】
10月 3日 (火) 秋の展示「手のひらのメディア—吉澤貞一マッチラベルコレクション—」(～12月24日)【本館】
10月 21日 (土) 秋の企画展示「海の生きもの古い図鑑—明治から昭和初期まで—」(～1月14日)【分館海の博物館】
11月 3日 (金・祝) 施設無料開放(文化の日)
12月 17日 (日) ミニトピックス展「十二支にちなんで—辰年—」(～1月21日)【本館】

令和6(2024)年

- 1月 18日 (木) 第1回千葉県博物館協議会【本館】
2月 3日 (土) 千葉学講座【本館】
2月 12日 (月・祝) 千葉学講座【本館】
2月 20日 (火) 生態園トピックス展「生態園の野鳥たち」(～7月7日)【本館(生態園)】
2月 20日 (火) 第2回千葉県博物館協議会【本館】
2月 23日 (金・祝) マリンサイエンスギャラリー「アサクサノリ 2—ノリの世界—」(～5月6日)【分館海の博物館】
3月 1日 (金) 第3回千葉県博物館協議会【本館】
3月 5日 (火) トピックス展「生命(いのち)のにぎわい」写真展(～5月6日)【本館】
3月 9日 (土) 春の展示「理科室のタイムマシン 学校標本」(～5月12日)【本館】
3月 25日 (月) 海の生きもの観察ノート18「新 ウミウシを観察しよう」発行【分館海の博物館】

令和5年度のトピック

本館は、特別展「よみがえるチバニアン期の古生物」(7月15日～9月18日)を開催。ナウマンゾウやオオキトドなどのチバニアン期の海と大地の古生物の化石を展示し、当時の千葉の海と大地の様子を紹介するとともに、体験イベントや講座・観察会、講演会などを通して、古生物の生態や古生物研究の魅力を併せて紹介した。

季節展では、秋の展示「手のひらのメディア―吉澤貞一マツチラベルコレクション―」(10月3日～12月24日)を開催。当館が所蔵する日本最大のマツチラベルコレクションを展示し、近代日本においてマツチラベルが果たした役割について紹介した。また、春の展示「理科室のタイムマシン 学校標本」(3月9日～5月12日)では、県内各地の学校に残る古い生物標本や生物部誌を展示し、昔の自然や学校生活の様子について紹介した。

トピックス展は、千葉県で確認された外来昆虫のうち、特に注目すべき種の生態や識別方法を紹介した「千葉の外来昆虫最前線！」(4月29日～6月18日)や、100年前の関東大震災の特徴や当時の被害の様子を紹介した「関東大震災から100年」(8月1日～9月23日)などを開催した。また、「関東大震災から100年」は巡回展として中央図書館や現代産業科学館など計4施設においても展示された(9月28日～1月7日)。千葉県誕生150周年記念事業「写真で見るちばのあゆみ」パネル巡回展は千葉県誕生150周年を記念して、千葉県の150年のあゆみを政治や産業、文化に関する様々な写真記録を通して紹介するもので、本館に加えて全21施設にて展示された(9月9日～3月31日)。

生態園は生態園トピックス展「生態園の意外な動物たち」(2月28日～6月4日)、「舟田池の生きもの」(9月12日～11月26日)、「生態園の野鳥たち」(2月20日～7月7日)を開催。また、11月3日に体験イベント「生態園でツリーラリー」を開催したほか、「森の調査隊(個人向け)(12回)」、「生態園観察会(3回)」を実施した。房総のフィールド・ミュージアムでは、君津市立清和小学校で「清和小教室博物館」を延べ23日間開館したほか、1月14日～19日には第51回清和地区文化祭で出張展示を開催した。また、観察会「山の学校(6回)」、「東京大学千葉演習林連携事業 夏の山の昆虫」、「地層と貝化石の観察会」を開催した。

大利根分館は令和5年6月20日から、本館への機能集約のため休館中であるが、令和4年7月5日から千葉県香取地域振興事務所合同庁舎エントランスホールにて「伝馬船1/5模型」及び利根川舟運と船に関する解説パネルを展示している。

大多喜城分館は令和3年度より一部休館中であり、見学者への配慮と地域の観光拠点の振興のため、研修館を活用しパネル展「大多喜城と城下町」(令和3年3月14日～)を開催している。

分館海の博物館では、7月15日～9月3日に収蔵資料展「千葉県勝浦沖キンメ場の魚」を開催した。千葉県勝浦沖のキンメダイを釣る漁場「キンメ場」で漁獲された魚は60種に上り、30種を海の博物館発行のミニ図鑑「千葉県勝浦沖キンメ場の魚」掲載した。この展示では、図鑑のページを拡大して、実物の魚類標本とともに紹介した。10月21日～1月14日に、秋の企画展示「海の生きものの古い図鑑―明治から昭和初期まで―」を開催し、明治から太平洋戦争中に出版された海の生きものを掲載した図鑑や啓蒙書を展示した。2月23日からはマリンサイエンスギャラリー「アサクサノリ2ノリの世界」を開催し、江戸時代から養殖され、今では絶滅危惧種となっているアサクサノリを中心に、ノリ研究の最前線を紹介した。また、シリーズで発行している「海の生きもの観察ノート」の第18号として、「新 ウミウシを観察しよう」を刊行した。

千葉県立中央博物館概要

1 使命

千葉県立中央博物館は、地域の方々と共に、自然と歴史に関わる資料・情報を収集・蓄積するとともに、基礎的・国際的視野に立つ科学研究により、その新たな価値を発見し、教育、展示、その他全ての博物館活動を通して県民へ発信し、県民共有の知的資産として未来へ伝える。

また、千葉県の中核的综合博物館として、さまざまな県民の幅広い知的ニーズに応えつつ、双方向の交流を通して、その生涯学習拠点となる。

2 場所

本館	千葉市中央区青葉町 955-2 (県立青葉の森公園内)
大利根分館	香取市佐原ハ 4500
大多喜城分館	夷隅郡大多喜町大多喜 481
分館海の博物館	勝浦市吉尾 123

3 機関設置

本館	平成 元年 1 月 11 日 (同年 2 月 7 日 一般公開)
大利根分館	平成 18 年 4 月 1 日分館化 (大利根博物館 昭和 54 年 4 月 1 日機関設置 同年 11 月 21 日一般公開)
大多喜城分館	平成 18 年 4 月 1 日分館化 (総南博物館 昭和 50 年 4 月 1 日機関設置 同年 9 月 10 日一般公開)
分館海の博物館	平成 11 年 3 月 12 日 (同日 一般公開)

4 施設

区分	敷地面積	建物延床面積
本館	13,178 m ²	15,254 m ² (展示室面積 4,291 m ² /収蔵庫面積 3,591 m ² /研究・管理部門 6,812 m ²)
生態園	66,000 m ²	758 m ²
大利根分館	13,195 m ²	1,751 m ² (展示室 535.66 m ² /収蔵庫 253.83 m ²)
大多喜城分館	5,673 m ²	1,952.93 m ² (展示室 656.60 m ² /収蔵庫 310.93 m ² /研修室 245.23 m ² 等)
分館海の博物館	7,161.01 m ²	7,696.13 m ² (本館棟 3,919 m ² /駐車場 3,694 m ² 等)

5 組織

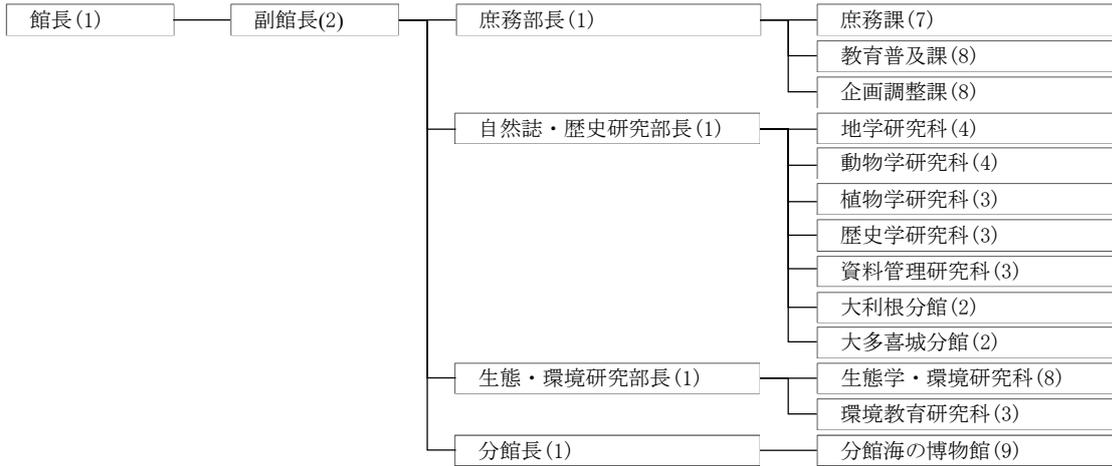
(1) 職員数 71 名

区分	行政職	研究職	合計
本館	12 名	45 名	57 名
大利根分館	0 名	2 名	2 名
大多喜城分館	0 名	2 名	2 名
分館海の博物館	3 名	7 名	10 名
計	15 名	56 名	71 名

※環境生活部自然保護課生物多様性センター兼務職員 1 名、文化振興課兼務職員 2 名を含む

※体験交流員 (会計年度任用職員等) を除く

(2)組織図 ()内は所属人数



6 予算 588,621,000 円

本館	大利根分館	大多喜城分館	分館海の博物館
277,191,000	29,126,000	71,166,000	211,138,000

7 常設展示の構成

本館	房総の自然と人間、房総の自然誌(房総の地学、房総の生物、海洋、生物の分類、小動物展示室)、 房総の歴史、自然と人間のかかわり、体験学習室
生態園	房総の代表的自然を再現し、動植物の生態を身近に観察する野外施設
大利根分館	利根川の自然と歴史、千葉県農業
大多喜城分館	大多喜城と城下町(研修館)
分館海の博物館	房総半島の海の自然(房総の海、さまざまな海の姿、博物館をとりまく自然、海と遊ぼう)

8 収蔵資料 1,216,620 点

本館	大利根分館	大多喜城分館	分館海の博物館
1,120,434 点	16,570 点	2,854 点	76,762 点

9 入場者数 196,345 人 うち有料入場者数 51,817 人、入場料収入 15,840,520 円

区分	本館	大利根分館	大多喜城分館	分館海の博物館
入館者数	96,381 人	0 人	39,550 人	60,414 人
うち有料入館者数	21,659 人	0 人	0 人	30,158 人
入館料収入	9,988,620 円	0 円	0 円	5,851,900 円

新型コロナウイルス感染症への対応

令和元年度に始まった新型コロナウイルス感染症への対策として、博物館活動も様々な制限の下に行われてきたが、令和4年度末までにはコロナ禍以前の状態にほぼ復旧することとなった。令和5年5月8日には、新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが、季節性インフルエンザなどと同じ「5類」に移行し、感染対策は個人の判断に委ねられることになり、これに伴い博物館活動も完全復旧を目指すこととなった。

1 令和5年度の経過

全庁的に対策が解除される5月8日に向けた事前準備として、2分割して配置していた総合案内所を対策前の配置に戻し、入場券売り場の一方通行措置を解除した。5月8日以降の最初の開館日となった10日からは、正門入口の検温器および入場券売り場のアクリル板を撤去した。また、展示物の消毒作業もなくすとともに、手指消毒用のアルコール類は、トイレやハンズオンコーナー等など、必要最小限の場所に残留して、各展示室の出入口から撤去した。なお、一般利用者のマスクの着用は、国の方針に従って3月13日から入館する際の条件から除外されていたが、職員のマスク着用については、10日以降も利用者と接する場面に限って基本的に着用するものとされていた。この措置についても、5月23日以降は撤廃され、マスクの着用は職員個人の判断となった。

2 利用者の状況

令和4年度末までに、博物館活動はコロナ禍以前の状態にほぼ復旧していたため、令和5年度の入場者数に大きな変化は見られなかった。都市近郊である本館では減少し、観光地である分館海の博物館では過去最多の入場者数を記録したことは、コロナ禍の収束ムードに後押しされ、人々が遠方に出かけることが多くなった表れと思われる。

表. 平成30年度から令和5年度までの入場者数比較(括弧内は、平成30年度を基準とした各年度の割合)

	中央博物館本館	大利根分館	大多喜城分館	分館海の博物館	新型コロナ対策としての臨時休館
令和5年度	96,381 (62%)	0	39,550 (51%)	60,414 (118%)	なし
令和4年度	108,754 (70%)	1,855 (16%)	38,530 (50%)	58,531 (114%)	なし
令和3年度	97,033 (63%)	4,444 (37%)	47,837 (62%)	48,474 (95%)	なし
令和2年度	53,865 (35%)	2,335 (20%)	43,128 (56%)	32,029 (63%)	4/1-5/24(分館5/31)、1/9-3/21
令和元年度	108,751 (70%)	11,275 (95%)	62,419 (80%)	49,868 (56%)	3/3-3/31
平成30年度	154,482 (100%)	11,907 (100%)	77,362 (100%)	51,188 (100%)	なし

※ 令和5年度は、本館への機能集約のため、大利根分館は通年休館し、大多喜城分館は施設の外観及び研修館の見学のみ

I 資料収集・整理保存

第1 本館

1 資料の登録

(令和6年3月31日現在)

分野		年間増加	総登録点数	情報システム 総点数
動物資料	哺乳類	0	5,435	685
	鳥類	0	1,674	522
	魚類	724	23,657	23,543
	両生類・は虫類	0	2,057	0
	昆虫	779	205,903	138,466
	甲殻類	311	17,799	16,479
	カブトガニ・ウミグモ・多足類	3	708	571
	クモ類	56	1,463	237
	軟体動物	1,585	84,037	1,847
	多毛類	1	1,127	2
	その他無脊椎動物	0	76	2
	小計	3,459	343,936	182,354
	植物・菌類資料	維管束植物	6,576	405,964
蘚苔類		0	42,883	6,899
藻類		0	6,110	3,484
植物資料小計		6,576	454,957	187,731
地衣類		1,003	29,418	6,206
担子菌類		0	26,488	6,265
子囊菌類他		0	3,102	190
変形菌類		0	191	2
菌類資料小計		1,003	59,199	12,663
小計		7,579	514,156	200,394
地学資料	岩石・鉱物	322	20,732	20,973
	地層(はぎとりなど)	1	27	23
	植物化石	3	210	207
	軟体動物化石	346	7,399	7,386
	その他無脊椎動物化石	18	4,014	2,303
	微化石	154	436	436
	脊椎動物化石	6	8,329	8,329
	地学景観画像	61	279	280
	その他	2	821	0
	小計	983	42,317	39,937
自然誌資料合計		12,021	900,409	422,685
人文資料	美術工芸品	-	-	573
	文献資料	-	-	1,588
	考古資料	-	-	3,065
	歴史資料	-	-	156
	民俗資料	-	-	57
	絵はがき	-	-	15,386
	古写真	-	-	4,177
	その他	-	-	1,530
	人文資料合計	174	60,679	26,532
生態・環境資料	生態・環境にかかわる生物音響資料	0	1,868	-
	生態・環境にかかわる映像資料	0	2,042	-
	環境教育資料	0	8	-
	小計	0	3,918	-
特殊資料・貴重書	リンネ関係レンスコーク・コレクション	0	5,397	0

分野		年間増加	総登録点数	情報システム 総点数
特殊資料・貴重書	その他稀観本	0	50	0
	小計	0	5,447	0
図書資料	図書(冊数)	390	55,672	22,253
	雑誌(冊数)	1,052	94,309	-
	雑誌(誌数)※	3	5,056	2
	小計	1,442	149,981	22,255
合計		13,637	1,120,434	471,472

※雑誌(誌数)は、年間増加分・総登録点数には含まない。

2 資料の収集

(1) 収集点数

種別	点数
購入	296
製作委託	0
寄附	1,032
保管換え	2
館員による収集	12,347

種別	点数
寄託	10
仮保管	0
借用(長期)	-10
合計	13,677

※寄託・仮保管・借用は、新規受入・返却の変更があった増減を計上

(2) 内訳

ア 寄附

資料系	資料名	点数	寄贈者
動物資料	軟体動物	723	個人
地学資料	銚子産岩石・鉱物・化石一式	105	個人
人文資料	柳田國男著書および関連書籍(平野玄一コレクション)	193	個人
人文資料	旧陸軍鉄道第二連隊演習線境界石	1	(株) 新京成電鉄
人文資料	裁縫ひな型一式および教科書・ノート・その他	10	個人

イ 館員による収集等

資料系	資料名	点数	収集者
動物資料	哺乳類	0	館員
	鳥類	0	館員
	魚類	724	館員
	両生類・爬虫類	0	館員
	昆虫	779	館員
	甲殻類	311	館員
	カブトガニ・ウミグモ・多足類	3	館員
	クモ類	56	館員
	軟体動物	862	館員
	多毛類	1	館員
	その他無脊椎動物	0	館員
植物・菌類資料	維管束植物	6,576	館員
	蘚苔類	0	館員
	藻類	0	館員
	地衣類	1,003	館員
	担子菌類	0	館員

資料系	資料名	点数	収集者
植物・菌類資料	子囊菌類他	0	館員
	変形菌類	0	館員
地学資料	岩石・鉱物	306	館員
	地層	1	館員
	植物化石	0	館員
	軟体動物化石	333	館員
	その他無脊椎動物化石	17	館員
	微化石	154	館員
	脊椎動物化石	6	館員
	地学景観画像	37	館員
	その他	0	館員
人文資料		9	館員
図書		368	館員
雑誌		801	館員

3 資料の寄託・仮保管・借用

(1) 寄託(新規)

資料系	資料名	点数	寄託者
人文資料	天正検地帳、下総国海上郡柴崎村御朱印地裁許之事絵図、東圓寺書上、昭和20年8月15日付け論告	10	銚子市柴崎町内会

(2) 寄託(更新)

資料系	資料名	点数	寄託者
地学資料	習志野隕石(2号標本破片)	1	個人
人文資料	神宮寺文書	554	神宮寺
	神崎神社文書	91	神崎神社
	大絵馬会津藩士遊泳1点、木造菩薩半伽像1点	2	三柱神社
	鋳銅鰐口1点、鋳銅孔雀文磬1点、鋳銅唐草文釣灯籠1点	3	笠森寺
	板絵馬著色武者絵(弁慶)1点、板絵馬著色武者絵(牛若)1点	2	縣神社
	地曳網絵馬4点、揚繰網絵馬1点	5	玉前神社
	板絵馬著色武者絵(昇亭北寿 文久二年)1点、板絵馬著色伊勢參宮図(〃)1点	2	大宮神社
	明治2年奥州出征絵巻(ハーマン号事件に関する絵巻物)	1	勝浦市

(3) 仮保管(更新)

資料系	資料名	点数	保管者
人文資料	千葉寺経塚出土資料	10	千葉県立千葉高等学校

(4) 借用(返却)

資料系	資料名	点数	借用先
人文資料	配給手帳ほか	10	印西市立印旛歴史民俗資料館

(5) 常設展示資料の借用(更新)

資料系	資料名	点数	借用先
房総の地学	サンゴ岩体化石	1	とみうら元気倶楽部
	ナウマンゾウ臼歯化石ほか	23	個人

資料系	資料名	点数	借用先
房総の地学	ノウマンゾウ臼歯化石	1	個人
	ニホンジカ角化石	2	木更津市立中郷小学校
	馬蹄石	1	個人
房総の生物	海岸漂着物	33	個人
房総の歴史	姥山貝塚出土縄文土器	9	慶應義塾大学
	城の腰遺跡出土石器ほか	95	千葉県立房総のむら
	農業要集、草木撰種録ほか	3	個人
	西広貝塚出土石剣ほか	17	市原市教育委員会
	三田遺跡出土赤彩土器ほか	40	芝山町教育委員会
	山田水呑遺跡出土墨書土器ほか	24	東金市教育委員会
	鳥浜貝塚出土クルミほか	11	福井県立若狭民俗資料館
	中山新田Ⅰ遺跡出土石器ほか	300	千葉県教育委員会
	地租改正の丈量器具 一式	1	富津市文化協会
	林跡遺跡出土木葉形尖頭器ほか	8	鎌ヶ谷市郷土資料館
	大山台第36号墳出土須恵器ほか	24	木更津市教育委員会
	本名輪遺跡出土炭化米 一式	1	君津市教育委員会
	新坂1号墳出土円頭太刀ほか	60	山武市教育委員会
	飯山満東遺跡出土浅鉢	5	国立歴史民俗博物館
宮内井戸作遺跡出土深鉢	13	佐倉市教育委員会	

(6) 調査等における資料の借用(更新)

資料系	資料名	点数	借用先
地学資料	山岳鳥瞰図	408	個人

※企画展示資料の借用資料は、Ⅲ展示を参照のこと。

4 資料の利用

(1) 利用点数

利用方法	件数	点数
閲 覧	6	86
撮影・複製	13	295
貸 出	16	392
デジタル情報の複製	51	585
その他	0	0

利用方法	件数	点数
研究用貸出	5	174
標本データの提供	2	193,680
館内利用	36	891
合 計	129	196,103

※利用種別が複数にわたる場合は、それぞれにカウントした。

(2) 閲覧・撮影・複製・貸出・デジタル情報の複製・その他

ア 動物資料

利用方法	資料名	点数	利用者
館内撮影	ミンミンゼミ標本	30	千葉県立柏高等学校
貸出	標本・剥製(スクミリンゴガイほか)	71	袖ヶ浦市郷土博物館
貸出	イッカクの骨格標本	2	北九州市立自然史・歴史博物館
貸出	哺乳類標本	5	木更津市教育委員会
貸出	剥製・画像(タヌキほか)	16	千葉県立房総のむら
貸出	ハンドウイルカ骨格標本	1	(株)朝日新聞社・メディア事業本部文化事業1部
デジタル情報	イッカク写真	3	北九州市立自然史・歴史博物館

利用方法	資料名	点数	利用者
デジタル情報	イッカク写真	2	豊橋市自然史博物館
デジタル情報	クチバズメ幼虫写真	1	(株)クリエイティブネクサス

イ 植物・菌類資料

利用方法	資料名	点数	利用者
閲覧	海藻標本	1	富山県中央植物園
閲覧	維管束植物標本	2	個人
館内撮影	地衣類タイプ標本	1	読売新聞千葉支局
館内撮影	菌類古典籍図版	3	(株)KADOKAWA 文芸・映像事業局 単行本編集部
館内撮影	コゴメカヤツリ標本	1	個人
貸出	センブリレプリカほか	16	岐阜県博物館
貸出	ベニテングダケレプリカ	1	NHK 第1制作センター
貸出	地衣類資料	24	ミュージアムパーク茨城県自然博物館
デジタル情報	地衣類画像	1	読売新聞千葉支局
デジタル情報	地衣類画像	1	千葉県立現代産業科学館
デジタル情報	ムジナモ標本	7	個人
デジタル情報	菌類画像	24	(株)パイインターナショナル
デジタル情報	ヤドリギ寄生根写真画像	1	(株)CN インターボイス

ウ 地学資料

利用方法	資料名	点数	利用者
館内撮影	クジラ脊椎骨化石(複製)	3	茂原市立美術館・郷土資料館
貸出	化石標本	8	習志野市袖ヶ浦公民館
貸出	バレオスポンディルス	1	日本放送協会第2制作センター(科学ジャンル)
デジタル情報	上総海盆復元図・古東京湾復元図	2	銚子ジオパーク推進協議会
デジタル情報	化石クリーニング作業写真	1	IVS テレビ制作株式会社
デジタル情報	ムカシマンモス復元画、トウヨウゾウ復元画、ニホンムカシジカ復元画、オオキトド復元画、他	8	個人
デジタル情報	ムカシマンモス復元画、トウヨウゾウ復元画、ナウマンゾウ復元画、オデュッセウストド復元画	4	個人
デジタル情報	ナウマンゾウ全身骨格 3D データ、写真	2	(株)ミュージアムクルー
デジタル情報	市原市田淵露頭画像ほか	3	(株)クリエイティブ Be
デジタル情報	ナウマンゾウ骨格標本画像	1	個人
デジタル情報	岩石標本写真	3	(株)KANADEL
デジタル情報	蜃気楼写真	4	銚子ジオパーク推進協議会

エ 人文資料

利用方法	資料名	点数	利用者
館内撮影	量地縮図解・量地幼学指南	1	千葉県立関宿城博物館
館内撮影	板絵馬著色武者絵	2	城西国際大学水田美術館
館内撮影	「房総の歴史」展示室「近代の房総」より「改良アグリ網漁法」	1	千葉市立寒川小学校創立 150 周年実行委員会
館内撮影	浅間山古墳出土資料	194	千葉県立房総のむら風土記の丘資料館
館内撮影	明治二年奥州出征米国船ハーマン号勝浦沖遭難絵巻	1	熊本県立美術館
館内撮影・デジタル情報	旧石器時代石材サンプル	1	早稲田大学津八一記念博物館
館内撮影・デジタル情報	林辰雄撮影写真	26	千葉県立房総のむら
貸出	江戸風俗図屏風(複製)	1	キャノン株式会社 社会文化支援課

利用方法	資料名	点数	利用者
貸出	「量地縮図解・量地幼学指南」のうち「量地縮図解」	1	千葉県立関宿城博物館
貸出	行商かごほか	9	千葉県立房総のむら
貸出	浅間山古墳出土資料	194	千葉県立房総のむら風土記の丘資料館
貸出	房丁茶船模型	1	印西市教育委員会
貸出	菱田コレクション(若潮国体関連資料)	41	千葉経済大学地域経済博物館
デジタル情報	大日本物産図会 上総国九十九里鱸漁之図ほか	3	(一社)共同通信社
デジタル情報	「日本博覧図 千葉県初編」のうち「集成学校」	1	個人
デジタル情報	大日本物産図会 伊豫国牛蒡堀之図	1	NHK 第2制作センター
デジタル情報	「日本風景版畫 第四輯 下総之部」のうち「銚子犬若の濱邊」、「印旛沼 沼邊の荒涼」	2	千葉県立東部図書館
デジタル情報	「日本博覧図 千葉県 初編」のうち「染谷大太郎邸宅」	1	個人
デジタル情報	干鯛模型画像、𪗇粕模型画像	2	東京メトロポリタンテレビジョン
デジタル情報	「日本風景版畫 第四輯 下総之部」のうち「佐原利根川の浚渫」	1	千葉県立東部図書館
デジタル情報	上総国分寺復元模型	1	(公財)千葉市教育振興財団
デジタル情報	干鯛模型画像、𪗇粕模型画像	4	奥村商事株式会社
デジタル情報	「職人尽絵貼りませ屏風」のうち「鳥屋 籠屋」	1	日本経済新聞社
デジタル情報	船橋古作貝塚出土資料	9	(株)新泉社
デジタル情報	「名所江戸百景 利根川ばらばらまつ」ほか	4	千葉県立東部図書館
デジタル情報	「日本博覧図 後編」のうち「漁業干鯛搾粕鯉節製造片岡善太郎居宅之圖」、「浅野重助 鯉揚繰網納屋及搾粕製造場之圖」	2	個人
デジタル情報	成田香取鹿島息栖細見絵図	1	千葉地理学会
デジタル情報	押送船模型画像	1	個人
デジタル情報	干鯛模型画像、𪗇粕模型画像	2	相馬市教育委員会
デジタル情報	干鯛模型画像	1	(株)アズマックス
デジタル情報	干鯛模型画像	1	(株)フラッグ
デジタル情報	干鯛模型画像、𪗇粕模型画像	2	(株)第一学習社
デジタル情報	干鯛模型画像	1	(株)フラッグ
デジタル情報	古写真画像	30	NHK 千葉局
デジタル情報	林辰雄撮影写真、吉野章郎撮影写真	9	(株)いき出版
デジタル情報	古写真画像	3	NHK
デジタル情報	古写真画像	152	NHK 千葉局
デジタル情報	絵葉書画像	2	夷隅地域振興事務所
デジタル情報	吉野章郎撮影写真画像	1	市川商工会議所
デジタル情報	吉澤貞一マッチラベルコレクション	5	能登印刷株式会社
デジタル情報	林辰雄撮影写真画像	1	千葉県立房総のむら

オ 生態・環境資料

利用方法	資料名	点数	利用者
デジタル情報	蒲谷鶴彦録音資料	1	江戸川区 SDGs 推進部広報課
デジタル情報	生物音声資料	239	(株)ポブラ

カ 特殊資料・貴重書

利用方法	資料名	点数	利用者
閲覧	Systema Naturae 1735 初版、レンスコーク・コレクションより	7	個人
閲覧	「植物ならびに園芸文化史関係の文献、絵画」珍花福寿草	1	個人

利用方法	資料名	点数	利用者
閲覧	「植物ならびに園芸文化史関係の文献、絵画」20点 「リンネ関係レンスコーク・コレクション」13点、植物洋書6点、植物和書32点	71	個人
閲覧	カーチス『植物学雑誌』ほか	4	ふくやま美術館
デジタル情報	橘保国「絵本野山草」1755年(宝暦5年)より宝相花デジタル画像	1	佐倉ばら会
デジタル情報	初代歌川広重ほか 浮世絵画像	11	(株)NHKアート

キ その他

利用方法	資料名	点数	利用者
館内撮影	博物館収蔵資料(植物、動物、人文、地学、貴重書)	31	(株)東通企画
デジタル情報	生態園、チバニアン関連 動画、画像	20	(株)東通企画
デジタル情報	平成15年特別展図録「野の花今昔」より図「千葉県における帰化植物の種類増加」	1	千葉大学大学院園芸学研究院

(3) 研究用貸出

資料系	資料名	件数	点数
動物資料	昆虫	3	168
	貝類	2	6
合 計		5	174

(4) 標本データの提供

資料系	資料名	科博 S-net・GBIF 提供件数	千葉県 GIS 提供件数
動物資料	哺乳類	0	685
	魚類	0	9,043
	昆虫	10,093	43,048
	甲殻類	0	390
	カブトガニ・ウミグモ・多足類	0	570
	クモ類	0	236
	軟体動物	0	7,450
	小計	10,093	61,422
植物・菌類資料	維管束植物	5,107	87,045
	蘚苔類	0	10,395
	藻類	400	3,378
	地衣類	0	6,204
	担子菌類	0	9,044
	微小菌類	0	190
	変形菌類	0	2
小計	5,507	116,258	
古生物資料	古無脊椎動物	300	-
	古脊椎動物	100	-
	小計	400	-
合 計		16,000	177,680

(5) 館内利用

資料系	資料名	利用方法	対応件数	点数
動物資料	貝類	行事利用	3	46
動物資料	貝類	閲覧	11	249
動物資料	貝類	同定比較	14	101
植物資料	植物標本	行事利用	1	340
地学資料	岩石	行事利用	2	117

資料系	資料名	利用方法	対応件数	点数
地学資料	岩石	その他	1	3
地学資料	化石・レプリカ	行事利用	4	35

5 保存環境の整備等

(1) 環境調査

生物生息調査(トラップ調査)	粘着トラップを設置し、捕獲した生物の同定・個体数を集計した。資料に影響を及ぼす生物を発見した場合は、発生源を特定し排除した。
	実施回数：4回
	調査区域：全館
	トラップ数：各回226個
温湿度測定	自記温湿度計：収蔵庫10カ所・歴史展示室4カ所、閲覧コーナー1カ所
	データロガー：企画展示室3カ所、収蔵庫1カ所、図書室1カ所

(2) 清掃

収蔵庫の定期清掃	各収蔵庫2回実施
収蔵庫の清掃委託	実施なし

(3) 燻蒸・殺虫・殺菌

収蔵庫の燻蒸	実施なし
燻蒸釜の運転(殺虫・殺菌)	年3回
低温処理(冷凍庫)による殺虫	常時運転
高温処理(乾燥機)による殺虫	常時運転

(4) 施設・設備の改善 実施なし

6 図書の利用

(1) 館職員利用

ア 貸出冊数 408冊

(2) 来館者利用

ア 閉架図書出納 7件12冊

イ 複写サービス 27件289枚(うちカラー3件9枚)

ウ 閲覧コーナーでの図書公開 全開館日

エ 体験学習室での図書公開 全開館日

(3) 資料保全

ア 館内修理 9冊

第2 大利根分館

1 資料の登録

(令和6年3月31日現在)

分野		年間増加分	総登録点数	情報システム 総登録点数
人文資料	民俗資料	93	4,960	16,648
	歴史(古文書)	-2,158	10,418	
	考古(埋蔵文化財)	-1	165	
	文字・絵画(絵葉書等)	103	764	
	小計	-1,963	16,307	16,648
自然資料	動物・地学	-2	263	264
合計		-1,965	16,570	16,912

2 資料の収集

(1) 資料収集点数

種別	点数
寄附	746
寄託	3
借用(長期)	0

種別	点数
保管換え	0
館員による収集	0
合計	750

※寄託・借用点数のマイナスは、返却等による

(2) 寄附

資料系	資料名	点数	寄附者	備考
民俗資料	船板図	19	個人	寄託から寄附へ変更
民俗資料	川船船大工太子講資料	93	個人	
民俗資料	佐原市街から見た初代水郷 大橋写真、水郷大橋等パンフ レット	7	個人	
歴史資料	初代水郷大橋 橋歴板	1	国土交通省関東 地方整備局千葉 国道事務所	
歴史資料	船舶請負控等古文書	7	個人	
文字・絵画	寺田家資料	619	個人	寄託から寄附へ変更

※「船板図」「寺田家資料」は令和6年度から本館収蔵

3 資料の寄託・借用

(1) 寄託

ア 寄附に変更

資料系	資料名	点数	寄託者
古文書	寺田家文学資料	516	個人
古文書	船板図	20	個人

イ 返却

資料系	資料名	点数	寄託者
地学資料	ナウマンゾウ・クジラの化石	2	成田市教育委員会
古文書	山来家文書	2,127	個人
古文書	鵜崎区有文書	34	鵜崎区

ウ 更新

資料系	資料名	点数	寄託者
古文書	十六島図	1	香北土地改良区
歴史資料	和同開珎	1	野田稻生大神社総代

※令和6年度から本館収蔵

エ 借用から寄託に変更

資料系	資料名	点数	寄託者
歴史資料	木造阿弥陀如来坐像	1	西福寺

※令和6年度から本館収蔵

(2)借用(常設展・長期)

ア 寄託

資料系	資料名	点数	借用先
歴史資料	木造阿弥陀如来坐像	1	西福寺

※令和6年度から本館収蔵

イ 返却

資料系	資料名	点数	借用先
歴史資料	黒田家文書	8	個人
歴史資料	板碑	2	惣持院
歴史資料	板碑	1	個人
埋蔵文化財	丸木舟	1	匝瑳市教育委員会
埋蔵文化財	阿玉台北遺跡出土土器・炭化米・石製浮子・石錘・土器片錘	17	千葉県立房総のむら指定管理者(公財)千葉県教育振興財団

4 資料の利用

(1)資料利用点数

種別	件数	点数
閲覧	0	0
撮影・複製	4	11
貸出	4	20

種別	件数	点数
デジタル情報の複製	16	28
その他	1	2
合計	25	61

※一式を1点とカウントした

(2)閲覧・撮影・複製・デジタル情報の複製・貸出

利用方法	分野	資料名	点数	施行先
館内撮影・複製	自然資料	セジロタヒバリ、コルリ、クマタカ	3	千葉県野鳥の会
館内撮影・複製	歴史資料	奈良屋文書	6	千葉市立郷土博物館
館内撮影・複製	歴史資料	成田香取鹿島息栖細見絵図	1	(株)平凡社
撮影・複製	歴史資料	房丁茶船模型	1	印西市教育委員会
貸出	歴史資料	奈良屋文書、奈良屋資料、奈良屋古写真	15	千葉市立郷土博物館
貸出	写真パネル	水郷の原風景写真パネル	1	香取市生活経済部農政課
貸出	歴史資料	板碑(二次資料レプリカ)	1	香取市教育委員会
貸出	民俗資料	土摺臼2点、房丁茶船模型1点	3	神栖市歴史民俗資料館、稲敷市立歴史民俗資料館、印西市立木下交流の杜歴史資料センター
その他	歴史資料	サツパ舟、チョコキ船	2	「霞ヶ浦の帆引網漁の技術」総合調査委員会
デジタル情報	画像	奈良屋資料「萬記録諸勘定合帳」	1	岩田書院
デジタル情報	画像	氷冷蔵庫	1	(一社)日本冷蔵庫協会
デジタル情報	画像	冷蔵庫、箱枕、和傘、和傘	4	(株)ベネッセコーポレーション
デジタル情報	画像	七輪、冷蔵庫	2	(株)少年写真新聞社
デジタル情報	画像	石臼	1	朝倉書店
デジタル情報	画像	羽釜	1	国立歴史民俗博物館
デジタル情報	画像	火熨斗、炭火アイロン	2	(株)クロノクリエイト

利用方法	分野	資料名	点数	施行先
デジタル情報	画像	氷冷蔵庫、炭火アイロン	2	(有)オフィス・イディオム
デジタル情報	画像	氷冷蔵庫	1	(株)アフロ
デジタル情報	画像	写真「佐原の大祭」等	3	(株)文化工房
デジタル情報	画像	写真「十二橋巡り」等	4	ポプラ社
デジタル情報	画像	写真「洗い場」等	2	教育出版(株)
デジタル情報	画像	江戸時代の利根川の流路変遷図	1	個人
デジタル情報	画像	写真「樽を運ぶ高瀬船」	1	銚子市
デジタル情報	画像	写真「樽を運ぶ高瀬船」	1	朝日新聞
デジタル情報	画像	写真「樽を運ぶ高瀬船」	1	茨城県県民生活環境部環境対策課

※本館・分館での展示利用は、Ⅲ展示の展示資料を参照のこと

第3 大多喜城分館

1 資料の登録

(令和6年3月31日現在)

分野		年間増加分	総登録点数	情報システム 総登録点数
歴史・民俗資料	歴史	3	937	2,854
	生活	-8	528	
	芸術	0	6	
	宗教	0	59	
	文学	0	18	
	古文書	1	784	
	考古	0	11	
	その他	0	511	
合計		-2	2,854	2,854

2 資料の収集

(1) 資料収集点数

種別	点数
購入	0
寄附	136
寄託	-139
借用(長期)	0

種別	点数
保管換え	0
仮保管	0
館員による収集	0
合計	-2

※新規収集および返却の増減をカウント。

(2) 寄附

資料系	資料名	点数	寄附者	備考
歴史・民俗資料	大多喜城残置武具覚 など	136	個人	寄託から寄附へ変更

3 資料の寄託・借用

(1) 寄託

ア 返却

資料系	資料名	点数	寄託者
歴史・民俗資料	袴	2	個人
歴史・民俗資料	勝海舟扁額	1	大多喜町立大多喜小学校

イ 更新

資料系	資料名	点数	寄託者
歴史・民俗資料	袴 など	23	個人
歴史・民俗資料	木造薬師如来坐像 など	2	青龍寺
歴史・民俗資料	上総国伊北荘山中郷御縄打水帳 など	10	堀之内区
歴史・民俗資料	絵馬 など	6	広厳院観音堂
歴史・民俗資料	善光寺参詣絵馬 など	3	(宗)清水寺
歴史・民俗資料	奉納額 など	3	船子八幡神社
歴史・民俗資料	西畑の内平沢村坪入改帳 など	6	妙厳寺
歴史・民俗資料	脇差(豊永行秀鍛之) など	2	個人
歴史・民俗資料	紺糸威桶側胴具足(覆輪兜付) など	2	個人
歴史・民俗資料	沢瀉紋銭紋散刀筒 など	3	個人
歴史・民俗資料	芝居絵	1	個人
歴史・民俗資料	額(熊野神社遷宮額)	1	小佐部区長
歴史・民俗資料	短刀(関住兼氏) など	2	個人
歴史・民俗資料	木札 など	4	個人
歴史・民俗資料	槍(銘 藤原国重作)	1	個人
歴史・民俗資料	総房軍記・全 など	21	個人

資料系	資料名	点数	寄託者
歴史・民俗資料	中瀧城跡出土遺物	1	立教大学考古学研究会中瀧城址調査団
歴史・民俗資料	房総志料 など	2	個人
歴史・民俗資料	熊野観心十界図	1	宝聚院
歴史・民俗資料	紺糸威伊予札二枚胴具足 など	6	個人
歴史・民俗資料	刀(平安城住大隅守平広光) など	12	個人
歴史・民俗資料	大河内信敬油絵 など	2	八幡神社
歴史・民俗資料	古文書 など	3	個人
歴史・民俗資料	刀(無銘) など	9	個人
歴史・民俗資料	百万遍講中道具 など	2	個人
歴史・民俗資料	鎧通し など	13	個人
歴史・民俗資料	松平正和書	1	個人
歴史・民俗資料	四季豊年図	1	個人
歴史・民俗資料	刀(人見神社御神刀・長旨作)	1	人見神社
歴史・民俗資料	太刀(波平吉安) など	3	個人
歴史・民俗資料	藁箆筒 など	8	個人
歴史・民俗資料	蒋介石総統扁額 など	2	個人
歴史・民俗資料	俳句帳 など	20	個人
歴史・民俗資料	銭箱	1	個人
歴史・民俗資料	段替胴腰取具足(日根野頭形兜付)	1	個人
歴史・民俗資料	紫糸威連山頭桶側胴具足(桃形兜付) など	2	個人
歴史・民俗資料	陣笠	1	個人
歴史・民俗資料	三ツ葉葵紋付宇瓦	1	紺屋区観音寺
歴史・民俗資料	木造大日如来坐像 など	9	猿稻区
歴史・民俗資料	大多喜御在城私宅江殿様入れられ候節の覚書 など	7	個人
歴史・民俗資料	紺糸威仏胴具足(小星兜付) など	316	大多喜町長
歴史・民俗資料	紺糸菱綴桶側胴具足(覆輪筋兜付) など	5	神明神社
歴史・民俗資料	色々威腹巻(筋兜付) など	38	玉前神社
歴史・民俗資料	古文書 など	3	個人
歴史・民俗資料	染付土瓶 など	6	個人
歴史・民俗資料	白磁製マリア観音像	1	下大多喜台区
歴史・民俗資料	木造僧形坐像(院廣 銘) など	48	応徳寺
歴史・民俗資料	短刀(氏貞・白鞘入り) など	2	個人
歴史・民俗資料	古書籍 など	2	個人
歴史・民俗資料	光福寺八代華徳院日妙曼荼羅	1	個人
歴史・民俗資料	松平家紋所付御膳 など	20	圓照寺
歴史・民俗資料	刀(無銘) など	10	葉王寺
歴史・民俗資料	刀(無銘) など	2	白子神社
歴史・民俗資料	太刀(大和國住包永)	1	個人
歴史・民俗資料	遠山金四郎景元公肖像画 など	2	遠山講
歴史・民俗資料	刀 など	2	個人
歴史・民俗資料	正質公・みね(金へんに丘)子夫人合作軸 など	3	個人

(2)借用(長期)

ア 更新

資料系	資料名	点数	借用先
歴史・民俗資料	松平正質筆鷲図 など	6	個人
歴史・民俗資料	梅樗筆 梅図掛図 など	14	個人

資料系	資料名	点数	借用先
歴史・民俗資料	紙本著色本多忠勝画像など	3	(宗)良玄寺
歴史・民俗資料	屏風 など	6	個人
歴史・民俗資料	キリシタン禁制 など	2	個人
歴史・民俗資料	萌黄糸威素懸二枚胴具足(小星兜付)	1	個人
歴史・民俗資料	黒糸肩裾取威胴丸(兜・小具足付) など	3	個人
歴史・民俗資料	鱧口	1	(宗)法華寺
歴史・民俗資料	火縄銃 など	2	個人
歴史・民俗資料	鉄砲所持許可鑑札 など	3	個人
歴史・民俗資料	紺糸威緋綴桶側胴具足	1	個人
歴史・民俗資料	朽葉糸威素懸胴具足(頭形兜付) など	11	個人
歴史・民俗資料	本多家御膳 など	10	(宗)東長寺
歴史・民俗資料	鋸鍛冶道具	1	個人

※企画展示での借用は、Ⅲ展示の各展示での展示資料を参照のこと

4 資料の利用

(1) 資料利用点数

種別	件数	点数
閲 覧	1	5
撮影・複製	0	0
貸 出	7	49

種別	件数	点数
デジタル情報の複製	20	20
館内利用	1	7
合 計	29	81

※一式を1点とカウントした

(2) 閲覧・撮影・複製・デジタル情報の複製・貸出

利用方法	資料名	点数	利用者
デジタル情報	紙本著色本多忠勝画像	1	日本 BS 放送株式会社配信コンテンツ biz 局局長
デジタル情報	紙本著色本多忠勝画像	1	(株)クリエイティブネクサス代表取締役社長
貸出	短刀	1	千葉県立現代産業科学館
デジタル情報	紙本著色本多忠勝画像	1	株式会社プラネットライツ
デジタル情報	紙本著色本多忠勝画像	1	テレビ愛知株式会社
デジタル情報	紙本著色本多忠勝画像	1	静岡市美術館
デジタル情報	兎形変兜	1	株式会社かみゆ
デジタル情報	紙本著色本多忠勝画像	1	株式会社テレビ朝日
デジタル情報	紙本著色本多忠勝画像	1	東京ビデオセンター企画営業部
貸出	大多喜藩陣列図(複製)、御武器負帳	2	千葉経済大学地域経済博物館
デジタル情報	紙本著色本多忠勝画像	1	長久手市
デジタル情報	紙本著色本多忠勝画像	1	株式会社 TBS スパークル
デジタル情報	紙本著色本多忠勝画像	1	株式会社 NEXTEP
デジタル情報	紙本著色本多忠勝画像	1	株式会社 TBS スパークル
貸出	体験用刀剣、刀剣手入れ道具	12	千葉県立房総のむら
デジタル情報	紙本著色本多忠勝画像	1	日本放送協会メディア総局第3制作センター
貸出	弓(無銘)、鏃、臺目、熊毛空穂	7	大田区立郷土博物館
デジタル情報	遠山金四郎景元公肖像画	1	株式会社 KRY
デジタル情報	大多喜城地絵図	1	大多喜町役場商工観光課
貸出	車券機など木原線関係資料	10	房総中央鉄道館
デジタル情報	紙本著色本多忠勝画像	1	株式会社コミュニティネット
貸出	鞍(切金らでん蔦葉文黒漆塗)など	7	千葉経済大学地域経済博物館
閲覧	里見義頼寄進状、伝里見義頼奉納脇差、根小屋城主武田氏系譜、蜀江錦袷裳、大膳松写真	5	一宮町教育委員会
デジタル情報	火器砲術絵巻	1	株式会社スケール

利用方法	資料名	点数	利用者
デジタル情報	紙本著色本多忠勝画像	1	東京メトロポリタンテレビジョン株式会社制作二部
デジタル情報	紙本著色本多忠勝画像	1	(株)アマゾンラテルナ
貸出	試着用甲冑・模造刀	10	酒々井町教育委員会
デジタル情報	紙本著色本多忠勝画像	1	株式会社ジャパンプロデュース制作部

(3) 資料の館内利用(主催事業での利用)

資料名	利用方法	対応件数	点数
刀	体験イベント	1	7

第4 分館海の博物館

1 資料の登録

(令和6年3月31日現在)

分野		年間増加分	総登録点数	情報システム 総登録点数
動物資料	海綿動物	6	358	0
	刺胞動物	472	10,628	845
	環形動物	23	2,301	618
	貝類	320	17,619	112
	頭足類	5	291	108
	甲殻類	64	3,032	917
	棘皮動物	83	1,965	179
	その他	17	655	81
	魚類	102	15,308	3,228
	動物資料小計	1,092	52,157	6,088
植物資料	種子植物	2	75	75
	藻類	50	8,328	7,501
	植物資料小計	52	8,403	7,576
映像資料	写真	0	12,215	-
	動画	0	1,577	-
	映像資料小計	0	13,792	-
図書・雑誌資料	図書・雑誌(冊数)	257	2,410	0
合計		1,401	76,762	13,664

2 資料の収集

(1) 資料収集点数

種別	点数
購入・製作委託	0
寄附	0

種別	点数
保管換え	0
館員による収集	1,401
合計	1,401

(2) 内訳(館員による収集)

資料系	資料名	点数
動物資料	海綿動物	6
	刺胞動物	472
	環形動物	23
	貝類	320
	頭足類	5
	甲殻類	64
	棘皮動物	83
	その他	17
	魚類	102
	小計	1,092
植物資料	種子植物	2
	藻類	50
	小計	52
映像資料	写真	0
	動画	0
	小計	0
図書資料	図書・雑誌等	257
合計		1,401

3 資料の利用

(1) 資料利用点数

種別	件数	点数
閲覧	0	0
撮影	0	0
展示用標本の貸出	0	0
研究用標本の貸出	6	127

種別	件数	点数
映像資料の貸出	10	70
標本の複製	0	0
標本データの提供	0	0
合計	16	197

※一式を1点と算出

(2) 内訳 (展示用標本の貸出)

※該当なし

(3) 内訳 (研究用標本の貸出)

資料名	点数	利用者
魚類液浸標本	1	鹿児島大学
刺胞動物液浸標本	31	松山海の生きもの研究会
魚類液浸標本	1	長崎大学
刺胞動物乾燥標本	31	日本造礁サンゴ分類研究会
棘皮動物液浸標本	2	北里大学
腕足動物等液浸標本	61	北里大学

(4) 内訳 (映像資料の貸出)

資料名	点数	利用者
オオウナギ等の写真	2	東京新聞
ゼブラガニ等の写真	8	NHK 静岡放送局
カジメ海中林等の写真	5	月間望星
テナガダラ等の写真	2	東京新聞
チチュウカイミドリガニの写真	1	袖ヶ浦市郷土博物館
カジメ等の写真	7	(株)日企
日本産アマノリ類の写真	31	(財)海苔増殖振興会
ノコギリガニの図	1	東京新聞
カラスザメ等の写真	11	(株)ジール・マーチャングデザイン
アサクサノリの写真	2	(株)東京新聞

4 保存環境の整備等

(1) 環境調査

生物生息調査(トラップ調査)	粘着トラップを設置し、捕獲した生物の同定・個体数を集計した。資料に影響を及ぼす生物を発見した場合は、当該部屋管理責任者に注意を喚起した。
	実施回数：6回
	調査区域：全館
	トラップ数：各回15個
温湿度測定	自記温湿度計：乾燥収蔵庫1カ所

(2) 清掃

乾燥収蔵庫の定期清掃	月1回実施
液浸収蔵庫の定期清掃	月1回実施
大型標本庫の定期清掃	年1回実施

(3) 燻蒸

※隔年のため今年度は実施せず

Ⅱ 調査研究

第1 本館

1 研究課題

(1) 重点研究(本館・大利根分館・大多喜城分館)

① 下総台地西部の自然

【担 当】御巫由紀(代表者)・浅野紗彩・天野 誠・大津千晶・奥田昌明・尾崎煙雄・黒住耐二・斎木健一・坂田歩美・樽宗一郎・西内李佳・萩野康則・八木令子・山本伸子

【研究内容】下総台地西部の植物相及び動物相の調査や生態学的調査、地学分野の調査を行う。下総台地は、県南部の丘陵地に比べるとこれまでに実施された調査研究報告が少ない。その一方で開発が進んで人口が多く、身近な自然環境に興味を持つ県民が多い。令和 2~4 年度に実施した重点研究「下総台地東部の自然」と合わせて下総台地の自然誌の基礎的な知見と資料(登録標本含む)を収集するとともに、生物相の多様性と特異性や、地学分野の特性を明らかにする。

【年度実績】下総台地西部において、植物相及び動物相の調査を行うとともに、表層花粉の資料を採取した。維管束植物については、印西市域で市役所の協力のもとボランティアグループを組織し、網羅的な植物相踏査を実施した。貝類相については新生代以降の現生を中心とした調査を行った。

- ・昆虫のファウナ調査(尾崎・樽)：昆虫調査を 2 回行い、採集された約 300 個体を標本化した。
- ・多足類・クモ類相調査(萩野)：これまでに採取してツルグレン装置で抽出しており 22 地点の試料から、多足類約 3,000 個体及びクモ類約 650 個体をソーティングした。ムカデ類・ヤスデ類とクモ類については専門家に同定を依頼した。
- ・新生代以降の現生を中心とした貝類相の追加調査(黒住)：千葉市と船橋市で現地調査を実施した。これらの調査結果を含め、論文・報告 6 編を執筆し、招待講演を 1 回行った。本地域の貝類、93 点を登録した。
- ・維管束植物相の調査(御巫・大津・山本・浅野・斎木・天野・西内)：印西市において、市域を約 1k m² のメッシュに分け、メッシュ毎に出現した植物を記録している。令和 5 年度は、8 回の調査で 33 メッシュの調査を行い、683 点の標本を採集し、同定して仮登録した。ボランティアから 117 点の標本の提供を受けた。
- ・地衣類相調査(坂田)：流山市市野谷の森、市川市法華経寺、松戸市において地衣類相調査を実施し、標本約 150 点を収集し、同定作業を進めた。
- ・下総台地西部の景観変化(八木)：中央博物館が位置する青葉の森公園周辺の景観変化について、明治初頭、昭和 40 年代、平成 6 年頃を描いた 3 枚の鳥瞰図を基に解析を行い、中央博物館研究報告特別号に執筆した。
- ・下総台地東部点・西部の表層花粉調査(奥田)：下総台地東部の表層花粉調査として、令和 4 年に採取した香取神宮のコケ試料から表層花粉群を抽出し、永久プレパラートを作成した。また、下総台地西部に係る作業としては、松戸市小山に位置する浅間神社に赴き、周囲のヤブニッケイ~タブノキ等の照葉樹林が表層花粉調査に足るかどうかの現地検分を行った。なお、同神社の自然林は県天然記念物にあたるため、具体的な試料採取は県の許可申請を経た後に実施する。

② 東京湾の変遷を探る

【担 当】小田島高之(代表者)・米谷 博・島立理子・加藤久佳・坂田歩美

【研究内容】千葉県にとって一番身近な海である東京湾について、当館を主体として県内の他の博物館と共に連携して調査・研究を行う。調査は、沿岸の動・植物相の調査、沿岸の地質学的調査等の自然科学的な側面のみならず、東京湾沿岸の景観や周辺の生業の変化等、人文科学的な側面からもアプローチする。今年度は調査の初年度として、文献調査、野外調査、資料整理等を予定している。

【年度実績】令和 5 年度は、浦安市及び木更津市において、野外調査や資料調査を行った。浦安市では、浦安市内境川沿いを調査し、埋め立て前のような様子等について街の古老に聞き取りをした。木更津市においては、市内の海岸沿いを調査し、木更津市立図書館において海岸線の変遷等に関する文献を調査した。

(2) 地域研究

ア 地球誌系(房総の大地から探る地球の歴史/房総半島南部の大地の動きを探る/房総丘陵の地誌・地形・地質と生物と人とのくらしの関連性)

① 房総半島の無脊椎動物化石相

【担当】加藤久佳

【研究内容】房総半島の第四系から産出する無脊椎動物、とくに十脚甲殻類化石資料を重点的に収集し、国内各地の既知のデータと比較検討する。

【年度実績】千葉市幕張地域、富津市、館山市などの完新統から十脚甲殻類化石を収集し、一部を公表論文のデータとした。

② 房総半島の軟体動物化石相

【担 当】伊左治鎮司

【研究内容】房総半島から産出する軟体動物化石について、地域や地層ごとに、化石群集を構成する代表的な分類群を調査し、そのコレクションを充実させる。

- 【年度実績】下総層群産軟体動物化石 28 点の資料附随画像を登録した。
- ③ 房総半島の脊椎動物化石相
 【担 当】丸山啓志
 【研究内容】房総半島に分布する地層から、ナウマンゾウなどの陸棲哺乳類や、アワイルカなどの海棲哺乳類のような多種多様な脊椎動物化石が産出する。この化石記録から地質時代の房総半島における脊椎動物相の変遷を明らかにする。
 【年度実績】特別展「よみがえるチバニアン期の古生物」で、これまで中央博物館が関わってきた、チバニアン期の脊椎動物化石の研究成果についてまとめて紹介した。
- ④ 房総周辺の花粉・環境誌
 【担 当】奥田昌明
 【研究内容】2020 年 1 月のチバニアン採択にともない、現地では更なる研究成果が期待されている。本研究課題では、市原市田淵の千葉セクションに対して花粉化石にかかる再分析を行い、申請段階では詰め切れなかった詳細な MIS 19 の古気候復元を行った後、MIS 1 の古気候状態と比較する。(令和 5 年度より採択された科研費を使用)
 【年度実績】市原市田淵・千葉セクションの花粉分析作業を実施し、全露頭試料からのデータ採取を概ね終了した。
- ⑤ 房総半島の最終氷期以降の植生変遷
 【担 当】西内李佳
 【研究内容】最終氷期(主に 2~3 万年前)から現在にかけての房総半島の植生変遷を、特に照葉樹林の拡大と針葉樹の衰退に着目して、花粉や葉、種実の化石から明らかにする。
 【年度実績】房総半島南部の最終氷期末期以降の照葉樹林の拡大過程を明らかにするため、南房総市で採取した過去約 1 万年間の年代を示すボーリングコアの花粉分析を進めている。また、房総半島南部の河川にて露頭調査を行い、葉や種実化石の分析を進めている。史前帰化植物と考えられてきた種の最古の可能性のある化石が発見され、分析を継続している。
- ⑥ 房総の化石密集層の成因
 【担 当】千葉友樹
 【研究内容】房総半島の地層に見られる化石密集層の成因を堆積物や化石群集に基づき明らかにする。また、当時の環境と生物の関わりを化石密集層から読み解く。
 【年度実績】房総半島に分布する沖積層について、貝化石と甲殻類化石の放射性炭素年代測定を行い、定量試料に含まれる貝化石の同定を進めた。調査で得られた貝化石 333 点を標本登録した。
- ⑦ 房総半島嶺岡帯の地質構造の解明
 【担 当】高橋直樹
 【研究内容】嶺岡帯は無数の断層が発達したきわめて複雑な地質構造を持っている。詳細な現地調査を実施するとともに、構成岩石の岩石学的特徴の検討を加えて、これらの地質構造を明らかにする。
 【年度実績】鴨川市東部の八岡海岸において、嶺岡層群の蛇紋岩や玄武岩を起源とする軟質な断層粘土、並びに、新第三紀前期中新世の保田層群の砂岩や泥岩を起源とする軟質な断層粘土の存在が確認され、両者が母岩を含めて複雑に指交していることが判明した。
- ⑧ 房総半島南部の暁新統~中新統の層序と構造の解明
 【担 当】菊川照英
 【研究内容】房総半島南部に分布する暁新世から中新世の地層の層序や地質構造について、詳細な野外調査と微化石を用いた地質年代に基づき明らかにする。
 【年度実績】房総半島南部、東海岸に分布する中-上部中新統三浦層群天津層及び下部中新統保田層群の地質調査を実施した。ルートマップ及び柱状図の作成、また年代決定のための泥岩及び生痕化石試料を採取した。生痕化石内部からは年代決定に有効である保存状態良好な放射虫化石が多量得られたので、その成果を日本地質学会第 130 年学術大会(京都)にて公表した。また、これらの成果をまとめた論文を国際誌に投稿し、現在査読中である。
- ⑨ 房総半島における水利用に関する研究
 【担 当】小田島高之
 【研究内容】川回しや上総掘り、二五穴等の房総半島に特徴的な水利用について、それら分布や変遷を調査する。
 【年度実績】小櫃川及び小糸川流域の上総掘りの掘り抜き井戸分布について、過去のデータを元にその現状を調査した。涸れてしまったもの、現在は使われなくなったものもある一方で新たに見つかったものもあった。
- ⑩ 房総丘陵を水源とする河川流域の地形誌
 【担 当】八木令子
 【研究内容】房総半島南部の隆起や岩質を反映した河川の地形発達、川廻しなどの人工改変地形を調査し、房総丘陵を水源とする河川流域の地域特性を明らかにする。
 【年度実績】房総丘陵を水源とする養老川、小櫃川、小糸川及びその支流について、流域の地形発達、川廻し地形や用水などの概要を整理し、一般向け(公民館講座)子ども向け(千葉市科学館講座)地学ガイド講習などで講義した。また養老川の「河道切断型段丘」について普及雑誌で紹介した。
- ⑪ 千葉県に生息するタゴガエルの産卵場所に関する環境地質学的研究
 【担 当】大木淳一
 【研究内容】タゴガエルの産卵場所および越冬場所である湧水箇所を環境地質学的に解明する。
 【年度実績】業務多忙につき、調査できなかった。
- ⑫ 千葉県で観測される屋気楼の発生メカニズムに関する基礎研究

【担 当】大木淳一

【研究内容】千葉県で観測される蜃気楼の発生状況を調査し、発生メカニズムを地形学及び気象学的側面から明らかにする。

【年度実績】定点カメラによる調査で年度内に上位蜃気楼を約 100 日観測することができた。さらに現地調査で、上空に温度逆転層による変形太陽を 18 日、下位蜃気楼によるだるま太陽を 15 日観測することができた。

イ 生命誌系

(ア)房総の分類学的多様性の特徴とその保全

① 房総の哺乳類誌

【担 当】下稲葉さやか

【研究内容】千葉県内に生息する哺乳類に関して、標本の収集と文献調査を行い、分布や生息状況を明らかにする。

【年度実績】県内の絶滅危惧種の標本を収集した。千葉県立中央博物館研究報告に、2015 年以降に生態園で記録された哺乳類の情報をまとめて報告した。自然保護課と共同で台湾に短期海外研修として派遣され、県内で問題となっている外来種キョウの捕獲方法や原産地での生息状況等を調査した。

② 千葉県の鳥類相に関する研究

【担 当】桑原和之

【研究内容】千葉県を中心とした文献を基礎的資料として、千葉県全域の鳥類相を把握する。期間は 3 年間で予定している。

千葉県全体の鳥類相を知る目的から、はじめに海岸部の鳥類相の状況などを現地調査により可能な限り把握し、過去の文献と比較する。

【年度実績】千葉県を中心とした文献などから、1970-1980 年代に記録されていた外来種が減少し、近年はガビチョウなどが分布を拡大していることが判明した。

③ 房総の魚類誌

【担 当】宮 正樹・後藤 亮

【研究内容】千葉県沿岸に生息する魚類を網羅的に収集し、種組成や生態などを明らかにするとともに、DNA 種判定のための組織片を採取する。また、2017 年度 8 月から続けてきた房総半島南部 11 測点における環境 DNA 隔週調査を、月別調査に変更して引き続き魚類群集モニタリングを継続する。本年度はその第 95~106 回目の調査を行う。

【年度実績】2017 年度 8 月から続けてきた房総半島南部 11 測点における環境 DNA 隔週調査 50 回分のデータに基づき魚類群集の時空間分析を行った。その結果、種間相互強度に海水温度依存性があることを見いだした。この結果を国際誌 eLife に発表した(Ushio *et al.*, 2023)。また、潮汐が環境 DNA を用いた魚類群集モニタリングにどのような影響を与えるのか分析している。

④ 房総丘陵の両生爬虫類相

【担 当】大木淳一・栗田隆気・尾崎煙雄

【研究内容】千葉県の中でも最も多くの両生爬虫類が生息する房総丘陵の両生爬虫類相を解明し、1 km メッシュ単位の分布図を作成する。また、生態写真も撮影し、博物館活動に役立てる。

【年度実績】元清澄山系において 4 月 17 日にモリアオガエルの産卵を確認し、本種の繁殖期としてはかなり早い事例を記録した。

⑤ 房総の甲殻類誌

【担 当】駒井智幸・村田明久・高山順子

【研究内容】房総半島とその周辺海域に出現する甲殻類相の解明を行い、未記載種、国内未記録種(外来種を含む)の公表を随時進める。ツノモエビ属やカイメンヤドリアナエビ属で未記載種が発見されているので年度内の発表を目指す。

【年度実績】房総半島から得られた標本の検討を進め、トゲツノモエビ属の 1 新種、カイメンヤドリアナエビ属の 1 新種を発表した。カイメンヤドリアナエビ属の既知種 2 種の再記載を与えた。アシナガマメヘイケガニに 2 種が混在していたことを確認し、学名の確定を行なった。

⑥ 房総の貝類誌

【担 当】黒住耐二・照屋清之介

【研究内容】房総半島にどのような貝類が第四紀以降生息しており、それが人間活動を含めた環境変化に対して、どのように変遷し、また人間にどのように利用されてきたか等について調査する。

【年度実績】房総半島にどのような貝類が第四紀以降生息しており、それが人間活動を含めた環境変化に対して、どのように変遷し、また人間にどのように利用されてきたか等について調査した。成果として、査読済みを含め論文・報告 3 編、レッドデータ関係等の普及的文章 3 編の執筆し、研究発表 4 回を行った。

⑦ 房総丘陵の昆虫・クモ類相

【担 当】尾崎煙雄

【研究内容】希少種の探索を行い、房総丘陵に特有の昆虫およびクモ類を記録する。

【年度実績】県南部初記録となるケンジジョウカイモドキを報告した。君津市において千葉県南部初記録となる外来昆虫キマダラカメムシを確認した。

⑧ 房総の土壌動物誌

【担 当】萩野康則

【研究内容】房総に生息する多種多様の土壌動物について文献調査と採集を行い、詳細な文献リストと生息種リストを作成し、生息種の標本を収集する。

【年度実績】これまでに採取してツルグレン装置で抽出しておいた千葉県内 23 地点の試料からワラジムシ類、ヨコエビ類、ザトウムシ類、カマアシムシ類、半翅類、甲虫類など数千個体の土壌動物をソーティングした。今後館内外の各級の専門家に送付して、同定を依頼する予定である。

⑨ 千葉県の甲虫相に関する研究

【担 当】 齊藤明子・樽宗一郎

【研究内容】本研究は、房総地域に生息する昆虫の戸籍簿の作成を目的とするもので、特に、全昆虫の約三分の一の種数を占める甲虫類について千葉県の記録を網羅し、さらに調査を実施して未記録種の発見に努める。

【年度実績】房総丘陵と生態園において甲虫の調査を行い、千葉県初記録種 6 種等を報告した。千葉県から記録のある甲虫についてデータベース化を進め、2022 年 3 月末時点の千葉県産甲虫は 3,268 種であることを確認した。

⑩ 房総の維管束植物誌

【担 当】 天野 誠・斎木健一・大津千晶・御巫由紀・山本伸子・西内李佳・浅野紗彩

【研究内容】千葉県印西市周辺の維管束植物相を調査し、あわせて標本を収集する。この地域は植物相が豊かであり、過去の記録と照合することで植物相の変遷を知ることができる。

【年度実績】R5 年度は 8 回調査を行い、33 メッシュから 3,386 件の目視情報を記録した。

⑪ 房総丘陵の維管束植物相

【担 当】 尾崎煙雄

【研究内容】希少種の探索を行い、千葉県の中でも特有の植物種を多く擁する房総丘陵の維管束植物相を解明する。

【年度実績】房総丘陵において調査を実施し、オオウラジロノキ、オオバライチゴ、オガタマノキ等の希少種の標本を採集した。

⑫ 房総の大型菌類相

【担 当】 吹春俊光

【研究内容】千葉県内に生育する大型菌類(きのこ類)について、継続して調査をすすめ、千葉県の菌類誌(戸籍簿)を更新しつづける。

【年度実績】1)生態園のイヌシデ・コナラ林で子実体による菌類群集の動態を 10 年間調査し報告した(吹春ほか 2024)。2)千葉県内における大形菌類の記録 26,936 件(うち標本情報 19,473 点)をもとに、千葉県絶滅危惧種の選定をおこなった(吹春 2023)。3)千葉県内から日本新産種猛毒菌 *Galerina sulciceps* による中毒事故を報告した(Nagayama *et al.*, 2023)。

⑬ 房総の地衣類誌

【担 当】 原田 浩・坂田歩美

【研究内容】千葉県内に産する地衣類の目録を完成するために、野外調査を行うとともに既に収集した標本資料の同定、分類学的検討を行う。また県内における地衣類の分布を明らかにするために、県内各地で調査を行う。市民研究員・共同研究員と協力して実施する。

【年度実績】千葉県新産となるドロカワイワタケを報告した。日本産フトネゴケが分子系統解析により *Bulbothrix subscorteae* であることを明らかにした。千葉県産コアカミゴケとコアカミゴケモドキの形態と化学成分の違いを明らかにした。生態園の地衣類相調査を報告した。共同・市民研究員協力して地衣類相調査を実施し、収集した標本の同定作業を進め、更に、デジタルミュージアム「房総の地衣類誌」を充実させた。

(イ)房総の生態学的多様性の特徴とその保全

① 生態園の生態系変遷に関する研究

【担 当】 西内李佳・島立理子・齊藤明子・斎木健一・天野 誠・後藤 亮・栗田隆気・坂田歩美・千葉友樹・高山順子・桑原和之・高橋直樹・尾崎煙雄・林 紀男・平田和彦・吹春俊光・山本伸子・樽宗一郎

【研究内容】生態園の植物、動物、菌類、水生生物などの生物相を調査し、水質データ、気象データなどとともに長期的に記録を蓄積して、生態園における生態系管理や教育普及に役立てていく。さらに、これらを開園以来の既存のデータや在来の里山における資料とも比較して、都市近郊域における生態系の再生過程を明らかにする。なお、野鳥調査についてはボランティアの協力を得て実施する。

【年度実績】生物全般についてほぼ毎日調査し、719 件以上の観察記録と 1,020 点以上の写真を収集した。植物および野鳥のモニタリング調査、舟田池の水質および生物調査を実施した。気象観測装置により気象データを収集した。開園以来または近年の調査の結果をまとめた千葉県立中央博物館研究報告特別号 12 「生態園の自然誌Ⅱー開園 35 年目の記録ー」を発行した。

② 房総のヒメコマツの保全生態学的研究

【担 当】 尾崎煙雄・西内李佳

【研究内容】近年急速に減少している房総丘陵のヒメコマツ個体群について、モニタリング調査を行い、その保全に向けた研究を行う。

【年度実績】ヒメコマツの生育状況調査、繁殖状況調査、移植試験、補強試験等のモニタリング調査を実施した。

③ 千葉県におけるナラ枯れ病に関する研究

【担 当】 尾崎煙雄・齊藤明子

【研究内容】ブナ科樹木萎凋病(通称:ナラ枯れ)はナラ菌 *Raffaelea quercivora* が感染することによりブナ科樹木が枯死する樹病で、1980 年代以降本州日本海側を中心に広葉樹林に大きな被害をもたらしている。我々の調査により 2017 年 8

月に千葉県内で初めてナラ枯れを発見した。この菌を媒介する甲虫の1種カシノナガキクイムシの生態を調べ、県内におけるナラ枯れの動向を予測する。

【年度実績】生態園におけるナラ枯れのモニタリング調査を実施した。また、カシノナガキクイムシの天敵昆虫でありナラ枯れに伴って増加していると考えられるルイスホソカタムシの調査を実施した。

④ 侵略的外来水生植物の分布・生理・生態に関する研究

【担 当】林 紀男

【研究内容】侵略的外来水生植物の繁茂状況の変遷追跡、および陸水環境における異常繁茂が水生生物に及ぼす生理・生態的な影響などについて検討する。

【年度実績】侵略的外来水生植物が代謝するアレロパシー物質がミジンコ休眠卵の孵化に及ぼす影響を解明した。

ウ 人類誌系(房総という環境の成り立ち及び人々の生活誌に関する研究)

① 利根川下流域に生きた人々に関する社会史的研究

【担 当】米谷 博

【研究内容】利根川下流域に生きた人々の暮らしや地域社会とのかかわりについて、歴史・民俗資料などを中心に考察する。

【年度実績】大利根分館に収蔵されている利根川の川船関係資料について、船大工や関係する文献などの調査を進めた。

② 房総丘陵における人の生活と自然のかかわりに関する研究

【担 当】島立理子

【研究内容】房総丘陵に生活する人々が、地域の自然とどのようにかかわりながら生活をしてきたを調査する。

【年度実績】君津市亀山地区の古写真を収集し、地域の人々に写真をみながら話をしてもらった。今年度は特に、地中から湧き出る天然ガスの家庭での利用やそのガスを利用して企業が進出してきていることなどがわかった。

③ 房総における生業の複合的なありかたと環境について

【担 当】小林裕美

【研究内容】近現代における農業・諸職・行商など、生業の重層的な在り方と環境とのかかわりについて調査・考察を行う。

【年度実績】県内の東京向け野菜行商をテーマに女性民俗学研究会や県立房総のむらで発表し、考察を深めた。

④ 千葉県内の神社由緒と祭礼に関する研究

【担 当】鈴木建人

【研究内容】千葉県内の神社の縁起や神像・奉納物などの資料、分布や立地環境、そして祭礼のあり方から、房総三国の歴史的・文化的位置と時代変化について考察する。

【年度実績】館山市に所在する鶴谷八幡宮の文書(縁起書)を分析し、従来言われてきた大永5年(1525)の成立ではなく、江戸中期以降に成立し、後に裁断などの意図的な編集が行われていることを中央博物館研究報告において発表した。

⑤ 房総の万祝製作に関する研究

【担 当】玉井里奈

【研究内容】千葉県内で現在も継承されている万祝製作技術や作業の担い手、製品について調査し、現代における万祝の位置づけについて考察する。

【年度実績】網元が記した日記を用いて万祝の発注時期や製作を請け負った紺屋について調査した。また現在も万祝を着用する民俗行事の調査を行った。

⑥ 房総における暮らしと民俗信仰の変遷

【担 当】渡瀬綾乃

【研究内容】近現代の房総における暮らしの変化と、それによって民俗信仰がどのように変遷したのかを調査する。

【年度実績】万祝染色技術調査を行い、映像制作と解説書を制作した。また、現地調査や情報提供により動物飼養の調査を行い、成果を学会発表等で公表した。

⑦ 近世の房総における寺社地と門前町の研究

【担 当】須田華那

【研究内容】近世の房総における寺社地および門前町のあり方を、周辺の社会との関係に着目して考察する。

【年度実績】近世から近代の成田山新勝寺と門前町について史料調査を行い、ミュージアムトーク、歴史サークル等の館内事業に還元した。

⑧ 千葉県地域美術史に関する調査研究

【担 当】幅 大

【研究内容】戦後の千葉県美術会設立以前の県内の地域美術について、団体等の活動記録等を中心に調査研究を行う。

【年度実績】戦前の県内美術団体主要会員の遺族の所在調査を行い、判明した遺族が所蔵する関係資料や作品等を実見した。

エ 博物館誌系(博物館とその社会的役割に関する研究)

① 中央博物館の収蔵資料の保存管理に関する研究

【担 当】村田明久・友田暁子・萩野康則・斉藤明子・樽宗一朗・御巫由紀

【研究内容】博物館の貴重な資料を劣化させない収蔵環境を維持するためには、総合的有害生物管理(IPM)を行う必要がある。温湿度などの管理、燻蒸釜による燻蒸、トラップによる生物生息調査などを継続的に行い、異常を素早く見つけて対処し、さらに中央博物館に適切な総合的有害生物管理を行うための調査研究を行う。

【年度実績】IPMの一環として中央博物館で4回の生物生息調査を全館的に実施した他、大根分館と大多喜城分館の収蔵庫でもトラップ調査を行った。自記温湿度計・データロガーにより、収蔵庫、歴史展示室、企画展示室および図書室の温湿度の測定を継続した。

(3) 普遍研究

ア 地球誌系(地形地質学的多様性に関する基礎研究)

① 東北日本弧新第三紀火山活動の特質

【担 当】高橋直樹

【研究内容】東北日本弧の新第三紀火山活動に関して、特に珪長質火山活動の要因を探求することを目的とし、それらの時空分布、並びに、苦鉄質火山活動との成因的關係を中心に調査を進める。

【年度実績】群馬県太田市藪塚地域に分布する新第三紀前期中新世の藪塚層を構成する軽石質凝灰岩に含まれる火山岩礫について岩石薄片を作成し、かんらん石斑晶を少量含み輝石斑晶を多く含む玄武岩質安山岩であることが確認された。同時期の東北日本の火山活動と共通した性質を持つことが判明した。

② 日本産化石十脚甲殻類の分類と古生態

【担 当】加藤久佳

【研究内容】主として東日本産十脚甲殻類化石の分類学的な記載を進め、化石の産状、共産する化石など古生態学的な情報もあわせて検討する。

【年度実績】宮城県の三畳系、長野県や秋田県の新第三系などから得られている十脚甲殻類化石について、分類学的な検討を進めた。

③ 微小化石に基づく貝類化石の分類及び古生態の研究

【担 当】伊左治鎮司

【研究内容】白亜系手取層群(福井県・石川県)の淡水生貝類化石および白亜系銚子層群(千葉県)の海生貝類化石について、未記載の微小種を中心に、その多様性を明らかにし、幼生生態や古生物地理を議論する。

【年度実績】手取層群の汽水・淡水成堆積物から産出する貝類群集の変遷を調査し、研究成果を日本古生物学会誌で公開した。

④ 東アジアを中心とした地域の貝類相の変遷

【担 当】黒住耐二

【研究内容】現生/考古学遺跡/化石等の調査を行い、人間の貝類利用を含めて、包括的に変遷史を明らかにする。

【年度実績】今年度は、縄文時代を遡る1.7万年前の徳之島の遺跡から日本で初めての食用海産貝類例の報告等、6編の論文・報告を執筆し、1冊の図鑑の監訳者となり、あわせて砂浜における貝類の変遷等の3編の普及業績を出した。また、日本動物考古学会でこれまで想定されていなかった巻貝形土製品のモデルの推定や、最先端の土器圧痕の科研費(学術変革領域研究)の一般向け講演会等6回(うち3回は招待講演)の発表を行った。

⑤ 日本列島及び関連する海外地域の花粉・環境誌

【担 当】奥田昌明

【研究内容】化石花粉から古気候を復元するための基礎資料として、千葉県を含む日本列島とその周辺から表層土壌を収集し、現生花粉群を洗い出してデータ化する。また、令和5年度に採択された科研費を用い、チバニアン(競合地)となったイタリア2地点に渡航して、化石花粉を含んだ現地露頭を調査する。

【年度実績】表記のイタリア2地点のうちモンタルバーノ・イオニコに渡航し、化石花粉を含んだ現地露頭を調査した。

⑥ 地形景観とその成り立ちに関する研究

【担 当】八木令子

【研究内容】日本列島には隆起や侵食、氷河性海面変動などに起因して形成された各種の地形が見られる。これらの分布や成り立ちに関する総合的な調査を行うとともに、近世以降の地形改変とその影響について考察する。

【年度実績】千葉県内の地形景観を撮影した航空斜め写真約30点に関して、その地形的特徴や成り立ちについて資料収集及び現地調査を行い、解説書を作成した。これらをデジタルミュージアム「空から見た千葉県」の該当写真にリンクし、コンテンツの更新を行う予定である。また千葉県の地すべり地形の分布状況について、上総層群黄田層との対応について注目し、地すべりのタイプ(再活動の有無など)との関係を考察した。

⑦ 日本列島の最終氷期以降の植生変遷

【担 当】西内李佳

【研究内容】最終氷期(主に2~3万年前)から現在にかけての日本列島の植生変遷を、花粉や葉、種実の化石から明らかにする。

【年度実績】長野県北部の山岳地域において、低標高域と高標高域の2地点で採取した最終氷期以降の湿原堆積物の分析を進めている。

⑧ 前弧火成活動に関する地球化学的研究

【担 当】大木淳一

【研究内容】銚子半島に分布する火山岩の地球化学的特徴から、日本海形成時の前弧火成活動の成因を明らかにする。

【年度実績】共同研究者と論文文化に向けてデータ解析を行った。

⑨ 化石種・現生種に見られるハクジラ類特有の左右非対称な内部形態の意義

【担 当】丸山啓志

【研究内容】ハクジラ類は脊椎動物の中でも珍しく左右非対称な内部形態(頭骨など)を有する。本研究では、幾何学的形態測定学的手法を用い、その非対称性を定量化し、その要因(機能形態学的・系統的など)を統計学的手法から明らかにする。
【年度実績】これまで集めたイルカ類頭骨の3Dデータについて、3D空間で処理を行った。また、3Dプリントなどで出力することで、比較を容易にすることができ、研究へ還元する手段についても検討した。

⑩ 人新世の生物学

【担 当】千葉友樹

【研究内容】浅海域の堆積物(砂、泥、貝殻など)から、外来種の移入や人間活動が生態系に及ぼす影響を明らかにする。

【年度実績】岩手県山田町折笠川河口干潟において、3本の堆積物コアを採取した。福島県相馬市松川浦において、表層堆積物を採取し、堆積物コアの採取に適した地点を検討した。

⑪ 西南日本の古第三紀から新第三紀地質体発達史の解明

【担 当】菊川照英

【研究内容】南西諸島から房総半島にかけて分布する西南日本外帯の古第三紀から新第三紀の地質体に関して、その層序や年代、構造を明らかにし、その地域全体の形成過程や地史を復元する。

【年度実績】種子島に分布する始新-漸新統熊毛層群西之表層及び門倉岬層、室戸半島に分布する始新統室戸半島層群、三浦半島に分布する中部中新統葉山層群の地質調査を実施した。熊毛層群の調査で得られた生痕内部の保存良好な微化石の産状に関する論文を国際誌に投稿し、受理・掲載された。また、詳細な地質調査に基づき門倉岬層の層序・構造・年代を明らかにした論文を国内誌に投稿し査読中である。他地域についても同様に研究中である。

イ 生命誌系

(ア)分類学的多様性に関する基礎研究

① 十脚甲殻類の分類

【担 当】駒井智幸

【研究内容】全世界の十脚甲殻類を対象とした分類学的研究を行い、系統学的研究や生物多様性研究への基盤整備に貢献する。環境DNA分析も広く試行されるようになってきているので、16S rRNA マーカーの配列の蓄積も進める。

【年度実績】北海道～琉球諸島に及ぶ日本周辺海域および南シナ海から採集された標本の検討を進め、13編の論文を国内外の学術誌に発表した。公表された新種は12種であった。海洋研究開発機構の調査船「よこすか」に乗船し、「しんかい6500」を使って第1鹿島海山の山頂部(水深約3600 m)と最深部(水深約5700 m)で調査を行い、甲殻類資料の収集を行なった。

② 地衣類の多様性に関する研究

【担 当】原田 浩・坂田歩美

【研究内容】主として日本および周辺地域を対象として、地衣類の分類・分布、化学成分等に関する研究を行う。今年度は、(1)「日本産地衣類の総合的なデータベースの整備とウェブ公開」(科研費)、(2)海岸など特殊環境に生育する地衣類の多様性解明、(3)東アジア産(主に中国雲南省)地衣類の分類学的研究、(4)石造文化財上の地衣類の多様性解明、等。共同研究員、市民研究員、館外研究者と協力して実施する。

【R5 年度実績】(1)「日本産地衣類の総合的なデータベースの整備とウェブ公開」(科研費)の成果としてウェブコンテンツ「日本の地衣類(ウェブ図鑑)」に600種以上を掲載するとともに学会発表、さらに小笠原産の新種記載など行った。(2)特殊環境に生育する地衣類の多様性解明として、海岸からは *Lichinella* の新種記載、ダイダイゴケ科のまとめ等、石灰岩からは日本産広義 *Collema* をまとめた。

③ 日本産地衣類の分類学的研究

【担 当】坂田歩美

【研究内容】リトマスゴケ科を中心に日本産地衣類の分類を形態、分子系統、含有成分に基づいて明らかにする。

【年度実績】長崎県産広義ダイダイゴケ科12点について、形態観察、含有化学成分分析、分子系統解析を行った結果、5属5種を認め、地衣類の専門誌である *Lichenology* に発表した。

④ 樹幹流を利用した新たな樹上生物多様性モニタリング法の開発

【担 当】坂田歩美・宮 正樹

【研究内容】樹幹流を利用した樹上生物多様性モニタリングの新たな基盤技術の開発を行う。

【年度実績】青葉の森公園の梅林と千葉東大演習林で計10回の樹幹流回収を行い、環境DNAを抽出した。青葉の森公園のサンプルを用い、メタバーコーディング解析により地衣類の多様性を調査した結果、目視確認された7種のうち、6種を検出することに成功した。この成果は、樹幹流からの環境DNAの回収と解析が地衣類の生物多様性研究に有効であることを示唆した。この新たなアプローチとその有効性を国際誌 *MethodsX* にて報告した。

⑤ バラ属植物の香りの研究

【担 当】御巫由紀

【研究内容】バラ属の野生種、オールドローズ、現代品種の香りを分析し、フルーツ香の香りの起源を明らかにする。

【年度実績】フルーツ香の品種共通の祖先にあたるポリアンタ系統のバラの香り成分について第4回アジア園芸学会及び第67回香料・テルペンおよび精油化学に関する討論会で発表した。また、ポリアンタ系統のバラで、植物として初めて発見されたカメムシフェロモン様物質について、論文を園芸学会の英文誌に出した。

⑥ 環境DNAメタバーコーディング法の改良・開発・実践

【担 当】宮 正樹・後藤 亮

- 【研究内容】魚類環境 DNA メタバーコーディング法(同時並列多種分析法)を日本各地・世界各地のさまざまな生態系に適用し、魚類群集の時空間動態を明らかにする。また、多地点高頻度魚類多様性モニタリングを可能にするため、調査法・実験法の改良を試みる。
- 【年度実績】房総半島南部 11 地点の月別調査を継続するとともに、未調査の南西諸島(硫黄島・口永良部島等)の調査を実施した。東京湾、アフリカ南部のオカバンゴデルタ、南アフリカ沿岸、日本の湖沼における魚類群集の時空間動態に関する論文を発表した。
- ⑦ 淡水域に生息する生物の生物系統地理学的研究
- 【担 当】後藤 亮
- 【研究内容】これまで淡水域に生息する生物を対象とした生物系統地理学的研究は数多くなされてきたが、いまだ詳細が明らかになっていない分類群も多い。本研究では淡水域に生息する生物の生物系統地理学的な解析を行うことにより、進化的に重要な単位(ESU)を明らかにし、保全活動へ基礎的な情報を提供する。
- 【年度実績】千葉県内に生息するホトケドジョウについて、過去にサンプリングしてあった複数の水系の個体を解析した。その結果水系ごとに遺伝的に異なる傾向が見られた。今後より詳細に調べていく予定である。
- ⑧ アジアの低緯度地域における有鱗目の多様性に関する研究
- 【担 当】栗田隆気
- 【研究内容】アジアの低緯度に広がる湿潤熱帯・亜熱帯地域において、トカゲ・ヘビの仲間(有鱗目)が種を多様化させたプロセスを分類、系統、集団遺伝、生態など、様々な情報に基づいて明らかにする。
- 【年度実績】沖縄県の沖縄島北部および古宇利島からヤンバルトカゲモドキを記載した。ボルネオ島マレーシア領サラワク州の国立公園内で調査を行い、未記載種を含む爬虫両生類の標本資料を作成した。
- ⑨ 高山帯における植物分類学的研究
- 【担 当】天野 誠
- 【研究内容】高山帯には、特異な種分化を遂げた分類群が数多く存在する。その分化の様式は一様ではない。ユーラシア大陸の東のはずれに位置する日本の植物相を明らかにするためにも、北半球の高山帯及び寒帯の植物相の調査は欠かせない。本研究は、高山帯で多様に分化した分類群を生物地理学的観点も含めて、研究するものである。
- 【年度実績】ネパール共和国の西部、ドルバ地方および東部サクワサンババ地方の高山植物 170 点を同定、登録、貼り付け、配架した。ドルバ地方の標本は貴重なもので、当館で初めてコレクションされた。
- ⑩ 糞ハンズオン標本の研究
- 【担 当】丸山啓志
- 【研究内容】様々な動物の糞ハンズオン標本を作成し、形態学的研究を進める。また、従来失われていた糞中の未消化物の 3 次元データを CT スキャンや薄片観察により、取得する。併せて、安心安全な運用のできる教育普及活動への活用も推進する。
- 【年度実績】これまで蓄積した、糞ハンズオン標本作製のノウハウについて、館外研究者へのフィードバックを行った。
- ⑪ 特殊環境に生える大型菌類
- 【担当】吹春俊光
- 【研究内容】アジアとその周辺地域の、特殊環境に生える菌類(糞生菌類など)に関する多様性を調査し、日本列島の菌類相の成り立ちと由来をさぐる。
- 【年度実績】特殊環境に生える菌類の調査の一環として、ヒトヨタケ類に属する日本新産種 *Coprinopsis floccosa* の報告を日本菌学会大会でおこなった(吹春ほか 2023)。
- ⑫ アリヅカムシ亜科甲虫の分類学的研究
- 【担 当】樽 宗一朗
- 【研究内容】日本を中心としたアリヅカムシ亜科について分類学的研究を行い、ファウナを明らかにする。
- 【年度実績】石垣島、熊本県、鳥取県で調査を行った。
- ⑬ 日本産エダヒゲムシ類の分類学的研究
- 【担 当】萩野康則
- 【研究内容】日本産エダヒゲムシ類は現在までに種名が確定しているのは約 30 種であるが、潜在的には 100 種以上が生息しているものと推定される。日本産本類を収集し調査研究し、多数の新種記載を含めて日本のファウナを明らかにする。
- 【年度実績】これまでに採取してツルグレン装置で抽出しておいた試料からエダヒゲムシ類約 850 個体をソーティングしたが、顕微鏡の故障により、プレパラート化と検鏡同定は出来なかった。
- ⑭ 日華区系植物の分類学的研究
- 【担 当】山本伸子
- 【研究内容】千葉県をはじめとする日本の植物相の起源と成立を解明するために、分類学的観点から東アジア・ヒマラヤ地域における維管束植物の解析を行う。
- 【年度実績】千葉県を中心にサンプルの採取および標本作成を行った。特にバラ科、ユリ科植物について調査した。
- ⑮ 海産貝類の分類学的研究
- 【担 当】照屋清之介
- 【研究内容】日本列島に分布する海産貝類を対象として分子系統、形態、生態等の観点から分類学的研究を行う。
- 【年度実績】日本列島に分布する海産貝類を対象として分子系統、形態、生態等の観点から分類学的研究を行った。成果として、査読済み論文・報告 2 編、普及的文書 1 編の執筆し、研究発表 3 回を行った。

(イ)生態学的多様性の維持機構に関する基礎研究

① 磯の生物群集の生態学的研究

【担 当】村田明久

【研究内容】岩礁潮間帯において、主に付着生物を対象に、生物群集の地理的変異や長期的な動態を研究する。

【年度実績】継続して行っている鴨川市でのモニタリング調査を実施し、取りまとめを行った。また、比較調査のため、県内の海岸で調査を行った。

② ヤドリギ類の生態学的研究

【担 当】尾崎煙雄

【研究内容】半寄生植物のヤドリギ類(ヤドリギ、オオバヤドリギ、マツグミ、ヒノキバヤドリギ、ホザキヤドリギ等)の分布、生態について生態学的、生物地理学的視点から研究を行う。

【年度実績】千葉県南部において、ヤドリギ、オオバヤドリギ、ヒノキバヤドリギ、マツグミの分布調査を実施し、鴨川市内の東大千葉演習林において県内60年ぶりとなるヒノキバヤドリギの標本を採集した。また、マツグミを食草とするガ類のマツグミヒメハマキの生態調査を実施した。

③ 水位攪乱・かいぼり等による水環境保全技術の検証

【担 当】林 紀男

【研究内容】水位攪乱、かいぼりなどによる池の水環境保全について、その機構を解明する。併せて埋土種子等の散布体を用いて土着株による水辺植生の再生に向けた取り組みについて、地域特性に応じた留意事項を検証する。

【年度実績】ため池等の水環境において水位攪乱が水環境保全に果たす役割について、生態園での検証事例を背景に県内複数の水干し実施池でのデータを取得した。県内の複数の池沼において、土壌シードバンクの土壌試料を採取し撒き出し検証に資した。

④ シギ・チドリ類の越冬生態、特に個体数変動に関する研究

【担 当】桑原和之

【研究内容】チドリ目の越冬期の生態に関して、チドリ科、シギ科に属する種を中心に生態的な基礎研究を行なう。シギ・チドリ類の個体数の変動は、気象状況や捕食者に大きく影響をうけるので、これらの記録も現地調査で収集し、解析する。

【年度実績】利根川水系や九十九里海岸のシギ・チドリ類の個体数の調査を行った。現地調査で収集した記録から、シギ・チドリ類の個体数が激減していることが示された。

⑤ 干潟に生息するカニ類の生態学的研究

【担 当】高山順子

【研究内容】干潟に生息するカニ類について、個体群特性や社会行動を明らかにし、その多様性や進化に関する研究を行う。

【年度実績】県内の砂浜(汽水域及び干潟を含む)に生息するカニ類の調査・採集を行った。スナガニ類の生息環境利用の季節変化を追う目的で、棲管の形状記録の方法を検討した。また、市街地の淡水域に遡上する汽水性カニ類の調査を行った。

⑥ 半自然草原群落の経年的な動態の解明

【担 当】大津千晶

【研究内容】生物多様性保全上重要性の高い半自然草原群落を対象として、経年的な維管束植物種の種構成の変化とそれに影響を与える要因の解明を行う。以上の結果に基づき、有効な保全策の提案を行う。

【年度実績】東北地方に点在する半自然草原群落内において、過去に植生調査された地点の追跡調査を行った。

⑦ 絶滅危惧植物の生息域外保全に関する生態・遺伝学的研究

【担 当】浅野紗彩

【研究内容】博物館で行われる絶滅危惧植物の生株維持、種子保存などの生息域外保全について、現在の取り組みが長期的な保全に有効か検証し、より効果的に生息域外保全を実行する手法について検討する。

【年度実績】生息域外保全株を保有する機関から得た、各コレクションの導入、栽培、分譲等の記録データの解析を行った。この結果を学会で公表し、関係機関との情報交換を行った。

ウ 人類誌系(景観史という新領域の創出)

① 大河流域の地域社会に関する研究

【担 当】米谷 博

【研究内容】流域地域に対して河川が果たしてきた歴史的な意義と、そこで展開された地域社会について考察する。

【年度実績】利根川の川船関係資料について、実物資料の分類や関係文書などから川船の特徴について調査を進めた。

② 近代日本におけるマッチラベルの果たした役割

【担 当】島立理子

【研究内容】マッチラベルをメディアとしてとらえ、近代日本におけるマッチラベルの果たした役割について考える。

【年度実績】1935年以降のマッチラベルは、マッチが統制品になったことが大きく影響し、戦争に向かってのプロパガンダの役割をになっていたことがわかった。

③ 民俗文化の伝播と伝承について

【担 当】小林裕美

【研究内容】講の行事、祭礼など民俗行事の変遷や地域による差異に着目し、民俗文化の伝播や伝承の在り方について考察を進める。

【年度実績】浜降りの祭礼の事例調査や記録映像作成事業を進め、浜降りの意義や伝承のありかた、変容について考察を進めている。

④ 生業や民俗技術の継承に関する研究

【担 当】玉井里奈

【研究内容】生業や、生活と結びついて継承されてきた民俗技術が、社会環境が変化する中でいかにして継承されているかを研究する。

【年度実績】千葉県内における養蚕について、文献調査及び、農協、現在千葉県産繭を扱う製糸所への聞き取り調査を実施した。

⑤ 寺社祭礼の歴史の変遷と地域社会との関わりについて

【担 当】鈴木建人

【研究内容】寺社祭礼の歴史の変遷から、地域における社会構造の変化や都市文化の影響、祭礼由緒を通じた地域の人々のアイデンティティ形成について考察する。

【年度実績】松澤熊野神社(旭市)が行う12年に1度の式年神幸祭の調査に同行し、祭礼を担う地域の人口が減少する中で、祭礼に深く関わる由緒を持つ家系の人々が祭礼の意義をどのように捉えているかを聞き取った。また、多古町北中地区のオビシヤ行事とそこに伝来する古文書や幟旗など資料を調査し、地域社会の中で宮座・講的要素を持つ行事の祭日が流動的に変化していることを発見した。

⑥ 河川の流域における信仰の伝播と変容

【担 当】渡瀬綾乃

【研究内容】河川の流域(とくに利根川)における信仰の広がりや地域ごとの変容について考究する。

【年度実績】利根川中下流域の絵馬の資料調査と赤外線撮影ふくむ写真撮影を複数地域で実施した。

⑦ 近世の都市における寺社境内地の動向

【担 当】須田華那

【研究内容】近世の都市における寺社境内地の動向について、主に隠売女(非公認の売春)の取締という視点から考察する。

【年度実績】岡場所でもあった江戸の門前町を対象に史料調査を実施した。また、19世紀前半の門前町と都市社会の関係について学会発表を行った。

エ 博物館誌系(博物館の歴史および機能の充実・発展に関する基礎研究)

① 展示や展示物のイメージに関する基礎的研究

【担 当】丸山啓志

【研究内容】来館者が展示や展示物に対して抱くイメージを知ることは、企画展や常設展更新を検討する上で有用である。また、幅広い層の来館者の満足度を上げる工夫を考える指針となる。本研究では、①展示の第一印象とイメージの変遷に関する研究、②いろいろな来館者にやさしい展示に関する研究、③“クジラ・イルカ”を例とした展示物に対する研究、④新型コロナウイルス感染症の影響に関する研究、以上4つの課題を基に多角的に取り組む。

【年度実績】回収率が50%近かった、特別展「よみがえるチバニアン期の古生物」のアンケート結果について、多方面から検討を行い、①イメージや、②来館者にやさしい展示について検討した。③アンケートのまとめを、④関連する論文収集を行った。

② 来館の難しい人が博物館を楽しむための、チバニアンを用いた地域教育プログラム開発

【担 当】丸山啓志・高橋一真

【研究内容】これからの博物館の役割に社会や地域の課題への対応が望まれている。とりわけ、様々な要因によって来館の難しい人がおり、アクセス可能なプログラムを開発する必要がある。そこで、千葉県下で知名度が高い「チバニアン」というテーマで、アクセシビリティの高い地域学習プログラム開発に取り組む。

【年度実績】特別展「よみがえるチバニアン期の古生物」に併せて、いくつか復元画や3Dモデルを作成した。また、博物館について知ってもらうための盲学校の授業で、チバニアンをきっかけに授業を行った。この結果は、2編記事・報告として公表した。また、併せて行った資料の3D化についても、学会発表を1件行った。

③ 子どもの発達段階に応じて学ぶ「蜃気楼」の教育プログラムの開発と実践

【担 当】大木淳一

【研究内容】未就学児、小学生、中学生の各子どもの発達段階において、「蜃気楼」を教材として授業に取り上げながら、身近な自然現象へ興味を抱く教育プログラムを博学連携を通して開発し実践する。これにより地域の魅力を発見することで、子ども達の郷土愛を育み身近な自然への関心を誘う。

【年度実績】上位蜃気楼が観測できる九十九里町内のこども園と小学校で授業を実施しプログラム開発を試みた。こども園では2日にわたり蜃気楼授業を実践し、望遠鏡の扱い方をツバメの観察から学ぶことが効果的であることが判明した。小学校の蜃気楼学習は、午前中に逃げ水観察、午後から蜃気楼実験をすることで、蜃気楼の発生メカニズムを体系的に学ぶことが明らかとなった。

④ 博物館の自由研究支援事業の効果に関する研究

【担 当】水野大樹

【研究内容】学校と博物館が連携した事業の一例である自由研究支援事業を対象として、学芸員による助言指導が児童・生徒の学びにどのような効果をもたらしているか明らかにする。

【年度実績】中央博物館で実施している夏休み子ども自由研究相談会の参加者に対してアンケート調査を実施した。その結果、作品展等への出展へ意欲がある参加者が多かったものの、学校の先生以外の指導を受けたことがある参加者は少なかった。一方、参加者の大半が、博物館へ相談した方が良いと回答しており、博物館における自由研究支援事業が児童・生徒の自由研究の遂行上有益に機能している可能性があることが示された。

⑤ 博物館と学校との博学連携による博物館学習の推進に関する研究

【担 当】高橋一真

【研究内容】先進的な博物館の学校教育対応と展示環境の調査を通して、博学連携による博物館学習及び学校教育に対応した博物館展示のあり方について研究する。博物館の学校利用の現状を分析し、実態に即した博物館学習と展示改善を推進する。

【年度実績】博物館の最大の強みは「触れることのできる標本」だと考え、博物館学習に取り組んだ。特に、視覚に障害を持つ児童生徒を対象にした場合、標本のもたらす影響は大きく、効果的に学習を進めることができた。また展示物について理解を深めながら既存のワークシートの改善を図り、当館 Web サイトで公開するに至った。当館を多くの学校に利用していただくため、今後も博物館学習の内容を精査していきたい。

⑥ 明治期から戦前にかけて収集された哺乳類標本の保管状況に関する研究

【担 当】下稲葉さやか

【研究内容】日本では、明治期に近代的動物学が欧米より取り入れられて以降、多くの標本が制作・蓄積されてきた。戦前に収集された哺乳類標本を中心に保管状況を調査し、それらの標本の収集・移管・損失の経緯を明らかにする。

【年度実績】戦前の哺乳類標本の収集に貢献した哺乳類学者・黒田長禮に関するコラムを執筆した。博物館企画展に関連し、戦前の学校標本の取り扱いについて助言した。自然保護課勤務のため、新規の調査はできなかった。

⑦ 繁盛する博物館経営の研究

【担 当】高橋 覚

【研究内容】新型コロナウイルス感染症の流行などはじめとする様々な外的要因の悪化に対応するため、博物館・美術館は、忍耐強い経営を続けてきた。しかし、近ごろようやく新型コロナウイルス感染症の脅威も一段落となり、これからは発展的経営を試みるまたとない時期が到来したと思われる。発展を加速するにはいかなる経営手法が求められるか様々な過去の失敗事例をもとに研究を行う。

【年度実績】過去の博物館経営の事例を提示し兼務する大学の講義でよい点や悪い点について学生の意見を聴取した。特に博物館のレストランメニューについて議論を重ねているところで、結論は出ていない。今後も継続して検討を続けたい。

⑧ 千葉県近代博物館史に関する調査研究

【担 当】幅 大

【研究内容】昭和 40 年代の県立博物館整備開始以前の近代博物館について調査研究を行い、地域社会における博物館の役割について歴史的に考察する。

【年度実績】昭和 30 年代の県立富津海洋資料館について調査し、当時の県関係者から聞き取りを行うと共に、所蔵する開館当時のポスターや配布印刷物等の関係資料を実見した。

2 外部資金等による研究

(1) 文部科学省科学研究費補助金による研究

ア 研究代表者

① 環境 DNA による沿岸海洋生物多様性の網羅的動態把握に向けた最新技術の実装と検証

【担 当】宮 正樹

【研究種目／開始年度／期間】基盤研究(B)(一般)／令和4年度／3年間

② 学校に収蔵された標本類を通じた博学連携

【担 当】齋木健一・黒住耐二

【研究種目／開始年度／期間】基盤研究(C)(一般)／令和2年度／5年間

③ 江戸時代における貝類利用の俯瞰的研究－食用から美術工芸までを視野に入れて－

【担 当】黒住耐二・照屋清之介

【研究種目／開始年度／期間】基盤研究(C)(一般)／令和3年度／3年間

④ 日本産地衣類の総合的なデータベースの整備とウェブ公開

【担 当】原田 浩

【研究種目／開始年度／期間】基盤研究(C)(一般)／令和3年度／3年間

⑤ 子どもの発達段階に応じて学ぶ「蜃気楼」の教育プログラムの開発と実践

【担 当】大木淳一

【研究種目／開始年度／期間】基盤研究(C)(一般)／令和3年度／4年間

⑥ 来館の難しい人が博物館を楽しむための、チバニアンを用いた地域教育プログラム開発

【担 当】丸山啓志

【研究種目／開始年度／期間】基盤研究(C)(一般)／令和4年度／3年間

⑦ 植物方言を地域研究資料として位置付けるための実践的な研究

【担 当】島立理子

- 【研究種目／開始年度／期間】 基盤研究(C)(一般)／令和4年度／3年間
- ⑧ 堆積物中の貝殻に基づく干潟貝類の捕食-被食関係の解明と将来予測
 【担 当】 千葉友樹
 【研究種目／開始年度／期間】 基盤研究(C)(一般)／令和4年度／4年間
- ⑨ 千葉県市原市チバニアン露頭の化石花粉に基づいた MIS19 間氷期の古気温定量復元
 【担 当】 奥田昌明
 【研究種目／開始年度／期間】 基盤研究(C)(一般)／令和5年度／3年間
- ⑩ メダカ関東地方固有系統とは何者か？ —環境 DNA とゲノム解析からせまる—
 【担 当】 後藤 亮
 【研究種目／開始年度／期間】 基盤研究(C)(一般)／令和5年度／3年間
- ⑪ 樹幹流を利用した新たな樹上生物多様性モニタリング法の開発：地衣類をモデルとして
 【担 当】 坂田歩美・宮 正樹
 【研究種目／開始年度／期間】 基盤研究(C)(一般)／令和5年度／3年間
- ⑫ 黒姫山における最終氷期末期以降のオオシラビソ林形成過程に湿地が果たした役割
 【担 当】 西内李佳
 【研究種目／開始年度／期間】 若手研究／令和2年度／4年間
- ⑬ 博物館の自由研究支援事業の効果に関する研究 —児童・生徒と学芸員による博学連携—
 【担 当】 水野大樹
 【研究種目／開始年度／期間】 若手研究／令和4年度／4年間
- ⑭ 40年間の半自然草原の植物群落動態：土地利用の変化・気候変動・草食獣の複合的影響
 【担 当】 大津千晶
 【研究種目／開始年度／期間】 若手研究／令和5年度／4年間
- ⑮ 千葉県と茨城県における安産祈願と動物供養の民俗学的研究：犬供養・猫供養に着目して
 【担 当】 渡瀬綾乃
 【研究種目／開始年度／期間】 研究活動スタート支援／令和4年度／2年間
- ⑯ 生痕化石の微化石保存ポテンシャルの解明と新たな地質学的手法への適用
 【担 当】 菊川照英
 【研究種目／開始年度／期間】 研究活動スタート支援／令和5年度／2年間

イ 研究分担者

- ① 「ボカシの文化」にメスを入れる
 【研究分担者】 黒住耐二
 【研究代表者】 高宮広土(鹿児島大学)
 【研究種目／開始年度／期間】 基盤研究(A)(一般)／令和3年度／3年間
- ② 自然に関する文化的資産の保全・劣化要因の把握と教育・観光資源化にむけた検討
 【研究分担者】 島立理子
 【研究代表者】 柴崎茂光(東京大学)
 【研究種目／開始年度／期間】 基盤研究(B)(一般)／令和3年度／4年間
- ③ 日本沿岸海域の時系列環境 DNA データベースに基づく魚類生態の解明
 【研究分担者】 宮 正樹・後藤 亮
 【研究代表者】 吉武和敏(東京大学)
 【研究種目／開始年度／期間】 基盤研究(B)(一般)／令和5年度／3年間
- ④ 侵略的外来水生植物の生態解明及び防除手法の評価を踏まえた早期対応社会技術の確立
 【研究分担者】 林 紀男
 【研究代表者】 中井克樹(滋賀県立琵琶湖博物館)
 【研究種目／開始年度／期間】 基盤研究(C)(一般)／令和3年度／3年間
- ⑤ バラ芳香性育種のためのフルーツ香の香りの起源の解明とデータベース化
 【研究分担者】 御巫由紀
 【研究代表者】 大久保直美(国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構)
 【研究種目／開始年度／期間】 基礎研究(C)／令和3年度／3年間
- ⑥ 長期定点観測と化石を併用した貝類・貝形虫類の環境激変イベントからの回復過程の比較
 【研究分担者】 千葉友樹
 【研究代表者】 佐藤真一(静岡大学)
 【研究種目／開始年度／期間】 基盤研究(C)(一般)／令和3年度／4年間
- ⑦ 土器に残る動植物痕跡の形態学的研究
 【研究分担者】 黒住耐二
 【研究代表者】 佐々木由香(金沢大学)
 【研究種目／開始年度／期間】 学術変革領域研究(A)／令和2年度／4年間

(2) その他の助成金による研究

ア 研究代表者 実績なし

イ 研究分担者

① 自律的海洋ホログenom DB を基盤とするオーシャンバイオデータプラットフォーム

【研究分担者】 宮 正樹

【研究代表者】 岩崎 渉(東京大学)

【助成名】 文部科学省・海洋資源利用促進技術開発プログラム 海洋生物ビッグデータ活用技術高度化

【期 間】 令和5年～6年度

(3) 他機関との共同研究

ア 研究代表者 実績なし

イ 研究分担者

① 人間文化研究機構広領域連携型基幹研究プロジェクト「横断的・融合的地域文化研究の領域展開：新たな社会の創発を目指す」 国立歴史民俗博物館ユニット「フィールドサイエンスの再統合と地域文化の創発」

【研究分担者】 島立理子

【研究代表者】 川村清志

【機関名】 国立歴史民俗博物館

【期間】 令和5年度

② 「港区圓福寺跡遺跡出土の貝類同定分析」

【研究分担者】 黒住耐二

【研究代表者】 宮本由子

【機関名】 東京都埋蔵文化財センター

【期間】 令和5年度

3 研究成果の公表・周知

(1) 自然誌シンポジウム「チバニアン期の哺乳類化石を探る」

ア 開催日 9月17日(日)(会場：本館講堂)

イ 内 容 特別展「よみがえるチバニアン期の古生物」に合わせて開催した。

① 講 演

甲能直樹(独立行政法人国立科学博物館/筑波大学大学院)「チバニアン期を彩ったアシカ、トド、セイウチたちーその群雄割拠を巡ってー」(Zoom参加)

木村敏之(群馬県立自然史博物館)「チバニアン期の化石が語るクジラ・イルカの進化」

高桑祐司(群馬県立自然史博物館)「チバニアン期のシカたち」

北川博道(埼玉県立自然の博物館)「千葉はゾウ化石研究のメッカとなるか？」

(2) 中央博セミナー(会場：本館講堂)

① 3月15日(水)

浅野紗彩 「草花らんまんの世界を未来へ繋ぐ-絶滅危惧植物の保全研究-

須田華那 「上空から覗く門前町」

照屋清之介 「日本列島における海産貝類の系統と分類」

(3) 自然誌フェスタ-みんなで楽しむ千葉の自然と歴史-

市民団体・中央博サークル等による活動の紹介。10団体が参加した。令和4年度から参加募集を公募式に変更した。

ア 開催日 11月3日(金・祝)

イ 参加団体

市宿おばあちゃんの畑、NPO法人ちば環境情報センター、千葉菌類談話会、千葉県昆虫談話会、千葉県生物学会、千葉県生物多様性センター、千葉県地学教育研究会、千葉港ポートパークかもめのクリーン隊、中央博サークル歴史サークル、房総貝類談話会(五十音順)

(4) 研究報告の発行

ア 千葉県立中央博物館研究報告 17巻1号 2024年3月31日発行

① 木村悟朗・足立行男・尾崎煙雄「BG-Pro の設置方法が蚊成虫の捕集効率に及ぼす影響」pp. 1-3

② 内田脩太「造成から約50年が経過した埋立地である行徳鳥獣保護区(千葉県市川市)のオサムシ科甲虫」pp. 5-20

③ 由良 浩「抽水ヨシ(*Phragmites australis*)が、水はけの良い台地上で生存・成長できない理由の解明」pp. 21-29

④ 坂田歩美・泉 宏子・清水玲亜・木下 薫・原田 浩「千葉県産の地衣類(13). *Cladonia pseudodidyma* コアカミゴケモドキ」pp. 31-40

⑤ 尾崎煙雄・西内李佳・村川功雄・斉藤明子・樽宗一朗「千葉県で60年ぶりに採集された天然生ヒノキバヤドリギ(ビャクダン科)」pp. 41-44

- ⑥ 水野大樹「千葉県旭市におけるグンバイヒルガオ (*Ipomoea pes-caprae*) の生育記録」 pp. 45-47
- ⑦ 黒住耐二「東京湾東岸における江戸時代の水田肥料、貝堆積層の分析」 pp. 49-62
- ⑧ 奥田昌明「平成18年度～令和3年度における大多喜城分館の入館者解析—本館との比較」 pp. 63-76
- ⑨ 石井友菜・初村武寛・高梨俊夫・鈴木建人「千葉県夷隅郡大多喜町古墳群の一円墳から出土した画文帯環状乳神獣鏡について」 pp. 77-92
- ⑩ 小松廣和「千葉県の近世六十六部廻国の諸相—元禄・宝永期の災害と六十六部廻国供養塔造立の考察—」 pp. 93-102
- ⑪ 鈴木建人「安房国総社鶴谷八幡宮「縁起」に関する一考察—大永五年年紀と近世初期の地名変遷から—」 pp. 104-116(1-13)

イ 千葉県立中央博物館研究報告特別号12「生態園の自然誌Ⅱ—開園35年目の記録—」2024年3月25日発行
(西内李佳・尾崎煙雄編)

- ① 西内李佳「序論—生態園の35年—」 pp. 1-4
- ② 八木令子「鳥瞰図で見る青葉の森公園周辺の景観変化」 pp. 5-6, iii-vi
- ③ 高橋直樹「生態園の岩石観察地」 pp. 7-19
- ④ 林 紀男「舟田池での水環境保全の取り組み—環境生態工学の視点から—」 pp. 21-33
- ⑤ 下稲葉さやか・宮川尚子「生態園における哺乳類相の変遷」 pp. 35-42
- ⑥ 栗田隆気「生態園で見られる両生爬虫類」 pp. 43-45
- ⑦ 後藤 亮「舟田池の魚類相」 pp. 47-50
- ⑧ 斉藤明子・尾崎煙雄・斉藤 修・伴 光哲・西内李佳・鈴木 勝・大島健夫・樽宗一朗「生態園の昆虫—2020～2023年の記録—」 pp. 51-109, vii-xiv
- ⑨ 林 紀男・松木和雄「生態園におけるトンボ類の繁殖場所創出の取り組み」 pp. 111-119
- ⑩ 松本嘉幸「生態園のアブラムシ相Ⅱ」 pp. 121-130
- ⑪ 黒住耐二「導入植生での貝類の定着」 pp. 131-148
- ⑫ 由良 浩「生態園の海岸植生地の変遷と管理」 pp. 149-156
- ⑬ 吹春俊光・竹内華恵・松本妙子「生態園のイヌシデ・コナラ林における子実体からみた大型菌類群集の動態」 pp. 157-206
- ⑭ 坂田歩美・原田 浩「生態園の地衣類(2019～2023)」 pp. 207-220
- ⑮ 西内李佳・天野 誠・大野啓一「生態園の植物相(1986～2020年)」 pp. 221-250
- ⑯ 尾崎煙雄・西内李佳「生態園における森林群落の30年間の変化」 pp. 251-275

4 研究員の執筆・研究発表

(1) 執筆

※中央博物館メールマガジン連載への執筆は、「V 情報の発信 2(2)イ. メールマガコラム」を参照のこと。

【教育普及課】

伊左治鎮司

学術論文・学術書

- ・Isaji, S. 2023. Molluscan faunal changes from brackish to freshwater deposits in the Lower Cretaceous Itsuki Formation of the Tetori Group, Japan. *Paleontological Research*. 28(1): 1-25.

普及書

- ・伊左治鎮司. 2024. 手取層群伊月層(下部白亜系)の汽水成～淡水成堆積物から産出する貝類化石群集の変遷. *化石*. 115: 87.
- ・伊左治鎮司. 2023. 袖ヶ浦市吉野田の陸生生物化石群. In: 千葉県立中央博物館(編). 千葉県立中央博物館 令和5年度特別展 よみがえるチバニアン期の古生物. p. 40. 千葉県立中央博物館. 千葉.
- ・伊左治鎮司. 2023. 吉野田のカメ化石. In: 千葉県立中央博物館(編). 千葉県立中央博物館 令和5年度特別展 よみがえるチバニアン期の古生物. p. 41. 千葉県立中央博物館. 千葉.
- ・伊左治鎮司. 2023. 下総層群の貝化石(暖流系種・寒流系種). In: 千葉県立中央博物館(編). 千葉県立中央博物館 令和5年度特別展 よみがえるチバニアン期の古生物. p. 44. 千葉県立中央博物館. 千葉.
- ・伊左治鎮司. 2023. 下総層群の貝化石(絶滅種). In: 千葉県立中央博物館(編). 千葉県立中央博物館 令和5年度特別展 よみがえるチバニアン期の古生物. p. 45. 千葉県立中央博物館. 千葉.
- ・伊左治鎮司. 2023. 下総層群の貝化石(瀬又の貝化石). In: 千葉県立中央博物館(編). 千葉県立中央博物館 令和5年度特別展 よみがえるチバニアン期の古生物. p. 46. 千葉県立中央博物館. 千葉.
- ・伊左治鎮司. 2023. 市宿層のクジラ化石. In: 千葉県立中央博物館(編). 千葉県立中央博物館 令和5年度特別展 よみがえるチバニアン期の古生物. p. 54. 千葉県立中央博物館. 千葉.
- ・伊左治鎮司. 2023. クジラを食べる、クジラに住む. In: 千葉県立中央博物館(編). 千葉県立中央博物館 令和5年度特別展 よみがえるチバニアン期の古生物. p. 55. 千葉県立中央博物館. 千葉.
- ・伊左治鎮司. 2023. 木下貝層. In: 千葉県立中央博物館(編). 千葉県立中央博物館 令和5年度特別展 よみがえるチバニアン期の古生物. p. 63. 千葉県立中央博物館. 千葉.

- ・伊左治鎮司. 2023. クジラ化石と一緒に見つかった貝類. In: 千葉県立中央博物館(編). 千葉県立中央博物館 令和5年度特別展 よみがえるチバニアン期の古生物. p. 66. 千葉県立中央博物館. 千葉.

林 紀男

学術論文・学術書

- ・林 紀男. 2024. 侵略的外来水生植物の代謝産物がミジンコ休眠打破に及ぼす影響. 日本水処理生物学会誌. 60: 19-24. 報告書
- ・林 紀男. 2023. 二階堤・分水堤・坂本堤(秋田県井川町)の浮遊生物相. 秋田自然史研究. 81: 72-75.
- ・林 紀男. 2024. 舟田池での水環境保全の取り組み ―環境生態工学の視点から―. 千葉県立中央博物館研究報告特別号. (12): 21-33
- ・林 紀男. 2023. 生態園におけるトンボ類の繁殖場所創出の取り組み. 千葉県立中央博物館研究報告特別号. (12): 111-119.
- ・北野雅人・向井一洋・槌尾健・西田 恵・鈴木康平・林 紀男・下野綾子. 2023. グリーンインフラとして計画された調の森 SHI-RA-BE の多機能性評価. 竹中技術研究所報告. 79: 45-52.

小林裕美

普及書

- ・小林裕美. 2023. 房総の祭り 吾妻神社の馬だし祭り. ひまわり倶楽部. (60): 24-25.

大津千晶

学術論文・学術書

- ・Otsu, C., H. Iijima, and T. Nagaike. 2024. Positive effects of biomass of unpalatable neighborhoods on palatable plants in a grassland community under heavy grazing pressure by sika deer. Grassland Science. 70 (1): 41-47.

普及書

- ・大津千晶. 2023. 論文紹介: Otsu *et al.*, (2023) "Responses to changes in precipitation of plant species vary by functional groups on understories of temperate forests in central Japan". Forest Ecology and Management, 529: 120716. (特集: 「論文投稿戦記〜こんな論文出しました!」). 植生情報. (27): 4-6.

照屋清之介

学術論文・学術書

- ・寺本沙也加・照屋清之介・佐々木猛智. 2023. 琉球列島に漂着した外国製ブイに付着した貝類. ちりぼたん. 53(2): 202-207.
- ・Kawato, S., R. Omine, S. Teruya, H. Kubo, S. Yasumoto, M. Kondo, Y. Takahashi, R. Nozaki, H. Kondo and I. Hirono. 2023. Evolutionary genomics of white spot syndrome virus. Fisheries Science. 89: 769-783.

報告書

- ・黒住耐二・照屋清之介. 2024. ユキガイ. 千葉県の保護上重要な野生生物 ―千葉県レッドデータブック― 追録. (6): 2.

普及書

- ・照屋清之介. 2024. 房総の動植物(4). しいむじな(房総のフィールド・ミュージアム ニュースレター). (84): 3.

須田華那

普及書

- ・須田華那. 2023. 宿場町・新宿の旅籠屋. かつしかの文化財. (108): 2, 4.
- ・須田華那. 2024. 日本文化部会【概要】. 比較日本学教育研究部門研究年報. (20): 123-124.

【企画調整課】

大木淳一

学術論文・学術書

- ・Miura, I., F. Shams, J. Ohki, M. Tagami, H. Fujita, C. Kuwana, C. Nanba, T. Matsuo, M. Ogata, S. Mawaribuchi, N. Shimizu and T. Ezaz. 2024. Multiple transitions between Y chromosome and autosome in Tago's brown frog species complex. genes. 15(3): 300.

尾崎煙雄

学術論文・学術書

- ・木村悟朗・尾崎煙雄. 2023. 千葉県立中央博物館生態園で人囮法により捕獲されたマツムラトリシラミバエの追加記録. ベストロジー. 38(2): 65-66.
- ・斉藤明子・尾崎煙雄. 2023. 「ナラ枯れ」に関連する甲虫3種 -タイシヨウオオキノコ、ルイスホソカダムシ、ナガフトヒゲナガゾウムシ-. 房総の昆虫. 73: 11-13.
- ・斉藤明子・尾崎煙雄・鈴木 勝・村川功雄. 2023. 「東京大学千葉演習林の昆虫相」の追加と訂正 その7. 房総の昆虫. 73: 15-18.
- ・木村悟朗・足立行男・尾崎煙雄. 2024. BG-Pro の設置方法が蚊成虫の捕集効率に及ぼす影響. 千葉県立中央博物館研究報告. 17(1): 1-3.
- ・尾崎煙雄・西内李佳・村川功雄・斉藤明子・樽宗一郎. 2024. 千葉県で60年ぶりに採集された天然生ヒノキバヤドリギ(ビャクダン科). 千葉県立中央博物館研究報告. 17(1): 41-44.
- ・斉藤明子・尾崎煙雄・斉藤 修・伴 光哲・西内李佳・鈴木 勝・大島健夫・樽宗一郎. 2024. 生態園の昆虫-2020~2023年の記録-. 千葉県立中央博物館研究報告特別号. (12): 51-109, vii-xiv

- ・尾崎煙雄・西内李佳. 2024. 生態園における森林群落の30年の変化. 千葉県立中央博物館研究報告特別号. (12): 251-275.

普及書

- ・尾崎煙雄. 2023. 地面に落ちて根を伸ばすドングリ. 理科教育ニュース. (1219): 1.

水野大樹

報告書

- ・水野大樹. 2024. 千葉県旭市におけるグンバイヒルガオ (*Ipomoea pes-caprae*) の生育記録. 千葉県立中央博物館研究報告. 17(1): 45-47.

樽宗一朗

学術論文・学術書

- ・樽宗一朗・勝山泰賀. 2023. サツマヒメカマキリを千葉県で採集. 房総の昆虫. (73): 101-102.
- ・野村周平・上田衛門・松原 豊・山崎裕志・亀澤 洋・金子直樹・樽宗一朗・柿添翔太郎・内海幸弘・大島千幸. 2023. 東京都千代田区皇居から新たに記録されるハナムグリ3種. さやばねニューシリーズ. (52): 6-9.
- ・尾崎煙雄・西内李佳・村川功雄・斉藤明子・樽宗一朗. 2024. 千葉県で60年ぶりに採集された天然生ヒノキバヤドリギ(ビャクダン科). 千葉県立中央博物館研究報告. 17(1): 41-44.
- ・斉藤明子・尾崎煙雄・斉藤 修・伴 光哲・西内李佳・鈴木 勝・大島健夫・樽宗一朗. 2024. 生態園の昆虫. 千葉県立中央博物館研究報告特別号. (12): 51-109, vii-xiv.

菊川照英

学術論文・学術書

- ・Kikukawa, A., Y. Aita, N. Furukawa and N. Kotake. 2024. Taphonomy of radiolarian and diatom fossils preserved within Oligocene trace fossils. *Revue de micropaléontologie*. 82: 100754.

普及書

- ・菊川照英. 2023. 微小な化石が語る過去の海洋環境の変化. In: 千葉県立中央博物館(編). 千葉県立中央博物館 令和5年度特別展 よみがえるチバニアン期の古生物. p. 43. 千葉県立中央博物館. 千葉.

【地学研究科】

加藤久佳

学術論文・学術書

- ・Ng, P. K. L., H. Karasawa and H. Kato. 2023. *Arges* de Haan, 1833: a senior synonym of *Typhlocarcinops* Rathbun, 1909 (Brachyura, Pilumnidae). *Crustaceana*. 96(7): 703-714.

普及書

- ・加藤久佳. 2024. アナジャコ・エンコウガニ・甲殻類・スナモグリ・十脚類・短尾類・軟甲類・リヌパルス(項目執筆). In: 地学団体研究会(編). 最新 地学事典. 2046 pp. 平凡社. 東京.
- ・加藤久佳. 2023. 海と陸のうつきわり. In: 千葉県立中央博物館(編). 千葉県立中央博物館 令和5年度特別展 よみがえるチバニアン期の古生物. p. 15. 千葉県立中央博物館. 千葉.
- ・加藤久佳. 2023. コラム1「チバニアン期の化石の鉱脈—塩原湖成層—」. In: 千葉県立中央博物館(編). 千葉県立中央博物館 令和5年度特別展 よみがえるチバニアン期の古生物. p. 19. 千葉県立中央博物館. 千葉.
- ・加藤久佳. 2023. チバニアン期の海の無脊椎動物. In: 千葉県立中央博物館(編). 千葉県立中央博物館 令和5年度特別展 よみがえるチバニアン期の古生物. p. 47. 千葉県立中央博物館. 千葉.
- ・加藤久佳. 2023. ネギ畑で発見されたザトウクジラの化石. In: 千葉県立中央博物館(編). 千葉県立中央博物館 令和5年度特別展 よみがえるチバニアン期の古生物. p. 64. 千葉県立中央博物館. 千葉.
- ・加藤久佳. 2023. 印西市のザトウクジラ化石. In: 千葉県立中央博物館(編). 千葉県立中央博物館 令和5年度特別展 よみがえるチバニアン期の古生物. p. 65. 千葉県立中央博物館. 千葉.
- ・加藤久佳. 2023. 石になった縄文時代の生物. In: 千葉県立中央博物館(編). 千葉県立中央博物館 令和5年度特別展 よみがえるチバニアン期の古生物. pp. 70-71. 千葉県立中央博物館. 千葉.

奥田昌明

報告書

- ・奥田昌明. 2024. 平成18年度～令和3年度における大多喜城分館の入館者解析一本館との比較. 千葉県立中央博物館研究報告. 17(1): 63-76.

普及書

- ・奥田昌明. 2023. チバニアン GSSP 認定まで. In: 千葉県立中央博物館(編). 千葉県立中央博物館 令和5年度特別展 よみがえるチバニアン期の古生物. p. 5. 千葉県立中央博物館. 千葉.
- ・奥田昌明. 2023. チバニアン期はどんな時代だったか. In: 千葉県立中央博物館(編). 千葉県立中央博物館 令和5年度特別展 よみがえるチバニアン期の古生物. p. 13. 千葉県立中央博物館. 千葉.
- ・奥田昌明. 2023. 花粉化石からみた陸上の様子(植生). In: 千葉県立中央博物館(編). 千葉県立中央博物館 令和5年度特別展 よみがえるチバニアン期の古生物. p. 16. 千葉県立中央博物館. 千葉.
- ・奥田昌明. 2023. 袖ヶ浦市吉野田の植物化石群. In: 千葉県立中央博物館(編). 千葉県立中央博物館 令和5年度特別展 よみがえるチバニアン期の古生物. p. 18. 千葉県立中央博物館. 千葉.

八木令子

学術論文・学術書

- ・八木令子. 2024. 鳥瞰図で見る青葉の森公園周辺の景観変化. 千葉中央博研究報告特別号. (12): 5-6, iii-vi.

普及書

- ・高橋直樹・八木令子. 2024. 地域を見る目を育てる—地域博物館の使命. In: 鈴木寿志(編集代表)・伊藤 孝・高橋直樹・川村教一・田口公則(編). 変動帯の文化地質学. pp. 467-484. 京都大学学術出版会. 京都.
- ・吉村光敏・八木令子. 2024. 養老川中流の蛇行切断段丘「田淵蛇行跡」. 地図中心(2024年1月)総特集 日本段丘図鑑 日本の典型地形(段丘編). (616): 21.

丸山啓志

報告書

- ・丸山啓志. 2024. 千葉県誕生 150 周年記念事業・令和 5 年度特別展「よみがえるチバニアン期の古生物」を終えて. 科学技術教育. (235): 16-17.
- ・塚本明日香・丸山啓志. 2024. 地域教材を用いたインクルーシブな教育プログラム開発を目指して—チバニアンを用いた盲学校生対象の博物館体験プログラム. 地域志向学研究. 8: 192-200.

普及書

- ・丸山啓志. 2023. 令和 5 年度特別展「よみがえるチバニアン期の古生物」リーフレット(ミニ図鑑). 4 pp. 千葉県立中央博物館. 千葉.
- ・丸山啓志. 2023. チバニアン期の大地. In: 千葉県立中央博物館(編). 千葉県立中央博物館 令和 5 年度特別展 よみがえるチバニアン期の古生物. p. 14. 千葉県立中央博物館. 千葉.
- ・丸山啓志. 2023. サイのなかま(奇蹄類). In: 千葉県立中央博物館(編). 千葉県立中央博物館 令和 5 年度特別展 よみがえるチバニアン期の古生物. pp. 20-21. 千葉県立中央博物館. 千葉.
- ・丸山啓志. 2023. チバニアン期のシカやウシ(偶蹄類). In: 千葉県立中央博物館(編). 千葉県立中央博物館 令和 5 年度特別展 よみがえるチバニアン期の古生物. pp. 22-25. 千葉県立中央博物館. 千葉.
- ・北川博道・丸山啓志. 2023. ナウマンゾウタイプ標本の X 線 CT スキャンによる観察. In: 千葉県立中央博物館(編). 千葉県立中央博物館 令和 5 年度特別展 よみがえるチバニアン期の古生物. pp. 38-39. 千葉県立中央博物館. 千葉.
- ・丸山啓志. 2023. チバニアン期の海. In: 千葉県立中央博物館(編). 千葉県立中央博物館 令和 5 年度特別展 よみがえるチバニアン期の古生物. p. 42. 千葉県立中央博物館. 千葉.
- ・丸山啓志. 2023. チバニアン期の海鳥たち. In: 千葉県立中央博物館(編). 千葉県立中央博物館 令和 5 年度特別展 よみがえるチバニアン期の古生物. pp. 50-51. 千葉県立中央博物館. 千葉.
- ・丸山啓志. 2023. チバニアン期のクジラ・イルカ. In: 千葉県立中央博物館(編). 千葉県立中央博物館 令和 5 年度特別展 よみがえるチバニアン期の古生物. pp. 52-53. 千葉県立中央博物館. 千葉.
- ・丸山啓志. 2023. チバニアン期のカイギュウ. In: 千葉県立中央博物館(編). 千葉県立中央博物館 令和 5 年度特別展 よみがえるチバニアン期の古生物. p. 61. 千葉県立中央博物館. 千葉.
- ・丸山啓志. 2023. 景観復元画ができるまで. In: 千葉県立中央博物館(編). 千葉県立中央博物館 令和 5 年度特別展 よみがえるチバニアン期の古生物. p. 72. 千葉県立中央博物館. 千葉.
- ・丸山啓志. 2024. 自然史博物館と合理的配慮—盲学校による博物館の活用—. BIO CITY. 97: 38-43.

【動物学研究科】

駒井智幸

学術論文・学術書

- ・Komai, T. 2023. Clarification of the identity of deep-sea crab *Tymolus uncifer* (Ortmann, 1892) and validation of *Tymolus melanommus* (Doflein, 1904) (Decapoda: Brachyura: Cyclodorippidae). *Zootaxa*. 5352(1): 46-72.
- ・Komai, T. 2023. A new intertidal species of the thorida shrimp genus *Heptacarpus* Holmes, 1900 (Decapoda: Caridea) from Japan. *Zootaxa*. 5361(2): 263-274.
- ・Komai, T. 2024. Reappraisal of *Eiconaxius farreae* Ortmann, 1891 and *Eiconaxius mortenseni* Sakai, 1992, with description of a new species from Japan (Decapoda: Axiidea: Axiidae). *Zootaxa*. 5419(4): 495-524.
- ・Komai, T., S.-C. Chang and T.-Y. Chan. 2023. The identity of the deep-sea caridean shrimp *Glyphocrangon stenolepis* and description of a new species from Taiwan and Japan. *Bulletin of Marine Science*. 99(3): 171-178.
- ・Komai, T. and Y. Henmi. 2023. A new species of the alpheid shrimp genus *Athanas* Leach, 1814 (Decapoda: Caridea) from the Sea of Japan. *Zootaxa*. 5277(2): 363-373.
- ・Komai, T. and H. Sakiyama. 2023. A new genus and new species of palaemonid shrimp (Decapoda: Caridea), associated with the deep-sea crinoid *Metacrinus rotundus* (Echinodermata: Isocrinidae), from Suruga Bay, Japan. *Zootaxa*. 5380(3): 227-246.
- ・Komai, T., S. Tsuchida and Y. Fujiwara. 2023. Squat lobsters of the superfamily Chirostyloidea (Decapoda: Anomura) from seamounts on the Nishi-Shichito and Mariana ridges, North-West Pacific off Japan, with descriptions of two new species. *Zootaxa*. 5293(1): 45-73.
- ・Komai, T., S. Tsuchida and Y. Fujiwara. 2023. New record of two species of munidid squat lobster (Decapoda: Anomura) from the North-West Pacific off Japan. *Zootaxa*. 5369(2): 239-254.

- Chang, S.-C., C.-L. Chen, J.-Y. Chen and T. Komai. 2023. Exploring the diversity of the deep sea genus *Glyphocrangon* A. Milne-Edwards, 1881 (Decapoda, Crustacea, Glyphocrangonidae) off Taiwan and Dongsha. *Journal of the Marine Biological Association of the United Kingdom*. 103: 2023. e72.
- Methou, P., C. Chen and T. Komai. 2024. Revision of the alvinocaridid shrimp genus *Rimicaris* Williams & Rona, 1986 (Decapoda: Caridea) with a new species from hydrothermal vents on the Mariana Arc. *Zootaxa*. 5406(4): 501-518.
- Sato, T. and T. Komai. 2024. A new species of the mud shrimp genus *Naushonia* Kingsley, 1897 (Decapoda: Gebiidea: Laomeidiidae) from the Ryukyu Islands, southwestern Japan, inhabiting burrows of an axiidean shrimp. *Zootaxa*. 5406(4): 501-518.
- Sonoda, T., S. Chiba, T. Yamazaki, T. Nobetsu, H. Fujiya, T. Komai, N. Nunomura, M. Shimomura, K. Tomikawa, K. Kakui, T. Hosono, A. Ito, T. Fujita, I. Kobayashi and S. Goshima. 2024. Marine macroinvertebrate fauna of the shallow coastal waters of the Shiretoko Peninsula, a World Natural Heritage at Hokkaido, Japan. *Plankton and Benthos Research*. 19(1): 1-16.
- 是枝伶旺・清水直人・駒井智幸. 2023. 九州南西部および種子島から採集された標本に基づく稀種 *Grynaminna tamakii* Poore, 2000. センニンスナモグリ(新称)(十脚目: アナエビ下目: オオスナモグリ科)の新産地記録. *Cancer*. (32): 9-17.

宮 正樹

学術論文・学術書

- Rossouw, E.I., J. Landschoff, A. Ndhlovu, G. Neef and M. Miya. Courtaillac, K.L., Brokensha, R. and von der Heyden, S. 2024. Detecting kelp-forest associated metazoan biodiversity with eDNA metabarcoding. *npj Biodiversity*. 3: 4.
- Hidaka, S., T.S. Jo, S. Yamamoto, K.R. Katsuhara, S. Tomita, M. Miya, M. Ikegami, A. Ushimaru and T. Minamoto. 2024. Sensitive and efficient surveillance of Japanese giant salamander (*Andrias japonicus*) distribution in western Japan using multi-copy nuclear DNA marker. *Limnology*. 25 (1): 189-198.
- von der Heyden, S., G. Neef, T. Grevesse, Y. Cwecwe, T. Sado, M. Miya, T. Mosie, S. Creer, P. Skelton and R. von Brandis. 2023. Environmental DNA biomonitoring in biodiversity hotspots: A case study of fishes of the Okavango Delta. *Environmental DNA*. 5 (6): 1720-1731.
- Sakata A., T. Sado, S. Oka, M. Ushio and M. Miya. 2023. Collection of environmental DNA from stemflow for monitoring arboreal biodiversity: preliminary validation using lichens. *MethodsX*. 11: 102448.
- Nagatomo, Y., S. Horii, J. Hirai, F. Hashihama, T. Sado, T. Fukuchi, M. Miya and K. Takahashi. Geographic distribution of micronektonic fish communities in the subtropical North Pacific: the effect of primary productivity and nitrogen fixation. *Progress in Oceanography*. 217: 103086.
- Doi, H., S., S.I.S. Matsuzaki, M. Nagano, H. Sato, H. Yamanaka, S. Matsushashi, S. Yamamoto, T. Minamoto, H. Araki and K. Ikeda. 2023. Species traits and ecosystem characteristics affect species detection by eDNA metabarcoding in lake fish communities. *Freshwater Biology*. 68 (8): 1346-1358.
- Ushio, M., T. Sado, T. Fukuchi, S. Sasano, R. Masuda, Y. Osada and M. Miya. 2023. Temperature sensitivity of the interspecific interaction strength of coastal marine fish communities. *eLife*. 12: 85795.
- Zhu, M., M. Kuroki, T. Kobayashi, T. Yamakawa, T. Sado, K. Kodama, T. Horiguchi and M. Miya. 2023. Comparison of fish fauna evaluated using aqueous eDNA, sedimentary eDNA, and catch surveys in Tokyo Bay, Central Japan. *Journal of Marine Systems*. 23: 96.
- Yoshitake, K., K. Yanagisawa, Y. Sugimoto, H. Nakamura, N. Mizusawa, M. Miya, K. Hamasaki, T. Kobayashi, S. Watabe, K. Nishikiori and S. Asakawa. 2023. Pilot study of a comprehensive resource estimation method from environmental DNA using universal D-loop amplification primers. *Functional & Integrative Genomics*. 23 (2): 96.
- Zhu, T., Y. Sato, T. Sado, M. Miya and W. Iwasaki. 2023. MitoFish, MitoAnnotator, and MiFish pipeline: updates in 10 years. *Molecular Biology and Evolution*. 40(3): msad035.

黒住耐二

学術論文・学術書

- 黒住耐二. 2024. 博物館の貝類資料を用いた視覚障がい者向け利用例. *Museum ちば*. (48): 11-18.
- 黒住耐二. 2024. 鹿児島県十島村大池遺跡 A 地点出土のオオツタノハについて. *国立歴史民俗博物館研究報告*. (248): 59-66.
- 黒住耐二. 2024. 手打貝塚から得られた貝類遺体—水田稲作や律令制に関連させて—. In: 大西智和. 離島の食資源利用解明の方法論的研究—古墳時代の南九州甕島列島を対象として—. pp.66-91. 鹿児島国際大学. 鹿児島市.
- 黒住耐二. 2024. 千葉市千葉神社周辺のボーリングコアから得られた貝類について. *千葉いまむかし*. (37): 29-44.
- 黒住耐二. 2024. 東京湾東岸における江戸時代の水田肥料、貝肥堆積層の分析. *千葉県立中央博物館研究報告*. 17(1): 49-62.
- 黒住耐二. 2024. 導入植生での貝類の定着. *千葉県立中央博物館研究報告特別号*. (12): 131-148.
- 黒住耐二. 2024. 飛ノ台史跡公園の陸産貝類相 —特に、史跡整備とも関連させて—. *飛ノ台史跡公園博物館紀要*. (20): 32-43.

- ・齋木健一・黒住耐二. 2023. 高等学校に保存されている哺乳類および鳥類剥製標本の実態と歴史. 生物教育. 65(1): 2-13. 報告書
- ・黒住耐二. 2024. 佐弁トマチン遺跡の発掘調査で得られた貝類遺体. 伊仙町埋蔵文化財発掘調査報告書(佐弁トマチン遺跡発掘調査報告書:平成28年度-令和5年度町内遺跡発掘調査等事業に係る埋蔵文化財発掘調査報告書). (22): 49-57.
- ・黒住耐二. 2024. 非食用の貝類. In: 田代真輝・小川将之(編). 村田貝塚. pp. 71-73. 稲敷市教育委員会・地域文化財研究所. 稲敷市・印西市.
- ・黒住耐二. 2024. 東中山台遺跡群(67)調査地点から出土した微小貝類. In: 船橋市教育委員会(編). 東中山台遺跡群(67). pp. 58-61. 船橋市教育委員会. 船橋市.
- ・黒住耐二. 2024. 微小貝類遺体. In: 松田光太郎・西野雅人・菅谷通保・森本 剛・長原 亘・千葉南菜子・杉本 亘(編). 特別史跡加曾貝塚発掘調査報告書—第14次調査—. pp. 222-225. 千葉市教育委員会. 千葉市.
- ・黒住耐二. 2024. 小森城跡の縄文早期・茅山下層式土器期の貝塚から抽出された微小貝. In: 戸谷 敦(編). 白井市埋蔵文化財調査集報—令和3・4年度—. pp. 15-16. 白井市教育委員会. 白井市.
- ・黒住耐二. 2024. 貝類遺体. 与論城跡, 与論町埋蔵文化財発掘調査成果報告書. (2): 94-97.
- ・黒住耐二. 2024. 六反ヶ丸遺跡の弥生土器にみられた稚貝様痕跡について—イシマキ卵囊の可能性—. 六反ヶ丸遺跡4—E地点一, 公益財団法人鹿児島県文化振興財団埋蔵文化財調査センター発掘調査報告書. (55): 140-141, 143.
- ・黒住耐二・照屋清之介. 2024. ユキガイ. 千葉県保護上重要な野生生物—千葉県レッドデータブック— 追録 (6): 2. 普及書
- ・黒住耐二. 2023. 【砂浜ムーブメント2022】生きものしらべ結果レポート速報版「貝からみえたこと」. 日本自然保護協会(2023年5月22日). <https://www.nacsj.or.jp/partner/2023/05/35724/>.
- ・黒住耐二. 2023. 陸産貝類を通じての青木淳一先生とのお付き合い. In: 保科英人(編). 青木淳一先生追悼文集. pp. 58-60. 青木淳一先生追悼文集編集委員会. 福井市.
- ・黒住耐二. 2023. 土器圧痕で見られる貝類. 土器を掘るニュースレター. (5): 10.
- ・黒住耐二. 2023. 浜詰貝塚の貝からわかること. 4 pp. 京丹後市教育委員会. 京丹後.
- ・黒住耐二. 2023. 江戸の人たちと貝. 6 pp. 港区立郷土歴史館. 東京.
- ・黒住耐二. 2024. 土器は第二の貝塚. In: 小畑弘己(編). 「見えた、わかった縄文人:土器が語る縄文人の暮らし・食・心」. pp. 24-27. 熊本大学. 熊本.

下稲葉さやか

学術論文・学術書

- ・下稲葉さやか. 2023. コラム 黒田長禮. In: 日本哺乳類学会(編). 日本の哺乳類学 百年のあゆみ. p. 67. 文永堂出版. 東京.
- ・下稲葉さやか・宮川尚子. 2024. 生態園における哺乳類相の変遷. 千葉県立中央博物館研究報告特別号. (12): 35-42. 報告書

【植物学研究科】

御巫由紀

学術論文・学術書

- ・Oyama-Okubo, N. and Y. Mikanagi. 2024. Analysis of Floral Scent Components of Roses Exhibiting an Unusual Odor: Identification of Stink Bug Pheromone Compounds in Roses. The Horticulture Journal. 93(2): 185-193.

普及書

- ・御巫由紀. 2023. 現代バラのルーツをたどる. 趣味の園芸 2023年5月号. pp. 50-51. NHK出版. 東京.
- ・御巫由紀. 2023. 『野ばらハンドブック』より ～ヤブイバラ *Rosa onoei* Makino を巡って～. 会報「園藝文化」. (132): 10-11.
- ・御巫由紀. 2024. 【日本のオールドローズ1】光源氏も見た赤いバラ =コウシンバラ=. 時事通信社から新聞9紙(信濃毎日・山形新聞・陸奥新報・釧路新聞・北羽新報・愛媛新聞・神戸新聞・静岡新聞・島根日日新聞)に配信(2024年1月17日).
- ・御巫由紀. 2024. 【日本のオールドローズ2】白い大輪が特徴、漢方にも利用 =ナニワイバラ=. 時事通信社から新聞9紙(信濃毎日・山形新聞・陸奥新報・釧路新聞・北羽新報・愛媛新聞・神戸新聞・静岡新聞・島根日日新聞)に配信(2024年1月24日).
- ・御巫由紀. 2024. 【日本のオールドローズ3】白花は江戸、黄花は明治に渡来 =モッコウバラ=. 時事通信社から新聞9紙(信濃毎日・山形新聞・陸奥新報・釧路新聞・北羽新報・愛媛新聞・神戸新聞・静岡新聞・島根日日新聞)に配信(2024年1月31日).
- ・御巫由紀. 2024. 【日本のオールドローズ4】一つのバラに二つの和名 =「カイドウバラ」と「サクラバラ」=. 時事通信社から新聞9紙(信濃毎日・山形新聞・陸奥新報・釧路新聞・北羽新報・愛媛新聞・神戸新聞・静岡新聞・島根日日新聞)に配信(2024年02月07日).
- ・御巫由紀. 2024. 【日本のオールドローズ5】世界一花が小さいバラ =ショウノスケバラ=. 時事通信社から新聞9紙(信濃毎日・山形新聞・陸奥新報・釧路新聞・北羽新報・愛媛新聞・神戸新聞・静岡新聞・島根日日新聞)に配信(2024年2月14日).

- ・御巫由紀. 2024. 【日本のオールドローズ6】知る人ぞ知る小さな名花 =チョウジザキテリハノイバラ=. 時事通信社から新聞9紙(信濃毎日・山形新聞・陸奥新報・釧路新聞・北羽新報・愛媛新聞・神戸新聞・静岡新聞・島根日日新聞)に配信(2024年2月21日).
- ・御巫由紀. 2024. 【日本のオールドローズ7】満月ではなく「十六夜の月」 =イザヨイバラ=. 時事通信社から新聞9紙(信濃毎日・山形新聞・陸奥新報・釧路新聞・北羽新報・愛媛新聞・神戸新聞・静岡新聞・島根日日新聞)に配信(2024年2月28日).
- ・御巫由紀. 2024. 【日本のオールドローズ8】中国生まれの香り高い食用バラ =マイカイ=. 時事通信社から新聞9紙(信濃毎日・山形新聞・陸奥新報・釧路新聞・北羽新報・愛媛新聞・神戸新聞・静岡新聞・島根日日新聞)に配信(2024年3月6日).

吹春俊光

学術論文・学術書

- ・Nagayama, T., Y. Kamijo, T. Fukiharu, N. H. Nguyen, K. Imai and I. Takahashi. 2023. Amatoxin poisoning caused by *Galerina sulciceps*, a species with no prior record of identification in Japan: a case report. *Toxicol.* 229: 107139.
- ・吹春俊光・竹内華恵・松本妙子. 2024. 生態園のイヌシデ・コナラ林における子実体からみた大型菌類群集の動態. 千葉中央博研究報告特別号. (12): 157-206.

普及書

- ・Fukiharu, T. 2023. *Setas en el arte botanico*. 208 pp. Libros del Zorro Rojo. Madrid.
- ・ラルース(編)・石井 博・小宮輝之・中山 剛・吹春俊光(日本語版監修)・神奈川夏子(訳). 2024. *ラルース百科事典の芸術*. 176 pp. グラフィック社. 東京.
- ・吹春俊光. 2023. きこの自然誌—秘境の森 ブナ科のシイ・カシと混じるモミ林. 季刊きのこ. (49): 15-16.
- ・吹春俊光. 2023. きこの調査の楽しみ(その2)キヨスミヒメヒトヨタケ. 季刊きのこ. (50): 15-16.
- ・吹春俊光. 2023. きこの調査の楽しみ—ヒトヨタケらしからぬヒトヨタケ. 季刊きのこ. (51): 15-16.
- ・吹春俊光. 2024. きこの自然誌—龍の名をもつきのこ. 季刊きのこ. (52): 15-16.
- ・吹春俊光・飯沢耕太郎. 2023. きこのは文学であり、お化けでもある. 怪と幽. 14: 28-35.
- ・吹春俊光. 2023. ハカセの謎を追え! ETHICS for YOUTH. (3): 28-29.
- ・吹春俊光. 2023. 房総の動植物(3)死体や糞尿分解跡のきのこ. しいむじな(房総のフィールド・ミュージアムニュースレター). 83: 3.

原田 浩

学術論文・学術書

- ・Harada, H. 2023. *Phloeopeccania japonica* sp. nov. (Lichinaceae), a new cyanolichen from Chiba-ken, Central Japan. *Lichenology*. 21(2): 33-40.
- ・Sakata, A., H. Otake, H. Harada and K. Shimizu. 2023. The Japanese so-called *Bulbothrix isidiza* belongs to *B. subscortea*. *Lichenology*. 21(2): 41-51.
- ・佐藤大樹・原田 浩・阿部 真. 2023. オニサネゴケの基質樹種について. *Lichenology*. 21(2): 59.
- ・原田 浩・原光二郎・木下 薫・坂田歩美. 2023. 日本産地衣類の総合的なデータベースの整備とウェブ公開(2022). *Lichenology*. 21(2): 60.
- ・坂田歩美・原光二郎・原田 浩. 2023. 日本産海岸生広義ダイダイゴケ属 *Caloplaca* s. lat. —*Mikhtomia multicolor*—. *Lichenology*. 21(2): 60.
- ・清水玲亜・木下 薫・藤原恒司・坂田歩美・原田 浩. 2023. 日本産地衣類のLC/MSによる化学成分の分析と分類への応用—ウチキウメノキゴケ属 *Myelochroa* と広義スミイボゴケ属 *Buellia* s. lat. を中心として—. *Lichenology*. 21(2): 61.
- ・木下 薫・谷川寛典・河崎 星・坂田歩美・原田 浩. 2023. 日本産海岸生地衣類のLC/MSによる化学成分の分析と分類への応用(4). *Lichenology*. 21(2): 62.
- ・Harada, H. 2023. *Psorotichia yoshimurae* sp. nov., a new freshwater species of crustose cyanolichen in the Lichinaceae from Shimanto River, Shikoku, Japan. *Lichenology*. 22(1-2): 1-7.
- ・Harada, H. 2023. *Physma boninense* sp. nov. (Pannariaceae), a new foliose cyanolichen from Ogasawara Islands, southern Japan. *Lichenology*. 22(1-2): 9-20.
- ・Harada, H. 2023. Illustrated flora of marine and maritime lichens of Japan (7), *Lichinella* (Lichinaceae). *Lichenology*. 22(1-2): 21-31.
- ・Tanikawa H., H. Sasaki, A. Sakata, H. Harada and K. Kinoshita. LC-MS analysis of secondary metabolites (lichen substances) of marine and maritime lichens in Japan, genus *Enterographa*. *Lichenology*. 22(1-2): 33-36.
- ・原田 浩・坂田歩美・桑原 健. 2023. *Placidium squamulosum* ドロヒメカワイワタケ(子囊地衣類, アナイボゴケ科)は千葉県に産す. *Lichenology*. 22(1-2): 37-42.
- ・原田 浩. 2023. 石灰岩生地衣類(3). 広義イワノリ属(*Collema* s. lat.). *Lichenology*. 22(1-2): 43-57.
- ・坂田歩美・原光二郎・谷川寛典・谷口 潤・菅原晴香・木下 薫・原田 浩. 2023. 日本産海岸生地衣類図鑑(6). *ダイダイゴケ科*. *Lichenology*. 22(1-2): 59-74.
- ・原田 浩. 2023. 日本地衣類誌(10). *Spilonema revertens* カタマリケゴケ. *Lichenology*. 22(1-2): 75-80.

- ・原田 浩・原光二郎・木下 薫・坂田歩美. 2023. 日本産地衣類の総合的なデータベースの整備とウェブ公開(2023). *Lichenology*. 22(1・2): 82.
- ・原光二郎・坂田歩美・木下 薫・原田 浩. 2023. 日本産地衣類の DNA バーコードライブラリーの整備. *Lichenology*. 22(1・2): 82.
- ・坂田歩美・原光二郎・谷口 潤・菅原晴香・谷川寛典・清水玲亜・木下 薫・原田 浩. 2023. 日本産海岸生 *Orientophila* 属. *Lichenology*. 22(1・2): 83.
- ・木下 薫・清水玲亜・谷川寛典・坂田歩美・原田 浩. 2023. 日本産海岸生 *Orientophila* 属の LC-MS による化学成分の分析と分類への応用(4). *Lichenology*. 22(1・2): 83.
- ・甲斐久博・山本美桜・加未悠人・清水玲亜・木下 薫・原田 浩. 2023. EI-MS による地衣類の分類法の検討. *Lichenology*. 22(1・2): 84.
- ・清水玲亜・木下 薫・藤原恒司・坂田歩美・原田 浩. 2023. 日本産ウメノキゴケ属 *Parmotrema* 地衣類の LC-MS による化学成分の分析と分類への応用. *Lichenology*. 22(1・2): 84.
- ・坂田歩美・泉 宏子・清水玲亜・木下 薫・原田 浩. 2024. 千葉県産の地衣類(13). *Cladonia pseudodidyma* コアカミゴケモドキ. 千葉県立中央博物館研究報告. 17(1): 31-40.

報告書

- ・原田 浩. 2024. ドロヒメカワイワタケ. 千葉県の保護上重要な野生生物 ―千葉県レッドデータブック― 追録. (6): 3.
- ・泉 宏子・原田 浩・坂田歩美. 2023. 地衣類調査記録, (25)八街市. 千葉県地衣類誌資料. (23): 63-74.
- ・松崎 務・坂田歩美・原田 浩. 2023. 長野県地衣類調査記録, (11)沢山池周辺と鞍が淵(独鈷山系 B 地点). 長野県地衣類誌資料. (11): 31-34.
- ・坂田歩美・原田 浩. 2024. 生態園の地衣類(2019~2023). 千葉県立中央博物館研究報告特別号. (12): 207-220.

普及書

- ・原田 浩. 2023. スカンディアモス? 日本地衣学会ニュースレター. (172): 680-681.

【歴史学研究科】

渡瀬綾乃

学術論文・学術書

- ・渡瀬綾乃. 2024. 石になったザクマタ-茨城県常陸大宮市の安産祈願と動物供養を事例に-. 民具マンスリー. 56(10): 1-10.

普及書

- ・渡瀬綾乃. 2024. 映像解説書「海をまとう ―万祝染のわざー」. 36 pp. 千葉県立中央博物館. 千葉.
- ・渡瀬綾乃. 2024. 映像解説パンフレット「海をまとう ―万祝染のわざー」. 8 pp. 千葉県立中央博物館. 千葉.

鈴木建人

学術論文・学術書

- ・鈴木建人. 2024. 安房国総社鶴谷八幡宮八幡宮蔵「縁起」に関する一考察―大永五年年紀と近世初期の地名変遷から―. 千葉県立中央博物館研究報告. 17(1): 104-116.

資料紹介

- ・石井友菜・初村武寛・高梨俊夫・鈴木建人. 2024. 千葉県夷隅郡大多喜町台古墳群の一円墳から出土した画文帯環状乳神獣鏡について. 千葉県立中央博物館研究報告. 17(1): 77-92.

【資料管理研究科】

萩野康則

普及書

- ・萩野康則. 2023. 企画展「関東 塩ものがたり」の紹介. 日本塩業の研究. (37): 125-137.
- ・萩野康則. 2024. エダヒゲムシ類. In: 茨城土壌動物研究会(編). 茨城でみられる土中の虫たち. pp. 155-173. ミュージアムパーク茨城県自然博物館. 坂東.

【生態学・環境研究科】

島立理子

普及書

- ・島立理子. 2024. 第3分科会「地域の特性と博物館」. 博物館研究. (59): 20-21.
- ・小田真裕・島立理子. 2024. 探訪 ちばの博物館―第3回 木更津市郷土博物館金のすずー. 「ちばの博物館」. (150):
- ・島立理子. 2024. 小さなマッチラベルから広がる世界. 美術の窓. (484): 136-137.

斉藤明子

学術論文・学術書

- ・斉藤明子. 2023. クロヒメトゲムシをコナラの樹液から採集. 房総の昆虫. (72): 48-49.
- ・斉藤明子. 2023. 鴨川市のアマミトガリナナフシ追加記録. 房総の昆虫. (73): 68.
- ・斉藤明子. 2023. 館山市で採集されたナナフシモドキの雄. 房総の昆虫. (73): 69.
- ・斉藤明子・尾崎煙雄. 2023. 「ナラ枯れ」に関連する甲虫3種-タイショウオオキノコ、ルイスホソカタムシ、ナガフトヒゲナガゾウムシ-. 房総の昆虫. (73): 12-14.

- ・斉藤明子・尾崎煙雄・鈴木 勝・村川功雄. 2023. 「東京大学千葉演習林の昆虫相」の追加と訂正 その7. 房総の昆虫, (73): 15-18.
- ・斉藤明子・尾崎煙雄・鈴木 勝・村川功雄. 2023. 千葉県の甲虫確認種数(2022年3月現在). 房総の昆虫, (12): 53-55.
- ・鈴木 勝・斉藤明子. 2023. 千葉県動物誌、千葉県産動物総目録に掲載されていない甲虫 補遺と追加(XII). 房総の昆虫, (73): 33-43.
- ・安川 憲・斉藤明子. 2023. 2022年千葉県におけるアサギマダラの移動調査. 房総の昆虫, (72): 5-6.
- ・尾崎煙雄・西内李佳・村川功雄・斉藤明子・樽宗一郎. 2024. 千葉県で60年ぶりに採集された天然生ヒノキバヤドリギ(ビャクダン科). 千葉県立中央博研究報告. 17(1): 41-44.
- ・斉藤明子・尾崎煙雄・斉藤 修・伴 光哲・西内李佳・鈴木 勝・大島健夫・樽宗一郎. 2024. 生態園の昆虫-2020~2023年の記録-. 千葉県立中央博研究報告特別号. (12): 51-109, vii-xiv.

普及書

- ・斉藤明子. 2023. 館のない博物館から(82) 外来の蝶、アカボシゴマダラ. 館報せいわ. (389): 4.

齋木健一

学術論文・学術書

- ・早川宗志・黒沢高秀・杉野孝雄・橋越清一・岡田 努・齋木健一. 2023. 清水東高等学校から見いだされた学校教材として販売されたさく葉標本. 植物地理・分類研究. 71: 33-43.
- ・早川宗志・杉野孝雄・橋越清一・岡田 努・黒沢高秀・齋木健一. 2023. 清水東高等学校に所蔵されていた教員や生徒により作製されたさく葉標本. 東海自然誌. (16): 1-6.
- ・齋木健一・黒住耐二. 2023. 高等学校に保存されている哺乳類および鳥類剥製標本の実態と歴史. 生物教育. 65: 2-17.

普及書

- ・齋木健一. 2024. 【わかることはおもしろい】図鑑コレクター・齋木健一に聞く図鑑の世界. KIDSNA STYLE(2024年1月4日). <https://kidsna.com/magazine/article/entertainment-report-240104-46343799>.
- ・齋木健一. 2023. いま「図鑑」が人気！楽しみ方と活用法. 老友新聞(2023年10月5日). <https://www.royu.com/news/royushinbunnya/11650.html>.
- ・齋木健一. 2023. AI時代に生き残れる？熱烈コレクターに聞く「図鑑の未来」【時事ドットコム取材班】. 時事ドットコム(2023年5月9日). <https://www.jiji.com/jc/v8?id=202305zukan-team>.

天野 誠

報告書

- ・西内李佳・天野 誠・大野啓一. 2024. 生態園の植物相(1986~2020年). 千葉県立中央博物館研究報告特別号. (12): 221-250.

普及書

- ・天野 誠. 2024. 綿毛でぬくぬくセーター着た植物. In: 大場秀章(監修). 植物のプロが伝える おもしろくてためになる植物観察の事典. pp. 34-37. 山と溪谷社. 東京.
- ・天野 誠. 2024. どこからが一枚の葉？ In: 大場秀章(監修). 植物のプロが伝える おもしろくてためになる植物観察の事典. pp. 70-72. 山と溪谷社. 東京.
- ・天野 誠. 2024. キノコと植物の密やかな関係. In: 大場秀章(監修). 植物のプロが伝える おもしろくてためになる植物観察の事典. pp. 114-117. 山と溪谷社. 東京.
- ・天野 誠. 2024. 敵を死にも至らしめる、植物たちの化学兵器. In: 大場秀章(監修). 植物のプロが伝える おもしろくてためになる植物観察の事典. pp. 122-125. 山と溪谷社. 東京.
- ・天野 誠. 2024. グラマーな雌とスリムな雄. In: 大場秀章(監修). 植物のプロが伝える おもしろくてためになる植物観察の事典. pp. 130-133. 山と溪谷社. 東京.
- ・天野 誠. 2024. 花はなくとも実は育つ？ In: 大場秀章(監修). 植物のプロが伝える おもしろくてためになる植物観察の事典. pp. 150-153. 山と溪谷社. 東京.
- ・天野 誠. 2024. 「虎視眈々」か「果報は寝て待て」か. In: 大場秀章(監修). 植物のプロが伝える おもしろくてためになる植物観察の事典. pp. 163-165. 山と溪谷社. 東京.
- ・天野 誠. 2024. 葉の経済学. In: 大場秀章(監修). 植物のプロが伝える おもしろくてためになる植物観察の事典. pp. 168-172. 山と溪谷社. 東京.
- ・天野 誠. 2024. ホタルブクロとハナバチ. In: 大場秀章(監修). 植物のプロが伝える おもしろくてためになる植物観察の事典. pp. 214-217. 山と溪谷社. 東京.
- ・天野 誠. 2024. 食べられるか残されるか、それが問題だ. In: 大場秀章(監修). 植物のプロが伝える おもしろくてためになる植物観察の事典. pp. 235-237. 山と溪谷社. 東京.
- ・天野 誠. 2024. 「こっちは実は甘いよ」鳥をだます木の実. In: 大場秀章(監修). 植物のプロが伝える おもしろくてためになる植物観察の事典. pp. 242-244. 山と溪谷社. 東京.
- ・天野 誠. 2024. 植物はなぜ毒をもつ？ In: 大場秀章(監修). 植物のプロが伝える おもしろくてためになる植物観察の事典. pp. 245-248. 山と溪谷社. 東京.
- ・天野 誠. 2024. ドクイリキケンでも悪食人間には効かず. In: 大場秀章(監修). 植物のプロが伝える おもしろくてためになる植物観察の事典. pp. 249-254. 山と溪谷社. 東京.

- ・天野 誠. 2024. 植物の脱走&不法侵入者—帰化植物. In: 大場秀章(監修). 植物のプロが伝える おもしろくてためになる植物観察の事典. pp. 256-259. 山と溪谷社. 東京.
- ・天野 誠. 2024. 穀物になるための条件. In: 大場秀章(監修). 植物のプロが伝える おもしろくてためになる植物観察の事典. pp. 290-294. 山と溪谷社. 東京.
- ・天野 誠. 2024. 雑草から穀物への物語. In: 大場秀章(監修). 植物のプロが伝える おもしろくてためになる植物観察の事典. pp. 295-297. 山と溪谷社. 東京.
- ・天野 誠. 2024. 植物の試験管ベイビー—ラン. In: 大場秀章(監修). 植物のプロが伝える おもしろくてためになる植物観察の事典. pp. 304-306. 山と溪谷社. 東京.
- ・天野 誠. 2024. 品種改良の一大精華—これがアサガオ? In: 大場秀章(監修). 植物のプロが伝える おもしろくてためになる植物観察の事典. pp. 307-310. 山と溪谷社. 東京.
- ・天野 誠. 2024. 口にすると危ない、身近な毒草. In: 大場秀章(監修). 植物のプロが伝える おもしろくてためになる植物観察の事典. pp. 311-313. 山と溪谷社. 東京.
- ・天野 誠. 2024. 山師に鍼脈を教える植物. In: 大場秀章(監修). 植物のプロが伝える おもしろくてためになる植物観察の事典. pp. 314-316. 山と溪谷社. 東京.

後藤 亮

報告書

- ・後藤 亮. 2024. 舟田池の魚類相. 千葉県立中央博物館研究報告特別号. (12): 47-50.

普及書

- ・後藤 亮. 2024. 館のない博物館から(83)メダカ. 館報せいわ. 390: 4.
- ・後藤 亮. 2024. 千葉県の希少種—キンブナー. 生命のにぎわいとつながり(生物多様性ちばニュースレター). 80: 4.

栗田隆気

学術論文・学術書

- ・Kurita, T. and M. Toda. 2024. Genetic and morphological studies on *Goniurosaurus kuroi* (Squamata: Eublepharidae), with a description of a new species from the northern part of Okinawajima Island, Ryukyu Archipelago, Japan. *Current Herpetology*. 43(1): 86-114.

報告書

- ・栗田隆気. 2024. 生態園で見られる両生爬虫類. 千葉県立中央博物館研究報告特別号. (12): 43-45.

西内李佳

学術論文・学術書

- ・尾崎煙雄・西内李佳・村川功雄・斉藤明子・樽宗一郎. 2024. 千葉県で60年ぶりに採集された天然生ヒノキバヤドリギ(ビャクダン科). 千葉県立中央博物館研究報告. 17(1): 41-44.
- ・斉藤明子・尾崎煙雄・斉藤 修・伴 光哲・西内李佳・鈴木 勝・大島健夫・樽 宗一郎. 2024. 生態園の昆虫—2020~2023年の記録—. 千葉県立中央博物館研究報告特別号. (12): 51-109, vii-xiv.
- ・尾崎煙雄・西内李佳. 2024. 生態園における森林群落の30年間の変化. 千葉県立中央博物館研究報告特別号. (12): 251-275.

報告書

- ・西内李佳. 2024. 序論—生態園の35年—. 千葉県立中央博物館研究報告特別号. (12): 1-4.
- ・西内李佳・天野 誠・大野啓一. 2024. 生態園の植物相(1986~2020年). 千葉県立中央博物館研究報告特別号. (12): 221-250.

坂田歩美

学術論文・学術書

- ・Sakata, A., T. Sado, S. Oka, M. Ushio and M. Miya. 2023. Collection of environmental DNA from stemflow for monitoring arboreal biodiversity: preliminary validation using lichens. *MethodsX*. 11: 102448.
- ・Sakata, A., H. Otake, H. Harada and K. Shimizu. 2023. The Japanese so-called *Bulbothrix isidiza* belongs to *B. subscortea*. *Lichenology*. 21(2): 41-51.
- ・原田 浩・原光二郎・木下 薫・坂田歩美. 2023. 日本産地衣類の総合的なデータベースの整備とウェブ公開(2022). *Lichenology*. 21(2): 60.
- ・坂田歩美・原光二郎・原田 浩. 2023. 日本産海岸生広義ダイダイゴケ属 *Caloplaca* s. lat. —*Mikhtomia multicolor*—. *Lichenology*. 21(2): 60.
- ・木下 薫・谷川寛典・河崎 星・坂田歩美・原田 浩. 2023. 日本産海岸生地衣類のLC/MSによる化学成分の分析と分類への応用(4). *Lichenology*. 21(2): 62.
- ・清水玲亜・木下 薫・藤原恒司・坂田歩美・原田 浩. 2023. 日本産地衣類のLC/MSによる化学成分の分析と分類への応用—ウチキウメノキゴケ属 *Myelochroa* と広義スミイボゴケ属 *Buellia* s. lat. を中心として—. *Lichenology*. 21(2): 61.
- ・Tanikawa, H., H. Sasaki, A. Sakata, H. Harada and K. Kinoshita. 2023. LC-MS analysis of secondary metabolites (lichen substances) of marine and maritime lichens in Japan, genus *Enterographa*. *Lichenology*. 22(1・2): 33-36.
- ・原田 浩・坂田歩美・桑原 健. 2023. *Placidium squamulosum* ドロヒメイワタケ(子嚢地衣類, アナイボゴケ科)は千葉県に産す. *Lichenology*. 22(12): 37-42.

- ・坂田歩美・原光二郎・谷川寛典・谷口 潤・菅原晴香・木下 薫・原田 浩. 2023. 日本産海岸生地衣類図鑑(6). *ダイダイゴケ科*. *Lichenology*. 22 (1・2): 59-74.
- ・原田 浩・原光二郎・木下 薫・坂田歩美. 2023. 日本産地衣類の総合的なデータベースの整備とウェブ公開(2023). *Lichenology*. 22(1・2): 82.
- ・原光二郎・坂田歩美・木下 薫・原田 浩. 2023. 日本産地衣類の DNA バーコードライブラリーの整備. *Lichenology*. 22 (1・2): 82.
- ・坂田歩美・原光二郎・谷口 潤・菅原晴香・谷川寛典・清水玲亜・木下 薫・原田 浩. 2023. 日本産海岸生 *Orientophila* 属. *Lichenology*. 22 (1・2): 83.
- ・木下 薫・清水玲亜・谷川寛典・坂田歩美・原田 浩. 2023. 日本産海岸生 *Orientophila* 属の LC-MS による化学成分の分析と分類への応用(4). *Lichenology*. 22 (1・2): 83.
- ・清水玲亜・木下 薫・藤原恒司・坂田歩美・原田 浩. 2023. 日本産ウメノキゴケ属 *Parmotrema* 地衣類の LC-MS による化学成分の分析と分類への応用. *Lichenology*. 22 (1・2): 84.
- ・坂田歩美・泉 宏子・清水玲亜・木下 薫・原田 浩. 2024. 千葉県産の地衣類(13). *Cladonia pseudodidyma* コアカミゴケモドキ. 千葉県立中央博物館研究報告. 17 (1): 31-40.

報告書

- ・泉 宏子・原田 浩・坂田歩美. 2023. 地衣類調査記録, (25)八街市. 千葉県地衣類誌資料. (23): 63-74.
- ・松崎 務・坂田歩美・原田 浩. 2023. 長野県地衣類調査記録, (11)沢山池周辺と鞍が淵(独鈷山系 B 地点). 長野県地衣類誌資料. (11): 31-34.
- ・坂田歩美・原田 浩. 2024. 生態園の地衣類(2019~2023). 千葉県立中央博物館研究報告特別号. (12): 207-220.

普及書

- ・坂田歩美. 2023. 千葉県立中央博物館における市民向け地衣類学習支援その1「コケサークル(地衣類)」。日本地衣学会 ニュースレター. (170): 667-670.
- ・坂田歩美. 2023. 房総の動植物(1)ハナゴケ属地衣類. しいむじな(房総のフィールド・ミュージアムニュースレター). 81: 3.

千葉友樹

普及書

- ・千葉友樹. 2024. 特集 地層をはぎ取る. しいむじな(房総のフィールド・ミュージアムニュースレター). 84:1-2.
- ・千葉友樹. 2023. 館のない博物館から(81)ウェブサイト「しいむじな」を公開しました. 館報せいわ. 388: 4.
- ・千葉友樹. 2023. 国内のチバニアン期の地層の分布. In: 千葉県立中央博物館(編). 千葉県立中央博物館 令和5年度特別展 よみがえるチバニアン期の古生物. p. 12. 千葉県立中央博物館. 千葉.
- ・千葉友樹. 2023. チバニアン期後の房総. In: 千葉県立中央博物館(編). 千葉県立中央博物館 令和5年度特別展 よみがえるチバニアン期の古生物. p. 62. 千葉県立中央博物館. 千葉.
- ・千葉友樹. 2023. 沖積層の化石. In: 千葉県立中央博物館(編). 千葉県立中央博物館 令和5年度特別展 よみがえるチバニアン期の古生物. pp. 67-69. 千葉県立中央博物館. 千葉.

【環境教育研究科】

高山順子

普及書

- ・高山順子. 2023. 房総の動植物(2) 千葉県の砂浜に棲むカニ. しいむじな(房総のフィールド・ミュージアム ニュースレター). 82: 3.

桑原和之

報告書

- ・平田豊治・桑原和之. 2023. 野田山ラインセンサス結果2020年. In: 日本野鳥の会石川(編). 石川野鳥年鑑2020. pp. 91-94. 日本野鳥の会石川. 金沢.

普及書

- ・桑原和之. 2023. 利根川流域の鳥たち. しいむじな(房総のフィールド・ミュージアム ニュースレター). 82: 1-2.

高橋直樹

報告書

- ・高橋直樹. 2024. 生態園の岩石観察地. 千葉県立中央博物館研究報告特別号. (12): 7-19.

普及書

- ・高橋直樹. 2023. 習志野隕石と発見の状況. あすてろいど. 32(2): 19-20.
- ・高橋直樹・赤司卓也. 2024. 「石なし県」千葉における石材利用. In: 鈴木寿志(編集代表)・伊藤 孝・高橋直樹・川村教一・田口公則(編). 変動帯の文化地質学. pp. 88-103. 京都大学学術出版会. 京都.
- ・高橋直樹・八木令子. 2024. 地域を見る目を育てる—地域博物館の使命. In: 鈴木寿志(編集代表)・伊藤 孝・高橋直樹・川村教一・田口公則(編). 変動帯の文化地質学. pp. 467-484. 京都大学学術出版会. 京都.
- ・高橋直樹. 2023. チバニアン期の地層と房総半島. In: 千葉県立中央博物館(編). 千葉県立中央博物館 令和5年度特別展 よみがえるチバニアン期の古生物. p. 4. 千葉県立中央博物館. 千葉.
- ・高橋直樹. 2023. 房総半島の地層とそのなりたち. In: 千葉県立中央博物館(編). 千葉県立中央博物館 令和5年度特別展 よみがえるチバニアン期の古生物. pp. 6-7. 千葉県立中央博物館. 千葉.

- ・高橋直樹. 2023. チバニアン期の地層の広がり. In: 千葉県立中央博物館(編). 千葉県立中央博物館 令和5年度特別展 よみがえるチバニアン期の古生物. p. 8. 千葉県立中央博物館. 千葉.
- ・高橋直樹・岡崎浩子. 2023. さまざまな環境に堆積したチバニアン期の地層. In: 千葉県立中央博物館(編). 千葉県立中央博物館 令和5年度特別展 よみがえるチバニアン期の古生物. pp. 9-10. 千葉県立中央博物館. 千葉.

(2) 研究発表

【教育普及課】

伊左治 鎮司

- ・伊左治 鎮司/2024. 1. 27/手取層群産 *Unio ogamigoensis* Kobayashi and Suzuki, 1937 の分類学的再検討とその生息環境に関する考察/日本古生物学会/東北大学/仙台市.

林 紀男

- ・林 紀男/2023. 5. 15/アオコ・ミジンコ・水草を通じた八郎湖の水環境保全/秋田公立美術大学 地域プロジェクト/秋田公立美術大学/秋田市.
- ・林 紀男/2023. 8. 19/侵略的外来水生植物が及ぼす水環境への多面的影響/第8回美しい地球環境講座/山形県工業技術センター/山形市.
- ・北野雅人・山崎祐二・木村 文・今藤夏子・角谷 拓・松木和雄・林 紀男・伊藤 元/2023. 9/環境 DNA 分析によるトンボ目の網羅的検出と既存調査手法との比較/第26回全国大会応用生態工学会/京都大学/宇治市.
- ・林 紀男/2023. 12. 2/三種川がつなぐ八郎潟のモグ復活と水生生物の回廊創出/第3回八郎湖モグリウム成果報告会/湖北亭/秋田県三種町.
- ・林 紀男/2023. 12. 18/ため池での水位変動という人為的攪乱による水環境保全/地球環境科学科生物圏環境学分野ミニシンポジウム「自然環境の保全について考える」/立正大学/熊谷市.
- ・北野雅人・山崎祐二・木村 文・今藤夏子・角谷 拓・松木和雄・林 紀男・伊藤 元/2024. 2. 21/環境 DNA 分析によるトンボ目の網羅的検出と既存調査手法との比較/グリーンインフラ・ネットワーク・ジャパン 2024 全国大会(GIJ2024)/東京ビッグサイト西ホール/東京都江東区.
- ・林 紀男/2024. 2. 23/侵略的外来水生植物 2023 年の繁茂状況～オオカワヂシャの現状を交えて～/千葉県生物学会 2024 年度研究発表会/千葉県立中央博物館/千葉市.

小林裕美

- ・小林裕美/2023. 12. 2/房総の神輿祭礼一神幸祭を中心にして一/第77回令和5年度神道宗教学会学術シンポジウム/國學院大学/東京都渋谷区.

大津千晶

- ・大津千晶・斎木健一・天野 誠・御巫由紀・山本伸子・西内李佳・浅野紗彩/2023. 11. 3/博物館・市町村・ボランティア等の連携による県内植物相調査の取り組み/第26回 自然系調査研究機関連絡会議(NORNAC 26)/兵庫県立人と自然の博物館/三田市.

照屋清之介

- ・照屋清之介/2023. 5. 28/日本産のホタルガイ類について/第29回房総貝類談話会/千葉県立中央博物館/千葉市.
- ・照屋清之介・寺本沙也加・佐々木猛智/2023. 6. 24/日本列島におけるホタルガイ属の種多様性/日本貝類学会令和5年度大会/東邦大学/船橋市.
- ・佐々木猛智・照屋清之介/2023. 6. 24/貝の標本学/日本貝類学会令和5年度大会/東邦大学/船橋市.
- ・寺本沙也加・照屋清之介・佐々木猛智/2023. 6. 24/琉球列島に漂着した外国製パイに付着した貝類/日本貝類学会令和5年度大会/東邦大学/船橋市.
- ・照屋清之介/2024. 3. 17/洞窟外から見つかった海底洞窟性貝類の記録/第30回房総貝類談話会/千葉県立中央博物館/千葉市.

須田華那

- ・須田華那/2023. 12. 16/一九世紀前半における根津門前町と都市社会：三井家と江戸町会所に着目して/2023年度都市史学会大会(東京)/東京大学/東京都文京区.

【企画調整課】

大木淳一

- ・大木淳一/2023. 5. 21/子どもの発達段階に応じて学ぶ屋敷楼～こども園での実践例～/令和5年度日本屋敷楼協議会研究発表会/魚津埋没林博物館/魚津市.
- ・大木淳一/2023. 10. 29/九十九里の屋敷楼/第13回日本ジオパーク全国大会 in 関東中央会場「屏風ヶ浦ジオマルシェ」/千葉科学大学/銚子市.
- ・大木淳一・桑名知碧・三浦郁夫/2023. 12. 9/千葉県に生息する繁殖時期の異なるタゴガエル個体群(その2)/日本爬虫両棲類学会第62回大会/東邦大学/船橋市.
- ・大木淳一/2023. 12. 9/房総半島に生息するタゴガエルの3つの魅力/日本爬虫両棲類学会第62回大会カエル探偵団自由集会招待講演/東邦大学/船橋市.
- ・三浦郁夫・F. Shams・大木淳一・青西靖夫・林 浩介・田上正隆・藤田宏之・桑名知碧・T. Ezaz/2023. 12. 10/タゴガエル種群の性染色体進化：Y染色体の種間移動とその起源/日本爬虫両棲類学会第62回大会/東邦大学/船橋市.

・大木淳一/2023. 2. 18/九十九里の蜃気楼～変形太陽編～/日本気象予報士会千葉支部例会招待講演/千葉市文化センター/千葉市.

尾崎煙雄

・尾崎煙雄・斉藤明子・村川功雄/2023. 9. 2/千葉県で発生したナラ枯れについて/樹木医会千葉県支部東ブロック研修会/四街道市文化センター/四街道市.
・尾崎煙雄/2023. 12. 8/房総丘陵の自然/郷土資料館セミナー/鎌ヶ谷市郷土資料館/鎌ヶ谷市.
・木村悟朗・足立行男・尾崎煙雄/2024. 3. 22/BG-Proによるカシノナガキイムシの捕獲事例/都市有害生物管理学会大会/麻布大学/相模原市.

樽宗一朗

・金子直樹・野村周平・大島千幸・柿添翔太郎・樽宗一朗・内海幸弘/2023. 10. 14/皇居における大型コガネムシ類の発生状況について(2023年度経過報告)/関東昆虫学研究会第7回大会/オンライン.

玉井里奈

・玉井里奈/2023. 11. 16/千葉県誕生150周年記念事業「みんなで創るふるさと千葉 古写真デジタルアーカイブ」について/第71回全国博物館大会/千葉市文化センター/千葉市.

菊川照英

・菊川照英・相田吉昭・古川 登・小竹信宏/2023. 10. 14/生痕化石 *Tasselia ordamensis* から産出した保存良好な放散虫化石群集と層序学的重要性: 三浦層群天津層の例/日本地質学会/京都大学/京都市.

浅野紗彩

・板羽貴史・持田 大・稲川博紀・大野祥子・永谷 工・高田純子・浅野(田村)紗彩・中村 剛/日本植物園協会「植物個体管理データベース」への登録と二次元バーコード付き植物ラベルの作成: 北海道大学植物園における試行例/日本植物園協会第58回大会/高知県立牧野植物園/高知市.
・(Tamura) Asano, S., T. Yukawa and K. Nakamura/Problems for conservation in record management of living collections of Japanese botanic gardens/10th East Asian Plant Diversity and Conservation Symposium 2023/Osaka City University (on line)/Osaka, Japan.
・大津千晶・斎木健一・天野 誠・御巫由紀・山本伸子・西内李佳・浅野紗彩/2023. 11. 3/博物館・市町村・ボランティア等の連携による県内植物相調査の取り組み/第26回 自然系調査研究機関連絡会議(NORNAC 26)/兵庫県立人と自然の博物館/三田市.

【地学研究科】

奥田昌明

・奥田昌明/2023. 7. 29/77 万年前の地場逆転期を中心とした環境花粉学/令和5年度チバニアンガイド養成講座/市原市立加茂公民館/市原市.
・奥田昌明/2023. 11. 8/千葉県 県政トピックス ～チバニアンについて～①/千葉県生涯大学校 京葉学園 学部講座/千葉県生涯大学校 京葉学園 仁戸名校舎/千葉市.
・奥田昌明/2023. 12. 15/千葉県 県政トピックス ～チバニアンについて～②/千葉県生涯大学校 東葛飾学園 学部講座/千葉県生涯大学校 東葛飾学園 江戸川台校舎/流山市.
・奥田昌明/2024. 2. 20/千葉県 県政トピックス ～チバニアンについて～③/千葉県生涯大学校 柏シルバー大学院 講座/東葛テクノプラザ/柏市.

丸山啓志

・丸山啓志/2023. 10. 14/ホネを使った教育普及活動での試行錯誤/ホネホネサミット 2023/大阪市立自然史博物館/大阪市.
・丸山啓志/2023. 10. 14/ホネにまつわる 3D データ・ウェブサイトの活用/ホネホネサミット 2023/大阪市立自然史博物館/大阪市.
・丸山啓志/2024. 1. 26-1. 28/LiDAR センサー搭載のスマートフォンやタブレットを用いたお手軽 3D デジタル標本の作成と活用/日本古生物学会 173 回例会/東北大学/仙台市.

【動物学研究科】

駒井智幸

・藤田喜久・駒井智幸・成瀬 貴/2023. 10. 15/沖縄島の海底洞窟から採集された *Orcovita* 属カニ類/日本甲殻類学会/東京海洋大学/東京都品川区.
・長坂忠之助・駒井智幸/2023. 10. 14/加計呂麻島から得られたツノヤドカリ属の 1 新種(十脚目: 異尾下目: ヤドカリ科)/日本甲殻類学会/東京海洋大学/東京都品川区.

宮 正樹

・Pananganan, B. G., Y. Isowa, M. D. A. Ramirez, T. Yamamoto, M. Miya and T. Kajita/2023. 5. 18/Monitoring fish biodiversity using eDNA metabarcoding in a World Natural Heritage Island, Iriomote, Okinawa, Japan/The eDNA Society International Meeting 2023/Piazza Omi/Otsu, Japan.
・Salmo III, S. G., Y. Isowa, M. D. A. T. Sado, K. Ito, M. Basyuni, S. Imura, K. Ishigaki, M. Miya and T. Kajita/2023. 5. 18/Detection of the fish biodiversity in mangrove ecosystem in Nakara River at Iriomote Island, Japan using MiFish eDNA metabarcoding/The eDNA Society International Meeting 2023/Piazza Omi/Otsu, Japan.

- Ushio, M., T. Sado, T. Fukuchi, S. Sasano, R. Masuda, Y. Osada and M. Miya/Temperature sensitivity of the interspecific interaction strength of coastal marine fish communities / 2023.5.18 / The eDNA Society International Meeting 2023/Piazza Omi/Otsu, Japan.
- Zhu, M., M. Kuroki, T. Kobayashi, T. Yamakawa, T. Sado, K. Kodama, T. Horiguchi and M. Miya/Comparison of fish fauna evaluated using aqueous eDNA, sedimentary eDNA, and catch surveys in Tokyo Bay, central Japan / 2023.5.18 / The eDNA Society International Meeting 2023/Piazza Omi/Otsu, Japan.
- Zhu, T., Y. Sato, T. Sado, M. Miya and W. Iwasaki / 2023.5.18 / MitoFish and MiFish Pipeline: recent updates for facilitating environmental DNA research / 2023.5.18 / The eDNA Society International Meeting 2023/Piazza Omi/Otsu, Japan.
- Gotoh, R.O., T. Sado, T. Fukuchi and M. Miya / 2023.5.17-19 / Spatio-temporal dynamics of fish communities along the coastal region of Boso Peninsula, central Japan: preliminary results from eDNA metabarcoding based on biweekly sampling for two years / The eDNA Society International Meeting 2023/Piazza Omi/Otsu, Japan.
- 宮 正樹 / 2023.11.2 / 環境 DNA メタバーコーディング MiFish 法の最新情報 - 魚類群集の時空間変動を捉える - / OceanDNA テック 2023 / 東京大学大気海洋研究所 / 柏市.
- 宮 正樹 / 2023.12.3 / 環境 DNA メタバーコーディング - バケツ一杯の水から棲んでいる魚がわかる技術 - / 第6回環境 DNA 学会九州大会・公開シンポジウム「革新技術の環境 DNA が拓く科学と社会の新たな姿」 / 九州大学西新プラザ / 福岡市.
- 坂田歩美・佐土哲也・岡慎一郎・潮 雅之・宮 正樹 / 2023.12.4-5 / 樹幹流を利用した新たな樹上生物多様性モニタリング法の開発と地衣類を用いた予備的検証 / 第6回環境 DNA 学会九州大会 / 九州大学 / 福岡市.

黒住耐二

- 黒住耐二 / 2023.10.14 / 土器圧痕で見られた貝類 / 学術変革領域研究(A) : A02 班 : 土器に残る動植物痕跡の形態学的研究 / 2023 年度第 1 回成果報告会 / 熊本大学(オンライン) / 熊本市.
- 黒住耐二 / 2023.10.14 / 平瀬貝類コレクションのラベル / 第 29 回房総貝類談話会 / 千葉県立中央博物館 / 千葉市.
- 黒住耐二 / 2023.10.14 / 縄文時代の巻貝形土製品のモデルと水かがみ利用の可能性 / 日本動物考古学会第 10 回大会 / 北海道大学総合博物館 / 札幌市.
- 黒住耐二 / 2023.10.14 / 浜詰貝塚の貝からわかること / 浜詰貝塚に生きた縄文人～京都府下唯一の縄文貝塚を探る～ 令和 5 年度第 2 回京丹後市文化財セミナー / アグリセンター大宮 / 京丹後市.
- 中村直子・新里亮人・山野ケン陽次郎・竹中正巳・黒住耐二・樋泉岳二・新里貴之・寒川朋枝・高宮広土 / 2023.10.14 / 種子島小浜貝塚-2023 年の発掘調査を中心に / 2023 年度鹿児島県考古学会総会・研究発表会 / 鹿児島大学 / 鹿児島市.
- 黒住耐二 / 2023.10.14 / 江戸の人たちと貝 / 貝と人びとの暮らし いまむかし 2023 年夏休み学習会 港区立郷土歴史館・東京海洋大学マリンサイエンスミュージアム連携事業 <見て・さわって 7・学ぼう> - 東京湾 自然と人 - / 港区立郷土歴史館 / 東京都港区.
- 黒住耐二 / 2023.10.14 / 土器は第二の貝塚 / 「見えた、わかった縄文人 : 土器が語る縄文人の暮らし・食・心」, 学術変革領域研究(A) 「土器を掘る」市民講演会 / 明治大学 / 東京都千代田区.
- 黒住耐二 / 2023.10.14 / 貝類利用の変遷史 / 第 30 回房総貝類談話会 / 千葉県立中央博物館 / 千葉市.

【植物学研究科】

御巫由紀

- Oyama-Okubo, N. & Y. Mikanagi / 2023.10.14 / Analysis of Floral Scent Components of Roses with Unpleasant Odor / The 4th Asian Horticultural Congress / The University of Tokyo / Bunkyo-ku, Japan.
- 大久保直美・御巫由紀 / 2023.10.14 / バラの香りに含まれるカメムシフェロモン様物質 / 第 67 回香料・テルペンおよび精油化学に関する討論会 / 千葉大学 / 千葉市.

吹春俊光

- 吹春俊光・P. Thao Nguyen・N. Hung Nguyen・清水公徳 / 2023.5.28 / 東京大学千葉演習林の *Coprinopsis* 属(ナヨタケ科)の未知 1 種(その後) / 日本菌学会第 67 回大会 / くまもと県民交流会館 / 熊本市.

原田 浩

- 原田 浩・原光二郎・木下 薫・坂田歩美 / 2023.7.15-16 / 日本産地衣類の総合的なデータベースの整備とウェブ公開 (2023) / 日本地衣学会第 22 回大会 / 東京理科大学 / 東京都葛飾区.
- 原光二郎・坂田歩美・木下 薫・原田 浩 / 2023.7.15-16 / 日本産地衣類の DNA バーコードライブラリーの整備 / 日本地衣学会第 22 回大会 / 東京理科大学 / 東京都葛飾区.
- 坂田歩美・原光二郎・谷口 潤・菅原晴香・谷川寛典・清水玲亜・木下 薫・原田 浩 / 2023.7.15-16 / 日本産海岸生 *Orientophila* 属 / 日本地衣学会第 22 回大会 / 東京理科大学 / 東京都葛飾区.
- 木下 薫・清水玲亜・谷川寛典・坂田歩美・原田 浩 / 2023.7.15-16 / 日本産海岸生 *Orientophila* 属の LC-MS による化学成分の分析と分類への応用(4) / 日本地衣学会第 21 回大会 / 東京理科大学 / 東京都葛飾区.
- 清水玲亜・木下 薫・藤原恒司・坂田歩美・原田 浩 / 2023.7.15-16 / 日本産ウメノキゴケ属 *Parmotrema* 地衣類の LC-MS による化学成分の分析と分類への応用 / 日本地衣学会第 22 回大会 / 東京理科大学 / 東京都葛飾区.
- 甲斐久博・山本美桜・加未悠人・清水玲亜・木下 薫・原田 浩 / 2023.7.16 / EI-MS による地衣類の分類法の検討 / 日本地衣学会第 22 回大会 / 東京理科大学 / 東京都葛飾区.

【歴史学研究科】

渡瀬綾乃

・渡瀬綾乃/2023.10.23/安産祈願と犬猫供養の今 ―茨城県常陸大宮市を主な事例として―/日本民俗学会第75回年会/成城大学/東京都世田谷区.

【資料管理研究科】

萩野康則

・萩野康則/2023.7.23/「関東 塩ものがたり」～関東地方の塩の生産と流通の歴史について/千葉県文化財保護協会令和5年度第1回文化財講演会/千葉県立中央博物館/千葉市.

【生態学・環境研究科】

島立理子

・島立理子/2024.2.12/千葉県立中央博物館の画像資料の整理と公開/日本アーカイブズ学会/オンライン.

後藤 亮

・Gotoh, R.O., T. Sado, T. Fukuchi and M. Miya/2023.5.17-19/Spatio-temporal dynamics of fish communities along the coastal region of Boso Peninsula, central Japan: preliminary results from eDNA metabarcoding based on biweekly sampling for two years/The eDNA Society International Meeting 2023/Piazza Omi/Otsu, Japan.

坂田歩美

・原田 浩・原光二郎・木下 薫・坂田歩美/2023.7.15-16/日本産地衣類の総合的なデータベースの整備とウェブ公開(2023)/日本地衣学会第22回大会/東京理科大学/東京都葛飾区.

・原光二郎・坂田歩美・木下 薫・原田 浩/2023.7.15-16/日本産地衣類のDNAバーコードライブラリーの整備/日本地衣学会第22回大会/東京理科大学/東京都葛飾区.

・坂田歩美・原光二郎・谷口 潤・菅原晴香・谷川寛典・清水玲亜・木下 薫・原田 浩/2023.7.15-16/日本産海岸生 *Orientophila* 属/日本地衣学会第22回大会/東京理科大学/東京都葛飾区.

・木下 薫・清水玲亜・谷川寛典・坂田歩美・原田 浩/2023.7.15-16/日本産海岸生 *Orientophila* 属のLC-MSによる化学成分の分析と分類への応用(4)/日本地衣学会第22回大会/東京理科大学/東京都葛飾区.

・清水玲亜・木下 薫・藤原恒司・坂田歩美・原田 浩/2023.7.15-16/日本産ウメノキゴケ属 *Parmotrema* 地衣類のLC-MSによる化学成分の分析と分類への応用/日本地衣学会第22回大会/東京理科大学/東京都葛飾区.

・坂田歩美・佐土哲也・岡慎一郎・潮 雅之・宮 正樹/2023.12.4-5/樹幹流を利用した新たな樹上生物多様性モニタリング法の開発と地衣類を用いた予備的検証/第6回環境DNA学会九州大会/九州大学/福岡市.

・坂田歩美/2024.2.21-22/千葉県立中央博物館生態園でのボランティア活動について/全国科学博物館協議会研究発表大会/滋賀県立琵琶湖博物館/草津市.

【環境教育研究科】

高橋直樹

・高橋直樹・赤司卓也/2023.9.19/千葉県における第四紀堆積岩石材/日本地質学会第130年学術大会/京都大学/京都市.

・高橋直樹/2023.12.16/石碑からみた関東大震災における千葉県内の被害の様相/千葉県地学教育研究会 令和6年度研究発表会/千葉県立中央博物館/千葉市.

5 研究交流

(1) 海外出張

奥田昌明

・渡航先 : イタリア共和国
・渡航目的: チバニアンと競合したイタリア南部都市(モンタルバーノ・イオニコ等)の現地撮影及び地層調査
・渡航期間: 令和5年9月21日~10月6日(16日間)
・備考: 科学研究費

黒住耐二

・渡航先 : 大韓民国
・渡航目的: 歴史系博物館での展示資料調査および第14回日韓新石器研究会参加
・渡航期間: 令和5年8月18日~20日
・備考: 科学研究費

下稲葉さやか

・渡航先 : 台湾
・渡航目的: 台湾原住民族のキョンの狩猟方法に関する調査(自然保護課と共同で実施)
・渡航期間: 令和5年12月26日~令和6年1月2日(8日間)
・備考: 県費(令和5年度短期海外研修)

島立理子

・渡航先 : 中華民国
・渡航目的: 自然に関する文化的資産の保全・劣化要因の把握と教育・観光資源化にむけた検討にかかる調査
・渡航期間: 令和5年9月10日~16日(7日間)

・備考：科学研究費

(2) 海外研究者の来訪

Amy Y. Then ・国籍・所属：マレーシア・マラヤ大学
・滞在期間：令和6年3月18日
・対応職員：駒井智幸

Yukyung Kim ・国籍・所属：大韓民国・梨花女子大学校
・滞在期間：令和4年9月21日
・対応職員：照屋清之介

(3) 各種委員・非常勤講師等の受託

【教育普及課】

伊左治 鎮司

・非常勤講師(受託)／千葉大学／2023.4-2024.3
・普及書執筆(受託)／コロナ社／2023.4-2023.12

林紀男

・環境省自然環境局皇居外苑濠環境保全計画検討会検討委員／2023.6-2024.3
・千葉県印旛沼流域水循環健全化会議水環境部会委員／2023.4.-2024.3
・千葉県手賀沼水環境保全協議会水生植物再生活用事業検討委員会委員／2023.4.-2024.3
・千葉県ナガエツルノゲイトウ等対策庁内連絡会議委員／2023.4.-2024.3
・非常勤講師(受託)／東邦大学理学部／2023.4.-2024.3

小林裕美

・佐倉市文化財審議会委員／佐倉市教育委員会／2022.4-2024.3-
・印西市立印旛歴史民俗資料館運営委員会委員／印西市教育委員会／2022.4-2024.3
・篠籠田の獅子舞調査検討委員会委員／柏市教育委員会／2023.6-2024.3-
・四街道市文化財審議会委員／四街道市教育委員会／2023.6-2025.3-
・一宮町史編さん委員／一宮町教育委員会／2023.5-2024.3-

照屋清之介

・千葉県希少生物及び外来生物に係るリスト作成検討会委員(動物部会：貝類)／千葉県環境生活部自然保護課／2023.6-2024.3
・沖縄県版レッドデータブック軟体動物分科会／沖縄県環境部自然保護課／2023.4-2024.3

【企画調整課】

大木淳一

・最新 地学事典 地学教育・普及分野編集委員／地学団体研究会／2022.6-2024.3

山本伸子

・環境省希少野生動植物種保存推進員／環境省自然環境局野生生物課／2021.7-2024.6
・千葉県希少生物及び外来生物に係るリスト作成検討会種子植物分科会委員／千葉県環境生活部自然保護課／2023.4-2024.3
・非常勤講師(受託)／千葉大学／2023.4-2024.3

尾崎煙雄

・モニタリングサイト1000 里地調査検討会委員／(公財)日本自然保護協会／2023.4-2024.3

水野大樹

・千葉県希少生物及び外来生物に係るリスト作成検討会委員(植物・菌類部会：シダ)／千葉県環境生活部自然保護課／2023.4-2024.3
・成東・東金食虫植物群落保護検討委員会作業部会委員／山武市教育委員会／2023.4-2024.3
・環境省希少野生動植物種保存推進員／環境省自然環境局野生生物課／2023.4-2024.3

樽宗一朗

・千葉県希少生物及び外来生物に係るリスト作成検討会委員(動物部会：昆虫類)／千葉県環境生活部自然保護課／2023.4-2024.3

【地学研究科】

加藤久佳

・非常勤講師(受託)／千葉大学／2020.4-2021.3
・市原市地磁気逆転地層保存活用検討委員会委員／市原市教育委員会／2021.10-2023.9, 2023.10-

八木令子

・非常勤講師(受託)／千葉経済大学／2023.4-2024.3
・非常勤講師(受託)／国際医療福祉大学／2023.7.8

- ・市原市文化財審議会委員／市原市教育委員会／2023. 6-

【動物学研究科】

駒井智幸

- ・環境省希少野生動植物種保存推進員／環境省自然環境局野生生物課／2020. 7-2024. 6
- ・令和5年度絶滅のおそれのある野生生物の選定・評価検討会 その他無脊椎動物分科会委員／環境省自然環境局野生生物課／2023. 4-2024. 3
- ・千葉県希少生物及び外来生物に係るリスト作成検討会委員(動物部会：甲殻類)／千葉県環境生活部自然保護課／2023. 4-2024. 3
- ・東京都レッドリスト検討会専門部会委員／東京都環境局環境事業部調査2課／2024. 2-2024. 3

黒住耐二

- ・環境省希少野生動植物種保存推進員／環境省自然環境局野生生物課／2020. 7-2024. 6
- ・千葉県希少生物及び外来生物に係るリスト作成検討会委員(動物部会：貝類)／千葉県環境生活部自然保護課／2023. 4-2024. 3
- ・千葉県ミヤコタナゴ保全協議会委員／千葉県多様性センター／2017. 4-2024. 3
- ・成田空港の更なる機能強化事業に係る自然環境保全検討座談会専門部会委員／成田空港株式会社／2022. 4-2024. 3
- ・与論城跡出土の貝類遺体の分類・分析手法に対する指導、助言(依頼文書決済み旅費別途出張)／鹿児島県与論町教育委員会／2023. 5. 24-26
- ・学位請求論文副査(受託)／早稲田大学文学学術院／2023. 7. 6
- ・「港区立郷土歴史館・東京海洋大学マリンサイエンスミュージアム連携事業」〈見て・さわって7・学ぼう〉—東京湾 自然と人— 講師(受託)／港区立郷土歴史館／2023. 8. 2

下稲葉さやか

- ・環境省希少野生動植物種保存推進員／環境省自然環境局野生生物課／2021. 7-2024. 6
- ・千葉県希少生物及び外来生物に係るリスト作成検討会委員(動物部会：哺乳類)／千葉県環境生活部自然保護課／2023. 4-2024. 3

【植物学研究科】

御巫由紀

- ・千葉県希少生物及び外来生物に係るリスト作成検討会種子植物分科会委員／千葉県環境生活部自然保護課／2023. 4-2024. 3
- ・木更津市教育委員会／木更津市文化財保護審議会委員／2023. 4-2024. 3
- ・市川市公園緑地課／市川市緑の調査専門委員／2023. 4-2024. 3
- ・国営越後丘陵公園／国際香りのバラ新品種コンクール審査員／2023. 4-2024. 3
- ・非常勤講師(受託)／千葉大学／2023. 4-2024. 3

吹春俊光

- ・令和5年度絶滅のおそれのある野生生物の選定・評価検討会 蘚苔類・藻類・地衣類・菌類分科会委員／環境省自然環境局野生生物課／2023. 4-2024. 3
- ・環境省希少野生動植物種保存推進員／環境省自然環境局野生生物課／2023. 4-2024. 3
- ・千葉県希少生物及び外来生物に係るリスト作成検討会委員(植物・菌類部会：菌類)／千葉県環境生活部自然保護課／2023. 4-2024. 3

原田 浩

- ・千葉県希少生物及び外来生物に係るリスト作成検討会地衣類分科会委員／千葉県環境生活部自然保護課／2023. 4-2024. 3
- ・成田国際空港の更なる機能強化事業に係る自然環境保全検討座談会委員／成田国際空港株式会社／2022. 4-2024. 3

【歴史学研究科】

渡瀬綾乃

- ・柏市篠籠田の獅子舞調査検討委員会／柏市／2023. 6-2024. 3
- ・令和5年度「変容の危機にある無形の民俗文化財の記録作成事業」(木更津中島の梵天立て)調査・研究委員／キャノンマーケティングジャパン／2023. 12-2024. 3

【資料管理研究科】

村田明久

- ・環境省令和5年度重要生態系監視地域推進事業(モニタリングサイト1000)磯分科会委員／環境省自然環境局生物多様性センター／2023. 4-2024. 3

萩野康則

- ・環境省希少野生動植物種保存推進員／環境省自然環境局野生生物課／2021. 7-2024. 6
- ・千葉県希少生物及び外来生物に係るリスト作成検討会委員(動物部会：多足類)／千葉県環境生活部自然保護課／2023. 4-2024. 3

【生態学・環境研究科】

島立理子

- ・千葉市立博物館協議会委員／千葉市教育委員会／2023. 1-2025. 1
- ・「木更津中島の梵天立て」調査・研究委員／キャノンマーケティングジャパン株式会社／2023. 12-2024. 3

- ・木更津市史編集委員会委員／木更津市長／2023. 4-2025. 3
- ・木更津市史編集部会委員／木更津市教育委員長／2023. 4-2025. 3

斉藤明子

- ・環境省希少野生動植物種保存推進員／環境省自然環境局野生生物課／2021. 7-2024. 6
- ・千葉県希少生物及び外来生物に係るリスト作成検討会昆虫分科会委員／千葉県環境生活部自然保護課／2023. 4-2024. 3
- ・成田国際空港の更なる機能強化事業に係る自然環境保全検討座談会委員／成田国際空港株式会社／2022. 4-2024. 3

天野 誠

- ・環境省希少野生動植物種保存推進員／環境省自然環境局野生生物課／2023. 4-2024. 3
- ・千葉県希少生物及び外来生物に係るリスト作成検討会委員(植物・菌類：種子植物)／千葉県環境生活部自然保護課／2023. 4-2024. 3
- ・非常勤講師(受託)／東邦大学／2023. 9-2024. 3

後藤 亮

- ・環境省希少野生動植物種保存推進員／環境省自然環境局野生生物課／2021. 7-2024. 6
- ・千葉県希少生物及び外来生物に係るリスト作成検討会委員(動物部会：魚類)／千葉県環境生活部自然保護課／2023. 4-2024. 3

坂田歩美

- ・千葉県希少生物及び外来生物に係るリスト作成検討会委員(植物・菌類部会：地衣類)／千葉県環境生活部自然保護課／2023. 4-2024. 3

【環境教育研究科】

高山順子

- ・環境省希少野生動植物種保存推進員／環境省自然環境局野生生物課／2023. 4-2024. 3
- ・佐倉市環境審議会委員／佐倉市環境部生活環境課／2023. 4-2024. 3
- ・全国砂浜ムーブメントへの学術協力者／公財 日本自然保護協会／2023. 6-2024. 3

桑原和之

- ・環境省希少野生動植物種保存推進員／環境省自然環境局野生生物課／2023. 4-2024. 3
- ・環境省令和5年度重要生態系監視地域推進事業(モニタリングサイト1000)シギ・チドリ類調査検討会コメント／環境省自然環境局生物多様性センター／2024. 2. 13
- ・モニタリングサイト 1000 第4期とりまとめ報告書概要版検討会検討会委員／環境省自然環境局生物多様性センター／2024. 2. 29
- ・千葉県希少生物及び外来生物に係るリスト作成検討会委員長(動物部会：鳥類)／千葉県環境生活部自然保護課／2023. 4-2024. 3

(4) 共同研究員、市民研究員、研究生の受入れ

ア 共同研究員

共同研究員は、当館職員と共同で当館の資料や設備等を利用して研究を行う館外の研究者・専門家で、本年度は28名(継続20名、新規8名)を受け入れた。

氏名	研究テーマ	担当	区分
木村陽子	千葉県の雑草植物相に関する研究	天野 誠	継続
富塚朋子	房総半島に分布する海藻相の調査研究及び標本整理	天野 誠	継続
宮田昌彦	房総半島に分布する海藻の分類学的研究	天野 誠	継続
大野啓一	芽ばえに関する記載学的研究	尾崎煙雄	継続
木村悟朗	蚊専用トラップ BG-Pro によるマストラッピング	尾崎煙雄	継続
倉西良一	東アジア産トビゲラ目昆虫の分類と分子系統地理	尾崎煙雄	継続
大庭照代	生物音響資料の編纂	御巫由紀	継続
富谷朗子	シアノバクテリア-植物共生の多様性	坂田歩美	継続
岡崎浩子	房総半島の堆積相と化石層	千葉友樹	継続
原 正利	ブナ科植物ほかの標本作成および生態園の植物生態観察	西内李佳	継続
松本嘉幸	生態園のアブラムシ相(その2)	西内李佳	継続
由良 浩	千葉県の希少種の栽培と増殖てるや	西内李佳	継続
坪田美保	地衣類の共生藻に関する研究	原田 浩	継続
吉川裕子	地衣類の化学分類	原田 浩	継続
綿貫 攻	日本産スミボゴケ属地衣類の分類学的研究	原田 浩	継続
加瀬谷優子	文化財の保存に関する研究	吹春俊光	継続
小暮誠一	菌類の法科学的有用性について	吹春俊光	継続
佐土哲也	ユニバーサルプライマーに基づく次世代シーケンサを用いた環境 DNA の分析法の確立ならびにリファレンスデータの収集	宮 正樹	継続

福地毅彦	ユニバーサルプライマーに基づく次世代シーケンサを用いた環境 DNA の分析法の確立ならびにリファレンスデータの収集	宮 正樹	継続
吉村光敏	信仰対象となっている巨岩地形の形成史―足尾・北上山地の事例―	八木令子	継続
菅澤颯人	国内のシラミバエにおける鳥類の病原体保有状況の解明	尾崎煙雄	新規
鈴木規慈	夷隅川流域における希少水生生物の保全学的研究	菊地則雄	新規
古木達郎	千葉県立中央博物館が収蔵する蘚苔類標本の同定の再検討	坂田歩美	新規
蘭光健人	樹幹流を利用した樹上菌類相の探索	坂田歩美	新規
林 浩二	博物館の社会的役割に関する研究	高山順子	新規
内田脩太	行徳野鳥保護区(千葉県市川市)における昆虫相の解明	樽 宗一郎	新規
楡引颯太	日本産トビケラ目の分類学的研究およびファウナの解明	樽 宗一郎	新規
伴 光哲	土壌性カメムシの分類学的・生態学的研究	樽 宗一郎	新規

イ 市民研究員

市民研究員は当館職員の見解により館内外で調査研究活動を行う市民で、本年度は38名(継続32名、新規6名)を受け入れた。

氏名	研究テーマ	担当	区分
久保田貴志	【研究課題1】人工飼料を用いたエリサンの飼料樹の栄養価値	尾崎煙雄	継続
金谷小百合	ヤドリギの生態調査及び繁殖について	尾崎煙雄	継続
石井明夫	北総台地における木下層化石の研究	加藤久佳	継続
時田 徹	三浦層群および上総層群の動物化石の分布調査	加藤久佳	継続
松浦良彦	上総層群万田野層の古生物相	加藤久佳	継続
齊藤 修	千葉県産蛾類データベースの構築	齊藤明子	継続
土井 学	南西諸島を中心とする昆虫標本の作成・収蔵	齊藤明子	継続
中尾健一郎	千葉県立中央博物館収蔵蛾類標本のデジタル画像データベース作成及び標本整理	齊藤明子	継続
安川 憲	千葉県におけるアサギマダラを中心とした昆虫類の調査研究	齊藤明子	継続
中村 涼	千葉県の昆虫相の解明	齊藤明子	継続
池田裕二	屋久島産地衣類を対象としたウェブ図鑑作成	坂田歩美	継続
赤司卓也	房総半島の歴史的建築用石材の旧丁場及び産出石材の用途とその現状調査	高橋直樹	継続
木澤武司	収集された国内外の砂試料の分析、及び生物遺骸の同定	高橋直樹	継続
本間千舟	国内外より産出した鉱物と化石の記録	高橋直樹	継続
山田俊弘	リンネコレクション等を利用した科学史研究とその社会的な還元について	高橋直樹	継続
泉 宏子	房総の地衣類誌	原田 浩	継続
今井邦裕	本州中部山岳地帯における地衣類の多様性	原田 浩	継続
加藤裕一	21世紀の森と広場(松戸市)における地衣類観察の取り組み	原田 浩	継続
高橋雅彦	茨城県の地衣類相	原田 浩	継続
田中慶太	長崎県の地衣類相	原田 浩	継続
中村正樹	長野県大町市の「冷風の丘」(風穴現象地帯)における地衣類植生	原田 浩	継続
松崎 務	長野県上田市周辺の地衣類相	原田 浩	継続
森田考恵	白井市周辺の地衣類相	原田 浩	継続
小倉豊史	きこの類の研究	吹春俊光	継続
加藤恵美子	房総の自然に関する研究	吹春俊光	継続
亀田果夏	きこの類の研究	吹春俊光	継続
佐野悦三	きこの類の研究	吹春俊光	継続
中島淳志	きこの類の研究	吹春俊光	継続
大作晃一	シダ植物の胞子の顕微鏡撮影	御巫由紀	継続
森 晃	国内のシャジクモ科の研究	御巫由紀	継続
上原 恵	地域に残る災害の痕跡と記録の収集と分析(5)	八木令子	継続
鈴木 勝	千葉県北部地域の昆虫相(甲虫類)	齊藤明子	継続
辻林恭祐	新たに提唱されたNaOH法による放散虫化石抽出とその有効性の検討	菊川照英	新規
福田元子	千葉県に伝わる音	小林裕美	新規
井上憲二	千葉県における虚無僧寺の幕末から明治にかけての活動	鈴木建人	新規
小松廣和	上総国市原郡の六十六部廻国供養塔の諸相	鈴木建人	新規
久保田貴志	【研究課題2】千葉県の養蚕の生残り事例(戦略)	玉井里奈	新規
東 あずさ	地衣類の顕微鏡観察	原田 浩	新規

第2 大利根分館

1 研究課題

(1) 地域研究

ア 人類誌系(房総という環境の成り立ち及び人々の生活誌に関する研究)

① 都市近郊低湿地における生業の研究

【担 当】秋山笑子

【研究内容】千葉県内の低湿地や利根川流域を中心に、生業と生活戦略を検討し、近現代における低湿地における生活と環境の変化との関連について調査研究を行う。

【年度実績】近現代における生業の経営と環境について検討するため、香取郡神崎町の酒造業について調査研究を行った。

② 利根川流域における民間信仰の成立と伝播に関する研究

【担 当】榎 美香

【研究内容】利根川流域で現在まで継承されている行事や信仰について、その成立と変遷の過程を考察する。

【年度実績】死後、血の池地獄に堕ちる女性を救済するとして広まった女人信仰の一形態として利根川下流域で色濃く分布する「犬供養」について、その信仰形態の変遷を歴史的に位置づけ直した。更に、大正期に流行した旭市の「犬不動」信仰と比較しながら霊的存在としての「犬」観について考察した。成果は学術誌にまとめ掲載した。またジェンダーに関する歴史学研究者との談話会に民俗学の立場から参加した。

(2) 普遍研究

ア 人類誌系(景観史という新領域の創出)

① 民俗知識の継承と情報伝達について

【担 当】榎 美香

【研究内容】地域ごとに継承されてきた民俗知識や民俗技術、また相互の情報伝達の系譜などについて調査研究を行う。

【年度実績】弥生時代から近年まで日本列島で使用されてきた、穀物の実と殻を風で選別する農具「箕(み)」をめぐる民俗技術について調査研究を行った。特に、かつて「戸隠箕」として名を馳せた長野県長野市戸隠中社の箕について、唯一最後となった職人からの聞き取り調査をここ数年行ってきたが、今年度はその成果を研究会などで発表するとともに学術誌や東京文化財研究所の報告書等にまとめた。内容は東文研のWebでも公開された。

2 研究員の執筆・研究発表

(1) 執筆

※中央博物館メールマガジン連載への執筆は、「V 情報の発信 2(2)イ. メルマガコラム」を参照のこと。

榎 美香

学術論文・学術書

- ・榎 美香. 2023. 女人講による犬供養と琴田の犬不動にみる「犬」観—利根川下流域を中心に—. 日本民俗学. 315: 55-74.
- ・榎 美香. 2023. 山岳宗教集落戸隠中社の竹細工と箕織り—社会構造と生業、その技術—. 民具マンスリー. 56(9): 1-11.
- ・榎 美香. 2023. 職人と民俗技術. In: 講座日本民俗学5 生産と消費. 小川直之(編). pp. 168-182. 朝倉書店. 東京. 報告書
- ・榎 美香. 2024. 戸隠箕 —山岳宗教集落の竹細工—. In: 今石みぎわ(編). 箕 自然を編む知恵と技. pp. 147-167. 独立行政法人国立文化財機構東京文化財研究所無形文化遺産部. 東京.

(2) 研究発表

榎 美香

- ・榎 美香/2023. 6. 18/箕作りの村、戸隠中社門前/西郊民俗談話会(第835回)/東京都新宿区.
- ・榎 美香/2023. 7. 29/千葉県の民俗研究会史と「房総民俗研究会」までの経緯/房総民俗研究会(第1回)/千葉大学/千葉市.
- ・榎 美香/2023. 7. 29/利根川・関宿の川漁師~昭和20~30年代の漁とくらし~/房総民俗研究会(第1回)/千葉大学/千葉市.
- ・榎 美香/2023. 12. 21/「女性史・ジェンダー史の視点による社会・史料の見方」座談会/千葉歴史学会部会合同例会/千葉歴史学会/オンライン.
- ・榎 美香/2023. 12. 21/戸隠の箕作り/箕の研究会/東京文化財研究所/東京都台東区.
- ・榎 美香/2024. 2. 18/千葉県の七夕馬習俗/房総民俗研究会/千葉大学/千葉市.

3 研究交流

(1) 各種委員・非常勤講師等の受託

榎 美香

- ・幸手市文化財保護審議会委員/幸手市教育委員会/2022. 10-2024. 9

- ・印西市史編さん委員会委員／印西市教育委員会／2022.10-2024.3
- ・「(仮称)印西市歴史文化施設」基本計画策定委員会委員／印西市教育委員会／2022.4-2024.3

(2) 共同研究員、市民研究員、研究生の受入れ

ア 共同研究員

共同研究員は、当館職員と共同で当館の資料や設備等を利用して研究を行う館外の研究者・専門家で、本年度は1名(継続1名)を受け入れた。

氏名	研究テーマ	担当	区分
糠谷 隆	大利根分館所蔵稲作の農具に関する研究	秋山笑子	継続

第3 大多喜城分館

1 研究課題

(1) 地域研究

ア 人類誌系(房総という環境の成り立ち及び人々の生活誌に関する研究)

① 19世紀における上総国大多喜松平家中役替帳の研究

【担当】高橋 覚

【研究内容】大多喜町に伝来する希少な文献資料から家臣団構成を再構築する。

【年度実績】研究対象となる森家文書が当館に寄贈となるにあたって再整理を行い画像付き目録を作成した。

② 房総の古墳出土副葬品に関する研究

【担当】石井友菜

【研究内容】千葉県内の古墳から出土する副葬品を主な対象とし、古墳時代の手工業生産やものづくりの技術について検討する。

【年度実績】千葉県内の古墳から出土する副葬品について、とくに銅鏡、石枕、石釧を主な対象とし、古墳時代の手工業生産やものづくりの技術について検討した。

2 外部資金等による研究

(1) 文部科学省科学研究費補助金による研究

ア 研究代表者

実験考古学的手法を用いた古墳時代石製品の穿孔技術の解明

【担当】石井友菜

【研究種目/開始年度/期間】基盤研究(C)(一般)/令和5年度/3年間

3 研究員の執筆・研究発表

(1) 執筆

※中央博物館メールマガジン連載への執筆は、「V 情報の発信 2(2)イ.メルマガコラム」を参照のこと。

石井友菜

学術論文・学術書

・石井友菜. 2023. 房総の石製模造品について. In: 公益財団法人千葉県教育振興財団(編). 令和5年度出土遺物公開事業 流山新市街地地区の遺跡展—大地より出でし先人の足跡—講演会講演要旨. pp. 8-15. 公益財団法人千葉県教育振興財団. 四街道.

資料紹介

・石井友菜・初村武寛・高梨俊夫・鈴木建人. 2024. 千葉県夷隅郡大多喜町台古墳群の一円墳から出土した画文帯環状乳神獣鏡について. 千葉県立中央博物館研究報告 17(1): 77-92.

(2) 研究発表

石井友菜

- ・石井友菜/2023.09.02/房総の石製模造品について/令和5年度出土遺物公開事業 流山新市街地地区の遺跡展—大地より出でし先人の足跡—講演会/公益財団法人千葉県教育振興財団/流山市.
- ・石井友菜/2024.02.04/常総地域の石枕の製作技術/大阪府立近つ飛鳥博物館シンポジウム「古墳時代の石枕と葬送儀礼」/大阪府立近つ飛鳥博物館/南河内郡河南町.

4 研究交流

(1) 各種委員・非常勤講師等の受託

高橋 覚

・非常勤講師(受託)/江戸川大学/2023.4-2024.3

第4 分館海の博物館

1 研究課題

(1) 地域研究 房総半島の海洋生物相とその特徴

① 房総半島沿岸の魚類相

【担 当】川瀬裕司

【研究内容】房総半島は北部と南部、太平洋岸と東京湾岸で海洋環境が大きく異なり、千葉県全体として多様な魚類相が形成されている。この魚類相の特徴を、県内および県外各地からの標本・資料収集により明らかにする。

【年度実績】地元漁業者や一般の方から提供された魚類の標本登録をはじめ、これまでに採集した魚類の標本登録を行った。また、2023年6月と2024年3月に、函館市臼尻およびその周辺で、磯採集と漁獲物により比較標本の収集を行った。

② 房総半島の海産無脊椎動物相

【担 当】奥野淳児・柳 研介・立川浩之・松本光史

【研究内容】房総半島に生息する海産無脊椎動物相を掌握するため、資料の収集、同定、分類学的研究等を行う。

【年度実績】鋸南町浮島沖で採集されたカワリギンチャク *Isohalcurias carlgreni* について、カワリギンチャクのリビジョンにおいて報告した。館山市と鋸南町で採集された標本を含め、ハイカブリヒラムシ *Nynphozoon cinderella* を新種として記載した。千葉県レッドデータブックで絶滅と評価されているウツセミガイ *Akera soluta* の館山湾からの採集記録を報告した。海浜性等脚類ハマダンゴムシ *Tylos granuliferus* の県内新産地を3ヶ所発見した。

③ 房総半島沿岸の海藻相

【担 当】菊地則雄

【研究内容】房総半島沿岸の海藻相とその特徴を明らかにする。

【年度実績】勝浦市を中心に適宜採集を行い、50点の資料を登録した。

④ 房総半島の鳥類相

【担 当】平田和彦

【研究内容】房総半島周辺海域における海鳥の分布と生態ならびにそれらの季節変化を、直接観察とバイオロギングによって明らかにし、その特徴を海流や海底地形、漁業等の環境要因に着目して解析する。

【年度実績】海の博物館周辺に生息する鳥類相のモニタリング調査を毎月実施するとともに、海の博物館沖におけるオオミズナギドリ of 局所的な生息状況に関するデータを収集し、常設展示室における鶴原理想郷の自然情報に反映し来館者に情報提供した。

(2) 専門研究

① 沿岸性魚類の繁殖生態

【担 当】川瀬裕司

【研究内容】沿岸性海産魚類の繁殖生態(なわばり行動、産卵行動、卵保護行動など)について、フィールド観察を主体にして明らかにする。

【年度実績】沖縄県金武町沿岸において、サキンハゼの繁殖行動を潜水調査した。これまでに得られた調査結果により、第11回インド・太平洋魚類国際会議(ニュージーランド・オークランド)で口頭発表を行った。

② 日本産共生性コエビ類の分類学的研究

【担 当】奥野淳児

【研究内容】テナガエビ科を中心として、様々な海産無脊椎動物と共生するコエビ類の分類学的研究を行う。

【年度実績】ゴウザンゼカクレエビ *Periclimenes dardanicola* に対し、新属を提唱した論文を投稿し、受理された。従来太平洋岸の分布の北限が勝浦であったサラサエビ *Rhynchocinetes uritai* とアカシマエビ *Lysmata vittata* が銚子に産することが明らかになったため、短報にまとめ、投稿した。

③ 原始紅藻亜綱植物の分類学的、生態学的研究

【担 当】菊地則雄

【研究内容】日本産原始紅藻亜綱植物の分類学的再検討を行うとともに、生活史について明らかにする。

【年度実績】共同研究者と千葉県沿岸で採集したスサビノリ・アサクサノリを用いてそれらの交雑個体や隠蔽種の有無や成長特性を調べた成果をまとめた論文を公表した。また、これまでに継続してきた日本産アマノリ類に関する調査研究の成果を基に、企画展示「令和5年度マリンサイエンスギャラリー アサクサノリ 2ーノリの世界」を開催した。

④ イソギンチャク類の分類・生態学的研究

【担 当】柳 研介

【研究内容】イソギンチャク類について、その「形」を明らかにしていくとともに、DNA解析の手法を用いた検証を行い、日本産のイソギンチャク類の分類の再検討を行う。

【年度実績】本年度はとくに超深海で採集されたイソギンチャクについて、形態学的観察を行うとともに、共同研究員とともにDNA解析を実施した。

⑤ 日本産イシサンゴ類の分類・生物地理に関する研究

【担 当】立川浩之

【研究内容】日本産のイシサンゴ類はこれまでにおよそ 500 種が知られるが、無藻性種や温帯域の有藻性種を中心に従来の同定を再検討すべき種が多数存在する。本研究では、これらの種の再検討を中心として、日本産イシサンゴ類の分類学的・生物地理学的研究を行う。

【年度実績】本年度公開された『日本産有藻性サンゴ類 WEB 図鑑』の編集作業を行うとともに、用語集および *Leptoseris* センバイサンゴ属・*Zoopilus* アミガササンゴ属などのページを執筆し、公表した。

⑥ ハマダンゴムシの生息地調査

【担 当】松本光史

【研究内容】ハマダンゴムシの生息地として、勝浦市や館山市が知られている。学校教材への利用を考え、広く生息地の調査と生息地環境の比較考察を行う。

【年度実績】主として千葉県内のハマダンゴムシの生息する海岸について調査し、来館者に情報提供した。いすみ市や南房総市などで追加確認された。

⑦ 海鳥の採餌戦略

【担 当】平田和彦

【研究内容】漁業や洋上風力発電をはじめとする沿岸域の人間活動が生態系に及ぼす影響について、最高次捕食者である海鳥の行動生態を目視やバイオロギングにより観察することで、行動生態学ならびに保全生態学の観点から検討する。

【年度実績】房総半島および周辺地域におけるウミウの採餌域(行動圏)を GPS データロガーを用いて個体レベルで追跡するとともに、ウミウの集団ねぐらにおける個体数の季節変化を調査し、その成果の一部を日本鳥学会 2023 年度大会で発表した。相模灘初島沖におけるオオミズナギドリ採餌個体群の個体数及び行動を海底地形と関連づけて解析し、令和 5 年度海鳥研究集会で発表した。

2 外部資金等による研究

(1) 文部科学省科学研究費補助金による研究

ア 研究代表者

① ハゼが海底につくる「ミステリーサークル」の適応的意義と形成ロジックの解明

【担 当】川瀬裕司

【研究種目／審査区分／開始年度／期間】基盤研究(C)／一般／令和元年度／4年間(1年間延長)

② 自然史博物館における甲殻類を題材とした海洋教育プログラムの開発

【担 当】奥野淳兒

【研究種目／審査区分／開始年度／期間】基盤研究(C)／一般／令和4年度／3年間

③ 日本沿岸の多様な漁法が海鳥に及ぼす影響—原発事故からの漁業復旧に着目して

【担 当】平田和彦

【研究種目／審査区分／開始年度／期間】若手研究／一般／令和2年度／4年間

3 研究成果の公表・周知

(1) うみはくセミナー (会場：分館海の博物館2F講座実験室)

① 令和5年12月6日(水)16:40~17:10

菊地則雄 「ムロネアマノリについて」

② 令和5年12月13日(水)16:40~17:10

川瀬裕司 「サキンハゼの繁殖行動(ニュージーランドで開催の IPFC11 講演内容)と、現地潜水調査の報告」

③ 令和5年12月20日(水)16:40~17:10

奥野淳兒 「『内外動物原色大図鑑』とその著者について」

④ 令和6年1月17日(水)16:40~17:10

平田和彦 「漁港の外灯がカモメ類の夜間採餌行動に及ぼす影響」

⑤ 令和6年1月24日(水)16:40~17:10

立川浩之 「日本産有藻性サンゴ類 WEB 図鑑について」

⑥ 令和6年2月29日(木)16:40~17:10

松本光史 「ハマダンゴムシの採集記録と教材活用」

⑦ 令和6年3月14日(木)16:40~17:10

柳研介 「海山調査で発見されたツノサンゴの一種」

4 研究員の執筆・研究発表

(1) 執筆

※海の博物館メールマガジン『海からのたより』連載への執筆は、「V 情報の発信 2(2)イ.メルマガコラム」を参照のこと。

川瀬裕司

学術論文・学術書

- Kawase, H & T. Sunobe. 2023. Reproductive Behavior and Sexual Patterns in Two Cales, *Heteroscarus acroptilus* and *Olisthops cyanomelas* (Odacidae) at Rocky Reefs in Temperate Australia. *Fishes* 8 (10), 491; <https://doi.org/10.3390/fishes8100491>.

奥野淳兒

学術論文・学術書

- 藤田大樹・齋藤暢宏・奥野淳兒・森滝丈也・山内健生. 2023. 魚類寄生性甲殻類フグノクチャドリ (等脚目: ウオノエ科) の追加記録とマンカの形態. *日本応用動物昆虫学会誌*, 67(2): 37-45.
- Tsuyuki, A. and J. Okuno, 2024. *Nymphozoon cinderella* sp. nov. (Platyhelminthes: Polycladida: Pseudocerotidae), a new species of maine flatworm from Japan. *Bulletin of Marine Science*, 100(1): 81-94.

普及書

- 奥野淳兒. 2024. 令和5年度千葉県立中央博物館分館海の博物館 秋の企画展示 海の生きものの古い図鑑—明治から昭和初期まで— 展示資料一覧. 千葉県立中央博物館分館海の博物館 展示解説シート, (1): 1.

菊地則雄

学術論文・学術書

- Fukada, R., Y. Yamagishi, M. Nagasaka, D. Osada, K. Nimura, I. Oshima, K. Tsujimoto, M. Kirihara, S. Takizawa, N. Kikuchi, T. Ishii and T. Kamada 2023. Antifouling brominated diterpenoids from Japanese marine red alga *Laurencia venusta* Yamada. *Chem. Biodiversity*, 10.1002/cbdv.202300888
- Komada, F., N. Kikuchi and K. Niwa. 2024. Exploration and growth characteristics of allopolyploids derived from interspecific hybridization between *Neopyropia yezoensis* and *Neopyropia tenera* (Bangiales, Rhodophyta) in natural populations of eastern Japan. *Aquaculture*, 581: 10.1016/j.aquaculture.2023.740388

普及書

- 菊地則雄. 2024. 令和5年度マリンサイエンスギャラリー アサクサノリ2—ノリの世界— ワークシート ノリのいろいろクイズ. 1 p. 千葉県立中央博物館分館海の博物館. 勝浦.
- 菊地則雄. 2024. 企画展示「令和5年度マリンサイエンスギャラリー アサクサノリ2—ノリの世界—」. *藻類*, 72(1): 18.

柳 研介

学術論文・学術書

- Izumi, T., T. Fujii, K. Yanagi and T. Fujita 2023. Fluorescent anemones in Japan—Comprehensive revision of Japanese Actinernoidea (Cnidaria: Anthozoa: Actiniaria: Anenthemonae). *Diversity*, 15(6): 773. <https://doi.org/10.3390/d15060773>
- De Jode, A., A. Quattrini, T. Chiodo, M. Daly, C. S. McFadden, M. L. Berumen, C. P. Meyer, S. Mills, R. Beldade, A. Scott, A. Bartholomew, J. D. Reimer, K. Yanagi, T. Fuji, E. Rodriguez, B. M. Titus. 2024. Phylogenomics reveals coincident divergence between giant host sea anemones and the clownfish adaptive radiation. *bioRxiv*, 2024.01.24.576469, Posted 2024/1/24. <https://doi.org/10.1101/2024.01.24.576469>
- Kashimoto, R., M. Mercader, J. Zwahlen, S. Miura, M. Tanimoto, K. Yanagi, J. Reimer, K. Khalturin and V. Laudet. 2024. Anemonefish are better taxonomists than humans. *Current Biology*, 34: R175-194. <https://doi.org/10.1016/j.cub.2023.07.051>

立川浩之

学術論文・学術書

- 立川浩之・吉田隆太. 2023. 千葉県館山湾で採集されたウツセミガイ *Akera soluta* (Gmelin, 1791). *ちりぼたん*, 53(2): 217-222.
- 立川浩之. 2023. *Zoopilus* Dana, 1846 アミガササンゴ属. 日本産有藻性サンゴ類 WEB 図鑑. <https://coraltaxon.sakura.ne.jp/OMZC/Zoopilus.html>
- 立川浩之. 2023. *Zoopilus echinatus* Dana, 1846 アミガササンゴ. 日本産有藻性サンゴ類 WEB 図鑑. https://coraltaxon.sakura.ne.jp/OMZC/Zoopilus_echinatus.html
- 松本尚・立川浩之・梶原健次. 2023. *Leptoseris* Milne Edwards & Haime, 1849 センベイサンゴ属. 日本産有藻性サンゴ類 WEB 図鑑. <https://coraltaxon.sakura.ne.jp/OMZC/Leptoseris.html>
- 横地洋之・野村恵一・下池和幸・立川浩之ほか. 2023. 用語集. 日本産有藻性サンゴ類 WEB 図鑑. <https://coraltaxon.sakura.ne.jp/OMZC/glossary.html>

普及書

- 立川浩之. 2024. 海の生きもの観察ノート 18 新 ウミウシを観察しよう. 44pp. 千葉県立中央博物館分館海の博物館. 勝浦.

平田和彦

普及書

- 富岡 宏, 越膳泰彦, 村上純一, 石川禎大, 平田和彦, 駒嶺 鍊, 本井康博, 竹山幸男. 2024. 青森県風間浦村・同志社交流 30 年を語る. *新島研究* (115): 3-30.
- 平田和彦. 2024. 博物館発! 鳥のお宝ツアー #37 千葉県立中央博物館分館海の博物館〜太平洋を望む自然体験の拠点. *BIRDER* 38 (4): 66-67.

(2) 研究発表

川瀬裕司

- ・川瀬裕司/2023.9/アマミホシゾラフグの繁殖行動と「ミステリーサークル」の形成ロジック/NBCI テクノロジー委員会 バイオミメティクス分科会講演会/東京 YWCA 会館, 東京
- ・Kawase, H./2023.11/Nesting and reproductive behaviour of the sand-dwelling goby, *Hazeus ammophilus* (Gobiidae), which constructs a radially aligned ditches surrounded nest/11th Indo-Pacific Fish Conference/University of Auckland, Auckland, New Zealand
- ・川瀬裕司/2024.2/巣の周りに放射状構造が形成されるサキンハゼの営巣行動/第22回東日本魚類生態研究会/北里大学, 相模原

奥野淳兒

- ・露木葵唯・奥野淳兒/2023.6/雌性生殖孔を多数もつことで特徴づけられる *Nymphozoon* 属ヒラムシ (扁形動物門: 多岐腸目: ニセツノヒラムシ科) の1種/日本動物分類学会第58回大会/豊橋市自然史博物館, 豊橋.

菊地則雄

- ・深田峻介・山岸幸正・長坂弥咲・長田大輝・二村和視・大島伊織・辻本夏月・桐原正之・滝澤忍・菊地則雄・石井貴広・鎌田昂/2023.10/日本産紅藻ヒメソゾ由来の新規含臭素ジテルペンの構造とムラサキイガイ着生阻害活性/第67回香料・テルペンおよび精油化学に関する討論会/千葉大学, 千葉
- ・菊地則雄・鈴木将太・玉城泉也・阿部拓三/2024.3/紅藻ムロネアマンリの分類学的検討/日本藻類学会第48回大会/神戸大学, 神戸

柳 研介

- ・柳 研介・泉 貴人/2023.6/超深海のイソギンチャク類についての知見/日本動物分類学会第58回大会/豊橋市自然史博物館, 愛知県豊橋市
- ・泉 貴人・藤井琢磨・柳 研介・藤田敏彦/2023.6/日本産ヤツバカワリギンチャク上科(刺胞動物門・花虫綱・イソギンチャク目)の分類体系の徹底的整理/日本動物分類学会第58回大会/豊橋市自然史博物館, 愛知県豊橋市
- ・自見直人・柳 研介/2023.6/日本産ハナギンチャク普通種群の系統分類学/日本動物分類学会第58回大会/豊橋市自然史博物館, 愛知県豊橋市

立川浩之

- ・宮川尚子, 立川浩之, 平田和彦/2023.11/千葉県勝浦市に漂着したザトウクジラおよびスジイルカにみる鯨類遺骸の自然状態での分解(腐敗)過程/第22回漂着物学会/大槌町文化交流センター「おしゃっち」, 大槌

平田和彦

- ・西海功, 金井裕, 山崎剛史, 小田谷嘉弥, 亀谷辰朗, 齋藤武馬, 平岡考, 平田和彦, 池長裕史, 板谷浩男, 梶田学, 大西敏一, 西沢文吾, 先崎理之, 高木慎介, 梅垣佑介/2023.9/みんなで作ろう! 目録8版(その4)/日本鳥学会2023年度大会/金沢大学, 金沢
- ・平田和彦, 徳長ゆり香, 方波見守一, 川内雄太, 大島遥香/2023.9/釣り糸・釣り針が死因と考えられた沿岸性海鳥の生前の行動: GPS 装着個体の記録/日本鳥学会2023年度大会/金沢大学, 金沢
- ・小澤光莉, 東條菜々花, 金井田輝, 仁部駿介, 大島康平, 島袋羽衣, 平田和彦, 伊藤元裕/2023.9/隣接する繁殖地におけるウトウの採餌場所の隔離と共有/日本鳥学会2023年度大会/金沢大学, 金沢
- ・平田和彦, 中村真介, 藤井利衣子, 加藤雄也, 福井智香子/2023.10/ジオ・エコ・ヒト —なぜジオパークで生態学?—/第13回日本ジオパーク全国大会/秩父宮記念市民会館, 秩父
- ・平田和彦/2023.10/ジオパークでこそ生態学!/第13回日本ジオパーク全国大会/秩父宮記念市民会館, 秩父
- ・Hikari OZAWA, Nanaka TOJO, Shunsuke NIBE, Kohei OSHIMA, Ui SHIMABUKURO, Kazuhiko HIRATA, Motohiro ITO/2023.11/The ecological responses of Rhinoceros auklet to the environmental events/第14回極域科学シンポジウム/国立極地研究所, 立川
- ・宮川尚子, 立川浩之, 平田和彦/2023.11/千葉県勝浦市に漂着したザトウクジラおよびスジイルカにみる鯨類遺骸の自然状態での分解(腐敗)過程/第22回漂着物学会/大槌町文化交流センター「おしゃっち」, 大槌
- ・Hikari OZAWA, Nanaka TOJO, Teru KANAIDA, Shunsuke NIBE, Kohei OSHIMA, Ui SHIMABUKURO, Kazuhiko HIRATA, Motohiro ITO/2024.2/The ecological responses of Rhinoceros auklets on long-term and short-term marine environmental events/51st Annual meeting of the Pacific Seabird Group/Seattle, USA
- ・Teru KANAIDA, Hikari OZAWA, Kazuhiko HIRATA, Ui SHIMABUKURO, Motohiro ITO/2024.2/The habitat selection of Black-tailed Gull during breeding and non-breeding periods/51st Annual meeting of the Pacific Seabird Group/Seattle, USA
- ・平田和彦/2024.3/相模灘初島沖におけるオオミズナギドリ採餌群の分布と海底地形の関係/令和5年度海鳥研究集会/東京大学大気海洋研究所, 柏
- ・平田和彦/2024.3/島の海鳥を通して考える野生動物医学で生み出す社会の循環/野生動物医学学会学生部会/大学セミナーハウス, 八王子

5 研究交流

(1) 海外出張

川瀬裕司

- ・ 渡航先 : ニュージーランド
- ・ 渡航目的: 令和5年度科学研究費助成事業(基盤研究C)「ハゼが海底につくる「ミステリーサークル」の適応的意義と形成ロジックの解明」による第11回インド・太平洋魚類国際会議参加および現地フィールド調査
- ・ 渡航期間: 令和5年11月18日～11月27日(10日間)
- ・ 備考: 科研費

(2) 各種委員・非常勤講師等の受託

川瀬裕司

- ・ 千葉大学大学院理学研究科非常勤講師／千葉大学大学院理学研究院／2023.4-2024.3

菊地則雄

- ・ 千葉県希少生物及び外来生物に係るリスト作成検討会委員(植物・菌類部会:藻類)／千葉県環境生活部自然保護課／2023.4-2024.3
- ・ 千葉県ミヤコタナゴ保全協議会委員／千葉県環境生活部自然保護課／2018.4.1-(期限明記なし)
- ・ 非常勤講師／東京大学／2023.4-2024.3
- ・ 勝浦市浜勝浦川浄化対策推進協議会委員／勝浦市／2023.4-2025.3
- ・ 勝浦市文化財審議会委員／勝浦市教育委員会／2023.4-2025.3

立川浩之

- ・ 千葉県希少生物及び外来生物に係るリスト作成検討会委員／千葉県環境生活部自然保護課／2023.4-2024.3

平田和彦

- ・ 三番瀬鳥類個体数経年調査業務委託者選定委員会委員／千葉県環境生活部自然保護課／2024.3
- ・ 我孫子市鳥の博物館展示リニューアル基本計画検討委員会委員／我孫子市教育委員会生涯学習部鳥の博物館／2023.4-2025.3

(3) 共同研究員、市民研究員の受入れ

ア 共同研究員

共同研究員は、当館職員と共同で当館の資料や設備等を利用して研究を行う館外の研究者・専門家で、本年度は6名(継続5名、新規1名)を受け入れた。

氏名	研究テーマ	担当	区分
平野弥生	<i>Medusozoa</i> の刺胞動物の多様性と生活史に関する研究	柳 研介	継続
泉 貴人	変形イソギンチャク亜目イソギンチャクの系統分類学	柳 研介	継続
吉川晟弘	ヤドカリと共生するキンカライソギンチャク属の系統分類学的研究	柳 研介	継続
吉田隆太	館山湾を中心とした南房総の甲殻類相の解明	奥野淳兒	継続
橋詰和慶	房総の海産無脊椎動物の自然史的研究	奥野淳兒	継続
鈴木規慈	夷隅川流域における希少水生生物の保全生物学的研究	菊地則雄	新規

イ 市民研究員

市民研究員は当館職員の助言により館内外で調査研究活動を行う市民で、本年度は2名(新規)を受け入れた。

氏名	研究テーマ	担当	区分
土屋 誠	静岡県沼津市井田地先に生息する十脚甲殻類の分類と分布に関する研究	奥野淳兒	新規
栗又弥江子	海藻を利用したアートとその展示手法についての研究	菊地則雄	新規

Ⅲ 展示

第1 本館

1 常設展示

(1) 常設展示の更新

展示室名	展示コーナー	資料名	更新内容
房総の地学	房総の地形	見どころポイント「地震で陸地がふえる」	更新
房総の歴史	経済の統制	戦争関係資料	展示資料入替

(2) 展示室音声ガイド機器の貸出

常設展示の解説を聞くことができる展示室音声ガイド機器(台数：10台)の貸出を行った。

貸出月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
貸出回数	23	20	23	40	61	33	28	31	16	37	47	46	405回

2 野外展示(生態園)

展示室名	展示コーナー	資料名	更新内容
オリエンテーションハウス	図書閲覧コーナー	千葉県立中央博物館研究報告特別号、図鑑等	コロナ禍で撤去していたコーナーの内容を更新して新設
園路	各所	植物解説板	入れ替え・追加(計2枚)
	各所	樹名板	交換・追加(計15枚)
植生管理	イヌシデ・コナラ林	ナラ枯れ被害木(コナラ)	伐倒(3本)
	照葉樹林スダジイ林区(森林移植地)	立ち枯れ木(アブラギリ)	伐倒(1本)
	イヌシデ・コナラ林(旧アカマツ林)	枯れたササ	園路沿いの枯れたササを幅約40m分撤去
	各所	鳥散布樹木・つる植物(トウネズミモチ・タブノキ・フジ等)	間引き除伐(成木約10本+実生約50本)
舟田池管理	舟田池	抽水植物(アシ、マコモ、ヒメガマ、シヨウブなど)群落	水位攪乱によるアメリカザリガニ・ウシガエル低密度管理 濾過槽ポンプ交換
湿地再生	湿原	陸生草本	刈り払い(年4回)
	湿原	水たまり	濾過槽ポンプ吐出口の分岐延長による注水機能の新設

3 特別展

(1) 千葉県誕生150周年記念事業・中央博物館令和5年度特別展「よみがえるチバニアン期の古生物」

ア 会 期 令和5年7月15日(土)～年9月18日(月・祝)〔開催日数：59日間〕

イ 会 場 第1企画展示室、第2企画展示室、2階ホール、房総の地学展示室常設展示室廊下

ウ 主 催 等 (ア)主 催 千葉県立中央博物館

(イ)後 援 朝日新聞社千葉総局、NHK千葉放送局、千葉テレビ放送、千葉日报社、ベイエフエム、毎日新聞社千葉支局、読売新聞千葉支局、千葉市教育委員会、市原市教育委員会、日本古生物学会

(ウ)協 力 アリオ蘇我、京葉銀行、千葉銀行、千葉興業銀行、そごう千葉店

(エ)学術協力 京都大学総合博物館、京都大学大学院理学研究科地球惑星科学専攻・地質学鉱物学教室、群馬県立自然史博物館、佐野市葛生化石館、滋賀県立琵琶湖博物館、独立行政法人国立科学博物館、栃木県立博物館、八王子市教育委員会、平塚市博物館

エ 入 場 者 数 19,430人

オ 主 担 当 丸山啓志

カ 概 要 チバニアン期から現在に至るまでの、千葉の生命の歴史を知ってもらうことを目的として、チバニアン期の海と陸に棲んでいた生物の化石を一堂に集め展示することで、当時の房総がどのような環境で、どのような生物が棲んでいたのかを紹介した。

キ 関 連 行 事 (ア)オープニングセレモニー 7月16日(土)参加者：67人(招待客)ほか

(イ)トークショー「古生物サミット in 房総：古生物に関わるおしごと」

8月11日(金・祝)参加者：154人(現地参加86人、オンライン68人)

講師：土屋 健、徳川広和、松岡廣繁、木村由莉

(ウ)自然誌シンポジウム「チバニアン期の哺乳類化石を探る」 9月17日(日) 参加者：85人

講師：甲能直樹、木村敏之、高桑祐司、北川博道

- (エ) 観察会「チバニアン期底の地磁気逆転層観察会」 7月23日(日) 参加者：18人
- (オ) 講座「化石の模型をつくろう」 7月30日(日) 参加者：51人
- (カ) 講座「古生物を復元してみよう」 8月13日(日) 参加者：74人
- (キ) 体験イベント「古生物の缶バッジづくり」 7月16日(日)、9月18日(月・祝) 参加者：200人
- (ク) 体験イベント「大昔のどうぶつの絵を描こう」 7月17日(月・祝) 参加者：57人
- (ケ) 体験イベント「クイズ：ちばの古生物」 8月6日(日) 参加者：56人
- (コ) 体験イベント「化石を拾ってみよう」 8月20日(日) 参加者：230人
- (サ) 体験イベント「博物館フィギュア×チバニアン期の古生物」 8月27日(日) 参加者：83人
- (シ) 体験イベント「本物の化石をさわってみよう」 9月3日(日) 参加者：218人
- (ス) 体験イベント「古生物の絵本読み聞かせ」 9月10日(日) 参加者：39人

【中央博物館・中央図書館連携事業】

- (セ) ミュージアムトーク 7/15～9/16の毎週土曜日と、9/10(日)計11回 参加者：計570人
 - (ソ) スタンプクイズ 7月15日(土)～9月18日(月・祝) 参加者：5,240人
 - (タ) 職員・ボランティア向け解説会 7月19日、20日、9月10日 計3回 講師：丸山啓志：36人
 - (チ) 人気投票「私のイチオシ古生物」 7月15日(土)～9月10日(日) 参加者：11,875人
- 実施場所：第1企画展示室入口横・アンケート
- (ツ) アンケート回答によるクリアファイル配布 7月15日(土)～9月18日(月・祝) 配布数9,076枚
- 実施場所：第1企画展示室入口前
- (テ) 2023年度 JAF 特別優待 7月15日(土)～9月18日(月・祝) 配布数727個

ク 印 刷 物

- (ア) チラシ A4版カラー両面/80,000枚
 - (イ) ポスター A2版カラー片面/1,200枚
 - (ウ) 解説パンフレット A3版二つ折りカラー/50,000枚
 - (エ) 図録 A4冊子80P/1,200部
- ミュージアムショップ販売用(株式会社ミュージアムクルー)1,100部
- (オ) ワークシート A4版モノクロ片面/8,000枚
 - (カ) 入場券 23,000枚

ケ 展 示 資 料 借用資料89点 館蔵資料239点 計328点

資料名	点数	所蔵
ナウマンゾウ浜町標本全身骨格(レプリカ)	1	八王子市教育委員会
メルクサイ全身骨格(レプリカ)、メルクサイ生体復元模型	2	栃木県立博物館
ステラーカイギュウ原寸大復元画	1	ActoW 原画
景観復元画「チバニアン期の大地」、「チバニアン期の海」	2	千葉県立中央博物館
地層はぎとり標本	3	千葉県立中央博物館
清川層ブロック標本	1	千葉県立中央博物館
万田野層産植物化石(ブナ、ミズナラなど)	11	千葉県立中央博物館
塩原層群化石(シオバラガエル、ヒメネズミ、植物化石など)	18	栃木県立博物館
メルクサイ頭骨・下顎骨化石	1	佐野市葛生化石館
ヤベオオツノジカ頭骨(レプリカ)	1	栃木県立博物館
ヤベオオツノジカ全身骨格	1	国立科学博物館
ニホンムカシジカ全身骨格(レプリカ)	1	平塚市博物館
角化石(カズサジカ、ニホンムカシジカ、ニホンジカ)	3	千葉県立中央博物館
アジアスイギュウ属頭骨化石	1	千葉県立中央博物館
イノシシ類の歯化石、現生イノシシ頭骨	2	千葉県立中央博物館
復元画(カズサジカ、ニホンムカシジカ、メルクサイ)	3	千葉県立中央博物館
ムカシマンモス臼歯化石(タイプ標本含む)	5	千葉県立中央博物館
トウヨウゾウ臼歯化石、トウヨウゾウ復元模型	3	千葉県立中央博物館
伏龍骨図(レプリカ)	1	滋賀県立琵琶湖博物館
伏龍骨図の元となったトウヨウゾウ化石(上顎骨・下顎骨)、シカ化石(頭骨)	7	国立科学博物館
ナウマンゾウ印旛沼標本下顎骨・脊椎骨・肋骨化石	9	国立科学博物館
ナウマンゾウ印旛沼標本全身骨格(レプリカ)	1	千葉県立房総のむら
ナウマンゾウ(ホロタイプ標本下顎骨・上顎臼歯化石)	3	京都大学理学部地球惑星科学専攻地質学鉱物学教室
ナウマンゾウ(ホロタイプ標本牙化石)	1	京都大学総合博物館
復元画(ムカシマンモス、トウヨウゾウ、ナウマンゾウ)	6	ActoW 原画
ケナガマンモス牙・下顎骨化石	2	国立科学博物館
ケナガマンモス下顎歯化石	1	千葉県立中央博物館

資料名	点数	所蔵
無脊椎動物化石(カニ、フジツボ、ウニ、クモヒトデ、サンゴなど)	8	千葉県立中央博物館
浮遊性有孔虫拡大模型 (グロビゲリナ・プロイデス、グロボロタリア・インフラータ)	2	データ提供：木元克典
放散虫拡大模型(ブテロカニウム、オロスケナ・ハクスレイ)	2	仲村康秀
寒流系貝化石	15	千葉県立中央博物館
暖流系貝化石	24	千葉県立中央博物館
トウキョウホタテ化石	1	千葉県立中央博物館
ブラウンスイシカゲガイ化石	1	千葉県立中央博物館
万田野層・市宿層産鳥類化石	5	京都大学理学部地球惑星科学 専攻地質学鉱物学教室
アホウドリ類化石(上腕骨・胸骨)	2	千葉県立中央博物館
剥製(ピロードキンクロ・ミズナギドリ)	2	千葉県立中央博物館
画像(現生鳥類生体写真ほか)	5	個人(複数)
鯨類化石(脊椎骨・尺骨)	8	千葉県立中央博物館
ザトウクジラ頭骨・肋骨化石	2	千葉県立中央博物館
ザトウクジラと共産したサメの歯化石	1	千葉県立中央博物館
シヤチ周耳骨化石	1	個人
ハンドウイルカ属下顎骨化石	1	群馬県立自然史博物館
イルカ類下顎骨	2	千葉県立中央博物館
原寸大復元画(ヤベオオツノジカ、オオキトド、ステラーカイギュウ)	3	ActoW 原画
鰭脚類化石、頭骨レプリカ、模型	13	千葉県立中央博物館
現生鰭脚類全身骨格(オタリア、ミナミアメリカオットセイ)	2	千葉県立中央博物館
ステラーカイギュウ肋骨化石	2	千葉県立中央博物館
ステラーカイギュウ肋骨片	1	個人
ステラーカイギュウ頭骨レプリカ	1	群馬県立自然史博物館
画像(現生鯨類生体写真ほか)	7	個人
画像(現生セイウチ剥製)	1	北海道大学総合博物館 水産資料館
復元画(マンカラ、オデュッセウストド、オオキトド、ステラーカイギュウ)	4	ActoW 原画
動画(万田野層の発掘・景観復元画のできるまで)	2	千葉県立中央博物館
木下層産・県内完新統産化石	81	千葉県立中央博物館
特別展関連常設展展示資料	39	千葉県立中央博物館

4 季節展

(1) 春の展示「ちばの植物 探・検・隊！ーさあ、植物を調べる旅に出ようー」

ア 会 期 令和5年3月11日(土)～令和5年5月28日(金)〔開催日数：48日間(令和5年度)〕

イ 会 場 第1企画展示室、光庭

ウ 主 催 等 (ア)主 催 千葉県立中央博物館

エ 入 場 者 数 7,032名(令和5年度：4月1日～5月28日)

オ 主 担 当 山本伸子

カ 概 要 当館は千葉県各地の植物相調査を継続的に続けている。その仕事を、「探検」に見立て、親しみやすく紹介した。前半は、千葉県で最初に本格的な植物調査を行った牧野富太郎の業績から始まり、調査の様子や道具、植物の見分け方、希少種の生育場所、危険な生物について展示し、後半は植物調査で得られた標本の整理、標本の作り方、千葉県の植物研究者、データの公表について解説した。また、光庭に調査の過程で栽培し、種を確認した希少生物の鉢植えを置き、展示した。

キ 関 連 行 事 (令和5年度のみ)

(ア) 講座 花を解剖する 4月21日(金)

(イ) 観察会 青葉の森観察会 5月14日(日)

(ウ) 体験イベント 押し花のしおりづくり 4月29日(土)

(エ) ミュージアムトーク 4月8日(土)、22日(土)、5月6日(土)、20日(土)

(オ) 連携展示 さわやかちば県民プラザ 3月28日(火)～11月2日(木)

ク 印 刷 物 (ア)チラシ A4版カラー両面/15,000枚

ケ 展 示 資 料 借用資料27点 館蔵資料116点 計143点

資料名	点数	所蔵
「千葉県博物採集会の通知状」1点、「千葉県の植物」1点、「博物の研究」1点、「千葉縣植物目録」1点、「千葉縣植物誌」1点、歌短冊4点	9	千葉県立中央博物館
植物さく葉標本4点	4	千葉県立中央博物館
「日本植物図鑑」1点	1	千葉県立中央博物館
「日本植物図鑑」1点、「牧野日本植物図鑑」2点	3	個人
胴乱3点、野冊4点、調査服装一式、リュックサック1点、野帳1点、ヘッドライト1点、腰袋一式、「キグレガマ」1点、高枝切りばさみ1点、野冊袋1点	15	個人
植物さく葉標本5点、常緑広葉樹標本1点、ロゼット封入標本5点	11	千葉県立中央博物館
植物レプリカ10点、植物さく葉標本9点	19	千葉県立中央博物館
爬虫類レプリカ1点、キイロスズメバチ巣1点、タカサゴキラマダニ標本1点、キイロスズメバチ標本5点、植物さく葉標本5点、植物レプリカ1点	14	千葉県立中央博物館
ポイズンリムーバー1点、スパイク長靴1点、ヤマビル忌避剤1点	3	個人
植物さく葉標本20点	20	千葉県立中央博物館
千葉県の研究者採集 植物さく葉標本9点	9	千葉県立中央博物館
「野外植物採集ノート」草稿1点、「千葉縣博物研究 第六巻」1点、「シダの採集と培養」1点、「上総國日向村野生植物採集目録」1点、「房総の生物」1点、「日本海藻図譜」1点、「カヤツリグサ科入門図鑑」1点	7	千葉県立中央博物館
「浅野貞夫日本植物生態図鑑」1点、「写真で見る植物用語」1点	2	個人
ナンバーリングマシン1点、アラビアゴム1点、種子袋1点、ラミントンテープ2点、ピンセット1点、電気ごて1点、標本棚1点、作りかけの植物さく葉標本1点	9	千葉県立中央博物館
植物レプリカ2点、植物さく葉標本3点、「千葉県植物誌」1点、「芝山の植物」1点、「酒々井の植物」1点	8	千葉県立中央博物館
「千葉県植物誌資料」1点、「市原市自然環境実態調査報告書」1点、「千葉県大多喜町の維管束植物」(別刷)1点、「千葉県いすみ市の維管束植物」(別刷)1点、「館山市の植物」1点	5	個人
植物鉢植え4点	4	千葉県立中央博物館

(2) 秋の展示「手の中のメディアー吉澤貞一マッチラベルコレクションー」

ア 会 期 令和5年10月3日(土)～令和5年12月24日(日)〔開催日数：72日間〕

イ 会 場 第1・第2企画展示室

ウ 主 催 等 (ア)主 催 千葉県立中央博物館

エ 入 場 者 数 12,137人

オ 主 担 当 島立理子

カ 概 要 当館に収蔵されている吉澤貞一(1904～1994)による世界屈指のマッチラベルのコレクション「吉澤貞一マッチラベルコレクション」を初公開した。
マッチラベルを手のひらの上の小さなメディアとしてとらえ、そこに描かれた情報から、またそこに描かれた柄や文字から、当時の世相を読み解いた。
インターネットなど等の通信技術が普及していなかった昭和の時代(戦前から戦後)、コレクターだった吉澤氏がどのように世界中からマッチラベルを集めていたのか。コレクターのネットワークの一端を紹介した。

キ 関連行事

(ア)講演会 「メディアとしてのマッチラベル」

講師 島立理子

日時 令和5年12月10日(土)13時30分～14時30分

会場 講堂

参加人数 25名

(イ)ミュージアムトーク

会期中、学芸員による展示解説を行った

日付と参加人数 10月7日(29人)、10月15日(12人)

11月3日(20人)、12月23日(20人)

(ウ)シンポジウム

中央図書館との連携事業としてシンポジウムを開催した。

タイトル いま、コレクションについて考える～人はなぜ集めるのか?～

パネリスト 細矢剛(国立科学博物館)

川村清志(国立歴史民俗博物館)

モデレーター 島立理子

日時 令和5年12月16日(土) 13:30~15:30
 会場 講堂
 参加者 22名

ク 印刷物

(ア)チラシ A4両面カラー/10,000枚
 (イ)解説パンフレット A3二つ折り、両面カラー/3,000枚

ケ 展示資料 (すべて館蔵資料)

展示資料点数
 マッチラベル 1,243点
 はがき 8点
 チラシ 7点
 その他 58点

(3) 春の展示(令和5年)「理科室のタイムマシン 学校標本」

ア 会 期 令和6年3月9日(土)~令和6年5月12日(日) [令和5年度開催日数:20日間]

イ 会 場 第1企画展示室

ウ 主 催 等 (ア)主 催 千葉県立中央博物館

エ 入 場 者 数 3,812名(令和6年3月9日~31日)

オ 担 当 者 齋木健一・栗田隆気・黒住耐二・奥野淳児・山本伸子・樽宗一郎・高橋一真

カ 概 要 県内外の高等学校等に保存されている、古い生物標本に焦点をあて、残された標本からかつての自然や生物学の授業の様子を推定することを通して標本の大切さと標本を用いた教育の歴史を紹介した。

キ 関 連 行 事 (ア)講座「理科室の標本が教えてくれた昔のこと」3月17日(13:00~15:00) 参加者数28人(担当 齋木健一)

(イ)ミュージアム・トーク(1日に2回開催11:00~、14:30~、所要約30分) 3月10日2回合計45人(担当 齋木健一)、3月17日2回合計62人(担当 黒住耐二)、3月24日2回合計32人(担当 齋木健一)

ク 印刷物 (ア)チラシ A4版カラー両面/16,000枚

(イ)ポスター A2版カラー片面/500枚

ケ 展示資料 本館資料50点 分館海の博物館資料6点 借用資料97点 計153点

資料名	点数	所蔵
サラサバテイヤ1点、ホンクマサカ2点、タコブネ2点、箱入り貝類標本1点、ボール紙貼り付け貝類標本(ハングル版)、児童により収集された貝殻(復元)1式、高等学校生物部誌15点	22	千葉県立中央博物館
アナグマ剥製1点、オオグンカンドリ剥製1点、ヒレンジャク剥製1点、キバタン剥製1点。ナベゾル剥製1点、カメレオン液浸標本1点、ツキヒガイ3点、「生徒が集めた貝」1式、植物分類標本100種1箱	11	千葉県立中央博物館 (千葉県立安房南高等学校旧蔵)
アコヤガイ2点、アコヤガイ解剖液浸標本(貝ボタン抜き貝殻)1点、サラサバテイヤ2点、カラスガイ2点	7	千葉県立中央博物館 (睦沢町立睦沢中学校旧蔵)
モウセンゴケさく葉標本1点、ホザキノミミカキグサさく葉標本1点、食虫植物さく葉標本1点	3	千葉県立中央博物館 (千葉県立長生高等学校旧蔵)
オランウータン剥製標本1点、センザンコウ剥製標本1点、ライチョウ剥製標本1点	3	千葉県立中央博物館 (千葉県立東金高等学校旧蔵)
関東地方産貝類標本(88種)1点、貝殻標本(80種)1点、人体内部寄生虫(以下6種)1点	3	千葉県立中央博物館 (南房総市立三芳小学校旧蔵)
イセエビ液浸標本1点、海プラナリア液浸標本1点、ヤムシ液浸標本1点、タコブネ液浸標本1点、豚寄生虫標本1点	5	千葉県立中央博物館分館海の博物館 (千葉県立安房南高等学校旧蔵)
ヨウジウオ目魚類液浸標本1点	1	千葉県立中央博物館分館海の博物館 (千葉県立成東高等学校旧蔵)
たこぶね	1	分館海の博物館
イトヒキアジ液浸標本1点、ササノハベラ液浸標本1点、キタマクラ液浸標本1点、ホシセミホウボウ液浸標本1点、アサヒガニ液浸標本1点、アカクラゲ液浸標本1点、ハナガサクラゲ液浸標本1点、アメフラシ液浸標本1点、ヤマトウミウシ液浸標本1点、つのかめの液浸標本1点、アメリカザリガニ液浸標本1点、サワガニ液浸標本1点、トノサマガエル発育順序標本1点、ウナギ発育順序液浸標本1点、ヤツメウナギ解剖液浸標本1点、イソギンチャク解剖液浸標本1点、ヤリイカ解剖液浸標本1点、イセエビ解剖液浸標本1点、人体内部寄生虫液浸標本1点、無脊椎動物分類標本(乾製)1点、長狭高等学校生徒採集昆虫標本2箱、木製昆虫標本箱1点、ムラサキウニ解体乾燥標本1点、ナメクジウオ発育順序模型1点、視器解剖模型1点、タイドプール生物乾燥標本5箱、タイドプールプランクトンプレパラート5箱	36	千葉県立長狭高等学校

カモノハシ剥製1点、イワカンガルー剥製1点、モグラ剥製1点、シカ剥製1点、オットセイ剥製1点、オオコウモリ剥製1点、サル剥製1点、センザンコウ剥製1点、ライチョウ剥製1点、カラバト剥製1点、アカゲラ剥製1点、コサギ剥製1点、コウノトリ剥製1点、アホウドリ剥製1点、ユムシ液浸標本1点、よしきりがに液浸標本1点、うみもくずがに液浸標本1点、ゲンノショウコ・ヤマキツネノボタンさく葉標本1点、テンツキ・コゴメガヤツリさく葉標本1点	19	千葉県立木更津高等学校
チョウザメ液浸標本1点、昆虫分類標本3箱、病原菌・菌類プレパラート1箱、寄生虫卵プレパラート1箱、カエル発生模型1点	7	千葉県立大多喜高等学校
インドマングース剥製標本1点、ムササビ剥製標本1点、トキ標本1点、クロコダイルの一種剥製標本1点、ヤマトグサさく葉標本1点、クジウクリテンツキさく葉標本1点、	6	千葉県立千葉高等学校
イエネコ骨格標本1点、脊椎動物骨格標本5種1点、イルカ模型1点、フナ解剖液浸標本1点、イソギンチャク液浸標本1点	5	千葉県立安房拓心高等学校
イタチ剥製標本1点	1	千葉県立国府台高等学校
鳥類の脚標本1点	1	千葉県立佐倉高等学校
カイコ大型解剖模型1点	1	千葉県立安房高等学校 (千葉県立安房南高等学校旧蔵)
ハヤブサ剥製標本1点、ハリオアマツバメ剥製標本1点、コガモ剥製標本1点、カイツブリ剥製標本1点、昆虫標本1箱、人体解剖模型1点	6	千葉県総合教育センター
自然科学入門ノート1点	1	武蔵学園記念室
「学校標本をどのように取り扱うべきなのか？」(別刷)1点、「発掘された学校標本を復元する」(別刷)1点、貝ボタン4点、貝ボタンを抜いた貝殻4点	10	個人
「新撰女子動物学教科書」1点、「日本動物図鑑」1点	2	個人
生物部誌1点、雑誌「佐賀の昆虫」1点	2	個人

5 生態園トピックス展

(1) 生態園の意外な動物たち

ア 会 期 令和5年2月28日(火)～令和5年8月27日(日)〔令和5年度開催日数：125日間〕

イ 会 場 生態園オリエンテーションハウス

ウ 主 催 等 (ア)主 催 千葉県立中央博物館

エ 入 場 者 数 13,166名(令和5年度：4月1日～8月27日)

オ 主 担 当 者 桑原和之

カ 概 要 生態園は市街地の中の貴重な環境で、ここを目指して多様な動物が集まってくる。研究員による研究やモニタリング調査によって確認された意外な動物たちを、標本、写真、動画などでわかりやすく紹介した。

キ 関 連 行 事 (ア)ミュージアムトーク(展示解説)

日時 令和5年4月2日(日) 15人

会場 生態園オリエンテーションハウス

(イ)生態園トーク(展示解説)

日時 令和5年4月1日(12人)、5月27日(12人)、6月15日(40人)、7月8日(23人)、8月5日(12人)、8月26日(12人)

会場 生態園オリエンテーションハウス

(ウ)ボランティア研修会

日時 令和5年5月21日(9人)、5月26日(4人)

会場 生態園オリエンテーションハウス

(エ)職員向け解説

日時 令和5年5月21日(3人)、6月3日(3人)

会場 生態園オリエンテーションハウス

ク 印 刷 物 ポスター A3版カラー片面

ケ 展 示 資 料 129点

資料名	点数	所蔵
実物・標本類	25	千葉県立中央博物館
映像類	15	千葉県立中央博物館
パネル類	89	千葉県立中央博物館

(2) 舟田池の生きもの

ア 会 期 令和5年9月12日(火)～11月26日(日)〔開催日数：58日間〕

イ 会 場 生態園オリエンテーションハウス

ウ 主 催 等 (ア)主 催 千葉県立中央博物館

エ 入 場 者 数 7,440名(会期中生態園入場者数)

オ 主 担 当 者 後藤 亮

カ 概 要 生態園の中に位置する舟田池は江戸時代より前からあるため池を整備したもので、時代とともに変遷しながら現在に至っている。現在、舟田池には多くの生物が生息し、互いに様々な影響を受けながら生活

している。今回は魚にスポットを当て舟田池の生態系等について紹介した。

キ 関 連 事 業 (ア)生態園トーク
 日時 令和5年10月21日(土)11:00～、14:30～
 会場 生態園オリエンテーションハウス
 参加人数 8人
 無料

(イ) ボランティア研修会(展示解説)
 日時 令和5年11月2日(木)14:00～15:00
 会場 生態園オリエンテーションハウス
 参加人数 3人

ク 印 刷 物 ポスター B2/A2/A3/A4判、カラー14枚、館内印刷、館内掲出

ケ 展 示 資 料 借用資料0点 館蔵資料37点 生体展示35点 ハンズオン1点 パネル11点 計84点

資料名	点数	所蔵
標本・模型類(昆虫、魚類、両生類、鳥類)	37	千葉県立中央博物館
生体展示(魚類・甲殻類)	35	千葉県立中央博物館
ハンズオン(生態系ゲーム)	1	個人

(3) 生態園の野鳥たち

ア 会 期 令和6年2月20日(火)～7月7日(日)〔開催日数：29日間(令和5年度)〕

イ 会 場 生態園オリエンテーションハウス

ウ 主 催 等 (ア)主 催 千葉県立中央博物館

エ 入 場 者 数 3,771名(令和6年2月20日～3月31日)

オ 主 担 当 者 桑原和之

カ 概 要 生態園は市街地の中にありながら良好な自然が保たれた貴重な環境である。生態園では150種を越す野鳥が記録されている。今回のトピックス展では、生態園で見られる多くの野鳥たちを標本や写真などで紹介した。

キ 関 連 行 事 (ア)生態園トーク(展示解説)
 日時 令和6年2月24日(23人)、3月16日(18人)
 会場 生態園オリエンテーションハウス

(イ) 体験イベント 生態園観察会「生態園の野鳥」
 日時 令和6年3月2日(土)
 会場 生態園
 参加人数 32人

(ウ)ボランティア研修会
 日時 令和6年3月16日(土)
 会場 生態園オリエンテーションハウス
 参加人数 18人

(エ)職員向け解説
 日時 令和6年2月22日(木)
 会場 生態園オリエンテーションハウス
 参加人数 6人

ク 印 刷 物 A3判、カラー15枚、館内印刷、館内掲出

ケ 展 示 資 料 101点

資料名	点数	所蔵
実物・標本類	14	千葉県立中央博物館
映像類	15	千葉県立中央博物館
鳥類生態写真	64	個人
パネル類	8	千葉県立中央博物館

6 トピックス展

(1) 令和4年度「生命(いのち)のにぎわい 生命のにぎわい調査団・生物多様性写真展」

ア 会 期 令和5年3月7日(火)～5月7日(日)〔開催日数：32日間(令和5年度)〕

イ 会 場 「歴史」展示室前廊下

ウ 主 催 等 千葉県立中央博物館

エ 入 場 者 数 5,058名(令和5年度：4月1日～5月7日)

オ 担 当 者 伊左治鎮司・玉井里奈

カ 概 要 千葉県生物多様性センターの事業「生命のにぎわい調査団」の団員が撮影した写真を展示し、広く県民に生物の魅力を紹介した。展示作品には研究員による作品へのコメントを付し、来館者へ身近な生物の生態について伝えることを目的とした。

キ 主 展 示 資 料 写真パネル 36点

(2) 千葉の外来昆虫最前線！

- ア 会 期 令和5年4月29日(土・祝)～6月18日(日) [開催日数：43日間]
 イ 会 場 第二企画展示室
 ウ 主 催 等 (ア)主 催 千葉県立中央博物館
 (エ)資料借用・展示協力 国立研究開発法人 国立環境研究所、千葉県生物多様性センター
 エ 入 場 者 数 5,062名(本館のみ)
 オ 担 当 者 樽宗一郎(主担当)・斉藤明子・萩野康則・尾崎煙雄・林紀男
 カ 概 要 千葉県からは171種の外来昆虫が見つかっている。これらの外来昆虫のうち、生態系や人間生活に特に影響を及ぼす可能性のある種(特定外来生物に指定されている昆虫)、ここ数年で千葉県に侵入・定着した種、身近に観察できる外来種、国内の他地域由来の外来種(国内外来種)について紹介する。これらの外来昆虫の生態や見分け方、外来昆虫を拡散させないために個人できる対処方法について、広く知ってもらうことを目的とする。
- キ 関 連 事 業 ミュージアムトーク
 第1回 4月29日(土・祝)11:00～11:30、14:30～15:00 担当 樽宗一郎 参加者人数 15名
 第2回 5月3日(水・祝)11:00～11:30、14:30～15:00 担当 樽宗一郎 参加者人数 29名
 第3回 5月4日(木・祝)11:00～11:30、14:30～15:00 担当 尾崎煙雄 参加者人数 15名
 第4回 6月4日(日)11:00～11:30、14:30～15:00 担当 斉藤明子 参加者人数 45名
- ク 印 刷 物 (ア)千葉県立中央博物館令和5年度展示会案内
 ケ 展 示 資 料 借用資料3点、館蔵資料69点 計72点

資料名	点数	所蔵
クビアカツヤカミキリ	3	千葉県立中央博物館
クビアカツヤカミキリ(写真)	3	千葉県立中央博物館
アカボシゴマダラ	10	千葉県立中央博物館
アカボシゴマダラ(写真)	1	千葉県立中央博物館
ゴマダラチョウ	8	千葉県立中央博物館
ゴマダラチョウ(写真)	1	千葉県立中央博物館
オオムラサキ(写真)	1	千葉県立中央博物館
ヒアリ	2	坂本洋典(国立研究開発法人 国立環境研究所)
ヒアリ	3	千葉県立中央博物館
ヒアリ(動画)	1	坂本洋典(国立研究開発法人 国立環境研究所)
ヒアリ防除用薬剤	1	坂本洋典(国立研究開発法人 国立環境研究所)
ツヤハダゴマダラカミキリ	7	千葉県立中央博物館
ツヤハダゴマダラカミキリ(写真)	3	千葉県立中央博物館
ゴマダラカミキリ	9	千葉県立中央博物館
ゴマダラカミキリ(写真)	1	千葉県立中央博物館
ムネアカハラビロカマキリ	1	千葉県立中央博物館
ムネアカハラビロカマキリ(写真)	1	千葉県立中央博物館
ハラビロカマキリ	1	千葉県立中央博物館
ハラビロカマキリ(写真)	1	千葉県立中央博物館
キマダラカメムシ	2	千葉県立中央博物館
キマダラカメムシ(写真)	1	千葉県立中央博物館
クサギカメムシ	2	千葉県立中央博物館
クサギカメムシ	1	千葉県立中央博物館
クスベニヒラタカスミカメ	1	千葉県立中央博物館
クスベニヒラタカスミカメ(写真)	1	千葉県立中央博物館
サビイロクワカミキリ	1	千葉県立中央博物館
サビイロクワカミキリ(写真)	1	個人
クワカミキリ	1	千葉県立中央博物館
クワカミキリ(写真)	1	千葉県立中央博物館
タイワンタケクマバチ	2	千葉県立中央博物館
キムネクマバチ	2	千葉県立中央博物館
リュウキュウツヤハナムグリ	3	千葉県立中央博物館
カナブン	2	千葉県立中央博物館
ケブカトラカミキリ	5	千葉県立中央博物館
ケブカトラカミキリ(写真)	3	千葉県立中央博物館
シラホシハナムグリ	2	千葉県立中央博物館

資料名	点数	所蔵
アオマツムシ	2	千葉県立中央博物館
アオマツムシ(写真)	1	千葉県立中央博物館
マツムシ	2	千葉県立中央博物館
ヤマトゴキブリ	2	千葉県立中央博物館
クロゴキブリ	2	千葉県立中央博物館
チャバネゴキブリ	1	千葉県立中央博物館
ヨコヅナサシガメ	2	千葉県立中央博物館
ヨコヅナサシガメ(写真)	1	千葉県立中央博物館
ツマベニヒメナガカメムシ	2	千葉県立中央博物館
ツマベニヒメナガカメムシ(写真)	1	千葉県立中央博物館
アワダチソウグンバイ	3	千葉県立中央博物館
アワダチソウグンバイ(写真)	1	千葉県立中央博物館
アトラスオオカブト	1	千葉県立中央博物館
パラワンオオヒラタクワガタ	1	千葉県立中央博物館
ヒラタクワガタ	2	千葉県立中央博物館

(3) 関東大震災から100年-災害の記憶を未来に伝える-

ア 会 期 令和5年8月1日(火)～9月23日(土)〔開催日数：49日間〕

イ 会 場 歴史・かかわり展示室前廊下

ウ 主 催 等 (ア)主 催 千葉県立中央博物館

(イ)展示協力 白井 豊・玉井ゆかり・黒川 彰・増子和男・斎木久美・宍倉正展

秋山哲夫・天野久夫・伊介道男・大竹弘高・加茂信昭・木下正高・木村保史・小池宏学・後野真弥・小林秀隆・酒井利文・代田健一・嶋田博信・須田伸夫・諏訪彰義・高木宏泰・高塚照現・棚橋昭浩・早川敏男・日野楠雄・山本和彦・山本剛士・渡邊淳司・渡邊守元・東京大学地震研究所・国土地理院・日本地震工学会・千葉県危機管理部危機管理政策課・防災対策課・鎌ヶ谷市教育委員会生涯学習部文化・スポーツ課・館山市建設環境部都市計画課

エ 入 場 者 数 15,963名(本館のみ)

オ 担 当 者 高橋直樹(環境教育研究科)・照屋清之介(チーム員)

島立理子・八木令子・鈴木建人・斎木健一・高山順子・桑原和之(館内協力者)

カ 概 要 令和5(2023)年は、関東大震災(大正12(1923)年)から100年を迎える年であることから、県民に来るべき同様な地震に対する備えの意識を持っていただくことを目的として、改めて当地震の科学的性質や被害の様子等を紹介する展示を実施した。

キ 関 連 事 業(ア)講演会

演 題 「関東地震とはどんな地震か?～房総の大地誕生の謎を解く鍵～」

日 時 令和5年9月9日(土)13:30～15:30

会 場 講 堂

講 師 宍倉 正展(産総研 地質調査総合センター)

参加者 49名

(イ)ミュージアムトーク

会 場 歴史・かかわり展示室前廊下

時 間 11:00～11:30、14:30～15:00

第1回 8月6日(日) 担当 高橋直樹 参加者人数 1回目10名、2回目15名

第2回 8月13日(日) 担当 八木令子 参加者人数 1回目16名、2回目25名

第3回 8月20日(日) 担当 高橋直樹 参加者人数 1回目11名、2回目12名

第4回 9月3日(日) 担当 高橋直樹 参加者人数 1回目15名、2回目12名

第5回 9月23日(土) 担当 高橋直樹 参加者人数 1回目7名、2回目6名

ク 印 刷 物 (ア)千葉県立中央博物館令和5年度展示会案内

(イ)ポスター 高橋が作成したポスターをA2、A3サイズで印刷し、パウチした後、教育普及課担当が館内や青葉の森公園内などに掲示した

(ウ)ちらし 高橋が作成したちらしをモノクロでコピーし、展示場内で配付

ケ 展 示 資 料 館蔵資料28点、借用資料9点 計37点

資料名	点数	所蔵
全体解説パネル	1	千葉県立中央博物館
大正関東地震の地震波形 解説パネル	1	千葉県立中央博物館(原因：東京大学地震研究所 提供)
大正関東地震の被害分布 解説パネル	1	千葉県立中央博物館(原因：日本地震工学会 提供)
地震による地盤の隆起 解説パネル	1	千葉県立中央博物館(原因：国土地理院 提供)

資料名	点数	所蔵
次の関東地震はいつ起こるのか? 解説パネル	1	千葉県立中央博物館(原図: 宍倉正展氏 提供)
千葉県に被害をもたらす地震 解説パネル	1	千葉県立中央博物館(原図: 千葉県危機管理部防災対策課 提供)
主な地震の震度予測 解説パネル	1	千葉県立中央博物館(原図: 千葉県危機管理部防災対策課 提供)
関東大震災の被害のようす 解説パネル	1	千葉県立中央博物館
房州大震災実況絵葉書(8枚セット)	1	千葉県立中央博物館
絵葉書(東京大地震大火災惨状之実況 第5集)(7枚セット)	1	千葉県立中央博物館
石碑拓本(鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷 鎌ヶ谷市役所)	1	千葉県立中央博物館
石碑拓本(富津市下飯野 飯野神社)	1	千葉県立中央博物館
石碑拓本(館山市安東 熊野神社)	1	千葉県立中央博物館
石碑拓本(南房総市白浜町野島崎 厳島神社)	1	千葉県立中央博物館
石碑拓本(館山市安布里 源慶院)	1	千葉県立中央博物館
石碑拓本(館山市八幡 鶴谷八幡宮)	1	千葉県立中央博物館
石碑拓本(館山市富士見 鷹ノ島弁財天)	1	千葉県立中央博物館
石碑拓本(館山市沼 國司神社)	1	千葉県立中央博物館
石碑拓本(館山市下真倉 日枝神社)	1	千葉県立中央博物館
石碑拓本(館山市岡田 八幡神社)	1	千葉県立中央博物館
石碑拓本(館山市北条 神明神社)	1	千葉県立中央博物館
石碑拓本(南房総市千倉町宇田)	1	千葉県立中央博物館
石碑拓本(南房総市岩糸)	1	千葉県立中央博物館
石碑拓本(安房郡鋸南町保田 観音寺)	2	千葉県立中央博物館
石碑拓本(山武市金尾 地福寺)	2	千葉県立中央博物館
備えあれば憂いなし、震災から身を守ろう 解説パネル	1	千葉県立中央博物館
1923年(大正12年)関東大震災～千葉県の被害状況～ 解説パネル	2	千葉県危機管理部危機管理政策課
防災関係パンフレット	7種	千葉県危機管理部危機管理政策課

(4) 十二支にちなんで一辰年ー

ア 会 期 令和5年12月16日(土)～令和6年1月21日(日)〔開催日数: 25日間〕

イ 会 場 2階ホール、第2企画展示室

ウ 主 催 等 (ア)主 催 千葉県立中央博物館

エ 入 場 者 数 3,643名

オ 担 当 者 (主担当)原田浩、友田暁子、小林裕美

各分野担当 哺乳類(下稲葉さやか)、貝類(照屋清之介)、昆虫(樽宗一朗)、甲殻類(駒井智幸)、魚類(後藤亮)、維管束植物(御巫由紀、山本伸子、大津千晶、浅野紗彩、天野誠)、大型菌類(吹春俊光)、地衣類(坂田歩美)、岩石・鉱物(高橋直樹)、化石(丸山啓志)、武具(米谷博、鈴木建人)、手拭い(渡瀬綾乃)、竜信仰(小林裕美)、マッチラベル(島立理子)

カ 概 要 令和6年の十二支である「辰」にちなんで名前が付けられた生物等、及び「辰」に関する資料を展示し、来館者に生物多様性や人間の関わりについて、理解を深めてもらう。

キ 展 示 資 料 館蔵資料115点(パネル内の写真等はカウントせず)

資料名	点数	所蔵
鉱物標本(辰砂)	6	千葉県立中央博物館
化石(ナウマンゾウ骨格標本)	1	千葉県立中央博物館
きのこ標本35点、図版・写真パネル(パネル内の画像6点含む)2点	37	千葉県立中央博物館
地衣類解説パネル(写真2点含む)	1	千葉県立中央博物館
維管束植物押し葉標本	7	千葉県立中央博物館
昆虫標本10点、写真1点	11	千葉県立中央博物館
甲殻類標本	1	千葉県立中央博物館
貝類標本	17	千葉県立中央博物館
魚類標本4点、写真1点、解説パネル1点	5	千葉県立中央博物館
剥製2点、骨格標本1点、写真1点	3	千葉県立中央博物館
武具3点	3	千葉県立中央博物館大多喜城分館
竜伝説解説パネル(写真8点含む)	2	写真は龍角寺、福嶋斎、個人(匿名)、香取市教育委員会提供等

資料名	点数	所蔵
手拭い	2	千葉県立中央博物館
マッチラベル(吉澤貞一コレクション)	18	千葉県立中央博物館
撮影スポットパネル(マッチラベル)	1	千葉県立中央博物館

(5) 令和5年度「生命(いのち)のにぎわい 生命のにぎわい調査団・生物多様性写真展」

- ア 会 期 令和6年3月5日(火)～5月6日(月・休)〔開催日数：23日間(令和5年度)〕
イ 会 場 歴史展示室前廊下
ウ 主 催 等 千葉県立中央博物館
エ 入 場 者 数 4,500名(令和5年度：3月5日～3月31日)
オ 担 当 者 下稲葉さやか・菊川照英・樽宗一朗
カ 概 要 千葉県生物多様性センターの事業「生命のにぎわい調査団」の団員が撮影した写真を展示し、広く県民に生物の魅力を紹介した。展示作品には研究員による作品へのコメントを付し、来館者へ身近な生物の生態について伝えることを目的とした。
- キ 主な展示資料 写真パネル37点
ク 関 連 行 事 「生命(いのち)のにぎわい調査フォーラム」「写真コンテスト」
日 時 令和6年3月2日(土) 午後1時から午後4時まで
場 所 千葉県立中央博物館 講堂
対 象 調査団員(事前申込制)

7 その他の展示

(1) 千葉県誕生150周年記念事業「写真で見るちばのあゆみ」パネル巡回展

- ア 会 期 下記参照
イ 会 場 下記参照
ウ 主 催 等 千葉県立中央博物館
エ 入 場 者 数 合計184,583人
オ 担 当 者 幅 大、駒井智幸(巡回担当)
カ 概 要 明治6年(1873)に千葉県が誕生してから現在までの150年間の千葉県のあゆみについて、県立博物館等が所蔵する政治・産業・生活等々が記録された写真により構成したパネル展示を巡回した。パネルを3セット作成し、同時に3施設で実施可能とした。なお、令和6年6月14日までが事業期間である。
- キ 主な展示資料 展示パネル サイズ 90 cm×180 cm 15枚(2セット) サイズ 60 cm×160 cm 15枚(1セット)

会場	会期	令和5年度入場者数
千葉県立中央博物館本館	令和5年7月1日(土)～9月18日(月・祝)	22,578人
千葉県立西部図書館	令和5年7月1日(土)～8月31日(木)	18,561人
千葉県立東部図書館	令和5年9月9日(土)～11月23日(木・祝)	26,833人
多古町魅力発信交流館	令和5年9月23日(土・祝)～10月21日(土)	2,822人
銚子ジオパーク・芸術センター	令和5年9月30日(土)～11月5日(日)	530人
千葉県南総文化ホール	令和5年10月24日(火)～11月5日(日)	5,804人
NHK千葉放送局ハートプラザ	令和5年11月10日(金)～11月26日(日)	11,129人
国民宿舎サンライズ九十九里	令和5年12月2日(土)～令和6年1月14日(日)	3,900人
千葉市動物公園 動物科学館	令和5年12月14日(木)～令和6年1月9日(火)	36,321人
川の駅 水の郷さわら さわらホール	令和5年12月16日(土)～令和6年1月21日(日)	3,152人
航空科学博物館	令和6年1月13日(土)～1月28日(日)	6,526人
多古町コミュニティプラザ	令和6年1月27日(土)～2月10日(土)	1,200人
千葉県文書館	令和6年2月1日(木)～2月27日(火)	150人
千葉県立中央博物館分館 海の博物館	令和6年2月3日(土)～2月29日(木)	3,804人
さわやかちば県民プラザ	令和6年2月20日(火)～3月20日(水・祝)	22,814人
千葉県立中央博物館大多喜分館 研修館	令和6年3月2日(土)～3月20日(水・祝)	1,706人
青葉の森公園芸術文化ホール	令和6年3月5日(火)～3月17日(日)	5,213人
千葉県東総文化会館	令和6年3月20日(水・祝)～3月31日(日)	2,379人
千葉県立房総のむら	令和6年3月23日(土)～3月31日(日)(5月12日まで)	6,359人
千葉県立現代産業科学館	令和6年3月26日(火)～3月31日(日)(4月29日まで)	2,802人

(2) みんなで創る「ふるさとちば古写真デジタルアーカイブ」デジタルコンテンツ巡回展示

- ア 会 期 下記参照
イ 会 場 下記参照
ウ 主 催 等 千葉県立中央博物館

エ 担 当 者 千葉友樹、玉井里奈、駒井智幸(巡回担当)

オ 概 要 千葉県が誕生150周年を迎えるにあたり、県内外に千葉県の古写真の提供を広く募り、未来にわたり引き継いでいくために、県立博物館所蔵の古写真とともにデジタルアーカイブ化し、あわせて開催する千葉県誕生150周年記念事業「写真で見るちばのあゆみ」パネル巡回展と連動して巡回展示した。なお、令和6年6月14日までが事業期間である。

カ 主な展示資料 PCとタッチパネルディスプレイ。PCには778枚の古写真を格納。

会場	会期
銚子ジオパーク・芸術センター	令和5年9月30日～10月29日
千葉県立東部図書館	令和5年10月29日～11月23日
千葉市動物公園 動物科学館	令和5年12月14日～令和6年1月9日
航空科学博物館	令和6年1月13日～1月28日
千葉県文書館	令和6年2月1日～2月27日
さわやかちば県民プラザ	令和6年2月20日～3月20日
千葉県立房総のむら	令和6年3月23日～4月11日

8 出前展示

(1) 巡回展「関東大震災から100年-災害の記憶を未来に伝える-

ア 会 場 千葉県立中央図書館

(ア) 会 期 令和5年9月30日(土)～令和5年10月22日(日)〔開催日数：20日〕

(イ) 入 場 者 数 2,964名

(ウ) 担 当 者 高橋直樹・八木令子

(エ) 概 要 令和5(2023)年は、関東大震災(大正12(1923)年)から100年を迎える年であることから、県民に来るべき同様な地震に対する備えの意識を持っていただくことを目的として、改めて当地震の科学的性質や被害の様子等を紹介する展示を実施した。

(オ) 主な展示資料 関東大震災の被害を記録した石碑の拓本、関東大震災に関する解説パネル等 24点

イ 会 場 千葉県立西部図書館

(イ) 会 期 令和5年10月28日(土)～令和5年11月19日(日)〔開催日数：20日〕

(イ) 入 場 者 数 7,263名

(ウ) 担 当 者 高橋直樹・駒井智幸・桑原和之

(エ) 概 要 令和5(2023)年は、関東大震災(大正12(1923)年)から100年を迎える年であることから、県民に来るべき同様な地震に対する備えの意識を持っていただくことを目的として、改めて当地震の科学的性質や被害の様子等を紹介する展示を実施した。

(オ) 主な展示資料 関東大震災の被害を記録した石碑の拓本、関東大震災に関する解説パネル等 25点

ウ 会 場 富津市役所

(ウ) 会 期 令和5年11月24日(金)～令和5年11月30日(木)〔開催日数：5日〕

(イ) 入 場 者 数 108名

(ウ) 担 当 者 高橋直樹・桑原和之・駒井智幸

(エ) 概 要 令和5(2023)年は、関東大震災(大正12(1923)年)から100年を迎える年であることから、県民に来るべき同様な地震に対する備えの意識を持っていただくことを目的として、改めて当地震の科学的性質や被害の様子等を紹介する展示を実施した。

(オ) 主な展示資料 関東大震災の被害を記録した石碑の拓本、関東大震災に関する解説パネル等 36点

エ 会 場 千葉県立現代産業科学館

(エ) 会 期 令和5年12月16日(土)～令和6年1月7日(日)〔開催日数：13日〕

(イ) 入 場 者 数 6,193名

(ウ) 担 当 者 高橋直樹・桑原和之・八木令子

(エ) 概 要 令和5(2023)年は、関東大震災(大正12(1923)年)から100年を迎える年であることから、県民に来るべき同様な地震に対する備えの意識を持っていただくことを目的として、改めて当地震の科学的性質や被害の様子等を紹介する展示を実施した。

(オ) 主な展示資料 関東大震災の被害を記録した石碑の拓本、関東大震災に関する解説パネル等 28点

第2 大利根分館

1 出前展示

- (1) 出張展示 伝馬船模型展示—利根川の舟運と船—
- | | |
|-----------|--|
| ア 会 期 | 令和4年7月5日(火)から当面の間 |
| イ 会 場 | 千葉県香取地域振興事務所合同庁舎1階エントランスホール |
| ウ 主 催 等 | 千葉県立中央博物館大利根分館 |
| エ 入 場 者 数 | カウントせず |
| オ 主 担 当 | 榎美香 |
| カ 概 要 | 香取地域の住民を対象に利根川の舟運の歴史や文化を紹介するための展示を行っている。 |
| キ 展 示 資 料 | 伝馬船五分の一模型及び解説パネル |

第3 大多喜城分館

1 常設展示

(1) 研修館展示 大多喜城と城下町

ア 会 期 令和3年3月14日(月)～

イ 会 場 研修館

ウ 主 催 等 千葉県立中央博物館大多喜城分館

エ 担 当 者 高橋 覚・石井友菜

オ 概 要 中世の大多喜城、本多3代と大多喜藩、大河内(松平氏)と大多喜藩、城下町大多喜の4つのテーマから、大多喜城と城下町の歴史について写真とパネル等で紹介した。

カ 関連行事 なし

キ 印刷物 なし

ク 展示資料(館蔵資料 19点 解説パネル17点 写真16点 映像1点 計53点)

資料名	点数	所蔵
試着体験用甲冑	8	千葉県立中央博物館大多喜城分館
大多喜城本丸跡出土かわらけ	8	千葉県立中央博物館大多喜城分館
大多喜城本丸跡出土五輪塔	1	千葉県立中央博物館大多喜城分館
試着体験用小袖	2	千葉県立中央博物館大多喜城分館
映像「刀剣ができるまで」	1	千葉県立中央博物館大多喜城分館
試着体験用模造刀	16	千葉県立中央博物館大多喜城分館

2 企画展

休館のため開催なし。

3 テーマ展示

休館のため開催なし。

第4 分館海の博物館

1 常設展示

(1) 常設展示の更新

展示室名	展示コーナー	資料名	更新内容
展示室	自然観察エリア(理想郷観察エリア)	理想郷観察エリアで撮影された植物写真等	鶴原理想郷で植物等のモニタリングを行い、最新の情報を更新した(17回)。
	自然観察エリア(磯の観察エリア)	磯の観察エリアで撮影された生きものの写真等	磯の観察エリア(博物館前の岩礁海岸)で見られる生きものと潮汐の情報を更新した(毎日)。
	こんな研究をやっています	研究紹介ポスター	千葉県から見つかったノリの新種センジュアマノリ(4月1日～9月9日、菊地則雄) 千葉県レッドデータブックで絶滅とされていた「ウツセミガイ」を館山湾で採集(9月10日～11月13日、立川浩之) 房総半島におけるハマダンゴムシの棲息する海岸(11月14日～3月31日、松本光史)
	こんなのみたよ	ミノヒラムシ、クルマダイ、ハリセンボンの写真等	博物館利用者等からの提供資料をポスターで随時紹介した(4回)。
	博物館をとりまく自然	季節ユニット展示一式	季節ごとにユニット展示を交換した(4回)。
	さまざまな海の姿・博物館をとりまく自然	ユニット展示一式	常設展示のユニット部分を交換した(2回)。
	体験学習カウンター・展示ロビー	アオミノウミウシ、ショウジンガニのメガロパ幼生、スジモヨウフグの幼魚、クルマダイの幼魚、オニフジツボ、ウツセミガイ等	トピック展示として、観察会などで見つかった興味深い生きものを水槽などで紹介した(16回)。

2 マリンサイエンスギャラリー(分館海の博物館の研究成果に基づき、海の生きものを深く掘り下げて紹介する企画展示)

(1) 房総の魚一名魚・珍魚・ふつうの魚

- ア 会 期 令和5年2月23日(木・祝)～5月7日(日) [※令和5年度内開催日数：32日間]
 イ 会 場 研修室
 ウ 主 催 等 千葉県立中央博物館分館海の博物館
 エ 入 場 者 数 8,083名(令和5年度：4月1日～5月7日)
 オ 担 当 者 川瀬裕司
 カ 概 要 房総半島で見られる代表的な魚、滅多に見られない魚、現時点でふつうに見られる魚を紹介した。
 キ 印 刷 物 (ア)ポスター 500部
 (イ)チラシ 40,000部
 ク 展示リスト(館蔵資料111点、借用資料(個人含)14点、合計125点)

資料名	点数	所蔵
魚類液浸標本(サケガシラ・他)	15	分館海の博物館
魚類液浸標本(カタボシイワシ)	1	中央博物館
魚類剥製標本(カラチョウザメ・他)	13	分館海の博物館
魚類模型(ビンナガ・他)	10	分館海の博物館
魚類生体(シマスズメダイ・他)	4	分館海の博物館
実物資料(キンメ釣りの漁具・他)	9	分館海の博物館
写真(アゴハゼ・他)	56	分館海の博物館
編集動画(クサフグの産卵・他)	4	分館海の博物館
鉄道関連実物・模型・写真資料(南房総の駅弁・他)	13	個人

(2) アサクサノリ 2ーノリの世界ー

- ア 会 期 令和6年2月23日(金・祝)～5月6日(月・休) [※令和5年度内開催日数：33日間]
 イ 会 場 研修室
 ウ 主 催 等 千葉県立中央博物館分館海の博物館
 エ 入 場 者 数 5,983名(令和5年度：2月23日～3月31日)
 オ 担 当 者 菊地則雄
 カ 概 要 絶滅危惧種アサクサノリを中心に、生きものとしてのノリの最新情報を紹介した。
 キ 印 刷 物 (ア)ポスター 400部

(イ)チラシ 40,000部

ク 展示リスト(館蔵資料193点、借用資料(個人含)25点、合計218点)

資料名	点数	所蔵
ノリ押し葉標本(アサクサノリ・他)	21	分館海の博物館
海藻樹脂包埋標本(アサクサノリ・他)	6	分館海の博物館
ハバノリの樹脂包埋標本	1	中央博物館
ノリ葉状体生体(アサクサノリ・他)	13	分館海の博物館
ノリ糸状体生体(アサクサノリ・他)	9	分館海の博物館
ナラワスサビノリ糸状体生体	1	千葉県水産総合研究センター
ノリ養殖関係実物資料(ノリ養殖網・他)	2	分館海の博物館
写真(アサクサノリ・他)	126	分館海の博物館
写真(カイガラアマノリ・他)	22	浦安市郷土博物館、千葉県水産総合研究センター、多摩川干潟ネットワーク、大森海苔のふるさと館、観音崎自然博物館、個人
編集動画(アサクサノリの産地)	1	分館海の博物館
編集動画(クロダイがノリを食べる)	1	千葉県水産総合研究センター
アサクサノリ生育地ジオラマ	1	分館海の博物館
その他(動物生体、剥製・乾海苔製品・他)	14	分館海の博物館

3 収蔵資料展(分館海の博物館の収蔵資料を中心にして海の生きものを紹介する企画展示)

(1) 収蔵資料展 千葉県勝浦沖キンメ場の魚

ア 会 期 令和5年7月15日(土)～9月3日(日)〔開催日数：45日間〕

イ 会 場 研修室

ウ 主 催 等 千葉県立中央博物館分館海の博物館

エ 入 場 者 数 18,018名

オ 担 当 者 川瀬裕司

カ 概 要 千葉県勝浦沖にあるキンメダイを釣る漁場「キンメ場」で漁獲された魚を紹介した。

キ 印 刷 物 (ア)ポスター(館内で印刷)

(イ)チラシ 40,000部

ク 展示リスト (館蔵資料100点)

資料名	点数	所蔵
剥製標本(フジクジラ、テナガダラ、キンメダイ等)	5	分館海の博物館
液浸標本(シギウナギ、サケガシラ等)	25	分館海の博物館
実物大模型(マサバ)	1	分館海の博物館
立縄漁具(実物)	1	分館海の博物館
標本写真等(トガリムネエソ、ミズウオ等)	65	分館海の博物館
編集動画(オキアナゴ、シギウナギ、チゴダラ)	3	分館海の博物館

4 その他の展示

(1) 秋の企画展示「海の生きものの古い図鑑－明治から昭和初期まで－」

ア 会 期 令和5年10月21日(土)～令和6年1月14日(日)〔開催日数：65日間〕

イ 会 場 研修室

ウ 主 催 等 千葉県立中央博物館分館海の博物館

エ 入 場 者 数 9,779名

オ 担 当 者 奥野淳兒

カ 概 要 近代生物学が導入された明治から昭和の太平洋戦争中に出版された、海の生きものを扱った図鑑や教科書を紹介した。

キ 印 刷 物 チラシ 15,000部

ク 主な展示資料 『日本重要水産動植物図』(明治30年)、『日本有用魚介藻類図譜』(明治43年)、『海之動物研究』(明治41年)、『紀州魚譜』(大正13年)、『日本動物図鑑』(昭和2年)、『日本魚類図説』(昭和10年)、『日本水産動植物図集』(昭和6年)、『内外動物原色大図鑑』(昭和12年)など

IV 教育普及

第1 本館（講師・担当者は、特に断らないかぎり、本館職員）

1 展示観覧支援

- (1) ミュージアム・生態園トーク(展示解説) 88回 1,978人、中止 0回
通常、研究員が、展示室入場者を対象に、展示室や収蔵庫、生態園などで、1日2回（①11:00～11:30、②14:30～15:00）、各回30分程度の解説を行った。

月日	タイトル	講師	場所	参加人数
4月1日(土)	生態園の意外な動物	桑原和之	生態園	12人
4月1日(土)	「ちばの植物 探・検・隊！」展示解説	御巫由紀	展示室	7人
4月2日(日)	生態園の意外な動物1	桑原和之	生態園	15人
4月8日(土)	「ちばの植物 探・検・隊！」展示解説	西内李佳	展示室	12人
4月15日(土)	「ちばの植物 探・検・隊！」展示解説	山本伸子	展示室	9人
4月22日(土)	「ちばの植物 探・検・隊！」展示解説	斎木健一	展示室	9人
4月29日(土・祝)	トピックス展「千葉の外來昆虫最前線！」展示解説	樽宗一朗	展示室	15人
4月29日(土・祝)	生態園の海岸植生のはなし	西内李佳	生態園	9人
5月3日(水・祝)	トピックス展「千葉の外來昆虫最前線！」展示解説	樽宗一朗	展示室	29人
5月4日(土・祝)	トピックス展「千葉の外來昆虫最前線！」展示解説	尾崎煙雄	展示室	15人
5月5日(金・祝)	「5月5日は何の日？」	玉井里奈	展示室	21人
5月6日(土)	「ちばの植物 探・検・隊！」展示解説	天野誠	展示室	9人
5月14日(日)	歴史の裏側—伝承の世界—	小林裕美	展示室	11人
5月20日(土)	「ちばの植物 探・検・隊！」展示解説	山本伸子	展示室	12人
5月21日(日)	展示室で磯観察	高山順子	講堂	16人
5月27日(土)	生態園の意外な動物たち	桑原和之	生態園	12人
5月28日(日)	恐竜時代のシロアリのウンチ化石	伊左治鎮司	展示室	23人
6月3日(土)	生態園トピックス展「生態園の意外な動物たち」解説	桑原和之	生態園	0人
6月4日(日)	トピックス展「千葉の外來昆虫最前線！」展示解説	斉藤明子	展示室	45人
6月11日(日)	深海の生物	駒井智幸	展示室	21人
6月15日(木)	生態園の意外な動物たち	桑原和之	生態園	40人
6月18日(日)	博物館できのこ探検	吹春俊光	展示室	18人
6月24日(土)	生態園の地衣類	坂田歩美	生態園	4人
6月25日(日)	九十九里浜の蟹気楼	大木淳一	講堂	26人
7月2日(日)	災いをさける民俗	渡瀬綾乃	展示室	15人
7月8日(土)	生態園の意外な動物たち	桑原和之	生態園	23人
7月9日(日)	恐竜時代のシロアリのウンチ化石	伊左治鎮司	展示室	25人
7月15日(土)	特別展「よみがえるチバニアン期の古生物」展示解説	丸山啓志	展示室	15人
7月15日(土)	木の病気「ナラ枯れ」の話	尾崎煙雄	生態園	2人
7月17日(月・祝)	海辺の生きもの	村田明久	展示室	31人
7月22日(土)	特別展「よみがえるチバニアン期の古生物」展示解説	丸山啓志	展示室	42人
7月23日(日)	房総の地衣類	坂田歩美	展示室	11人
7月29日(土)	特別展「よみがえるチバニアン期の古生物」展示解説	丸山啓志	展示室	44人
7月30日(日)	夏の清澄山	天野誠	展示室	28人
8月5日(土)	特別展「よみがえるチバニアン期の古生物」展示解説	加藤久佳	展示室	38人
8月5日(土)	生態園の意外な動物たち	桑原和之	生態園	12人
8月6日(日)	トピックス展「関東大震災から100年」展示解説	高橋直樹	展示室	25人
8月12日(土)	特別展「よみがえるチバニアン期の古生物」展示解説	伊左治鎮司	展示室	56人
8月13日(日)	トピックス展「関東大震災から100年」展示解説	八木令子	展示室	25人
8月19日(土)	特別展「よみがえるチバニアン期の古生物」展示解説	丸山啓志	展示室	48人
8月19日(土)	生態園とは—日本初のエコロジーパークの全貌—	西内李佳	生態園	11人

月日	タイトル	講師	場所	参加人数
8月20日(日)	トピックス展「関東大震災から100年」展示解説	高橋直樹	展示室	12人
8月26日(土)	特別展「よみがえるチバニアン期の古生物」展示解説	加藤久佳	展示室	44人
8月26日(土)	生態園の意外な動物たち	桑原和之	生態園	12人
8月27日(日)	蘇らせた水生生物	林紀男	展示室・生態園	30人
9月2日(土)	特別展「よみがえるチバニアン期の古生物」展示解説	丸山啓志	展示室	62人
9月3日(日)	トピックス展「関東大震災から100年」展示解説	高橋直樹	展示室	27人
9月9日(土)	特別展「よみがえるチバニアン期の古生物」展示解説	伊左治鎮司	展示室	90人
9月10日(日)	特別展「よみがえるチバニアン期の古生物」展示解説	丸山啓志	展示室	68人
9月16日(土)	特別展「よみがえるチバニアン期の古生物」展示解説	千葉友樹	展示室	63人
9月17日(日)	房総の信仰美術	鈴木建人	展示室	20人
9月18日(月・祝)	食べられるきのこ、毒きのこ	吹春俊光	展示室	39人
9月23日(土)	トピックス展「関東大震災から100年」展示解説	高橋直樹	展示室	13人
10月7日(土)	秋の展示「手のひらのメディア—吉澤貞—マッチラベルコレクション—」展示解説	島立理子	展示室	29人
10月8日(日)	バックヤードツアー 花粉①	奥田昌明	展示室・第一化学分析室	17人
10月9日(月・祝)	模型で楽しむ千葉の建築	幅大	展示室	2人
10月14日(土)	谷津の四季	天野誠	展示室	12人
10月15日(日)	秋の展示「手のひらのメディア—吉澤貞—マッチラベルコレクション—」展示解説	島立理子	展示室	12人
10月21日(土)	生態園トピックス展「舟田池の生きもの」	後藤亮	生態園	8人
10月22日(日)	房総の信仰美術	鈴木建人	展示室	9人
10月28日(土)	地衣類の標本庫探検	原田浩	収蔵庫	3人
11月3日(金・祝)	生態園でバードウォッチング	桑原和之	生態園	43人
11月5日(日)	地衣類の標本庫探検	原田浩	第3収蔵庫	5人
11月12日(日)	バックヤードツアー花粉	奥田昌明	展示室・第一化学分析室	8人
11月19日(日)	秋の展示「手のひらのメディア—吉澤貞—マッチラベルコレクション—」展示解説	島立理子	講堂	10人
11月23日(木・祝)	ふえるシカと森のはなし	大津千晶	展示室	12人
11月26日(日)	地層と貝化石のおはなし	千葉友樹	展示室	5人
12月3日(日)	ノジュールは化石のタイムカプセル	加藤久佳	展示室	14人
12月10日(日)	民家とくらし	玉井里奈	展示室	4人
12月17日(日)	2万年前の森～マイナス7℃の世界～	西内李佳	展示室	7人
12月24日(日)	正月を迎える	玉井里奈	展示室	9人
1月7日(日)	十二支の辰にかかわるゾウ化石のおはなし	丸山啓志	2Fホール・展示室	20人
1月14日(日)	収蔵庫バックヤードツアー(昆虫)	斉藤明子	第5収蔵庫	20人
1月21日(日)	江戸時代の房総	米谷博	展示室	11人
1月28日(日)	土の中の生き物	萩野康則	展示室	24人
2月3日(土)	いろいろな魚のかたち	後藤亮	展示室	5人
2月4日(日)	深海の生物	駒井智幸	展示室	24人
2月11日(日・祝)	地層と貝化石のおはなし	千葉友樹	展示室	28人
2月12日(月・休)	地質調査と地層の年代を知る方法について	菊川照英	展示室	31人

月日	タイトル	講師	場所	参加人数
2月18日(日)	バックヤードツアー(液浸収蔵庫)	宮正樹	液浸収蔵庫	31人
2月23日(金・祝)	千葉の海の貝	照屋清之介	展示室	26人
2月24日(土)	生態園トピックス展「生態園の野鳥たち」解説	桑原和之	生態園	23人
2月25日(日)	増えるシカと森のはなし	大津千晶	展示室	29人
3月3日(日)	成田山新勝寺と門前町	須田華那	展示室	29人
3月10日(日)	「理科室のタイムマシン 学校標本」展示説明	斎木健一	展示室	45人
3月17日(日)	「理科室のタイムマシン 学校標本」展示説明	黒住耐二	展示室	62人
3月20日(水・祝)	小さくてかしこい春植物のはなし	浅野紗彩	展示室	40人

(2) 体験プログラム

本館展示では、体験プログラム「中央博調査隊」を学校団体向けに、生態園では、自然体験プログラム「森の調査隊」を学校団体、個人向けにワークシートを使って実施する。新型コロナウイルス感染拡大防止のため「中央博調査隊」は実施しなかったが、野外の生態園で開催する森の調査隊は実施した。

ア 生態園 自然体験プログラム「森の調査隊」 15回 303人 中止1回

月日	学校名・団体名	担当者・講師	場所	参加人数
4月9日(日)	個人	生態学・環境研究科	生態園	26人
5月7日(日)	個人	坂田歩美	生態園	中止
6月15日(木)	個人	生態学・環境研究科	生態園	29人
6月15日(木)	団体	斉藤明子	生態園	7人
6月30日(水)	団体	斉藤明子	生態園	21人
7月17日(月・祝)	個人	生態学・環境研究科	生態園	4人
8月11日(金・祝)	個人	天野誠・坂田歩美・西内李佳	生態園	19人
8月20日(日)	団体	斉藤明子	生態園	15人
9月18日(月・祝)	個人	斎木健一・坂田歩美	生態園	25人
10月22日(日)	個人	西内李佳	生態園	24人
11月23日(木・祝)	個人	生態学・環境研究科	生態園	44人
12月17日(日)	個人	後藤亮	生態園	17人
1月14日(日)	個人	栗田隆気	生態園	2人
2月12日(月・休)	個人	天野誠	生態園	51人
3月20日(水・祝)	個人	生態学・環境研究科	生態園	19人

(3) 常設展解説「ぐるっと見どころツアー」 12回 134名

体験交流員が各常設展示室の見どころをわかりやすく解説するツアー。新型コロナウイルス感染拡大防止のため対面で実施する体験交流事業が休止となり、体験交流行事に代わって展示解説業務を令和4(2022)年11月25日からスタートした。令和5(2023)年5月に新型コロナウイルス感染対策が解除となり、常設展解説から体験交流事業に軸足を戻した。令和5年度は、柳原亜矢子、阿部真理子、須藤大雅の3名の体験交流員が事業を担当した。

月	土日祝日(定時)		予約団体		月別回数	月別人数
	回	人	回	人		
5月	1	2	0	0	1	2
6月	2	10	2	27	4	37
7月	1	1	1	14	2	15
10月			1	25	1	25
11月			1	16	1	16
12月			1	13	1	13
2月			1	6	1	6
3月			1	20	1	20
計	4	13	8	121	12	134

(4) 体験交流事業

新型コロナウイルス感染拡大防止のため令和3(2021)年度から休止していた各種の体験交流事業を、令和5(2023)年度に再開した。令和5年度は、柳原亜矢子、阿部真理子、須藤大雅の3名の体験交流員が事業を担当した。

タイトル	年間実施回数	参加者数
はっけん! すまいるキッズ(令和5(2023)年10月に再開)	22回	197人
おきにいり新聞(2月開始)	通年	32人
博物館ぬりえ	通年	多数
おえかきっこ	通年	多数
チャレンジシート	通年	多数

2 講座・観察会等の開催

(1) 講座・観察会

ア 地学 16回 432人 中止1回

月日	タイトル	講師	場所	参加者数
5月20日(土)	東京湾で貝殻と貝の化石をさがそう	伊左治鎮司	富津市	16人
5月21日(日)	地質の日関連-勝浦鶴原の黒滝不整合	高橋直樹・菊川照英	勝浦市	33人
8月5日(土)	海岸で石ころをひろおう	高橋直樹・菊川照英	富津市	40人
8月12日(土)	地形模型を作ってみよう	八木令子	研修室・1Fホール	20人
9月9日(日)	トピックス展「関東大震災から100年」関連講演会	高橋直樹	講堂	49人
9月17日(日)	自然誌シンポジウム チバニアン期の哺乳類化石を探る	丸山啓志	講堂・1Fホール・研修室	85人
10月14日(土)	セキツイ動物の比べ方	丸山啓志	研修室	46人
10月15日(日)	化石発掘たいけん	伊左治鎮司	1F入口	28人
10月22日(日)	街なかの自然観察 東京の旧海岸線を歩く	八木令子	東京都	24人
10月29日(日)	浜金谷の化石採集	加藤久佳	富津市	35人
11月11日(土)	県外岩石観察会14 群馬太田の蕨塚石	高橋直樹・菊川照英	群馬県太田市	17人
1月21日(日)	メタセコイア化石林の観察	西内李佳	東京都八王子市	雨天中止
1月27日(土)	地層と貝化石の観察会	千葉友樹・加藤久佳・照屋清之介	館山市	13人
2月11日(日・祝)	信仰巨石の地学	八木令子	研修室	17人
3月2日(土)	岩石薄片をつくろう	高橋直樹・菊川照英	研修室	20人
3月10日(日)	海岸で化石をさがそう	加藤久佳	富津市	31人

イ 動物 14回 303人 中止0回

月日	タイトル	講師	場所	参加者数
4月22日(土)	タカラガイの話題	黒住耐二	研修室	18人
6月25日(日)	昆虫標本のつくり方	樽宗一朗	研修室	15人
7月8日(土)	昆虫標本のつくり方	樽宗一朗	研修室	14人
7月9日(日)	にぼしで学ぶ魚のひみつ	後藤亮	研修室	25人
7月16日(日)	バケツ一杯の水から海の魚を探る(1): オリエンテーション	宮正樹	研修室	23人
7月22日(土)	東京大学千葉演習林連携事業 夏の山の昆虫	尾崎煙雄・斉藤明子・樽宗一朗	東京大学千葉演習林	28人
8月5日(土)	うみ鳥つづ東京湾2023	平田和彦・後藤亮	東京湾フェリー	22人
9月10日(日)	バケツ一杯の水から海の魚を探る(2): 調査結果のまとめ	宮正樹	研修室	23人
10月28日(土)	土の中の生き物	萩野康則	研修室・生態園	4人
11月11日(土)	ホネール(鯨骨)ウォッチング	丸山啓志	研修室	17人

月日	タイトル	講師	場所	参加者数
12月2日(土)	冬のむしさがし	樽宗一朗	青葉の森公園	30人
1月20日(土)	深海生物を見てみよう	駒井智幸	研修室	26人
2月17日(土)	深海生物を見てみよう	駒井智幸	研修室	26人
3月2日(土)	生態園観察会 生態園の野鳥	桑原和之	生態園	32人

ウ 植物・菌類 12回 675人 中止0回

月日	タイトル	講師	場所	参加者数
5月22日(日)	地衣類の分類 全6回連続講座(②6/18、③10/22、④12/3、⑤1/28、⑥2/25、⑦3/24)	原田浩	研修室	10人
7月22日(土)	菌類から生物多様性を考える・1 「ナラ枯れのメカニズムと防除の最前線」 「南房総地域で発生したナラ枯れ被害」	吹春俊光	講堂	184人
8月26日(土)	菌類から生物多様性を考える・2 「水生不完全菌類とはなにか? -その暮らしと生活-」 「冬虫夏草の不思議」	吹春俊光	講堂	49人
8月26日(土)	菌類から生物多様性を考える・2 「水生不完全菌類とはなにか? -その暮らしと生活-」 「冬虫夏草の不思議」【オンライン】	吹春俊光	講堂	113人
11月12日(日)	生態園観察会 秋の植物	西内李佳	生態園	3人
11月18日(土)	青葉の森公園観察会	天野誠	青葉の森公園	4人
11月18日(土)	バラの歴史	御巫由紀	研修室	18人
11月23日(木・祝)	菌類から生物多様性を考える・3 「鞭毛をもつ菌類-水の中を泳ぐ菌類の話-」 「ランと菌類の不思議な暮らし」	吹春俊光	講堂	175人
11月26日(日)	郊外の地衣類	原田浩・坂田歩美	市原市	15人
12月16日(土)	きのこの顕微鏡観察	吹春俊光	研修室	26人
1月21日(日)	地衣類の顕微鏡観察	坂田歩美	研修室	13人
2月10日(土)	スマイレの分類	天野誠	研修室	13人

エ 歴史・民俗 4回 79人 中止0回

月日	タイトル	講師	場所	参加者数
11月25日(土)	考古学講座「房総の古墳概説」	石井友菜	研修室	13人
12月2日(土)	木綿と真綿-布の原料のこと-	玉井里奈・山本伸子・樽宗一朗	研修室	8人
1月21日(日)	まいわいをしろう 民俗編	渡瀬綾乃	講堂	14人
2月18日(日)	まいわいをしろう 歴史編	鈴木建人	講堂	44人

オ 自然と人間 2回 47人 中止0回

月日	タイトル	講師	場所	参加者数
7月27日(木)	教員のための博物館の日 博物館環境教育研修	高橋一真	研修室・生態園	11人
8月4日(木)	教員のための博物館の日 博物館利用研修会	高橋一真	研修室・講堂	36人

カ 自然いろいろ 14回 303人 中止0回

月日	タイトル	講師	場所	参加者数
4月29日(土・祝)	山の学校 157 春の里の生きもの	斉藤明子・斎木健一・千葉友樹	清和小学校	37人
5月7日(日)	プランクトンの小宇宙をのぞいてみよう	林紀男	研修室・生態園	19人

月日	タイトル	講師	場所	参加者数
5月21日(日)	生態園湿地再生バックヤードツアー	林紀男	生態園	1人
5月27日(土)	山の学校 158 初夏の山の生きもの	斉藤明子・斎木健一・千葉友樹	清和県民の森	15人
6月4日(日)	生態園観察会 初夏の動植物	西内李佳	生態園	13人
6月18日(日)	磯の生きものを探そう	村田明久・高山順子	館外	18人
6月24日(土)	山の学校 159 夏の里の生きもの	斉藤明子・斎木健一・千葉友樹	清和小学校	40人
7月29日(土)	山の学校 160 川の生きもの1	斎木健一・後藤亮・栗田隆気・千葉友樹	清和県民の森	31人
8月26日(土)	山の学校 161 川の生きもの2	斉藤明子・斎木健一・千葉友樹・後藤亮	清和県民の森	41人
9月9日(土)	水槽栽培の水草を触って比べよう	林紀男	研修室・生態園	4人
9月23日(土・祝)	山の学校 156 秋の里の生きもの	斎木健一・斉藤明子・千葉友樹	君津市	13人
11月5日(日)	生態園湿地再生バックヤードツアー	林紀男	生態園	12人
1月20日(土)	九十九里で激レア屋気楼と海鳥をみよう	大木淳一・平田和彦	九十九里浜	14人
3月17日(日)	理科室の標本が教えてくれた昔のこと	斎木健一	講堂	28人

キ 公開講演会・セミナー 1回 31人 中止0回

月日	タイトル	講師	場所	参加者数
3月15日(金)	千葉県立中央博物館セミナー	浅野紗彩・須田華那・照屋清之介	講堂	31人

ク 千葉学講座 2回 180人 中止0回

月日	タイトル	講師	場所	参加者数
2月3日(土)	写真にみる人々の暮らしの歴史 千葉県誕生 150 周年記念事業 房総の海をめぐる光と影とアート展 クワクポリョウタ《コレクション・ネット》をめぐって	島立理子 松田直子	講堂	62人
2月12日(月・休)	房総のむらにおける上総掘り技術の再現 本牧あたりの昔のカニの話-ハマの記憶とチバの未来-	鈴木啓太 奥野淳兒	講堂	118人

(2) 春の展示「ちばの植物 探・検・隊！」関連行事 3回 51人

月日	タイトル	講師	場所	参加者数
4月21日(金)	春の展示関連行事 花を解剖する	山本伸子・浅野紗彩	研修室	8人
4月29日(土・祝)	春の展示関連行事 押し花のしおりづくり	原田浩・天野誠・山本伸子・浅野紗彩	2F ホール	31人
5月14日(日)	春の展示関連行事「青葉の森公園観察会」	天野誠・山本伸子・浅野紗彩	青葉の森公園	12人

(3) 特別展「チバニアン期の古生物」関連行事 14回 1,247人

月日	タイトル	講師	場所	参加者数
7月15日(土)	特別展「よみがえるチバニアン期の古生物」オープニングセレモニー	企画調整課員・特別展チーム・教育普及課員	講堂	67人
7月16日(日)	特別展関連行事 古生物の缶バッジづくり	丸山啓志	1F ホール	75人
7月17日(月・祝)	特別展関連行事 大昔のどうぶつの絵を描こう	丸山啓志	1F ホール	57人
7月23日(日)	特別展関連行事 チバニアン期底の地磁気逆転層観察会	奥田昌明・菊川照英	市原市田淵	18人

月日	タイトル	講師	場所	参加者数
7月30日(日)	特別展関連行事 化石の模型をつくろう	加藤久佳	研修室	51人
8月6日(日)	特別展関連行事 クイズ：千葉の古生物	丸山啓志	1Fホール・講堂	56人
8月11日(金・祝)	特別展関連行事トークショー 古生物 サミット in 房総：古生物のおしごと	丸山啓志・加藤久佳・ 伊左治鎮司・樽宗一 朗・大木淳一・奥田昌 明・八木令子・菊川照 英	講堂・1Fホール・ 研修室	86人
8月11日(金・祝)	特別展関連行事トークショー 古生物サミット in 房総：古生物のおし ごと	丸山啓志	オンライン	68人
8月13日(日)	特別展関連行事 古生物を復元してみ よう	丸山啓志	研修室	74人
8月20日(日)	特別展関連行事 化石を拾ってみよう	千葉友樹・加藤久佳・ 丸山啓志・伊左治鎮司	1Fホール	230人
8月27日(日)	特別展関連行事 博物館フィギュア× チバニアン期の古生物	丸山啓志	1Fホール	83人
9月3日(日)	特別展関連行事 本物の化石をさわっ てみよう	伊左治鎮司	1Fホール	218人
9月10日(日)	特別展関連行事 古生物の絵本読み聞かせ	丸山啓志	講堂・たいけんの 森	39人
9月18日(月・祝)	特別展関連行事 古生物の缶バッヂづくり	丸山啓志	1Fホール	125人

(4) 秋の展示「手のひらのメディア-吉澤貞一マッチラベルコレクション-」関連行事 1回 25人

月日	タイトル	講師	場所	参加者数
12月10日(日)	秋の展示関連行事 メディアとしての マッチラベル	島立理子	講堂	25人

(5) 体験イベント・特別企画

ア 体験イベント 1,805人

月日	タイトル	講師	場所	参加者数
4月30日(日)	五月飾りをつくろう！	玉井里奈・山本伸子	1Fホール	30人
5月4日(木・祝)	石を割ってみよう	高橋直樹	1Fホール	56人
5月7日(日)	キーホルダーをつくろう	林紀男・柳原亜矢子・ 阿部真理子・須藤大雅	1Fホール	26人
6月24日(土)	日本刀にさわってみよう	高橋覚	講堂	6人
7月1日(土)	たなばた飾りをつくろう！	玉井里奈・山本伸子	1Fホール	21人
7月2日(土)	和綴じ本を作ろう	小林裕美	1Fホール	11人
11月3日(金・祝)	自然誌フェスタ -みんなで楽しむ千葉の自然と歴史-	調査研究チーム		1,457人
11月3日(金・祝)	生態園でツリーラリー	西内李佳	生態園	140人
11月4日(土)	親子で戦国武将になろう！ 甲冑の試 着体験	高橋覚	講堂	12人
12月3日(日)	まつぼっくりのクリスマスツリー	林紀男・柳原亜矢子・ 阿部真理子・須藤大雅	1Fホール	9人
1月13日(土)	小正月飾りをつくろう！	玉井里奈・山本伸子	1Fホール	19人
2月24日(土)	ひな飾りをつくろう！	玉井里奈・山本伸子	1Fホール	18人

イ 夏休み特別企画 53人

月日	タイトル	講師	場所	参加者数
7月17日(月・祝)～ 8月27日(日)	夏休み自由研究相談会	調査研究チーム(担当)	1Fホール・研修室	53人

ウ 文化の日特別企画 1,457人

月日	タイトル	受付担当者・参加団体	場所	参加者数
11月3日(金・祝)	自然誌フェスタ -みんなで楽しむ千葉の自然と歴史-	受付担当：調査研究チーム 参加団体：千葉県菌類談話会、中央博サークル歴史サークル、ちば環境情報センター、千葉県生物学会、房総貝類談話会、千葉港ポートパークかもめのクリーン隊、千葉県地学教育研究会、まあるい広場(社会福祉法人 九十九会)、千葉県自然保護課千葉県生物多様性センター(全9団体)	1F ホール・ピロティ	1,457人

3 アウトリーチ支援

(1)学校対象(館内で実施した博物館学習を含む)

ア 小学校 3回 123人

月日	事業名(学校名)	講師等	場所	参加者数
5月9日(火)	スクールミュージアム水生生物観察会(八重原小学校)(君津市教育委員会)	斉藤明子	君津市立八重原小学校	33人
6月6日(火)	スクールミュージアム水生生物観察会(周南小学校)(君津市教育委員会)	後藤 亮	君津市立周南小学校	55人
10月5日(木)	家庭教育学級「九十九里の生き物発見」(九十九里町立片貝小学校)	大木淳一	九十九里町立片貝小学校体育館	35人

イ 特別支援学校 3回 45人

月日	事業名(学校名)	講師等	場所	参加者数
7月6日(木)	理科学習「鳥類の体のつくり」(県立千葉盲学校小学部)	桑原和之・高橋一真	研修室	15人
11月22日(水)	理科学習「チバニアン期を知ろう」(県立千葉盲学校中学部・高等部)	丸山啓志・高橋一真	研修室・展示室	13人
1月31日(水)	千葉県立中央博物館出前授業(千葉県立千葉盲学校小学部)	斉藤明子・尾崎煙雄・樽 宗一郎	千葉県立千葉盲学校	17人

ウ 高等学校 2回 39人

月日	事業名(学校名)	講師等	場所	参加者数
7月17日(月)	S S H野外実習基礎講座(生物分野)(千葉市立千葉高等学校)	西内李佳・尾崎煙雄	清和県民の森周辺	15人
11月29日(水)	令和5年度千葉県高等学校教育研究理科部会研究協議会	丸山啓志・高橋一真	講堂	24人

エ 大学 2回 42人

月日	事業名(学校名)	講師等	場所	参加者数
12月2日(土)	博物館見学(秀明大学)	奥田昌明・原田 浩 高橋直樹・丸山啓志 高橋一真・	展示室・講堂	21人
12月2日(土)	博物館見学(秀明大学)	奥田昌明・原田 浩 高橋直樹・丸山啓志 高橋一真・	展示室・講堂	21人

(2)団体・機関等への支援

ア 講座等講師(館内) 8回 242人

月日	事業名(依頼者)	講師	場所	参加者数
4月22日(土)	千葉支部第16回総会及び第77回例会(日本気象予報士会千葉支部)	大木淳一	オンライン	26人
7月26日(水)	千葉市児童植物観察会(千葉市教育委員会理科部会)	西内李佳・山本伸子	講堂・生態園	23人

月日	事業名(依頼者)	講師	場所	参加者数
8月1日(火)	千葉県夢チャレンジ体験スクール(県教育委員会)	高橋一真・坂田歩美	研修室・生態園	10人
8月8日(火)	千葉市児童植物観察会(千葉市教育委員会理科部会)	大津千晶・山本伸子	講堂・生態園	39人
11月29日(水)	令和5年度千葉県高等学校教育研究会理科部会地学研究協議会(千葉県高等学校教育研究会理科部会地学分会)	高橋一真・丸山啓志	講堂	24人
12月27日(水)	千葉県高等学校教育研究会理科部会生物分科会野外植物研究班研修会(千葉県高等学校教育研究会理科部会)	尾崎煙雄・西内李佳	研修室・生態園	9人
1月14日(日)	「県の石ー千葉の岩石・鉱物・化石ー」講演会(一般社団法人日本地質学会関東支部)	伊左治鎮司・高橋直樹	講堂	120人
2月23日(金)	講演会「きのこの不思議」(千葉県生物学会)	吹春俊光	講堂	53人

イ 講座等講師(館外) 64回 2,084人

月日	事業名(依頼者)	講師	場所	参加者数
4月23日(日)	道端の花(雑草)を観察してみよう(青葉の森公園管理事務所)	天野 誠	青葉の森公園	24人
5月10日(水)	ローズフェスティバル 2023～春～ プロによる講演会・ガイドツアー(神奈川県立花と緑のふれあいセンター)	御巫由紀	神奈川県立花と緑のふれあいセンター花菜ガーデン	11人
5月17日(水)	「(移動教室)バラを訪ねて」～専門家とバラについて学ぶ～(木更津市立西清川公民館)	御巫由紀	佐倉市	9人
5月19日(金)	日本の野ばらとその魅力(横浜市環境創造局)	御巫由紀	神奈川近代文学館大ホール	96人
5月27日(土)	チバニアンガイド五期生養成講座(NPO 法人田淵チバニアンズ)	高橋直樹	市原市加茂公民館	37人
5月28日(日)、6月10日(土)	体験教室「河川敷の野鳥観察会」(千葉県立関宿城博物館)	桑原和之	県立関宿城博物館、館周辺	24人
6月1日(木)	令和5年度千葉県食品衛生等関係職員研修発表会(千葉県食品衛生研究協議会)	吹春俊光	県庁本庁舎	76人
6月3日(月)、6月18日(火)	体験教室「身近なクモの観察会」(千葉県立関宿城博物館)	萩野康則	県立関宿城博物館、館周辺	8人
6月8日(木)	福寿大学(高齢者大学)(四街道市立千代田公民館)	西内李佳	四街道市立千代田公民館ホール	41人
6月12日(月)	蜃気楼の魅力(柏シルバー大学院)	大木淳一	柏市	98人
6月18日(日)	第27回総会時公開講演会(特定非営利活動法人日本スペースガード協会)	高橋直樹	東京都千代田区	21人
6月24日(土)	令和5年度千葉県児童生徒・教職員科学作品展研修事業(千葉県児童生徒・教職員科学作品展実行委員会)	高橋一真・水野大樹	県総合教育センター	62人
6月25日(日)	『平塚市史13巻』刊行記念講演会～お寺と神社からみた平塚の歴史～(平塚市博物館)	鈴木建人	平塚市博物館	45人
7月2日(日)	安房学講座(館山市文化財保護協会)「おはまおりー房総の海のまつりー」	小林裕美	館山市コミュニティセンター	68人
7月2日(日)	キノコをもっと知ろう「キノコの観察と分類」夏(千葉県生物学会)	吹春俊光	千葉市	21人
7月22日(土)	くらしの植物苑観察会 第292回「佐倉城址公園の地衣類」(国立歴史民俗博物館)	坂田歩美	国立歴史民俗博物館	14人
7月29日(土)	チバニアンガイド養成講座(NPO 法人田淵チバニアンズ)	奥田昌明	市原市加茂公民館	39人
7月30日(日)	野外観察会(千葉県菌類談話会)	吹春俊光	佐倉市	42人
7月30日(日)	親子で夏の自由研究ツアー「蜃気楼を観察しよう！」(銚子ジオパーク推進協議会)	大木淳一	銚子市ジオパーク芸術センター	16人

月日	事業名(依頼者)	講師	場所	参加者数
8月2日(水)	小・中学校自然体験活動研修(千葉県総合教育センター)	斎木健一・天野 誠	青葉の森公園	20人
8月7日(月)	県営土地改良事業(経営体育成基盤整備事業)(鹿島川土地改良区)	林 紀男	佐倉市	20人
8月20日(日)	野外観察会(ちば千年の森をつくる会)	吹春俊光	君津市	22人
8月29日(火)	県営土地改良事業(経営体育成基盤整備事業)(印旛沼土地改良区)	林 紀男	佐倉市	27人
8月30日(水)、 9月6日(水)	自然観察会(市原市立姉崎公民館)	八木令子	市原市立姉崎公民館	30人
9月2日(土)	令和5年度子どもゆめ基金助成活動 親子で遊べる自然科学体験4教室「チバニアンを見に行こう!」(リカちゃんトラボ)	加藤久佳	東金文化会館・チバニアン露頭	33人
9月2日(土)	日本樹木医会千葉県支部東ブロック研修会(日本樹木医会千葉県支部東ブロック)	斉藤明子・尾崎煙雄	四街道市文化センター	22人
9月2日(土)	令和5年度出土遺物公開事業「流山新市街地地区の遺跡展」に係る講演会(公益財団法人千葉県教育振興財団)	石井友菜	流山市初石公民館	81人
9月17日(日)	野外観察会(NPO法人リトカル)	吹春俊光	県立幕張海浜公園	21人
9月23日(土)	海浜幕張公園での化石採取(東京私立初等学校協会理科教育研究部)	加藤久佳	県立幕張海浜公園	6人
9月23日(土)	野外観察会(千葉菌類談話会)	吹春俊光	千葉市泉自然公園・千葉市白井公民館	42人
9月23日(土)	くらしの植物宛観察会 第294回「日本の文化・歴史の中の半自然草原」(国立歴史民俗博物館)	大津千晶	国立歴史民俗博物館	12人
9月24日(日)	泉自然公園きこの観察会～きこのを通して森をみる～(千葉市泉自然公園)	吹春俊光	千葉市泉自然公園	32人
9月30日(土)、 10月11日(水)	緑の教室「きこの観察会～きこのは森の守り神」(青葉の森公園管理事務所)	吹春俊光	青葉の森公園	33人
10月1日(日)	キノコをもっと知ろう「キノコの観察と分類」秋(千葉県生物学会)	吹春俊光	千葉市	23人
10月6日(金)	野外観察会(市原植物研究会)	吹春俊光	市原市	20人
10月7日(土)	子ども里山観察会「やさしいきこの観察会」(千葉県立房総のむら)	吹春俊光	県立房総のむら	6人
10月8日(日)	野外観察会(千葉菌類談話会)	吹春俊光	市原市	44人
10月12日(木)	チバニアンガイド特別講座「岩石の観察」(NPO法人田淵チバニアンズ)	高橋直樹	市原市加茂公民館	28人
10月14日(土)	里山観察会「野生のきこの」(千葉県立房総のむら)	吹春俊光	県立房総のむら	13人
11月5日(日)	ちばフィールド探究クラブ2023「里山と川の水環境」第8回「里山の森づくりと資源活用」(千葉市科学館)	天野 誠	千葉市	20人
11月8日(水)	県政トピックス(千葉県生涯大学校京葉学園)	奥田昌明	県生涯大学校京葉学園教室	4人
11月11日(土)	千葉県誕生150周年記念事業 令和5年度トピックス展「千葉の行商一小さなからだ大きなカゴとー」講演会(千葉県立房総のむら)	小林裕美	県立房総のむら	55人
11月11日(土)	ちばフィールド探究クラブ2023「里山と川の水環境」兼トークイベント(千葉市科学館)	八木令子	千葉市科学館	21人
11月11日(土)	洋学史学会シンポジウム(洋学史学会)	御巫由紀	電気通信大学	58人
11月12日(日)	サイエンス・カフェ(千葉県立西部図書館)	丸山啓志	県立西部図書館	28人
11月25日(土)	ちばフィールド探究クラブ2023「里山と川の水環境」兼トークイベント(千葉市科学館)	後藤 亮	千葉市科学館	18人
12月8日(金)	令和5年度郷土資料館セミナー「房総の人と自然」(全4回)(鎌ヶ谷市郷土資料館)	尾崎煙雄	鎌ヶ谷市立図書館	36人

月日	事業名(依頼者)	講師	場所	参加者数
12月10日(日)	令和5年度印西歴史愛好会12月定例会(印西歴史愛好会)「北総地域のオタチと石尊様」	小林裕美	印西市小林公民館	20人
12月14日(木)	蜃気楼の魅力について(柏シルバー大学院)	大木淳一	柏市	79人
12月16日(土)	チバニアンを歩こう! ~地球の音が聞こえるよ~(江戸川区子ども未来館)	大木淳一	市原市	24人
1月15日(月)	蜃気楼の魅力について(柏シルバー大学院D組)	大木淳一	柏市	75人
1月27日(土)	くらしの植物苑観察会第298回「くらしの中に息づく植物-衣類にまつわる植物-」(国立歴史民俗博物館)	天野 誠	国立歴史民俗博物館	21人
1月27日(土)	令和5年度きさらづ市民カレッジ 地元学コース 第10回(木更津市教育委員会生涯学習課)	島立理子	木更津市立中央公民館	76人
2月7日(水)	蜃気楼の魅力について(柏シルバー大学院B組)	大木淳一	柏市	60人
2月18日(日)	東金高校同窓会九十九里三支部合同総会における講演(千葉県立東金高等学校同窓会九十九里三支部)	大木淳一	九十九里町	35人
2月18日(日)	日本地質学会 関東支部 アウトリーチ巡検「安房鴨川海岸の地質・地形観察」(一般社団法人日本地質学会関東支部)	高橋直樹	鴨川市	22人
2月20日(火)	柏シルバー大学院 研究課程3年3学期学習(柏シルバー大学院 研究課程3年)	奥田昌明	柏市	40人
2月20日(火)	地域の歴史文化を知る(千葉県生涯大学校外房学園)	榎 美香	県生涯大学校外房学園	28人
2月24日(土)	令和6年安房生物愛好会定期講演会(安房生物愛好会)	御巫由紀	館山市コミュニティセンター	80人
3月9日(土)	第22回ちば興銀コスモスセミナー 無料公開講演「蜃気楼について」(株式会社千葉興業銀行)	大木淳一	千葉市	44人

ウ 学会・研究会・会議等の開催(館外を含む) 2回 40人

月日	事業名	担当者等	場所	参加者数
5月28日(日)	第29回房総貝類談話会	黒住耐二・照屋清之介	会議室	19人
3月17日(日)	第30回房総貝類談話会	黒住耐二・照屋清之介	会議室	21人

エ 施設の貸し出し 24回 1,064人

月日	事業名	利用者	担当者等	場所	参加者数
5月24日(水)	千葉県文化財保護指導委員会議	県文化財課	尾崎煙雄	研修室	22人
5月30日(火)	令和5年度市町村文化財担当者講習会	県文化財課	尾崎煙雄	研修室	69人
5月31日(水)	令和5年度市町村文化財担当者講習会	県文化財課	尾崎煙雄	講堂・研修室	64人
7月23日(日)	第1回文化財講演会	千葉県文化財保護協会	浅野紗彩	講堂	84人
9月15日(金)	令和5年度第4回児童サービス基礎研修会	県立中央図書館	尾崎煙雄	講堂	45人
9月15日(金)	令和5年度第5回児童サービス基礎研修会	県立中央図書館	尾崎煙雄	講堂	71人
10月21日(土)	第2回文化財講演会	千葉県文化財保護協会	尾崎煙雄	講堂	65人
10月22日(日)	千葉県昆虫談話会	千葉県昆虫談話会	樽宗一朗	会議室	28人
11月16日(木)	令和5年度アライグマセミナー	県自然保護課	尾崎煙雄	講堂	59人
11月24日(金)	第45回千葉県高等学校生徒歴史研究発表大会	千葉県高等学校教育研究会歴史部会	尾崎煙雄	講堂	59人
12月12日(火)	令和5年度スキルアップ研修会(児童サービス)	県立中央図書館	尾崎煙雄	研修室	25人
12月16日(土)	シンポジウム いま、コレクションについて考える~人はなぜ集めるのか?~	県立中央図書館	尾崎煙雄	講堂	22人
12月17日(日)	千葉県昆虫談話会	千葉県昆虫談話会	樽宗一朗	会議室	31人
12月27日(水)	千葉県高等学校教育研究会理化部会生物分科会野外植物研究班研修会	千葉県高等学校教育研究会理化部会生物分科会	尾崎煙雄	研修室	9人

月日	事業名	利用者	担当者等	場所	参加者数
1月6日(土)	菌類写真発表会	千葉菌類談話会	吹春俊光	講堂・研修室	63人
1月14日(日)	講演会「県の石 - 千葉の岩石・鉱物 - 」	日本地質学会	高橋直樹	講堂	42人
1月20日(土)	第3回文化財講演会	千葉県文化財保護協会	尾崎煙雄	講堂	66人
1月25日(木)	千葉シニア自然大学	NPO 法人千葉自然学校	尾崎煙雄	研修室	16人
1月25日(木)	令和5年度千葉県内市町村文化財主管課長会議	県文化財課	尾崎煙雄	講堂	41人
1月25日(木)	令和5年度千葉県文化財管理指導講習会	県文化財課	尾崎煙雄	講堂	50人
2月7日(水)	令和5年度第3回千葉県文化財保護指導委員会会議	県文化財課	尾崎煙雄	研修室	12人
2月18日(日)	千葉県昆虫談話会	千葉県昆虫談話会	樽宗一朗	会議室	24人
2月23日(金)	千葉県生物学会 総会・講演会・会員研究発表会	千葉県生物学会	尾崎煙雄	講堂	53人
2月24日(土)	日本野鳥の会千葉県 2024年度総会・講演会	日本野鳥の会千葉県	尾崎煙雄	講堂	44人

(3)学習キットの利用(貸出・館内利用等)

期日	利用者	化石キット(基本)	化石キット(発展)	昆虫標本作製キット(理科)	昆虫標本作製キット(国語)	人類進化学習キット	校庭の野草観察キット	昔の道具学習キット	利用方法	利用者数
2023.5.16	横浜創英中学・高等学校					○			貸出	220人
2023.6.5	袖ヶ浦特別支援学校	○	○	○	○	○			貸出	—
2023.6.5	大妻嵐山中学校・高等学校					○			貸出	37人
2023.6.22	東久留米市立東部図書館	○							貸出	20人
2023.7.19	清心中学校・清心女子高等学校					○			貸出	44人
2023.7.21	江戸川区立臨海小学校内科学教育センター	○							貸出	100人
2023.7.26	川崎市立犬蔵中学校	○	○							150人
2023.7.27	明誠学院高等学校					○			貸出	45人
2023.8.2	大網白里市立大網小学校						○		貸出	2人
2023.8.2	鎌ヶ谷市立第二中学校						○		貸出	1人
2023.8.2	市原市立市原中学校						○		貸出	30人
2023.8.2	船橋市立八木が谷中学校						○		貸出	1人
2023.8.2	木更津市立真舟小学校						○		貸出	1人
2023.8.2	木更津市立富来田中学校						○		貸出	1人
2023.8.2	佐倉市立染井野小学校						○		貸出	38人
2023.8.2	八街市立八街南中学校						○		貸出	1人
2023.8.2	船橋市立小室小学校						○		貸出	78人

2023. 8. 2	千葉県立千葉特別支援学校						○		貸出	1人
2023. 8. 2	千葉県立香取特別支援学校						○		貸出	1人
2023. 8. 3	県総合教育センター理科教員研修		○						館外説明	16人
2023. 8. 4	教員のための博物館の日 博物館利用研修会	○	○	○	○	○	○	○	館内説明	36人
2023. 8. 4	千葉県立印旛特別支援学校						○		貸出	1人
2023. 8. 4	銚子市立第二中学校						○		貸出	1人
2023. 8. 4	千葉市立新宿小学校						○		貸出	1人
2023. 8. 4	千葉県立実籾高等学校						○		貸出	1人
2023. 8. 4	千葉県立松戸馬橋高等学校						○		貸出	1人
2023. 8. 4	千葉大学博物館資料論		○						館外説明	21人
2023. 8. 12	個人			○					貸出	2人
2023. 8. 22	Alnair(モンテッソーリ教室)						○		貸出	5人
2023. 9. 6	八日市場特別支援学校							○	貸出	5人
2023. 9. 27	千葉聖心高等学校						○		貸出	30人
2023. 10. 20	茅ヶ崎西浜高等学校	○	○				○		貸出	36人
2023. 10. 22	四街道特別支援学校	○		○					貸出	2人
2023. 10. 23	県立東葛飾中学校		○						貸出	80人
2023. 10. 23	八千代市立みどりが丘小学校							○	貸出	171人
2023. 10. 28	秀明大学学校教師学部	○	○						貸出	5人
2023. 11. 25	土気学(地域研究会)	○	○						貸出	20人
2023. 11. 26	印西市立西の原中学校	○	○						貸出	200人
2023. 11. 29	千葉県高校理科部会	○							館内説明	24人
2023. 12. 11	三重県立川越高等学校						○		貸出	95人
2024. 1. 11	戸田市立新曽中学校				○				貸出	380人
2024. 1. 15	日出学園小学校							○	貸出	98人
2024. 1. 19	南房総市立千倉中学校	○	○						貸出	58人
2024. 1. 22	柏市立柏第六小学校							○	貸出	96人
2024. 1. 30	匝瑳市立椿海小学校							○	貸出	28人
2024. 2. 5	銚子市立飯沼小学校							○	貸出	23人
2024. 3. 2	木更津市立八幡台小学校	○	○						貸出	732人

2024.3.12	日本点字図書館	○	○						館内説明	5人
	計	14	13	4	3	10	17	7		2,945人

(4) 専門分野における相談対応

研究員が専門分野の知識を活かし、個人および各種機関等からの質問相談および助言・指導を行なった。

相談件数 3,605 件

専門分野	官公庁	公的団体	民間団体	小中高校	大学	海外	個人	小計
地学	54	1	19	2	8	0	95	179
動物	55	2	27	70	15	2	837	1,008
植物・菌類	277	213	156	27	186	4	214	1,077
人文	1	0	2	0	0	0	7	10
生態・環境	642	339	135	11	33	0	153	1,313
博物館一般	3	1	1	0	2	0	12	19
合計	1,032	555	340	110	244	6	1,318	3,605

4 職場体験・インターンシップ・博物館実習・教員研修等

(1) 職場体験 2校6人 中止1回

月日	学校名	日数	人数	担当科
10月24日(火)、25日(水)	千葉市立幕張西中学校	20日	3人	生態学・環境研究科(天野・斉藤)
9月20日(水)、21日(木)	習志野市立第一中学校	25日	3人	植物学研究科(原田)

(2) 千葉県庁インターンシップ 3回 12人

月日	事業名	延べ日数	人数	担当科
8月2日(水)～8月26日(土)	特別展期間中の来館者向けプログラムの運営補助	5日	4人	教育普及課(照屋)
8月3日(木)～9月18日(月)	化石資料の整理・データベース登録。展示(特別展)のイベント準備や補助、回収アンケートの整理など	5日	5人	地学研究科(丸山・加藤)
9月13日(水)～9月15日(金)	古文書・古新聞の整理	3日	3人	歴史学研究科(米谷)

(3) 博物館実習

ア 実施期間 令和5年8月23日(水)～30日(水) [8日間]

イ 受入校 20校21人[岩手大学(1人)、お茶の水女子大学(1人)、神奈川大学(1人)、金沢学院大学(1人)、高知大学(1人)、駒沢大学(1人)、淑徳大学(1人)、城西国際大学(1人)、千葉大学(1人)、千葉科学大学(1人)、帝京科学大学(1人)、東京女子大学(1人)、東京農業大学(2人)、日本獣医生命科学大学(1人)、日本大学(1人)、目白大学(1人)、立正大学(1人)、和洋女子大学(1人)、東京大学大学院(1人)、法政大学大学院(1名)]

ウ カリキュラム

8月23日(水) 開講式、常設展示解説、特別展「よみがえるチバニアン期の古生物」の企画から運営まで(丸山啓志)、展示企画実習の説明(小林裕美)、図書室の利用(友田暁子)

8月24日(木) 生態園解説(後藤亮・西内李佳)、資料について(村田明久)、収蔵庫解説(村田明久・御巫由紀・加藤久佳)、教育普及課業務について(伊左治鎮司)、広報について(玉井里奈)

8月25日(金) 調査研究活動について(高山順子)、調査研究活動体験(昆虫資料収集・標本作成)(斉藤明子・樽宗一郎)、人文資料の取り扱い(米谷博・幅大・石井友菜・鈴木建人)

8月26日(土)・27日(日) 班別実習(各担当科対応)

8月28日(月) 自宅研修

8月29日(火) 班別実習(各担当科対応)

8月30日(水) 展示企画実習(小林裕美)、閉講式

(4) 教員研修

ア 館主催 教員のための博物館の日 2回 47人

月日	事業名	担当者等	場所	参加者数
7月27日(木)	博物館環境教育研修会	桑原和之・高橋一真	研修室・生態園	11人

月日	事業名	担当者等	場所	参加者数
8月4日(金)	教員のための博物館利用研修会	齋木健一・丸山啓志 齊藤明子・渡瀬綾乃 八木令子・御巫由紀 駒井智幸・米谷 博 高山順子・高橋一真	講堂・研修室・展示室	36人

イ 教員研修制度 7回 65人

月日	事業名	担当者等	場所	参加者数
7月21日(金)	中堅教員等資質向上研修における社会体験研修 (千葉市立誉田小・千葉市立土気南小・千葉市立 泉谷中、千葉市立真砂中・千葉市立須和田の丘 支援学校)	西内李佳・林 紀男 駒井智幸・加藤久佳 幅 大・高橋一真	展示室・生態園 研修室・収蔵庫	6人
7月25日(火)	中堅教員等資質向上研修における社会体験研修 (千葉市立誉田小・千葉市立土気南小・千葉市立 泉谷中、千葉市立真砂中・八千代市立萱田小)	丸山啓志・加藤久佳 高橋一真	展示室・講堂 研修室	6人
7月25日(火)	教員研修(市川市理科部会)	丸山啓志・高橋一真	展示室・講堂	32人
7月26日(水)	中堅教員等資質向上研修における社会体験研修 (千葉市立誉田小・千葉市立土気南小・千葉市立 泉谷中、千葉市立真砂中・八千代市立萱田小)	原田 浩・黒住耐二 高橋一真	展示室・収蔵庫・研修 室	6人
7月28日(金)	中堅教員等資質向上研修における社会体験研修 (千葉市立山王小・千葉市立誉田東小・千葉市立 草野中・千葉市立松ヶ丘中・千葉市立打瀬中)	西内李佳・林 紀男 加藤久佳・高橋一真	展示室・生態園 研修室	5人
7月30日(日)	中堅教員等資質向上研修における社会体験研修 (千葉市立山王小・千葉市立誉田東小・千葉市立 草野中・千葉市立松ヶ丘中・千葉市立打瀬中)	加藤久佳・高橋一真	展示室・生態園 収蔵庫・会議室	5人
8月1日(火)	中堅教員等資質向上研修における社会体験研修 (千葉市立山王小・千葉市立誉田東小・千葉市立 草野中・千葉市立松ヶ丘中・千葉市立打瀬中)	坂田歩美・八木令子 駒井智幸・高橋一真	展示室・生態園 収蔵庫・研修室	5人

5 県民参画

(1) ボランティア

名称	登録者数	活動延べ人数	活動内容
展示室ボランティア	21人	65人	常設展示室での展示解説
生態園パートナー	14人	28人	生態園での自然観察サポート
資料整理ボランティア	91人	693人	博物館資料(岩石、化石、昆虫、貝、哺乳類、植物、菌類、地衣類、 歴史民俗資料等)の整理保存サポート
講座・観察会・イベントボランティア	50人	108人	当館で開催する講座や観察会、イベントの運営サポート
調査研究ボランティア	15人	69人	重点調査のサポート、野鳥調査サポート
房総の山の観察会サポーター	4人	14人	「房総のフィールド・ミュージアム」での観察会のサポート
サークル幹事	10人	56人	中央博サークルの運営・庶務
合計	198人	1,033人	

(2) ボランティア研修会

月日	事業名	担当者等	場所	参加者数
5月21日(日)	生態園トピックス展「生態園の意外な動物たち」 の解説	桑原和之	生態園オリエンテーシ ョンハウス	5人
5月26日(日)	生態園トピックス展「生態園の意外な動物たち」 の解説	桑原和之	生態園オリエンテーシ ョンハウス	3人
7月19日(水)	特別展「よみがえるチバニアン期の古生物」の解 説	丸山啓志	2階ホール・企画展示 室	6人
7月20日(木)	特別展「よみがえるチバニアン期の古生物」の解 説	丸山啓志	2階ホール・企画展示 室	5人

月日	事業名	担当者等	場所	参加者数
8月26日(土)	トピックス展「関東大震災から100年」の解説	高橋直樹	歴史・かかわり展示室 前廊下	5人
8月31日(木)	トピックス展「関東大震災から100年」の解説	高橋直樹	歴史・かかわり展示室 前廊下	3人
9月10日(日)	特別展「よみがえるチバニアン期の古生物」の解説	丸山啓志	2階ホール・企画展示室	3人
11月2日(木)	生態園トピックス展「舟田池の生きもの」と秋の展示「手のひらのメディア」の解説	後藤 亮、島立理子	生態園オリエンテーションハウス・企画展示室	7人
3月16日(土)	生態園トピックス展「生態園の野鳥たち」と春の展示「理科室のタイムマシン 学校標本展」の解説	桑原和之、斉木健一	生態園オリエンテーションハウス・研修室・企画展示室	11人

(3) 中央博サークル

名称	登録者数
ヒスイの会	19人
地学同好会	40人
コケサークル(地衣類)	27人

名称	登録者数
生きものサークル	53人
もりたん	44人
歴史サークル	13人

サークル名	月日	内容	場所	講師	参加者数	担当者
コケサークル(地衣類)	4.9	第1回観察会	青葉の森公園	原田浩	10人	原田浩 坂田歩美
ヒスイの会	4.14	第1回例会	研修室		4人	高橋直樹
歴史サークル	4.15	第1回例会	研修室		9人	鈴木建人
ヒスイの会	4.23	「石割体験会」の準備として 岩石採集	南房総市		6人	高橋直樹
ヒスイの会	4.29	「石割体験会」準備作業(ボランティア活動)	荷解室前		3人	高橋直樹
ヒスイの会	5.4	「石割体験会」実施(ボランティア活動)	1階入口前		7人	高橋直樹
ヒスイの会	5.14	第2回例会	研修室		5人	高橋直樹
生きものサークル	5.14	観察会「青葉の森の虫さがし」	青葉の森公園		9人	斉藤明子
歴史サークル	5.20	第2回例会	研修室		8人	鈴木建人
ヒスイの会	5.21	地質の会関連行事「勝浦鶴原の黒滝不整合」観察会	勝浦市	高橋直樹 菊川照英	4人	高橋直樹
もりたん	5.27	第1回観察会	房総のむら(栄町)	大津千晶 平田和弘	17人	御巫由紀
ヒスイの会	6.9	第3回例会	研修室・地学標本製作室		5人	高橋直樹
ヒスイの会	6.11	千葉県民の日、石割体験会ボランティア活動	松戸市		5人	高橋直樹
歴史サークル	6.17	第3回例会	研修室		9人	鈴木建人
生きものサークル	6.10	観察会「青葉の森の虫さがし」	青葉の森公園		9人	斉藤明子
ヒスイの会	6.24	第4回例会	研修室		2人	高橋直樹
ヒスイの会	7.5	第5回例会	研修室		3人	高橋直樹
歴史サークル	7.15	第1回歴史見学会 上総国府	市原市内		6人	鈴木建人
ヒスイの会	7.23	第6回例会	研修室		7人	高橋直樹
ヒスイの会	8.5	「海岸で石ころをひろおう」 観察会のボランティア活動	富津市上総湊	高橋直樹 菊川照英	4人	高橋直樹
歴史サークル	8.19	第4回例会	研修室		8人	鈴木建人
ヒスイの会	9.8	第7回例会	研修室		3人	高橋直樹

サークル名	月日	内容	場所	講師	参加者数	担当者
もりたん	9.9	第2回観察会	養老溪谷田淵の地磁気逆転地層(市原市)	西内李佳	雨天中止	御巫由紀
歴史サークル	9.16	第5回例会	研修室		7人	鈴木建人
ヒスイの会	9.23	第8回例会	研修室		5人	高橋直樹
ヒスイの会	10.13	第9回例会	研修室		3人	高橋直樹
ヒスイの会	10.21	第10回例会	研修室		4人	高橋直樹
歴史サークル	10.21	第6回例会	研修室		4人	鈴木建人
コケサークル(地衣類)	10.29	第2回観察会	昭和の森公園	原田浩	12人	原田浩 坂田歩美
地学同好会	10月	第1回野外観察会	木更津市馬来田付近		中止	加藤久佳
歴史サークル	11.3	自然誌フェスタに参加(アンギン編みやめんこの体験)	1階ホール		8人	鈴木建人
ヒスイの会	11.11	県外岩石観察会「群馬太田の藪塚石」ボランティア参加	群馬県太田市藪塚町	高橋直樹 菊川照英	1人	高橋直樹
歴史サークル	11.18	第2回歴史見学会 上総国府	市原市内		7人	鈴木建人
生きものサークル	11.21	生きもの講座「DNAから見た貝類の多様性」	研修室	照屋清之介	7人	斉藤明子
ヒスイの会	11.26	第11回例会	研修室		6人	高橋直樹
ヒスイの会	12.8	第12回例会	研修室		5人	高橋直樹
ヒスイの会	12.23	第13回例会	研修室		8人	高橋直樹
地学同好会	12.24	第2回野外観察会	東京都狛江市猪方多摩川		7人	加藤久佳 千葉友樹
ヒスイの会	1.12	第14回例会	研修室		6人	高橋直樹
歴史サークル	1.20	講演「近世後期の門前町：江戸を中心に」聴講	研修室	須田華那	7人	鈴木建人
ヒスイの会	1.27	第15回例会「岩石薄片をつくろう」講座の準備作業(ボランティア活動)	研修室・地学標本製作室		8人	高橋直樹
生きものサークル	2.6	生きもの講座「千葉県のカミキリムシと甲虫」	研修室	斉藤明子	10人	斉藤明子
ヒスイの会	2.9	第16回例会「岩石薄片をつくろう」講座の準備作業(ボランティア活動)	研修室・地学標本製作室		4人	高橋直樹
歴史サークル	2.17	会員発表会	講堂		8人	鈴木建人
ヒスイの会	2.23	第17回例会「岩石薄片をつくろう」講座の準備作業(ボランティア活動)	研修室・地学標本製作室		5人	高橋直樹
ヒスイの会	3.2	地学講座「岩石薄片をつくろう」講座(ボランティア活動)	研修室・地学標本製作室	高橋直樹 菊川照英	5人	高橋直樹
コケサークル(地衣類)	3.3	第3回観察会	清澄寺	原田浩	16人	原田浩 坂田歩美
ヒスイの会	3.8	第18回例会	研修室・地学標本製作室		6人	高橋直樹
もりたん	3.16	研修会	研修室	斉木健一	14人	御巫由紀
ヒスイの会	3.23	第19回例会	研修室		9人	高橋直樹

6 外部機関との協定等

(1) 大学共同利用機関法人人間文化研究機構国立歴史民俗博物館

タイトル：大学共同利用機関法人人間文化研究機構国立歴史民俗博物館と千葉県立中央博物館との博物館活動に関する協定

提携期間：令和5年4月1日から令和6年3月31日(平成23年3月29日締結、平成28年3月23日および令和3年3月25日に更新、現在の協定は令和8年3月31日まで)。

連携事業内容：研究教育職員の交流並びに共同研究の実施、展示活動、資料の保存及び教育普及活動等を共同で行う。

(2) 大学共同利用機関法人人間文化研究機構国文学研究資料館

タイトル：日本語の歴史的典籍の国際共同研究ネットワーク構築計画におけるデータベース構築に関する覚書

提携期間：令和5年4月1日から令和6年3月31日(現在の協定は令和3年3月2日から令和6年3月31日)

連携事業内容：日本語の歴史的典籍データベースを連携して構築する目標を達成し、本事業は令和5年度末をもって完了。

(3) 東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林千葉演習林

タイトル：東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林千葉演習林と千葉県立中央博物館との連携協力に関する協定。

提携期間：令和5年4月1日から令和6年3月31日(令和3年3月25日締結、以降1年毎の更新)。

連携事業内容：調査研究活動、自然誌資料の収集と整理活動、県民・市民向けの展示や学習機会の提供等を共同で行う

第2 大利根分館

1 展示観覧支援

本館への機能集約にむけて休館中のため、展示・講座等なし。

2 アウトリーチ支援

(1) 団体・機関等への支援

ア 講座等講師(館外)1回 25人

月日	事業名(依頼者)	講師	場所	参加者数
2月20日(火)	地域の歴史文化を知る 「千葉県の七夕馬習俗と茂原市大芝の七夕馬作り」	榎美香	千葉県生涯大学校外房 学園(茂原市)	25人

(2) 専門分野における相談対応

研究員が専門分野の知識を活かし、個人からの質問相談対応および各種機関等への助言や技術指導を行った。

相談件数 13件

質問分野	官公庁	公的団体	民間団体	小中高校	大学	海外	個人	小計
動物	0	0	0	0	0	0	0	0
人文	1	1	4	0	0	0	7	13
合計	1	1	4	0	0	0	7	13

3 県民参画

(1) ボランティア

名称	登録者数	活動延べ人数	活動内容
資料整理ボランティア	1人	50人	資料整理に係るサポート

第3 大多喜城分館（講師・担当者は特に断らない場合、大多喜城分館職員）

1 展示観覧支援

一部休館のため実施なし。

2 講座・観察会等の開催

月日	学校名(事業名)	担当者等	場所	延べ参加者数
6月24日	体験イベント「日本刀にさわってみよう」	高橋 覚・石井友菜	本館	6人
11月4日	体験イベント「親子で戦国武将になろう！甲冑の試着体験」	高橋 覚・石井友菜	本館	12人

3 アウトリーチ支援

(1) 学校対象

出前授業（高等学校） 75人

月日	学校名(事業名)	担当者等	場所	参加者数
6月9日	県立大多喜高等学校(大多喜高校魅力化コンソーシアム)	高橋 覚	千葉県立大多喜高等学校	75人

(2) 団体・機関等への支援

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、今年度は行わなかった。

(3) 専門分野における相談対応

研究員が専門分野の知識を活かし、個人からの質問相談対応および各種機関等への助言や技術指導を行った。

相談件数 5件

質問分野	官公庁	公的団体	民間団体	小中高校	大学	海外	個人	小計
人文	0	0	0	0	0	0	5	5
合計	0	0	0	0	0	0	5	5

4 職場体験・インターンシップ・博物館実習・教員研修等

実施せず。

5 県民参画

実施せず。

第4 分館海の博物館（講師・担当者は、特に断らないかぎり、分館海の博物館職員）

1 展示観覧支援

(1) 展示解説（すべて個別解説とし、コロナ禍以前の「展示室の歩き方は実施せず」）273回 4,839人

月(回数)	タイトル	講師	場所	参加者数
4月(20回)	展示個別解説	金子美織・柏木真弓	展示室	237人
5月(24回)	展示個別解説	金子美織・柏木真弓	展示室	362人
6月(24回)	展示個別解説	金子美織・柏木真弓	展示室	406人
7月(25回)	展示個別解説	金子美織・柏木真弓	展示室	509人
8月(27回)	展示個別解説	金子美織・柏木真弓	展示室	526人
9月(20回)	展示個別解説	金子美織・柏木真弓	展示室	271人
10月(18回)	展示個別解説	金子美織・柏木真弓	展示室	207人
11月(23回)	展示個別解説	金子美織・原 礼	展示室	171人
12月(21回)	展示個別解説	金子美織・原 礼	展示室	289人
1月(21回)	展示個別解説	金子美織・原 礼	展示室	488人
2月(24回)	展示個別解説	金子美織・原 礼	展示室	699人
3月(26回)	展示随時解説	金子美織・原 礼	展示室	647人

2 講座・観察会等の開催

(1) 講座 2回 9人

月日	タイトル	講師	場所	参加者数
11月5日(日)	海の生きものの図鑑小史ー明治から昭和までー	奥野淳兒	講座実験室	6人
3月2日(土)	顕微鏡でノリを見よう	菊地則雄	講座実験室	3人

(2) 観察会 7回 82人

月日	タイトル	講師	場所	参加者数
4月29日(土・祝)	鶴原理想郷 春の花散歩	松本光史・菊地則雄・平田和彦	鶴原理想郷	7人
5月6日(土)	ウミウシを観察しよう	立川浩之・柳 研介	館前の磯	18人
6月4日(日)	磯で見られるヘンな生きもの	奥野淳兒・立川浩之	館前の磯	6人
7月29日(土)	水中メガネで海の生きものを観察しよう	柳 研介・川瀬裕司・立川浩之	館前の磯	18人
8月2日(水)	親子で磯の魚を探そう	川瀬裕司・奥野淳兒	館前の磯	18人
10月22日(日)	鶴原理想郷 秋の花散歩	松本光史・平田和彦	鶴原理想郷	7人
3月16日(土)	海藻を観察しよう	菊地則雄・松本光史	館前の磯	8人

(3) 磯・いそ探検隊(フィールドトリップ) 10回 141人、中止1回

月日	タイトル	講師	場所	参加者数
4月22日(土)	磯・いそ探検隊 1	菊地則雄・川瀬裕司・乃一哲久	館前の磯	7人
5月5日(金・祝)	磯・いそ探検隊 2	川瀬裕司・菊地則雄	館前の磯	16人
5月7日(日)	磯・いそ探検隊 3	奥野淳兒・立川浩之	館前の磯	荒天中止
5月21日(日)	磯・いそ探検隊 4	立川浩之・奥野淳兒	館前の磯	14人
6月17日(土)	磯・いそ探検隊 5	柳 研介・川瀬裕司	館前の磯	12人
7月2日(日)	磯・いそ探検隊 6	松本光史・柳 研介	館前の磯	19人
7月17日(月・祝)	磯・いそ探検隊 7	川瀬裕司・松本光史	館前の磯	20人
8月4日(金)	磯・いそ探検隊 8	立川浩之・菊地則雄	館前の磯	16人
8月15日(火)	磯・いそ探検隊 9	柳 研介・立川浩之	館前の磯	20人
8月16日(水)	磯・いそ探検隊 10	奥野淳兒・柳 研介	館前の磯	17人

(4) みんなで工作 海の生きもの 3回 74人

月日	タイトル	講師	場所	参加者数
7月23日(日)	海で見つけた材料でオリジナルオブジェを作ろう(2回)	金子美織・柏木真弓・松本光史	講座実験室	15人

8月6日(日)	海で見つけた材料でオリジナルオブジェを作ろう(2回)	金子美織・柏木真弓・松本光史	講座実験室	38人
8月20日(日)	海藻おしぼを作ろう(2回)	金子美織・柏木真弓・菊地則雄	講座実験室	21人

(5) 博物館探検隊(バックヤードツアー) 12回 163人

月日	タイトル	講師	場所	参加者数
5月3日(水・祝)	飼育室ツアー(2回)	菊地則雄・松本光史	飼育室	31人
6月15日(木)	飼育室ツアー(2回)	松本光史・奥野淳兒	飼育室	26人
8月11日(金・祝)	標本庫ツアー(2回)	柳 研介・立川浩之	液浸収蔵庫	20人
8月12日(土)	標本庫ツアー(2回)	川瀬裕司・柳 研介	液浸収蔵庫	33人
8月13日(日)	飼育室ツアー(2回)	奥野淳兒・菊地則雄	飼育室	31人
11月3日(金・祝)	標本庫ツアー(2回)	立川浩之・川瀬裕司	液浸収蔵庫	22人

(6) 海の体験コーナー 40回 346人

月日	タイトル	講師	場所	参加者数
4月16日(日)	海で見つけた材料でオリジナルオブジェを作ろう(2回)	金子美織・柏木真弓	講座実験室	26人
4月30日(日)	海で見つけた材料でオリジナルオブジェを作ろう(2回)	金子美織・柏木真弓	講座実験室	23人
5月14日(日)	海で見つけた材料でオリジナルオブジェを作ろう(2回)	金子美織・柏木真弓	講座実験室	18人
5月28日(日)	海で見つけた材料でオリジナルオブジェを作ろう(2回)	金子美織・柏木真弓	講座実験室	17人
6月10日(土)	海藻おしぼを作ろう(2回)	金子美織・柏木真弓	講座実験室	5人
6月24日(土)	海藻おしぼを作ろう(2回)	金子美織・柏木真弓	講座実験室	20人
9月2日(土)	コーラルプリントをしよう(2回)	金子美織・柏木真弓	講座実験室	24人
9月16日(土)	コーラルプリントをしよう(2回)	金子美織・柏木真弓	講座実験室	14人
10月7日(土)	海で見つけた材料でオリジナルオブジェを作ろう(2回)	金子美織・柏木真弓	講座実験室	22人
10月21日(土)	海で見つけた材料でオリジナルオブジェを作ろう(2回)	金子美織・柏木真弓	講座実験室	14人
11月4日(土)	海で見つけた材料でオリジナルオブジェを作ろう(2回)	金子美織・原 礼	講座実験室	23人
11月19日(日)	海で見つけた材料でオリジナルオブジェを作ろう(2回)	金子美織・原 礼	講座実験室	22人
12月10日(日)	海で見つけた材料でオリジナルオブジェを作ろう(2回)	金子美織・原 礼	講座実験室	25人
12月24日(日)	海で見つけた材料でオリジナルオブジェを作ろう(2回)	金子美織・原 礼	講座実験室	4人
1月6日(土)	海で見つけた材料でオリジナルオブジェを作ろう(2回)	金子美織・原 礼	講座実験室	21人
1月21日(日)	海で見つけた材料でオリジナルオブジェを作ろう(2回)	金子美織・原 礼	講座実験室	18人
2月4日(日)	海で見つけた材料でオリジナルオブジェを作ろう(2回)	金子美織・原 礼	講座実験室	22人
2月18日(日)	海で見つけた材料でオリジナルオブジェを作ろう(2回)	金子美織・原 礼	講座実験室	7人
3月10日(日)	海藻おしぼを作ろう(2回)	金子美織・原 礼	講座実験室	13人
3月24日(日)	海藻おしぼを作ろう(2回)	金子美織・原 礼	講座実験室	8人

3 アウトリーチ支援

(1) 団体・機関等への支援

ア 講座等講師(館外) 4回 110人

月日	事業名(依頼先)	担当者等	場所	参加者数
5月20日(土)	磯観察(千葉科学大学)	奥野淳兒	銚子市外川～長崎鼻	27人
6月14日(水)	講演(一般財団法人海苔増殖振興会)	菊地則雄	東京都千代田区霞山会館	38人
6月22日(火)	講演(南三陸町自然環境活用センター)	奥野淳兒	宮城県南三陸町自然環境活用センター	26人
12月16日(土)	講演(NPO 法人喜界島サンゴ礁研究所)	柳 研介	オンライン	19人

イ 団体フィールドトリップ 7回 207人、中止2回

月日	相手先	担当者等	場所	参加者数
5月20日(土)	千葉県生物多様性センター	立川浩之・柳研介	館前の磯・展示室	45人
6月18日(日)	勝浦市教育委員会	菊地則雄	館前の磯	27人
6月27日(火)	御宿町公民館	奥野淳兒	御宿町高山田	58人
7月1日(土)	安房生物愛好会	菊地則雄	館前の磯	中止
7月15日(土)	鴨川青年の家	柳 研介	館前の磯	中止
7月16日(日)	市原市立加茂公民館	柳 研介	館前の磯・展示室	26人
7月21日(金)	千葉県夢チャレンジ体験スクール	松本光史	館前の磯・講座実験室	17人
8月5日(土)	ときがねウォッチング	柳 研介	館前の磯	16人
8月17日(木)	市原市立市津公民館	平田和彦	館前の磯・展示室・飼育室	18人

ウ 野外実習授業

(ア)小学校 21回 1581人、中止1回

月日	学校名	担当者等	場所	参加者数
5月17日(水)	小金井市立前原小学校	柳 研介	館前の磯	中止
5月23日(火)	小金井市立第一小学校	松本光史	館前の磯	109人
5月31日(水)	小金井市立第四小学校	柳 研介	館前の磯	109人
6月1日(木)	小金井市立緑小学校	柳 研介	館前の磯	140人
6月6日(火)	小金井市立本町小学校	柳 研介	館前の磯	95人
6月6日(火)	いすみ市立浪花小学校	松本光史	いすみ市岩船	50人
6月7日(水)	小金井市立南小学校	平田和彦	館前の磯	107人
6月8日(木)	明星小学校	川瀬裕司	館前の磯	111人
6月14日(水)	小金井市立第二小学校	柳 研介	館前の磯	106人
6月15日(木)	小金井市立東小学校	柳 研介	館前の磯	146人
6月20日(火)	勝浦市立上野小学校	松本光史	館前の磯	101人
6月22日(木)	東京学芸大学附属小金井小学校	柳 研介	館前の磯	110人
6月23日(金)	勝浦市立豊浜・総野・興津小学校	松本光史	オンライン	44人
6月29日(木)	御宿町立御宿小学校	奥野淳兒	御宿小学校	57人
7月4日(火)	御宿町立御宿小学校	奥野淳兒	御宿町小波月海岸	74人
7月4日(火)	勝浦市立豊浜小学校	松本光史	勝浦市豊浜	37人
7月5日(水)	君津市立八重原小学校	菊地則雄	木更津市盤州干潟	57人
7月5日(水)	勝浦市立上野小学校	松本光史	上野小学校	16人
7月6日(木)	勝浦市立総野小学校	柳 研介	館前の磯	22人
7月6日(木)	いすみ市立中根小学校	松本光史・平田和彦	館前の磯	21人
7月7日(金)	君津市立周西小学校	柳 研介	富津市富津岬	91人
7月12日(水)	勝浦市立上野小学校	松本光史	講座実験室	38人

(イ)中学校 1回 44人

月日	学校名	担当者等	場所	参加者数
8月3日(木)	東洋大学京北中高校	柳 研介	館前の磯・講座実験室	44人

(ウ)高等学校 1回 20人

月日	学校名	担当者等	場所	参加者数
7月30日(日)	埼玉県立松山高校	柳 研介	館前の磯・講座実験室	20人

(エ)大学 1回 29人

月日	学校名	担当者等	場所	参加者数
8月31日(土)	千葉科学大学	奥野淳兒	館前の磯・展示室	29人

(2)専門分野における相談対応

研究員が専門分野の知識を活かし、個人からの質問相談および各種機関等への助言や技術指導を行なった。

相談件数 46件

専門分野	官公庁	公的団体	民間団体	小中高校	大学	海外	個人	小計
動物	1	2	3	0	0	0	27	33
植物・菌類・藻類	2	1	1	1	0	0	1	6
生態・環境	0	0	0	0	0	0	7	7
博物館一般	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	3	3	4	1	0	0	35	46

4 職場体験・インターンシップ・博物館実習・教員研修等

(1) 職場体験 6回 41人

月日	学校名	担当者等	場所	参加者数
8月1日(火)	千葉県立茂原高校	平田和彦	展示室	6人
8月13日(日)	千葉県立茂原高校	平田和彦・松本光史・奥野淳兒	展示室・飼育室	8人
8月24日(木)	いすみ市立大原中学校	平田和彦	展示室	3人
8月25日(金)	いすみ市立大原中学校	平田和彦	展示室	2人
8月30日(水)	千葉県立茂原高校	平田和彦	吉尾海岸	6人
11月21日(火)、22日(水)	いすみ市立岬中学校	柳 研介・松本光史	館内・鶴原理想郷	延べ16人

(2)千葉県庁インターンシップ 4回 23人

月日	事業名	担当者等	場所	参加者数
9月1日(金)、5日(火)、6日(水)	県庁キャリア実習	平田和彦	館内・鶴原理想郷	延べ3人
9月27日(水)～29日(金)	市原八幡高校インターンシップ	平田和彦	館内・館前の磯	延べ3人
10月18日(水)～22日(日)	県庁キャリア実習	平田和彦・松本光史・奥野淳兒	館内・館前の磯・鶴原理想郷	延べ11人
12月26日(火)～27日(水)	県庁キャリア実習	平田和彦・松本光史・奥野淳兒	館内・館前の磯・鶴原理想郷・鶴原海岸	延べ6人

(3)教員研修 4回 64人

月日	相手先	担当者等	場所	参加者数
5月23日(火)	県理科部会生物分科会海洋生物研究班研修会	柳 研介	館前の磯・講座実験室	7人
8月1日(火)	千葉県総合教育センター	柳 研介	館前の磯・講座実験室	42人
8月15日(火)～16日(水)	中堅教諭等資質向上研修(茂原市立豊田小学校)	柳 研介・平田和彦	館前の磯、館内	延べ2人
8月30日(水)	千教組夷隅支部	松本光史	館前の磯	13人
2月20日(火)	ふなばし三番瀬環境学習館	柳 研介	館内	中止

V 情報発信

1 出版物・印刷物の発行

行事案内やチラシ、ポスターなどの広報印刷物、年報、研究報告書等の印刷物を発行した。

(1) 出版物・印刷物

ア 本館

名称	規格	頁数	部数	年月日
常設展示パンフレット(一般用)(改訂)	A3変(観音折)	8	20,000	2024.3
常設展示パンフレット(小学生団体用)(改訂)	B4(観音折)	8	8,000	2024.3
令和6年度行事案内	A4	12	10,000	2024.3.26
千葉県立中央博物館年報35 令和4年度版	A4	126	PDF	2023.8.29
千葉県立中央博物館研究報告 第17巻 第1号	A4	117	600	2024.3.31
千葉県立中央博物館研究報告 特別号 12号	A4	xiv, 275	90	2024.3.28
房総のフィールド・ミュージアム ニュースレター「しいむじな」 第81号	A4	4	7,000	2023.6
第82号	A4	4	7,000	2023.9
第83号	A4	4	7,000	2023.12
第84号	A4	4	7,000	2024.3
生態園観察ノート No.21「生態園のコケ」2刷	A5	14	1,000	2024.2.29
生態園ガイドマップ(増刷)	A4	2	7,000	2023.11.30
特別展「よみがえるチバニアン期の古生物」 ポスター	B2	1	1,200	2023.6.21
チラシ	A4	2	80,000	2023.6.21
図録	A4	79	1,200	2023.7.15
解説シート	A3	4	10,000	2023.7.15
秋の展示「手のひらのメディアーマッチラベルコレクション」 チラシ	A4	2	10,000	2023.9.12
パンフレット	B5変型	4	3000	2023.10.3
春の展示「理科室のタイムマシン 学校標本」 ポスター	A2	1	200	2024.1.18
チラシ	A4	2	7,000	2024.1.18
「写真で見るちばのあゆみ」パネル巡回展 ポスター	A2	1	200	2023.6.8
チラシ	A4	2	12,000	2023.6.8
「写真で見るちばのあゆみ」パネル巡回展(第2期) ポスター	A2	1	300	2023.9.8
チラシ	A4	2	18,000	2023.9.8
「写真で見るちばのあゆみ」パネル巡回展(第3期) ポスター	A2	1	150	2024.2.22
チラシ	A4	2	10,000	2024.2.22
千葉県誕生150周年記念「写真で見るちばのあゆみ」パネル巡回展 パンフレット	A4	4	30,000	2023.9.30
映像解説パンフレット「海をまとう-万祝染のわざ-」	A4	6	15,000	2024.3.15
解説書「海をまとう-万祝染のわざ-」	A4	35	300	2024.3.22

イ 分館海の博物館

名称	規格	頁数	部数	年月日
令和6年度行事案内	A6切	8	12,000	2024.3.27
海の博物館利用のしおり(増刷)	A6切	2	30,000	2024.3.26
マリンサイエンスギャラリー「アサクサノリ2-ノリの世界-」 ポスター	A2	1	400	2024.1.20
チラシ	A4	2	40,000	2024.1.20
収蔵資料展「千葉県勝浦沖 キンメ場の魚」チラシ	A4	2	40,000	2023.6.7
海の生きもの古い図鑑-明治から昭和初期まで-	A4	2	15,000	2023.10.20
海の生きもの観察ノート18「新 ウミウシを観察しよう」	A5	44	2,000	2024.3.25

2 インターネットの活用

ホームページで展示や各種行事案内、研究員紹介等の更新を行ったほか、メールマガジンの配信、行事情報や事業の実施状況のツイート、研究員による研究の成果を紹介するデジタルミュージアムの公開等を行った。

(1) ウェブサイト

ア ウェブサイトの更新

	更新回数	新規追加ファイル数	更新ファイル数
本館	66	110	2
房総のフィールド・ミュージアム	12	240	0
大 利 根 分 館	1	0	0
大多喜城分館	2	1	0
分館海の博物館	73	143	87
合 計	154	494	89

イ ウェブサイトへのアクセス件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
本館	15,964	17,284	17,844	23,836	29,749	17,504	14,715	10,676	10,148	7,712	9,469	8,814	183,715
房総のフィールド・ミュージアム	460	374	390	392	444	291	305	349	280	166	169	139	2,593
大 利 根 分 館	906	965	997	933	1,098	762	855	744	598	1,232	1,257	638	9,113
大多喜城分館	4,197	3,752	2,437	3,498	3,981	2,923	3,401	3,952	2,907	3,185	3,005	4,551	41,789
分館海の博物館	4,873	5,393	4,947	7,762	9,841	5,435	3,900	3,383	2,976	2,590	2,978	2,595	43,134
合 計	22,203	24,016	24,178	32,923	41,132	23,992	19,775	15,152	14,002	14,885	16,878	16,737	280,344

(2) メールマガジン

ア メールマガジンの配信

	メルマガ名	巻次	配信回数	配信日	総配信数
本館 大 利 根 分 館 大多喜城分館	ちば中央博メール	200～211	12回	毎月10日	20,309
房総のフィールドミュージアム	しいむじなメール	229～240	12回	毎月10日	7,852
分館海の博物館	海からのたより	218～229	12回	毎月1日	8,876

イ メールマガコラム

(ア)ちば中央博メール「中央博の窓」

回次	記事名	執筆者名	掲載号	掲載月
157	「たいけんのもり」再開のご案内	大津千晶	200	4月
158	知的好奇心をふくらませて	高橋一真	201	5月
159	常設だけど常設じゃない?生態園の「常設展示」	西内李佳	202	6月
160	よみがえるチバニアン期の古生物」のご案内	丸山啓志	203	7月
161	トピックス展「関東大震災から100年」について	高橋直樹	204	8月
162	第110回生態園トピックス展「舟田池の生きもの」	後藤 亮	205	9月
163	出合いは突然に	島立理子	206	10月
164	江戸時代の棒人間	須田華那	207	11月
165	新たな貝との出合いを求めて	照屋清之介	208	12月
166	十二支にちなんで一辰年一	原田 浩	209	1月
167	写真で千葉のあゆみを振り返る	玉井里奈	210	2月
168	第111回生態園トピックス展「生態園の野鳥たち」	桑原和之	211	3月

(イ)ちば中央博メール「コラム 研究室から」

回次	記事名	執筆者名	掲載号	掲載月
144	生態園の意外な鳥類	桑原和之	200	4月
144	千葉の外來昆虫最前線!	樽 宗一郎	201	5月
145	あつまれ!お神輿のまつり	鈴木建人	202	6月
146	シーボルトが持ち帰ったカニの化石	加藤久佳	203	7月
147	生態園の昆虫を調べる	斉藤明子	204	8月
148	ものづくりの楽しみ	八木令子	205	9月
149	沖合海底自然環境保全地域の深海生物相の研究	駒井智幸	206	10月
150	倫理観をもって	黒住耐二	207	11月
151	きのこ狩りの楽しみ	吹春俊光	208	12月

回次	記事名	執筆者名	掲載号	掲載月
152	アルコール漬けになったムシたちに報いるために	萩野康則	209	1月
153	絶滅危惧植物を守り、未来へつなぐ	浅野紗彩	210	2月
154	研究員として思うこと	菊川照英	211	3月

(ウ)海からのたより「研究員ノート」

記事名	執筆者名	掲載号	掲載月
超深海の生物調査	柳 研介	218	4月
勝浦市で確認されたザトウクジラの漂着	立川浩之	219	5月
鶴原理想郷自然観察のスズメ	松本光史	220	6月
地名「鶴原」の原点に迫るタイムトラベル	平田和彦	221	7月
開催中の収蔵資料展「千葉県勝浦沖キンメ場の魚」の見どころ	川瀬裕司	222	8月
海の博物館はリフォームを始めます	乃一哲久	223	9月
小さな大図鑑	奥野淳兒	224	10月
温暖化とノリ養殖	菊地則雄	225	11月
内房サンゴ調査	柳 研介	226	12月
ウミウシの観察ノートを作っています	立川浩之	227	1月
ハマダンゴムシを探していると…	松本光史	228	2月
絶滅危惧種アサクサノリ	菊地則雄	229	3月

(3) ツイッター

	アカウント名	フォロワー数	ツイート数	開始年月日
本館 大 利 根 分 館 大 多 喜 城 分 館	@chiba_chuohaku	5,796	506	平成 25 年 3 月 26 日
分館海の博物館	@umihaku	2,618	711	平成 25 年 4 月 18 日
合 計	—	8,414	1,217	—

(4) YouTube

コンテンツ名
「チバニアン期の海」復元画ができるまで【新規コンテンツ】
フェアトレード：フェアトレードとはどんな活動ですか？
フェアトレード：フェアトレード商品ができるまで
フェアトレード：フェアトレードはどれだけ知られていますか？
フェアトレード：フェアトレードのこれから
青年海外協力隊 環境教育分野の OB/OG 松橋杏子さんからのメッセージ
青年海外協力隊 環境教育分野の OB/OG 杉山圭美さんからのメッセージ
青年海外協力隊 環境教育分野の OB/OG 浦林貴子さんからのメッセージ
地球規模で考え、地域で活動する ―青年海外協力隊・環境教育分野の OB/OG たち
これからのバラの育種
令和 2 年度出土遺物公開事業「北方交流録 ―北とつながる五つの物語―」 第Ⅲ部 弥生再葬墓と地域交流(弥生時代)
令和 2 年度出土遺物公開事業「北方交流録 ―北とつながる五つの物語―」 第Ⅳ部 房総から南東北へ ―人とモノの移動―(古墳時代)
令和 2 年度 千葉学講座 不思議ミステリー 房総丘陵の穴をさぐる 房総の川廻しトンネル
令和 2 年度出土遺物公開事業「北方交流録 ―北とつながる五つの物語―」プロローグ
ダイオウイカ現る
巢から出入りするオオスズメバチ(千葉県立中央博物館 生態園)
アカメヤナギの柳絮(りゅうじょ)
房総の山のケモノ イタチ

コンテンツ名
フェアトレード：商品えらびで地球を考える(全体版)
フェアトレード：フェアトレード認証とは
フェアトレード：フェアトレードタウン
フェアトレード：フェアトレード商品はどこで買えますか？
フェアトレード：みなさんへのメッセージ
青年海外協力隊 環境教育分野の OB/OG 藤本亜子さんからのメッセージ
青年海外協力隊 環境教育分野の OB/OG 山口泰昌さんからのメッセージ
青年海外協力隊 環境教育分野の OB/OG 新堀春輔さんからのメッセージ
千葉県立中央図書館・中央博物館連携事業トークイベント「バラの図鑑ができるまで」
令和 2 年度千葉学講座 不思議ミステリー 房総丘陵の穴をさぐる 歴史秘話「印旛」(2)
令和 2 年度出土遺物公開事業「北方交流録 ―北とつながる五つの物語―」 第Ⅴ部 ―東北から房総へ(奈良・平安時代)
令和 2 年度千葉学講座 不思議ミステリー 房総丘陵の穴をさぐる 歴史秘話「印旛」(1)
令和 2 年度出土遺物公開事業「北方交流録 ―北とつながる五つの物語―」 第Ⅱ部 漁撈活動にみる地域間交流と地域性(縄文時代)
地質ジオラマの列車を動かします
よこすか登場
「房総富岳 36 景〜カメラがとらえた千葉の魅力」 千葉県立中央博物館 トピックス展
房総の山のケモノ ハクビシン
昆虫標本 全体

コンテンツ名
昆虫標本 保管
昆虫標本 軟化
昆虫標本 展翅
昆虫標本 ラベル
昆虫標本 バッタ

コンテンツ名
昆虫標本 標本箱
昆虫標本 道具
昆虫標本 展足
昆虫標本 はりつけ
昆虫標本 トンボ

(5) デジタルミュージアムの公開

ア 本館

コンテンツ名
石灰岩生地衣類【新規コンテンツ】
地衣成分
日本の地衣類
チバニアン誕生
下総台地と周辺の貝化石
ノスタルジック・ポストカード
タネの大冒険
地衣類のタイプ標本
海岸生地衣類
房総の海の遊び
生態園の外来哺乳類
梵天にみる房総の出羽三山信仰
地衣類って何？
房総(千葉県)の地衣類誌
館蔵美術品紹介(絵画)
百年前の千葉県『日本博覧図』
中央博資料百選
樹木検索図鑑
房総ジオツアー
昆虫標本のつくり方
地域の音が出る地図
維管束植物標本百選
ネパールと東南アジアの蛾

コンテンツ名
世界のクジラ全種リスト
山の科学画・全展示図録
生態園の自然～生きもの写真記録
淡水生地衣類
音の標本箱
おばあちゃんの畑プロジェクト
ききみコレクション
耳をたよりにプロジェクト
野草・雑草検索図鑑
房総の山のケモノ
花の植物画集
房総の植物誌づくりと中央博物館
千葉県の毒きのこ
空からみた千葉県(1987・88年)
千葉県の滝－所在と成因
故・林辰雄氏撮影写真集
生態園植物歳時記
カラス大調査
カエル教室
浮世絵にみる江戸時代の園芸
房総のハチ世界のハチ
環境教育と千葉県
旅する地球の水

イ 大利根分館

コンテンツ名
水郷の原風景
むかしの道具

ウ 大多喜城分館

コンテンツ名
甲冑展
武具のデザイン

エ 分館海の博物館

コンテンツ名
磯の生きもの図鑑
館山の海底

コンテンツ名
理想郷生きもの図鑑
勝浦探訪

3 マスコミ等の活用

マスコミ等を活用して、行事や新発見など専門的な話題の発信、情報提供を行ったほか、取材への対応を行った。

(1) 本館

ア 記者発表

区分	発表日	内容
資料提供	4月5日(水)	海岸の“砂利”に潜むテッポウエビ類の新種を発見! 磯(れき)浜(はま)の間隙環境に生息するコエビ類を日本から初報告
	4月14日(金)	トピックス展「千葉の外来昆虫最前線！」
	4月26日(水)	エビの巣穴に住む新種のエビを発見
	5月10日(水)	若狭湾から新種テッポウエビ類の発見―貴重な抱卵メス1個体―

区分	発表日	内容
資料提供	6月9日(金)	千葉県誕生 150 周年記念事業 千葉の歴史を伝える思い出の古写真を特設サイトと巡回展で大公開!
	6月30日(金)	千葉県誕生 150 周年記念事業 県立中央博物館特別展「よみがえるチバニアン期の古生物」
	7月25日(火)	トピックス展「関東大震災から 100 年ー災害の記憶を未来に伝えるー」
	9月1日(金)	世界的にも希少! トウヨウゾウの頭骨化石クリーニングを公開 県立中央博物館 特別展「よみがえるチバニアン期の古生物」関連事業
	9月8日(金)	千葉県レッドデータブックで絶滅とされていた「ウツセミガイ」を館山湾で採集
	9月8日(金)	身近な自然の生物多様性を学ぼう! 県立中央博物館 生態園トピックス展「舟田池の生きもの」
	9月12日(火)	県立中央博物館の臨時休館について
	9月28日(木)	世界 100 カ国超 約 800 点のマッチラベルを大公開! 県立中央博物館 秋の展示「手のひらのメディアー吉澤貞一マッチラベルコレクションー」
	10月12日(木)	県立中央博物館の研究員が日本魚類学会賞の初代受賞者に!
	10月27日(金)	県立中央博物館「自然誌フェスターみんなで楽しむ千葉の自然と歴史ー」
	10月17日(火)	秋の企画展示「海の生きものの古い図鑑ー明治から昭和初期までー」
	11月21日(火)	房総半島のみで採集 勝浦市と鴨川市の磯から新種のエビを発見
	11月30日(木)	雨水を集めて森の生きものを解析ー樹上生物のモニタリングを容易にする手法を開発ー
	1月10日(水)	博物館研究員が房総の魅力を語る! 「千葉学講座ー千葉県誕生 150 年 今までとこれからー」
	1月10日(水)	令和 5 年度第 1 回千葉県博物館協議会の開催について
	1月12日(金)	駿河湾から新属・新種のカクレエビ類を発見ー初記録! ウミユリ類のトリノアシに共生ー
	3月1日(金)	県立中央博物館 春の展示「理科室のタイムマシン 学校標本」
	3月1日(金)	琉球列島から爬虫類の新種ーやんばる固有の新種ヤンバルトカゲモドキー
3月28日(木)	千葉県立中央博物館所蔵の古典籍を国文学研究資料館でデジタル化・公開ー122 点 295 冊のデジタル画像が「国書データベース」で閲覧可能にー	
知事定例会見	7月11日(火)	千葉県立中央博物館 令和 5 年度特別展「よみがえるチバニアン期の古生物」

イ 行事情報の発信 121 件

ウ 職員の取材対応

- ① 新聞・雑誌等 72 件
- ② テレビ・ラジオ等 28 件

エ メディア掲載実績

- ① 新聞・雑誌等

掲載日	媒体名	内容	対応者
4月13日(木)	朝日新聞	環境 DNA 研究法の発展について	宮 正樹
4月13日(木)	千葉日報	南房総市岩井に打ちあがったクジラについて	下稲葉さやか
5月1日(月)	毎日新聞	トピックス展「千葉の外来昆虫最前線!」について	樽 宗一郎
5月1日(月)	毎日新聞	トピックス展「千葉の外来昆虫最前線!」について	樽 宗一郎
5月8日(月)	千葉日報	トピックス展「千葉の外来昆虫最前線!」について	樽 宗一郎
5月15日(月)	千葉ニュースレター	バラの研究、千葉県のバラとバラ園について	御巫由紀
5月15日(月)	千葉経済新聞	古写真デジタルアーカイブについて	玉井里奈
5月19日(金)	朝日新聞	環境 DNA 研究法の発展について	宮 正樹
5月21日(日)	東京新聞	トピックス展「千葉の外来昆虫最前線!」について	尾崎煙雄
5月25日(木)	朝日新聞	トピックス展「千葉の外来昆虫最前線!」について	尾崎煙雄
6月16日(火)	千葉日報	蜃気楼授業について	大木淳一
6月17日(水)	朝日新聞	浜詰貝塚の貝	黒住耐二
6月21日(水)	千葉日報	大きなスッポンについて	栗田隆気
7月2日(日)	東京新聞	古写真デジタルアーカイブについて	玉井里奈
7月3日(月)	夢鯨倶楽部	市民団体「夢鯨倶楽部」による、検見川浜漂着スナメリに係る配布物について	下稲葉さやか
7月4日(火)	千葉日報	検見川浜のスナメリについて	下稲葉さやか
7月14日(金)	日本経済新聞、読売新聞	eLife に掲載された環境 DNA 論文について	宮 正樹
7月18日(火)	毎日新聞	特別展について	玉井里奈
7月20日(木)	千葉日報	蜃気楼授業の取材について	大木淳一
7月23日(日)	千葉日報	房総の石の信仰について	小林裕美

掲載日	媒体名	内容	対応者
7月26日(水)	NHK 千葉放送局	特別展「よみがえるチバニアン期の古生物」について ちばWEB 特集	丸山啓志
8月2日(水)	房日新聞	トピックス展「関東大震災から100年」について	高橋直樹
8月2日(水)	読売新聞	特別展「よみがえるチバニアン期の古生物」について	丸山啓志 玉井里奈
8月2日(水)	千葉日報	トピックス展「関東大震災から100年」について	高橋直樹 八木令子
8月11日(金)	千葉経済新聞	特別展「よみがえるチバニアン期の古生物」について	なし
8月12日(土)	朝日新聞	トピックス展「関東大震災から100年」について	高橋直樹
8月19日(土)	日刊大衆日報	親子で夏の自由研究ツアー～蜃気楼を観察しよう!～	大木淳一
8月24日(木)	読売 KODOMO 新聞	史上最も重い化石鯨類について	丸山啓志
8月25日(金)	NHK 千葉放送局	特別展「よみがえるチバニアン期の古生物」について ちばWEB 特集	丸山啓志
8月27日(日)	読売新聞	トピックス展「関東大震災から100年」について	高橋直樹
8月31日(木)	東京新聞	特別展「よみがえるチバニアン期の古生物」について	丸山啓志
9月3日(日)	産経新聞	トピックス展「関東大震災から100年」について	高橋直樹
9月4日(月)	千葉日報	関東大震災と千葉県の大地のなりたちについて	高橋直樹 八木令子
9月4日(月)	千葉日報	大正関東地震による地盤の隆起で形成された大正ベンチについて	高橋直樹 八木令子
9月12日(火)	朝日新聞	ミゾゴイの写真の同定について	桑原和之
9月21日(木)	毎日新聞	生態園トピックス展「舟田池の生きもの」について	後藤 亮
9月21日(木)	「あすたね」2023年9・10月号	野生のきのこについて	吹春俊光
9月27日(水)	朝日新聞	千葉県内に発生したきのこ(オニフスベ)について	吹春俊光
9月29日(金)	『Soil mag.(ソイルマガ)』Vol.03	野生きのこについて	吹春俊光
10月5日(木)	日本老友新聞	図鑑について	斎木健一
10月15日(日)	ウェザーニュース	どんぐりの花	尾崎煙雄
10月17日(火)	千葉日報	秋の展示「手のひらのメディア」について	島立理子
10月21日(土)	房日新聞	シロマダラに関する問い合わせ	栗田隆気
10月27日(金)	産経新聞	魚類学会賞受賞について	宮 正樹
11月6日(月)	東京新聞	秋の展示「手のひらのメディア」について	島立理子
11月10日(金)	千葉日報	千葉県にクマがない理由について	下稲葉さやか
11月10日(金)	房日新聞	古写真デジタルアーカイブについて	玉井里奈
11月23日(木)	朝日新聞	勝浦市と鴨川市の磯から新種のエビを発見について	駒井智幸
11月30日(木)	Smart FLASH	千葉県にクマがない理由について	下稲葉さやか
12月8日(金)	ちいき新聞美浜版	「写真でみるちばのあゆみ」パネル巡回展について	幅 大
12月19日(火)	共同通信社千葉支局	千葉県にクマがない理由について	下稲葉さやか
12月21日(木)	信濃毎日新聞	長野県佐久穂町で見つかった甲殻類化石について	加藤久佳
1月1日(月)	ちば民報社	秋の展示「手のひらのメディア」について	島立理子
1月1日(月)	読売新聞	十二支展について	原田 浩 玉井里奈
1月3日(水)	千葉日報	勝浦市と鴨川市の磯から新種のエビを発見について	駒井智幸
1月4日(木)	子育てメディア KIDSNA STYLE 編集部	図鑑について	斎木健一
1月4日(木)	毎日新聞	十二支展について	原田 浩 樽 宗一郎
1月5日(金)	子育てメディア KIDSNA STYLE 編集部	図鑑について	斎木健一
1月10日(水)	毎日新聞 夕刊	千葉県にクマがない理由とキョンの生態について	下稲葉さやか
1月17日(水)	フカメディア	トリノアシヤドリエビについて	駒井智幸
1月30日(火)	毎日小学生新聞	千葉県にクマがない理由について	下稲葉さやか
2月18日(日)	房日新聞	日本の野ばらについて	御巫由紀
2月22日(木)	中日新聞	新種の巻貝化石について	伊左治鎮司

掲載日	媒体名	内容	対応者
3月8日(金)	朝日新聞	新種の巻貝化石プロバイカリア・オオクライについて	伊左治鎮司
3月10日(日)	中国新聞	エタジマホンヤドカリと駒井の研究について	駒井智幸
3月16日(土)	読売新聞東京本社・いわき支局	東日本大震災後に原発被害で閉園となった双葉ばら園(福島県双葉町)について	御巫由紀

② テレビ・ラジオ等

放送日	媒体名	内容	対応者
4月29日(土)	NHK ラジオ第1「マイあさ!いきもの☆いろいろ」	ハマエンドウについて	尾崎煙雄
5月25日(木)	千葉テレビ「news チバ」	トピックス展「千葉の外来昆虫最前線!」について	樽 宗一郎
6月3日(土)	NHK ラジオ第1「マイあさ!いきもの☆いろいろ」	ヤブカラシについて	尾崎煙雄
6月4日(日)	NHK 総合テレビ ニュース番組の首都圏枠	トピックス展「千葉の外来昆虫最前線!」について	尾崎煙雄
6月15日(木)	ニッポン放送「辛坊治郎ズーム そこまで言うか! 街角ステーション 噂を求めてどこまでも!」	中央博物館について	玉井里奈
6月23日(金)	日本テレビ「沸騰ワード10」	鹿児島県・口永良部島で食用に採集している貝	黒住耐二
7月8日(土)	NHK ラジオ第1「マイあさ!いきもの☆いろいろ」	エゴノキについて	尾崎煙雄
7月9日(日)	BSP/4K「4Kプレミアムカフェ」ハイビジョン特集 深海に幻のサメを追う～秘境 東京海底谷～	(2008年6月19日の再放送)	宮 正樹 駒井智幸
7月29日(土)	千葉テレビ「ウィークリー千葉県」	特別展「よみがえるチバニアン期の古生物」について	丸山啓志
7月31日(月)	千葉テレビ「news チバ」	特別展「よみがえるチバニアン期の古生物」について	丸山啓志 大木淳一
8月9日(水)	NHK ニュース	特別展「よみがえるチバニアン期の古生物」について	丸山啓志
8月12日(土)	NHK ラジオ第1「マイあさ!いきもの☆いろいろ」	クズの暑さ対策について	尾崎煙雄
9月15日(金)	日本テレビ news every. および日本テレビのニュース番組内	博物館の電気代について	玉井里奈
9月16日(土)	NHK ラジオ第1「マイあさ!いきもの☆いろいろ」	ホトトギスについて	尾崎煙雄
9月18日(月)	youtube チャンネル「おしゃべりサウルス」	特別展「よみがえるチバニアン期の古生物」について	丸山啓志
9月19日(火)	千葉テレビ「news チバ」	九十九里浜の蜃気楼について	大木淳一
10月13日(金) 15:00~16:00 (再放送 10月20日、同時間)	J OMONラジオ	貝から見た縄文時代	黒住耐二
10月21日(土)	テレビ朝日「相葉マナブ」		黒住耐二
10月21日(土)	NHK ラジオ第1「マイあさ!いきもの☆いろいろ」	マツグミについて	尾崎煙雄
11月14日(火)	テレビ朝日スーパーJチャンネル	千葉県にクマがいない理由について	下稲葉さやか
11月19日(日)	ABEMA tv ABEMA 的ニュースショー	千葉県にクマがいない理由について	下稲葉さやか
11月25日(土)	NHK ラジオ第1「マイあさ!いきもの☆いろいろ」	サネカズラについて	尾崎煙雄

放送日	媒体名	内容	対応者
11月27日(月)	BSP/4K「4Kプレミアムカフェ」ハイビジョン特集 深海に幻のサメを追う ～秘境 東京海底谷～	(2008年6月19日の再放送)	宮 正樹 駒井智幸
1月6日(土)	NHK ラジオ第1「マイあ さ！いきもの☆いろい ろ」	ウラジロについて	尾崎煙雄
1月14日(日)	NHK ニュース	十二支展について	原田 浩 樽 宗一郎
1月16日(火)	フジテレビ ニュース	南房総市和田浦に漂着したクジラについて	下稲葉さやか
2月10日(土)	NHK ラジオ第1「マイあ さ！いきもの☆いろい ろ」	樹皮について	尾崎煙雄
2月28日(水)	NHK「ザ・バックヤード」	千葉県立中央博物館について	御巫由紀 加藤久佳 大木淳一 丸山啓志 西内李佳 林 紀男 駒井智幸 菊川照英
3月16日(土)	NHK ラジオ第1「マイあ さ！いきもの☆いろい ろ」	シキミについて	尾崎煙雄

(2)大利根分館

ア 記者発表 0件

イ 行事情報の発信 0件

ウ 職員の取材対応

- ① 新聞・雑誌等 2件
② テレビ・ラジオ等 0件

エ メディア掲載実績

① 新聞・雑誌等

掲載日	媒体名	内容	対応者
3月14日(木)	千葉日報	利根川下流域の和算文化をテーマとした企画展について	なし
3月	「大人の休日倶楽部」 (令和6年4月号)	香取海と利根川について	なし

② テレビ・ラジオ等 0件

(3)大多喜城分館

ア 記者発表 0件

イ 行事情報の発信 0件

ウ 職員の取材対応

- ① 新聞・雑誌等 2件
② テレビ・ラジオ等 3件

エ メディア掲載実績

① 新聞・雑誌等

掲載日	媒体名	内容	対応者
8月15日(火)	宅建ちば「夏号」	本多忠勝について	高橋 覚
8月20日(日)	NHK大河ドラマ「どうする 家康」WEBサイト	本多忠勝について	石井友菜

② テレビ・ラジオ等

放送日	媒体名	内容	対応者
11月19日(日)	どうする家康	本多忠勝についての画像について	高橋 寛
12月8日(金)	千葉テレビ「市町村てくてく散歩」	大多喜城と城下町について	石井友菜
3月15日(金)	NHK 総合「日本最強の城スペシャル」	大多喜城について	石井友菜

(4)分館海の博物館

ア 記者発表

区分	発表日	内容
資料提供	7月7日(金)	ミニ図鑑に登場する魚を实物標本で学ぼう！収蔵資料展「千葉県勝浦沖キンメ場の魚」
資料提供	9月8日(金)	千葉県レッドデータブックで絶滅とされていた「ウツセミガイ」を館山湾で採集
資料提供	10月17日(火)	秋の企画展示「海の生きもの古い図鑑-明治から昭和初期まで-」
資料提供	2月16日(金)	マリンサイエンスギャラリー「アサクサノリ 2-ノリの世界-」開催

イ 行事情報の発信

(ア) 行政、民間への定期広報	36件
(イ) 行政、民間への随時広報	自治体広報誌 5件 新聞等 13件
	合計 54件

ウ 職員の取材対応

①新聞・雑誌等	30件
②テレビ・ラジオ等	10件

エ メディア掲載実績

①新聞・雑誌等

掲載日	媒体名	内容	対応者
4月30日(日)	東京新聞	マリンサイエンスギャラリー「房総の魚 名魚・珍魚・ふつうの魚」	川瀬裕司
5月7日(日)	房日新聞	80センチのリュウグウノツカイ 沖ノ島の砂州に漂着 館山	川瀬裕司
5月13日(土)	いすみライフ5月号	観察会「磯・いそ探検隊(フィールドトリップ)」	松本光史
5月16日(火)	千葉日報	海の博物館紹介	松本光史
6月10日(土)	いすみライフ6月号	博物館探検隊「飼育室ツアー」	松本光史
7月8日(土)	いすみライフ7月号	収蔵資料展「千葉県勝浦沖 キンメ場の魚」	松本光史
7月15日(土)	房日新聞	キンメ場の魚を紹介 7月15日からの海の博物館で収蔵資料展 勝浦(千葉県)	川瀬裕司
7月15日(土)	千葉日報	収蔵資料展「千葉県勝浦沖 キンメ場の魚」	川瀬裕司
7月15日(土)	月刊望星	海藻について	菊地則雄
8月3日(木)	千葉日報	夏休み自由研究にいかが キンメ場の魚に焦点 パネル・標本で30種紹介 勝浦・海の博物館	川瀬裕司
8月12日(土)	千葉日報	博物館探検隊(標本庫ツアー)	柳 研介
8月12日(土)	いすみライフ8月号	収蔵資料展「千葉県勝浦沖 キンメ場の魚」	松本光史
8月20日(日)	東京新聞	収蔵資料展「千葉県勝浦沖 キンメ場の魚」	川瀬裕司
9月9日(土)	いすみライフ9月号	海の体験コーナー「コーラルプリントをしよう」	松本光史
9月29日(金)	毎日新聞	希少、ウツセミガイ発見	立川浩之
9月30日(土)	房日新聞	館山湾でウツセミガイ採集	立川浩之
10月14日(土)	いすみライフ10月号	企画展示「海の生きもの古い図鑑-明治から昭和初期まで-」	松本光史
10月17日(火)	毎日新聞	企画展示「海の生きもの古い図鑑-明治から昭和初期まで-」	奥野淳兒
11月11日(土)	いすみライフ11月号	企画展示「海の生きもの古い図鑑-明治から昭和初期まで-」	松本光史
12月9日(土)	いすみライフ12月号	企画展示「海の生きもの古い図鑑-明治から昭和初期まで-」	松本光史
12月24日(日)	東京新聞	企画展示「海の生きもの古い図鑑-明治から昭和初期まで-」	奥野淳兒
1月13日(土)	いすみライフ1月号	企画展示「海の生きもの古い図鑑-明治から昭和初期まで-」	松本光史
2月1日(木)	千葉教育	マリンサイエンスギャラリー「アサクサノリ 2-ノリの世界-」	菊地則雄
2月6日(金)	東京京成電「Cia0」	分館海の博物館の紹介	松本光史
2月10日(土)	いすみライフ2月号	マリンサイエンスギャラリー「アサクサノリ 2-ノリの世界-」	松本光史
2月29日(木)	Enjoy Chiba 春号	マリンサイエンスギャラリー「アサクサノリ 2-ノリの世界-」	松本光史
3月1日(金)	すこやかファミリー	分館海の博物館の紹介	松本光史
3月9日(土)	いすみライフ3月号	マリンサイエンスギャラリー「アサクサノリ 2-ノリの世界-」	松本光史
3月16日(土)	BIRDER	博物館発！鳥のお宝ツアー	平田和彦
3月26日(火)	びびなび	マリンサイエンスギャラリー「アサクサノリ 2-ノリの世界-」	菊地則雄

②テレビ・ラジオ等

放送日	媒体名	内容	対応者
4月21日(金)	TBS ラジオ	生態園の野鳥と、本館の野鳥の展示について	平田和彦
5月12日(水)	日本テレビ	都心で繁殖するウミネコについて	平田和彦
5月17日(水)	NHK 静岡	静岡県で見られる共生性カニ類	奥野淳兒
6月2日(金)	フジテレビ	都心で繁殖するウミネコについて	平田和彦
6月20日(火)	テレビ朝日	都心で繁殖するウミネコについて	平田和彦
6月29日(木)	TOKYO FM	海の体験コーナー「海藻おしぼを作ろう」インタビュー	奥野淳兒
10月26日(木)	日本テレビ	東京湾の海藻	菊地則雄
12月23日(土)	NHK BS	海藻について	菊地則雄
2月24日(土)	Bay-FM	マリンサイエンスギャラリー「アサクサノリ 2-ノリの世界-」	菊地則雄
3月18日(月)	千葉テレビ	マリンサイエンスギャラリー「アサクサノリ 2-ノリの世界-」	菊地則雄

4 郵メンバー

郵メンバーとは、館内で無料配布される刊行物を、事前申込みにより着払いで入手できる制度であり、令和5年度は25名の申込者に1回、「ゆうポケット」を利用して郵送した。

VI 施設維持保守

1 施設維持保守工事

本年度は、更新工事は行わなかった。

Ⅶ 千葉県立博物館ネットワーク

1 千葉県立博物館情報システム

千葉県立博物館情報システムは、博物館収蔵資料の管理を目的として平成4年度に供用開始した。これまで平成9年度、平成13年度、平成18年度、平成23年度、平成29年度にそれぞれシステムリプレースがあり、時代に応じた機能の追加や機器の更新等が行われてきた。平成9年度からは公式ウェブサイト「千葉の県立博物館」も公開している。

当館は千葉県立博物館ネットワークのセンター館として、情報システムの運営統括を行っている。令和5年度はシステムリプレースを行い、令和6年3月から新システムの稼働を開始した。今回の更新の主な変更点は、資料データベースおよびウェブサイトをクラウドシステムへ移行するとともに、運用管理システムを仮想化サーバに集約することで機密性、完全性、可用性を確保したことである。

令和5年度末の収蔵資料のシステム総登録件数は566,851件、インターネット公開件数は478,000件である。

2 千葉県立博物館文化セミナー「千葉学講座」

千葉県立博物館文化セミナー「千葉学講座」を会場とオンライン同時配信で実施した。千葉県立博物館ネットワークのセンター館である中央博が中心となり準備を進め、中央博物館を会場として2回開催した。

開催日時：令和6年2月3日(土) 13時～15時20分

会場：千葉県立中央博物館 講堂

参加人数：会場参加32名、オンライン参加30名

- (1)「写真にみる人々の暮らしの歴史」講師：千葉県立中央博物館 島立理子 生態・環境研究部長
- (2)「千葉県誕生150周年記念事業房総の海をめぐる光と影とアート展クワクボリョウタ《コレクション・ネット》をめぐる」講師：千葉県立美術館 松田直子 研究員

開催日時：令和6年2月12日(月・休) 13時～15時20分

会場：千葉県立中央博物館 講堂

参加人数：会場参加62名、オンライン参加46名

- (1)「房総のむらにおける上総掘り技術の再現」講師：千葉県立房総のむら 鈴木啓太 学芸員
- (2)「本牧あたりの昔のカニの話ーハマの記憶とチバの未来ー」講師：千葉県立中央博物館分館海の博物館 奥野淳兒 主任
上席研究員

VIII 入館者状況

1 月別入館者数

※20名以上のグループを団体とした

(1) 本館

ア 個人(生態園入園者含む)

	開館 日数	総入館者数	個人計	個人(有料)			個人(無料)			
				有料計	一般	高・大	無料計	一般	高・大	中以下
4月	26	6,515	6,191	1,173	1,119	54	5,018	4,221	0	797
5月	25	7,011	6,623	1,642	1,551	91	4,981	3,996	0	985
6月	26	7,033	6,480	1,256	1,190	66	5,224	4,120	28	1,076
7月	25	8,298	7,198	2,271	2,158	113	4,927	3,359	17	1,551
8月	29	13,776	12,569	4,410	4,082	328	8,159	4,547	14	3,598
9月	20	7,658	6,689	2,347	2,181	166	4,342	3,020	0	1,322
10月	25	6,731	5,853	1,279	1,219	60	4,574	3,834	14	726
11月	26	10,004	7,604	1,221	1,146	75	6,383	5,356	13	1,014
12月	23	5,421	4,496	890	831	59	3,606	3,097	12	497
1月	23	6,166	4,756	1,032	991	41	3,724	3,104	0	620
2月	25	8,869	7,827	1,641	1,543	98	6,186	5,230	6	950
3月	27	8,899	8,124	2,060	1,927	133	6,064	4,773	0	1,291
合計	300	96,381	84,410	21,222	19,938	1,284	63,188	48,657	104	14,427
通算	10,476	5,408,419	4,733,495							

イ 団体(生態園入園者含む)

	開館 日数	団体数	団体計	団体(有料)			団体(無料)			
				有料計	一般	高・大	無料計	一般	高・大	中以下
4月	26	5	224	0	0	0	224	27	90	107
5月	25	6	239	45	45	0	194	42	0	152
6月	26	7	511	96	60	36	415	17	0	398
7月	25	9	595	31	31	0	564	60	61	443
8月	29	9	285	22	22	0	263	74	20	169
9月	20	8	437	24	24	0	413	52	34	327
10月	25	11	753	68	66	2	685	78	0	607
11月	26	32	2,127	63	63	0	2,064	197	37	1,830
12月	23	12	761	2	2	0	759	136	61	562
1月	23	18	1,322	5	5	0	1,317	132	0	1,185
2月	25	11	717	10	10	0	707	93	0	614
3月	27	12	661	71	71	0	590	107	0	483
合計	300	140	8,632	437	399	38	8,195	1,015	303	6,877
通算	10,476		656,035							

ウ 生態園(個人)

月	開館日数	計
4月	26	3,422
5月	25	3,085
6月	26	2,922
7月	25	1,902
8月	27	2,303
9月	20	1,714
10月	25	2,992
11月	26	3,801
12月	23	2,460
1月	23	2,291
2月	25	4,128
3月	27	3,635
合計	298	34,655
通算	10,364	3,386,580

(2) 大利根分館

本館への機能集約にむけ休館中であるため、入館者なし。

(3) 大多喜城分館

ア 個人

	開館 日数	総入館者数	個人計	個人(有料)			個人(無料)			
				有料計	一般	高・大	無料計	一般	高・大	中以下
4月	30	4,620	4,620	0	0	0	4,620	4,620	0	0
5月	31	5,800	5,800	0	0	0	5,800	5,800	0	0
6月	30	3,290	3,290	0	0	0	3,290	3,290	0	0
7月	31	2,440	2,440	0	0	0	2,440	2,440	0	0
8月	31	3,380	3,380	0	0	0	3,380	3,380	0	0
9月	30	1,840	1,840	0	0	0	1,840	1,840	0	0
10月	31	3,280	3,280	0	0	0	3,280	3,280	0	0
11月	30	4,050	4,050	0	0	0	4,050	4,050	0	0
12月	31	2,870	2,870	0	0	0	2,870	2,870	0	0
1月	31	2,280	2,280	0	0	0	2,280	2,280	0	0
2月	29	2,400	2,400	0	0	0	2,400	2,400	0	0
3月	31	3,300	3,300	0	0	0	3,300	3,300	0	0
合計	366	39,550	39,550	0	0	0	39,550	39,550	0	0
通算	5,306	1,316,014	1,316,014							

イ 団体

	開館 日数	団体数	団体計	団体(有料)			団体(無料)			
				有料計	一般	高・大	無料計	一般	高・大	中以下
4月	30	0	0							
5月	31	0	0							
6月	30	0	0							
7月	31	0	0							
8月	31	0	0							
9月	30	0	0							
10月	31	0	0							
11月	30	0	0							
12月	31	0	0							
1月	31	0	0							
2月	29	0	0							
3月	31	0	0							
合計	366	0	0							
通算	5,306		96,773							

(4) 分館海の博物館

ア 個人

	開館 日数	総入館者数	個人計	個人(有料)			個人(無料)			
				有料計	一般	高・大	無料計	一般	高・大	中以下
4月	26	3,992	3,992	1,986	1,896	90	2,006	1,114	0	892
5月	25	6,153	5,668	2,932	2,799	133	2,736	1,214	0	1,522
6月	26	4,305	2,393	1,179	1,130	49	1,214	730	1	483
7月	26	6,113	5,823	3,110	2,997	113	2,713	1,211	0	1,502
8月	27	12,534	12,148	6,337	5,912	425	5,811	2,346	10	3,455
9月	23	5,127	4,999	2,892	2,741	151	2,107	1,104	2	1,001
10月	25	3,581	3,320	1,871	1,820	51	1,449	778	14	657
11月	26	4,554	4,275	1,860	1,794	66	2,415	1,538	32	845
12月	21	2,346	2,346	1,280	1,223	57	1,066	591	0	475
1月	23	2,885	2,849	1,615	1,540	75	1,234	639	0	595
2月	25	3,918	3,785	2,113	1,999	114	1,672	895	5	772
3月	27	4,610	4,550	2,443	2,214	229	2,107	1,102	0	1,005
合計	298	60,118	56,148	28,717	27,192	1,525	27,192	12,657	90	14,445
通算		2,475,249	2,288,644							

イ 団体

	開館 日数	団体数	団体計	団体(有料)			団体(無料)			
				有料計	一般	高・大	無料計	一般	高・大	中以下
4月	26	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5月	25	6	485	56	48	8	429	117	0	312
6月	26	18	1,912	112	112	0	1,800	361	0	1,439
7月	26	8	290	52	36	16	238	19	16	203
8月	27	8	386	13	13	0	373	32	23	318
9月	23	3	128	20	20	0	108	49	0	59
10月	25	7	261	89	58	31	172	72	0	100
11月	26	6	279	176	61	115	103	103	0	0
12月	21	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1月	23	1	36	4	4	0	32	0	0	32
2月	25	2	133	12	12	0	121	3	0	118
3月	27	2	60	6	6	0	54	54	0	0
合計	300	61	3,970	540	370	170	3,430	810	39	2,581
通算			186,605							

2 団体入館状況

※20名以上のグループを団体とした

(1) 本館(生態園を含む)

	大学	高校	中学校	小学校	特別支 援学校	義務 教育	各種 学校	保育園	幼稚園	子ども 団体	身障者 施設	老人介 護施設	一般 団体	合計	割合
千葉市	1	1	2	10			2	13	14	2	2		4	51	34.7%
葛南	1			15	1			1	1				2	21	14.3%
東葛飾	1			4	1			1					2	9	6.1%
北総				14	1				2	1			1	19	12.9%
東上総				8				1		1	1	1		12	8.2%
南房総				9	1				2	3	1		8	24	16.3%
県外				3	1			2		2			3	11	7.5%
海外															
合計	3	1	2	63	5		2	18	19	9	4	1	2	147	100%
割合	2.0%	0.7%	1.4%	42.9%	3.4%		1.4%	12.2%	12.9%	6.1%	2.7%	0.7%	13.6%	100%	

(2) 大利根分館

本館への機能集約にむけ休館中であるため、入館者なし。

(3) 大多喜城分館

団体の入館者なし。

(4) 分館海の博物館

	大学	高校	中学校	小学校	特別支 援学校	義務 教育	各種 学校	保育園	幼稚園	子ども 団体	身障者 施設	老人介 護施設	一般 団体	合計	割合
千葉市			1										2	3	4.9
葛南		1												1	1.6
東葛飾					1								2	3	4.9
北総	1												2	3	4.9
東上総				9				2						11	18.1
南房総										1			1	2	3.3
県外				31							1		6	38	62.3
海外															
合計	1	1	1	40	1			2		1	1		13	61	
割合	1.6	1.6	1.6	65.7	1.6			3.3		1.6	1.6		21.4		

3 団体の種類・地域内訳

(1) 本館(生態園を含む)

地域	市町村	大学	高校	中学校	小学校	特別支 援学校	義 務 教 育	各種 学校	保育園	幼稚園	子ども 団体	身障者 施設	老人介 護施設	一般 団体	合計
葛南	千葉市	1	1	2	10			2	13	14	2	2		4	51
	市川市				5										5
	船橋市				6	1				1				1	9
	習志野市				2				1						3
	八千代市	1			2										3
	浦安市													1	1
東葛飾	松戸市				1	1								1	3
	野田市														
	柏市				1									1	2
	流山市				1				1						2
	我孫子市	1			1										2
	鎌ヶ谷市														
	北総	銚子市													
成田市				1						1				2	
佐倉市				3										3	
旭市				2										2	
四街道市				3										3	
八街市				1	1					2				4	
印西市				2										2	
白井市															
富里市				1									1	2	
匝瑳市				1										1	
香取市															
栄町															
酒々井町															
神崎町															
多古町															
東圧町															
東上総	茂原市				3										3
	東金市										1				1
	勝浦市				1										1
	山武市				2				1						3
	いすみ市				1								1		2
	横芝光町				1										1
	芝山町														
	九十九里町														
	大網白里市											1			1
	白子町														
	長柄町														
	長南町														
	睦沢町														
	一宮町														
	御宿町														
	大多喜町														
	長生村														
南房総	館山市				1										1
	木更津市				3						2			3	8
	市原市				2	1				2		1		1	7
	鴨川市														
	君津市										1			1	2
	富津市				1									1	2
	袖ヶ浦市				1									1	2
	南房総市				1									1	2
	鋸南町														
県外				3	1			2		2			3	11	
海外															
合計		3	1	2	63	5		2	18	19	9	4	1	20	147

都県名	大学	高校	中学校	小学校	特別支援学校	義務教育	各種学校	保育園	幼稚園	子ども団体	身障者施設	老人介護施設	一般団体	合計
東京都				3	1			2		1			3	10
埼玉県										1				1

(2) 大利根分館

本館への機能集約にむけ休館中であるため、入館者なし。

(3) 大多喜城分館

団体の入館者なし。

(4) 分館海の博物館

地域	市町村	大学	高校	中学校	小学校	特別支援学校	義務教育	各種学校	保育園	幼稚園	子ども団体	身障者施設	老人介護施設	一般団体	合計
葛南	千葉市									1		2			3
	市川市														
	船橋市														
	習志野市														
	八千代市			1											1
東葛飾	浦安市														
	松戸市					1								1	2
	野田市														
	柏市													1	1
	流山市														
	我孫子市														
北総	鎌ヶ谷市														
	銚子市	1													1
	成田市														
	佐倉市														
	旭市														
	四街道市														
	八街市														
	印西市														
	白井市													1	1
	富里市														
	匝瑳市													1	1
	香取市														
	栄町														
	酒々井町														
	神崎町														
多古町															
東庄町															
東上総	茂原市														
	東金市														
	勝浦市				3										3
	山武市														
	いすみ市				3										3
	横芝光町														
	芝山町														
	九十九里町														
	大網白里市														
	白子町														
	長柄町														
	長南町														
	睦沢町														
	一宮町														
	御宿町				3										3
大多喜町								2						2	
長生村															

南房総	館山市													
	木更津市													
	市原市											1	1	
	鴨川市									1			1	
	君津市													
	富津市													
	袖ヶ浦市													
	南房総市													
鋸南町														
県外				31						1		6	38	
海外														
合計	1	1	1	40	1			2		1	1	13	61	

IX 組織・運営

1 千葉県博物館協議会

(1) 協議会委員(任期: 令和4年12月1日~令和6年11月30日)

分野	氏名	役職名
学校教育	濱田素子	富里市立浩養小学校 校長
社会教育	井口 崇	袖ヶ浦市郷土博物館 顧問
家庭教育	卯木伊津美	千葉県子ども会育成連合会 副会長
学識経験者	湯浅治久	専修大学文学部 教授
学識経験者	関沢まゆみ	国立歴史民俗博物館 副館長
学識経験者	鴻野わか菜	早稲田大学教育・総合科学学術院教育学部教授
学識経験者	細矢 剛	国立科学博物館植物研究部 部長
学識経験者	高橋 正	東邦大学 名誉教授
学識経験者	綱島浩三	NHK 千葉放送局 局長
学識経験者	門脇伊知郎	合同会社わんぱく 代表

(2) 議題

月日	議 題	場 所	参加者数
1月18日(木)	博物館法の改正について 千葉県立中央博物館リニューアル基本計画の策定について 県立博物館における地域連携と地域振興について	県立美術館・研修室	29人
2月20日(火)	千葉県立中央博物館みらい計画の策定について 千葉県立美術館活性化基本構想の策定について	中央博物館・会議室	25人
3月1日(金)	千葉県立中央博物館みらい計画の策定について 県立博物館における地域連携と地域振興について	中央博物館・会議室	26人

2 職員

()内は研究分野 / [兼※] は環境生活部文化振興課、[兼※※] は環境生活部自然保護課生物多様性センター兼務

館 長 田中 文昭
副 館 長 高松 武博
副 館 長 小田島 高之(地理学)

庶務部

庶 務 部 長 植草 基充
【庶務課】
庶 務 課 長 植草 基充
副 主 幹 柳原 清一
副 主 査 長谷 久夫
主 事 遠藤 翔平 [兼※]
主 事 吉村 誠
主 事 川村 智紘
主 事 遠山 恵司
主 事 手塚 美也
会計年度任用職員(その他) 金子 まどか・塩地 明子・井上 久徳

【教育普及課】

教育普及課長 伊左治 鎮司(古生物学)
副 主 査 林田 嗣朗
上 席 研 究 員 林 紀男(微生物生態学)
上 席 研 究 員 小林 裕美(民俗学)
研 究 員 高橋 一真(博学連携)
研 究 員 大津 千晶(植物生態学)
研 究 員 照屋 清之介(貝類学)
研 究 員 須田 華那(日本近世史)
会計年度任用職員(体験交流員) 柳原 亜矢子
会計年度任用職員(体験交流員) 阿部 真理子
会計年度任用職員(体験交流員) 須藤 大雅

【企画調整課】

企画調整課長 大木 淳一(地質学)
副 主 査 水野 大樹 [兼※] (植物生態学)
上 席 研 究 員 山本 伸子(植物分類学(種子植物))
上 席 研 究 員 尾崎 煙雄(森林生態学)
研 究 員 玉井 里奈(日本民俗学)
研 究 員 樽 宗一郎(昆虫分類学)
研 究 員 菊川 照英(地質学・層序学)
研 究 員 浅野 紗彩(植物保全・植物分類学)

自然誌・歴史研究部

自然誌・歴史研究部長 米谷 博(日本近世史)
【地学研究科】
地学研究科長 加藤 久佳(古生物学)
主任上席研究員 奥田 昌明(第四紀地質学)
上 席 研 究 員 八木 令子(地形学)
研 究 員 丸山 啓志(古生物学)
【動物学研究科】
動物学研究科長 駒井 智幸(動物分類学-甲殻類)
主任上席研究員 宮 正樹(分子生態学・系統学)
上 席 研 究 員 黒住 耐二(貝類学)
研 究 員 下稲葉 さやか [兼※※] (哺乳類学)
【植物学研究科】
植物学研究科長 御巫 由紀(植物分類学)
上 席 研 究 員 吹春 俊光(菌学)
上 席 研 究 員 原田 浩(地衣類分類学)
【歴史学研究科】
歴史学研究科長 米谷 博(日本近世史)
主任上席研究員 幅 大 (日本近代美術史・博物館学)
研 究 員 渡瀬 綾乃(日本民俗学)
研 究 員 鈴木 建人(日本神道史)

【大利根分館】
 主任上席研究員 榎 美香(日本民俗学・民具学)
 主任上席研究員 秋山 笑子(日本民俗学)
 【大多喜城分館】
 上 席 研 究 員 高橋 覚(日本近世史・博物館学)
 研 究 員 石井 友菜(日本考古学・古墳時代)

【資料管理研究科】
 資料管理研究科長 村田 明久(海洋生態学)
 主任上席研究員 友田 暁子(図書資料論)
 主任上席研究員 萩野 康則(動物分類学(エダヒゲムシ類))

生態・環境研究部

生態・環境研究部長 島立 理子(民俗学・日本近代史)

【生態学・環境研究科】
 生態学・環境研究科長 島立 理子(民俗学・日本近代史)
 主任上席研究員 斎藤 明子(昆虫分類学)
 主任上席研究員 齋藤 健一(植物学・理科教育)
 上 席 研 究 員 天野 誠(植物分類学(細胞分類学))
 研 究 員 後藤 亮(魚類学)
 研 究 員 坂田 歩美(地衣類分類学)
 研 究 員 栗田 隆気(爬虫・両生類学)
 研 究 員 千葉 友樹(古生態学・堆積学)

研 究 員 西内 李佳(植生史学)
 【環境教育研究科】
 環境教育研究科長 高山 順子(海洋生態学(甲殻類))
 主任上席研究員 桑原 和之(鳥類学)
 上 席 研 究 員 高橋 直樹(地質学・岩石学)

分館海の博物館

分 館 長 乃一 哲久(魚類学・水産学)
 主任上席研究員 川瀬 裕司(魚類生態学)
 主任上席研究員 奥野 淳兒(動物分類学-甲殻類)
 主任上席研究員 菊地 則雄(藻類学)
 主任上席研究員 柳 研介(動物分類学)
 主任上席研究員 立川 浩之(海洋生物学)
 上 席 研 究 員 松本 光史(博学連携)
 研 究 員 平田 和彦(海洋生態学・行動生態学)
 副 主 幹 鈴木 徳美
 主 事 角田 竜太郎
 会計年度任用職員(体験交流員) 金子 美織
 会計年度任用職員(体験交流員) 柏木 真弓(R5. 4. 1～10. 31)
 会計年度任用職員(体験交流員) 原 礼(R5. 11. 1～R6. 3. 31)
 会計年度任用職員(その他) 福本 早織

3 分掌

(1) 庶務部

庶務課
 教育普及課
 企画調整課

- ・庶務、会計、施設管理に関すること
- ・教育普及、本館来館者対応に関すること
- ・「体験学習室」の維持管理に関すること
- ・館事業の企画運営、評価事業、博物館協議会の運営、他館との調整等に関すること
- ・報道、広報に関すること

(2) 自然誌・歴史研究部

地学研究科
 動物学研究科
 植物学研究科
 歴史学研究科
 大利根分館
 大多喜城分館
 資料管理研究科

- ・地学分野の調査研究、資料、教育普及、展示に関すること
- ・「房総の地学」展示室の維持管理に関すること
- ・動物学分野の調査研究、資料、教育普及、展示に関すること
- ・「生物の分類」「海洋」展示室の維持管理に関すること
- ・植物学分野の調査研究、資料、教育普及、展示に関すること
- ・「房総の生物」展示室の維持管理に関すること
- ・歴史分野の調査研究、資料、教育普及、展示に関すること
- ・「房総の歴史」展示室の維持管理に関すること
- ・大利根分館の維持管理、博物館事業に関すること
- ・大多喜城分館の維持管理、博物館事業に関すること
- ・博物館資料に関する研究、収蔵資料の統括、収蔵庫の維持管理、図書資料の管理に関すること

(3) 生態・環境研究部

生態学・環境研究科
 環境教育研究科

- ・生態環境分野の調査研究、資料、教育普及、展示に関すること
- ・生態園の運営、維持管理に関すること
- ・房総のフィールド・ミュージアムに関すること
- ・環境教育分野の調査研究、資料、教育普及、展示に関すること
- ・「自然と人間のかかわり」展示室の維持管理に関すること

(4) 分館海の博物館

- ・分館海の博物館の庶務、会計、施設管理に関すること
- ・分館海の博物館の博物館事業に関すること

4 運営推進チーム・委員会・専門グループ・プロジェクトチーム

複数の組織にまたがる業務は、各課科職員により構成された以下のチーム、委員会及びグループにより、企画運営を行った。

- ・運営推進チーム 展示チーム/地域連携チーム/調査研究チーム
- ・委員会 資料管理委員会/資料審査委員会/衛生委員会
- ・専門グループ 地学/動物/植物/人文
- ・プロジェクトチーム 機能強化/情報システム/映像記録/県誕生 DA/特別展、季節展チーム

5 利用方法

■開館時間・休館日

(1) 本館

ア 開館時間 午前9時～午後4時30分(入館は午後4時まで)
 イ 休館日 毎週月曜日(月曜日が休日の場合は開館し、翌平日が休館)
 年末年始(令和5年12月28日～令和6年1月4日)

※令和5年度実施

臨時開館日 令和5年8月7日(月)、8月14日(月)
 (本館のみ開館、生態園は休園)

臨時休館日 令和5年5月9日(火)、7月14日(金)、9月24日(日)、9月26日(火)～10月1日(日)
 (メンテナンス作業のため、本館・生態園とも)

(2)大利根分館

本館への機能集約のため、令和4年6月20日より休館

(3)大多喜城分館

ア 開館時間 (研修館のみ)午前9時～午後4時
 イ 休館日 (研修館)なし

(4)分館海の博物館

ア 開館時間 午前9時～午後4時30分(入館は午後4時まで)
 イ 休館日 毎週月曜日(月曜日が休日の場合は開館し、翌火曜日が休館)
 年末年始(令和5年12月28日～令和6年1月4日)

※令和5年度実施

臨時休館日 令和5年5月9日(火)、9月5日(火)、9月8日(金)、9月9日(土)、10月9日(月)、12月12日(火)～13日(水)

■入場料

	本 館				分館海の博物館	
	通常期間		特別展期間		通常期間・企画展期間	
	個人	団体	個人	団体	個人	団体
一 般	300 円	240 円	800 円	640 円	200 円	160 円
高校生・大学生	150 円	120 円	400 円	320 円	100 円	80 円

※団体は20名以上

※65歳以上の者、小・中学生以下の者、障害者(身体障害者、知的障害者又は精神障害者及び、これらの者を介護する者)は無料

※6月15日(県民の日)、11月3日(文化の日)は入場無料

※生態園は入場無料

■年間パスポート

	本 館		分館海の博物館
	料 金	特別展追加料金	料 金
一 般	1,500 円	500 円	1,000 円
高校生・大学生	750 円	250 円	500 円

■所在地

千葉県立中央博物館(本館・生態園、房総のフィールド・ミュージアム連絡先)
 〒260-8682 千葉市中央区青葉町955-2
 電 話 043-265-3111 FAX 043-266-2481

千葉県立中央博物館大利根分館
 〒287-0816 香取市佐原ハ4500
 電 話 0478-56-0101 FAX 0478-56-1456

千葉県立中央博物館大多喜城分館
 〒298-0216 夷隅郡大多喜町大多喜481
 電 話 0470-82-3007 FAX 0470-82-4959

千葉県立中央博物館分館海の博物館
 〒299-5242 勝浦市吉尾123
 電 話 0470-76-1133 FAX 0470-76-1821

千葉県立中央博物館年報36 (令和5年度版)

編集・発行 千葉県立中央博物館
〒260-8682 千葉市中央区青葉町955-2
電 話 043-265-3111 FAX 043-266-2481
<https://www.chiba-muse.or.jp/NATURAL/>

発 行 日 令和 6年 8月28日